

平成27年度
インターネット等の適正な利用に関する
指導事例集・活用の手引

平成28年3月

東京都教育庁指導部

はじめに

今日、情報化の進展は、経済や社会に大きな変化をもたらし、私たちの暮らしを豊かにしています。パソコンや携帯電話、スマートフォン等が広く普及し、誰もが世界中の様々な情報を入手することが可能になりました。

一方、児童・生徒が SNS を利用することにより、深刻ないじめや犯罪、学力低下など、学校教育に関わる様々な問題が生じています。

東京都教育委員会の調査によれば、SNS において、「自分の悪口や個人情報を書かれた」と回答した児童・生徒が、小学生で 3.2%、中学生で 8.9%、高校生で 15.4% と、年齢が上がるにつれ増加しています。一方、家庭や、学校等において、インターネットの利用についてルールを定めていると回答した児童・生徒の割合は、年々低下していることが分かりました。

東京都教育委員会では、これらのことに対応するため、平成 27 年 4 月当初から検討を重ねてきました。そして、今年度、知事が定めた「東京都教育施策大綱」を受け、平成 27 年 11 月 26 日に開かれた教育委員会において、児童・生徒が SNS の不適切な利用によって、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするためのルール「SNS 東京ルール」を策定しました。

本ルールは、児童・生徒の、自らルールを守っていこうという意識を高めるとともに、SNS を適切に利用できる力を育てていく指導を、より充実していくことをねらいとしています。

本指導事例集・活用の手引は、東京都教育委員会が、これまでに得た情報を基に作成した事例や、昨今の新しいサービスを中心に掲載しており、学校における情報モラル教育及び「SNS 東京ルール」を踏まえたルールづくりに役立つ指導資料です。

全ての学校の教員が、本指導事例集・活用の手引を活用し、児童・生徒が、事件や事故に巻き込まれることのないよう計画的に情報モラル教育に取り組んでいくことを期待しています。

平成 28 年 3 月
東京都教育委員会



目次

<第 I 章> インターネットのトラブルとその対応

1 書き込み事例と対応

(1)、(2) 自身の個人情報を公開	2
(3)、(4) 他者の個人情報を公開	3
(5) 不適切行為 (窃盗)	4
(6) 不適切行為 (路線内進入)	4
(7) 不適切行為 (飲酒)	5
(8) 家出・家出受け入れ	5
(9) 誹謗中傷	6
(10) 虐待・暴力	6
(11) 違法・犯罪行為	7
(12) 自傷・自殺	7
学校における対応	8
教育委員会からの情報に対する対応	10

2 こたエールに寄せられた相談とその対応

(1) ネットいじめの相談事例	12
(2) チェーンメールの相談事例	13
(3) 著作権法違反の相談事例	14
(4) 依存の相談事例	15
(5) 交際の相談事例①	16
(6) 交際の相談事例②	17
(7) 削除方法に関する相談事例	18

3 東京都消費生活総合センターに寄せられた相談とその対応

架空請求に関する相談事例	19
--------------	----

4 警視庁に寄せられた相談とその対応

自分の氏名や顔写真を無断で使用された事例	21
----------------------	----

<第Ⅱ章> 指導する上で知っておきたい基本的な知識

- 1 インターネットを利用できる機器 24
- 2 最近増えているインターネット上のサービス 26
- 3 保護者への啓発について 35
- 4 インターネット嗜癖^{しへき}（依存） 37

<第Ⅲ章> トラブルを回避するために

- 1 無料通話アプリ（LINE など）でのトラブルについて 40
- 2 Twitter（マイクロブログ） 43
- 3 公開する範囲を制限することについて 45
- 4 ジオタグ（位置情報）について 47
- 5 フィルタリングの重要性 49

<第Ⅳ章> 参考資料

- 1 児童・生徒のインターネット利用に関する調査等 52
- 2 インターネット隠語・用語集 56
- 3 DVD教材の紹介 60
- 4 参考リンク 61
- 5 SNS 東京ルール 62
- 6 子供の携帯電話利用についてのアピール 66

- 索引 73

<注意>

- 本書に掲載している事例は、実際の書き込みを参考にして作成したものであるため、不適切な表現が含まれている。
- 学校での指導に活用するため、不適切な表現はあえてそのままにしてある。
- 本書のサイト画像は、全てイメージであり、実際のものとは異なる。

第 I 章 インターネットのトラブルとその対応

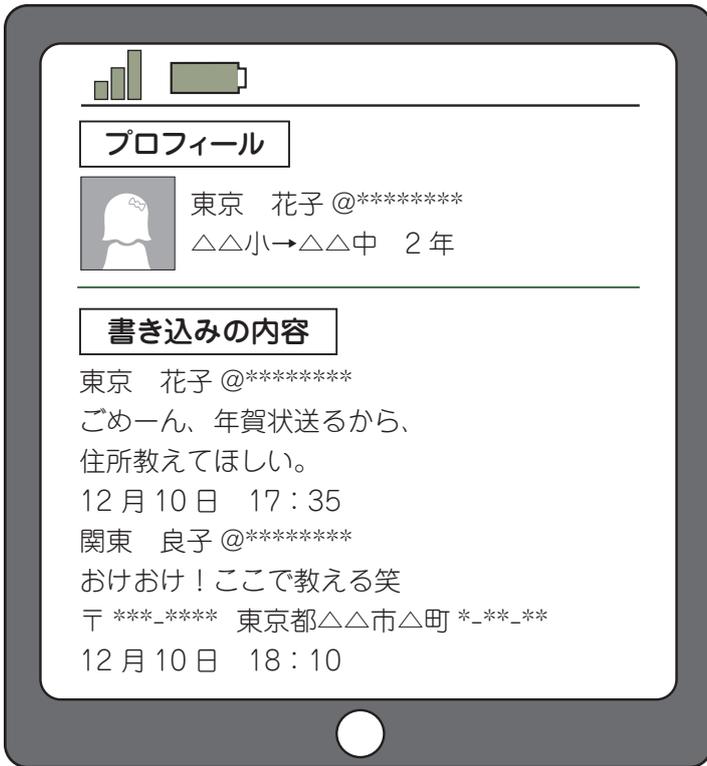
1 書き込み事例と対応

東京都教育委員会が、学校非公式サイト等監視業務等から得た情報を基に作成した、インターネット上の不適切な書き込みの例と、その対策を掲載しました。

【活用の仕方】

学校で発生する可能性がある書き込みの事例と、指導の流れを示した参考資料です。これらを参考に児童・生徒の指導に活用してください。

1 自身の個人情報を公開 中学校

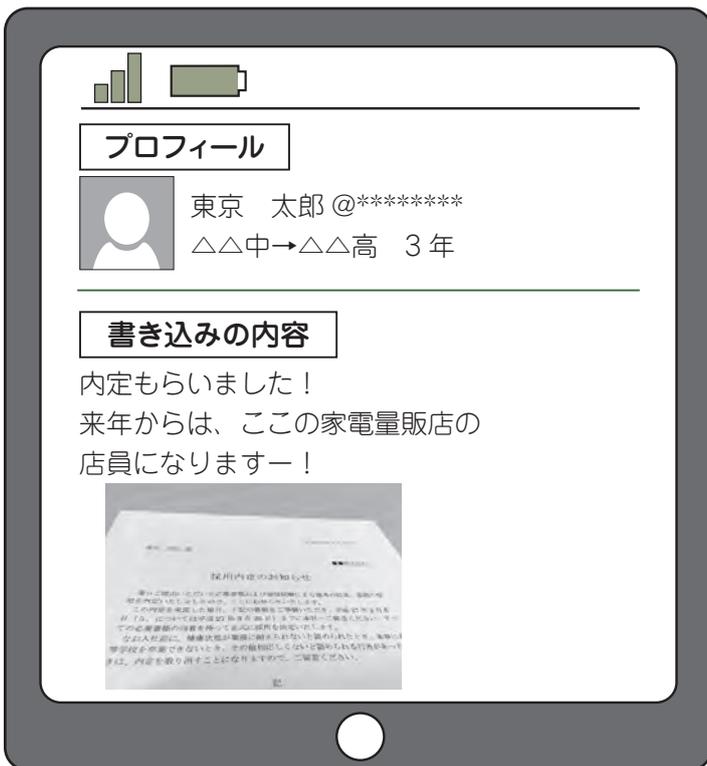


投 稿	
サイト種別	リアル (Twitter)
学校種別	中学校
学年	2年生
性別	女子

この書き込みの問題点

不特定多数が閲覧可能なサイトに、会話形式で住所を書き込んでいる。見知らぬ人が家を訪ねてきたり、個人情報が悪用されたりすることが考えられる。

2 自身の個人情報を公開 高等学校



投 稿	
サイト種別	リアル (Twitter)
学校種別	高等学校
学 年	3年生
性 別	男子

この書き込みの問題点

内定通知書を掲載していることを第三者が当該企業にこのことを連絡するおそれがある。内定が取り消されるなど、本人の不利益になる可能性がある。

※この写真は架空のものです。

3

他者の個人情報を公開

中学校



投 稿

サイト種別 : リアル
(Twitter)
学校種別 : 中学校
学 年 : 3年生
性 別 : 女子

この書き込みの問題点

画像を拡大すれば容易に住所を読み取れる写真を掲載している。自身や友人の住所を公開することで、トラブルに遭うことがある。

4

他者の個人情報を公開

高等学校



投 稿

サイト種別 : リアル
(Twitter)
学校種別 : 高等学校
学 年 : 3年生
性 別 : 女子

この書き込みの問題点

無料通話アプリのQRコード (ID) を不特定多数が閲覧可能なサイトに掲載している。第三者が直接メールし、誘い出しなどのトラブルに遭うことも考えられる。

※このQRコードは架空のものです。

5

不適切行為（窃盗）

高等学校



※この写真は架空のものです。

投 稿	
サイト種別	リアル (Twitter)
学校種別	高等学校
学 年	不明
性 別	女子

この書き込みの問題点

窃盗行為は法令違反である。炎上騒ぎになり、警察に通報される可能性もある。また、第三者が画像等を保存することで、このような行為をした事実を永久に消すことができず、社会に出る際に不利益を被ることがある。

6

不適切行為（路線内侵入）

高等学校



投 稿	
サイト種別	リアル (Twitter)
学校種別	高等学校
学 年	不明
性 別	男子

この書き込みの問題点

線路内の立ち入りは法令違反である。第三者が画像等を保存することで、このような行為をした事実を永久に消すことができず、社会に出る際に不利益を被ることがある。

7

不適切行為（飲酒）

高等学校



投 稿

サイト種別 : リアル
(Twitter)
学校種別 : 高等学校
学 年 : 不明
性 別 : 女子

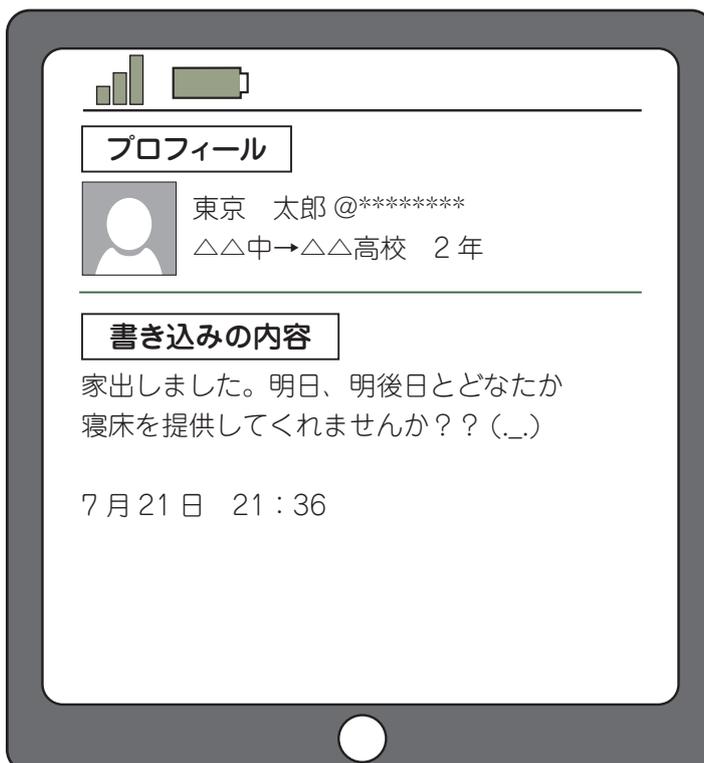
この書き込みの問題点

未成年の飲酒は法令違反である。第三者が画像等を保存することで、このような行為をした事実を永久に消すことができず、進学や就職するタイミングで公開され、不利益を被ることがある。

8

家出・家出受け入れ

高等学校



投 稿

サイト種別 : リアル
(Twitter)
学校種別 : 高等学校
学 年 : 2年生
性 別 : 男子

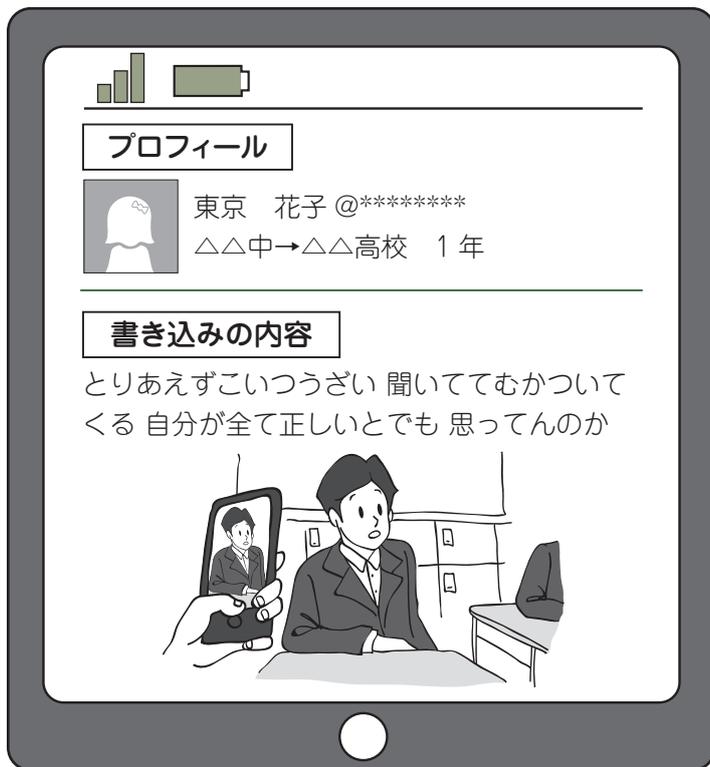
この書き込みの問題点

本人が家出をし、泊まる場所がない事実を知った第三者が、ダイレクトメッセージ（メール）を出すなど接触してきて、誘い出す可能性がある。

9

誹謗中傷

高等学校



投 稿	
サイト種別	リアル (Twitter)
学校種別	高等学校
学 年	1年生
性 別	女子

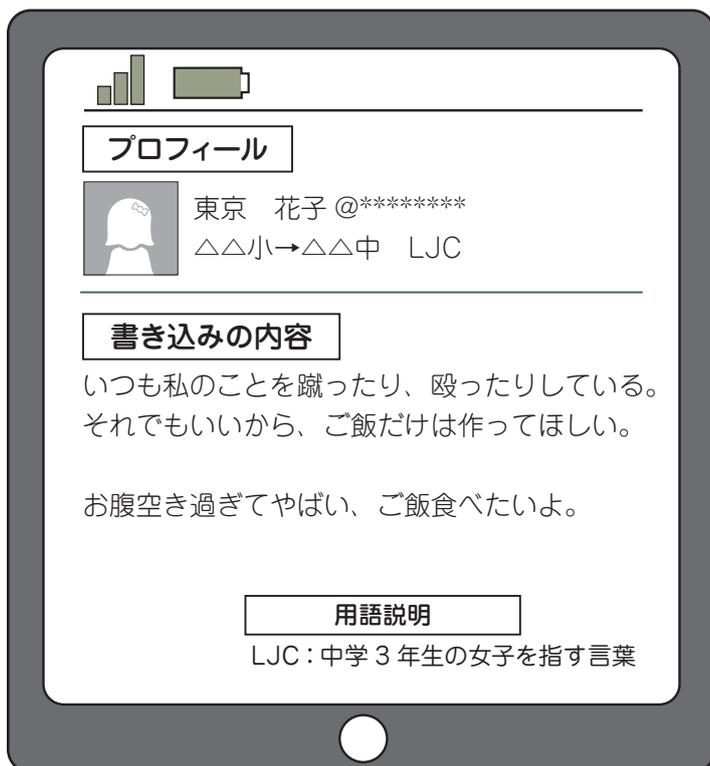
この書き込みの問題点

特定の人物の写真を掲載し、誹謗中傷している。

10

虐待・暴力

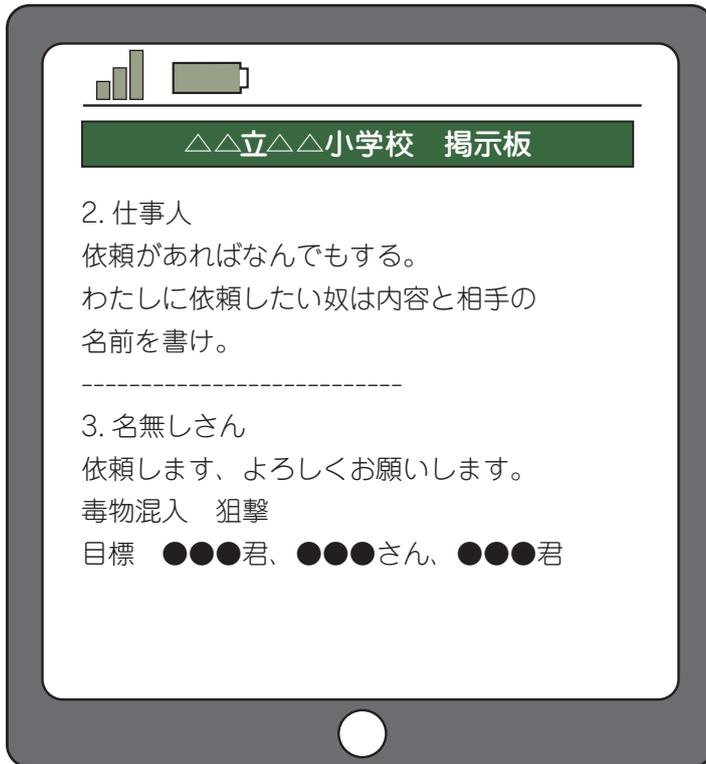
中学校



投 稿	
サイト種別	リアル (Twitter)
学校種別	中学校
学 年	3年生
性 別	女子

この書き込みの問題点

保護者から暴力を受けていることがうかがえる。加えて、食事を取っていない様子が記載されているため、食事を名目に連れ出しに遭う危険性もある。

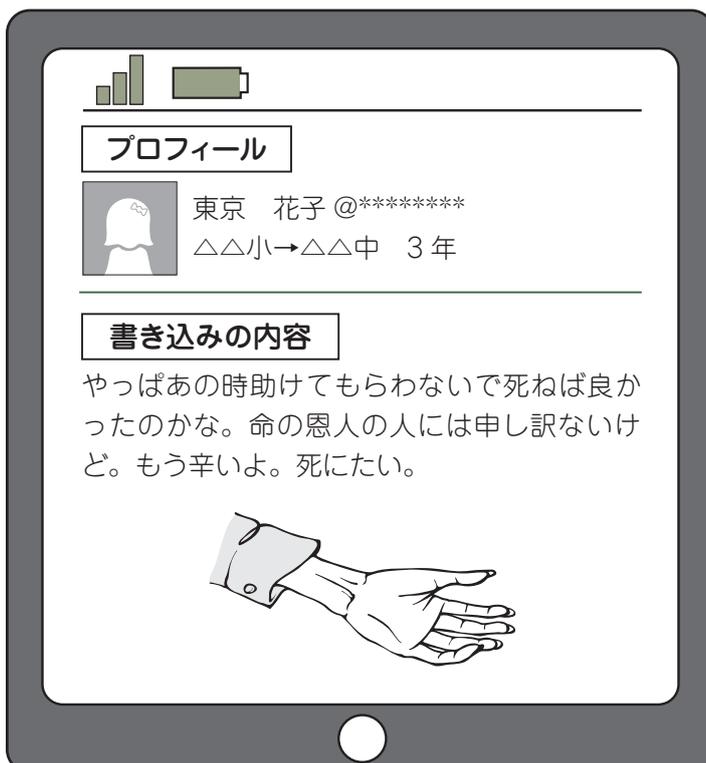


投 稿

サイト種別 : 掲示板
 学校種別 : 小学校
 学 年 : 不明
 性 別 : 不明

この書き込みの問題点

犯罪予告は冗談であったとしても、刑事責任に問われる可能性がある。警察に逮捕されることもありえる。



投 稿

サイト種別 : リアル
(Twitter)
 学校種別 : 中学校
 学 年 : 3年生
 性 別 : 女子

この書き込みの問題点

自殺願望を書き込むことで、誘拐や誘い出しに遭うおそれがある。さらに書き込みをリツイート（転載）し、更に自傷行為をさせようとおおるような書き込みを受ける可能性がある。

学校における対応

(1) 不適切な書き込みを発見

児童・生徒から

保護者から

教職員から

地域住民から

教育委員会から

(2) 初期対応

証拠を保全する。

- ① 書き込みのあるサイトの、書き込みの日付や内容を確認する。
- ② 該当の書き込みを画面コピー（スクリーンショット）で保存し、印刷する。
- ③ サイト上にプロフィールがある場合には、プロフィールを確認し、書き込んだ児童・生徒を特定する。

留意点

・ 学校のPCが、フィルタリングによるアクセス制限等により確認できない。

可能ならば、スマートフォン等で確認する。

・ PCで印刷しようとする、見たとおりにならない。

PCで [PRT SCREEN] キーを押し、その後、ペイントソフト等を起動し、貼り付け、その画像を印刷する。

・ 写真が2枚以上公開されているという訴えを受けたが、1枚しか見ることができない。

パソコンのブラウザ等の問題で、2枚目以降が表示されない場合がある。
可能ならば、スマートフォン等で確認する。

(3) 書き込みに対する指導

ア 書き込みの影響を考えさせる

- ① 友人や知人だけでなく、一般の利用者も見ることができること。
- ② 一旦公開されると、情報を完全に削除することは不可能に近い。
- ③ 食事をする店内で不衛生な行為を行うなど、面白半分で書き込んだものが、自分だけでなく、周囲の人々にも重大な影響を及ぼす可能性がある。
- ④ 個人情報を公開することで、なりすましに利用されたり、ストーカー被害や誘拐事件などに巻き込まれる危険性がある。

イ 書き込んではいけない事柄について、考えさせる。

- ① 個人を特定できる情報（住所、電話番号、携帯メールアドレス、氏名、学校名、顔写真、自宅周辺の風景写真など）
- ② 他人の誹謗中傷
- ③ 事実とは異なる情報 など



(4) 削除などの対応

削除を指導する。

内容・状況に応じて、
①から④の方法で削除
するよう指導する。

書き込んだ者が不明
の場合は⑤を行う。

- ① 書き込んだアカウントを削除
- ② 書き込みを削除
- ③ 書き込んだアカウントを非公開
- ④ プロフィールから学校名等を削除
- ⑤ サイト管理者に削除を依頼する

削除した結果
を必ず確認す
る。

その他の指導を行う。 ※ 書き込んだ児童・生徒が特定できる場合

- ① 必要に応じて、学年集会や全校集会などで、すべての児童・生徒に対して指導する。
- ② 必要に応じて、教育委員会や学校経営支援センターに相談し、書き込みの内容が拡散していないかなど、学校非公式サイト等の監視を依頼する。

教育委員会からの情報に対する対応

(1) 学校非公式サイト等の監視により不適切な書き込みが発見された場合の対応

削除を指導する ※ 書き込んだ児童・生徒が特定できる場合

- ア 東京都教育委員会は、受託業者から報告を受ける。
- イ 東京都教育委員会は、当該の区市町村教育委員会や都立学校宛てに、メールや電話等により、情報提供を行う。
- ウ 情報提供を受けた区市町村教育委員会は、事実確認を行うとともに、当該の学校に対して、当該校に在籍する児童・生徒、保護者への対応等を指示する。
- ※ 都立学校は、エの対応を行う。
- エ 各学校は、「学校における対応」を参考にして、児童・生徒、保護者への対応を行う。
- オ 区市町村教育委員会や都立学校は、対応に関する報告を、メール等で東京都教育委員会に行う。

(2) 参考 学校非公式サイト等の監視で対応できる範囲

監視可能なウェブサイト等	監視不可能なもの
<p>パーソナルコンピュータで表示できるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電子掲示板 2ちゃんねる、キャスフィ ○ブログ・ミニブログ 一般的なブログ全て、Twitter（公開しているもの）、ツイキャス（動画・公開しているもの）、インスタグラム（画像・公開しているもの）等 ○その他一般的なウェブページ ○委託業者が特別なアカウントを所有しているため、監視可能な SNS mixi 等 	<p>パーソナルコンピュータで表示できない、スマートフォン専用アプリや、携帯ゲーム機専用のコミュニティなど</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認証を必要とする SNS 等 （コミュニティ型の会員制のサービス） Facebook、GREE、Mobage（モバゲー）、Google+ 等 ○「電子通信事業法」により、通信の秘密が守られている対象 LINE 等 ○認証を必要とする掲示板やブログ Twitter（友人以外非公開のもの）等 ○電子メールの内容（Web メール含む）
<p>監視不可能なものに対する対策</p> <p>SNS を通じた誹謗中傷など、児童・生徒がネットワーク上のトラブルに巻き込まれることのないよう、東京都教育委員会が作成した以下の資料を活用して、情報モラル教育を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 「インターネットの適正な利用に関する指導事例集 平成 28 年 3 月」（本事例集）の活用 ② 「正しく使おう！インターネット ～ルールとマナー～」(情報モラル学習コンテンツ DVD 教材 児童・生徒版、教員版 平成 26 年 3 月) の活用、 ③ 「守ろう！インターネットのルールとマナー」(情報モラル啓発 DVD 小学校版、中学校・高校版、平成 25 年 3 月) の活用 	

第I章 インターネットのトラブルとその対応

2 こたエールに寄せられた相談とその対応

児童・生徒に対して、困ったときや悩んだときは、すぐに保護者の方や、先生・スクールカウンセラーに相談することをすすめて下さい。

また、下記に示した、東京都の相談窓口にも気軽に相談できることを伝えて下さい。

インターネットのトラブルなどで困った時の相談窓口

● 東京こどもネット・ケータイヘルプデスク（こたエール）

☎ **0570-783-184**

月曜日～金曜日 午前9時から午後6時まで

土曜日 午前9時から午後5時まで

※祝日、年末年始を除く。

<メール相談>

(24時間 365日) <http://www.tokyohelpdesk.jp/>

● 東京都いじめ相談ホットライン (24時間)

☎ **0120-53-8288**

【活用の仕方】

こたエールに寄せられた相談やその回答、考察について掲載しています。学校で似た事例が発生した場合の対応の参考資料として活用できます。

引用元 「こどものネット・ケータイトラブル相談!こたエール」

URL <http://www.tokyohelpdesk.jp/>

(1) ネットいじめの相談事例



(ア) 相談内容

息子の元同級生たちが利用するメッセージアプリのグループで息子の写真が勝手に回されている。写真を送信した生徒は、悪いことをしたと認めているが、すでに他のグループにも回っているので、削除する、やめさせるなどの対処をしたいのだがどうしたら良いか？ 息子はグループメンバーとは現在は交流もないのに知らない所で写真が回されたのは、嫌がらせであり、息子も怒っている。

(イ) 回答

他人の写真を勝手に回すことはマナー違反であり、いじめの加害者に相当する行為でもある。このことを認識してもらう必要がある。すでに相手も認めているようなので、回した本人からグループに向けてお詫びと反省、写真の削除をお願いする連絡をしてもらうことができれば一番良いだろう。今後、万が一、写真がネットに掲載されるようなことがあったら、法律にてらして削除依頼で対処すると良い。

(ウ) 考察

グループに一斉送信した写真は受信側のそれぞれの手元に保存されるので、写真は外部から無断で閲覧や削除をすることができない。このため写真を受信した一人一人に削除を要請することになる。しかし、このような閉じた世界においても、いじめ、嫌がらせは不法な行為であり、他人の写真を無断で回すことは肖像権を侵害する行為になる。罪になりかねない行為でもあることをしっかり認識して行動してほしい。

学校における指導の留意点

いじめ防止対策推進法では、インターネットを通じて行われる行為もいじめであると定義している。学校は、事例のような行為をやめさせ、再発しないよう対処せねばならない。

また、担任やスクールカウンセラー、学校いじめ対策委員等、いじめを受けたり、見聞きしたりしたとき、大人に相談するよう指導する。

(2) チェーンメールの相談事例



(ア) 相談内容

メッセージアプリにチェーンメールが届いた。もし回さなければ自分の誕生日に悪いことが起きるといった内容だったが、回さなくても大丈夫だろうか。

(イ) 回答

受け取った人にメールをさらに転送させる内容のメールをチェーンメールという。このようなチェーンメールは、どんな内容であっても転送しないことがマナーである。チェーンメールは迷惑メールなので、ほかの人に回すことで、自分自身も迷惑メールの加害者になってしまう。チェーンメールの内容は、人助けやワンクリック詐欺へのリンクが含まれている事例などが確認されている。どのような内容だったとしても、他の人に回すように呼び掛けるメールは、内容を見捨てて自分のところで止めることが正しい対処である。

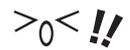
(ウ) 考察

チェーンメールは、最近はメッセージアプリや SNS など、新しいコミュニケーションツールを通じて転送されてくるものもあるようだ。しかし、手段は変わっても、誰かに転送を促す内容ならばチェーンメールである。不安にかられて迷惑なメッセージを自ら広めてしまわないように、内容を問わず回さないことがチェーンメールへの正しい対処である。

学校における指導の留意点

チェーンメールを止めるべきことは分かっているにもかかわらず、夜間に自宅でチェーンメールを受け取ると、不安になり、転送してしまうことがある。受け取ってしまった場合、無視するのが一番であるが、不安なら、親など大人に相談するよう指導する。

(3) 著作権法違反の相談事例



(ア) 相談内容

動画サイトに音楽をアップロードした。著作権侵害に当たると思われる。当時は法律のことを何も知らず、多数アップロードしてしまった。それが違反につながるのだとわかり削除した。しかし、もしかすると、まだ削除できていない動画があるかもしれない。見つかって問題にならないか心配。

(イ) 回答

他人の著作物を無断でインターネットにアップロードする行為は著作権侵害となる。著作権侵害は、著作権の所有者が訴えることで、処罰の対象にもなり得る行為である。今後は法律について理解し、同じ失敗を重ねないように反省することと、アップロードしたものを見つけたら削除をすることがもっとも重要である。自身でできる対応をしっかりと行うことが大事だろう。

(ウ) 考察

音楽、映画、テレビ番組、着メロなど、他人の著作物を無断でインターネット上にアップロードしてはいけない。著作物が無断でアップロードされたことで、著作権の所有者が本来得べき利益が奪われてしまう可能性がある。また、違法にアップロードされたコンテンツだと知っていてダウンロードする行為も違法となるため注意が必要である。インターネットの世界にも、現実の世界と同様に守らなければいけないルールや法律がある。大きな代償を払う結果にならないように、青少年であっても基本のルールや最低限の法律知識を身に付けてインターネットを利用することが望まれる。

学校における指導の留意点

著作権を尊重する意識をはぐくむとともに、アップロード等は、アクセスログから本人を特定され、将来思わぬ不利益を被ることもあることから、軽率な行為を行わないよう指導する。

(4) 依存の相談事例



(ア) 相談内容

ネット依存気味である。勉強をしなくてはいけないと思いつつ、お風呂にもスマートフォンを持って行ってしまふ。インターネットは、SNS の利用だけであり、アカウントを複数持っている。趣味、仲の良い友達との非公開のコミュニケーション、愚痴などで使い分けている。フォロー、フォロワーがたくさんいる。インターネットのことについて、親からは特別何も言われていないが、親の機嫌が悪い時、使いすぎだと言われる程度。成績も悪くない。

(イ) 回答

SNS のフォローが多ければ多いほど、タイムラインに流れてくる情報量は多くなり、自分に必要ではないものも混じっているだろう。フォローの人数を減らしたり、必要のないことは投稿しないなどで整理すると良い。インターネットは公共の場所であり、書き込んだ瞬間に自分の手を離れる。愚痴は電話や直接会ったときに話せば良く、いずれは無くしてほしい。自分に必要なもの、何を優先すべきかを良く考えて、行動に移してほしい。

(ウ) 考察

スマートフォンやインターネットの利用時間が長くなると、睡眠時間や勉強時間の減少などにつながり、体調不良や学力低下につながりやすい。自分がネット依存・スマホ依存かも知れないと感じたら、自分の1日のスケジュールをすべて記録してみると良い。インターネットやスマートフォンを利用している時間がどれぐらいかを正確に捉えることが改善への第一歩である。

学校における指導の留意点

夜遅くまで使用することなどについて、クラス内で話し合いを行わせる。その上で、適切な使い方を提案させ、クラスや学校のルールの方針につなげるよう指導する。



(5) 交際の相談事例①

(ア) 相談内容

ネットで仲良くなった人と通話アプリの ID を交換し、顔写真を送ってしまった。相手は写真とトーク履歴をネットに載せると脅してくる。相手をブロックすると写真をばらまくとも言ってくる。どうすれば良いか。

(イ) 回答

相手に渡した情報を取り戻すことは大変難しい。相手に送った顔写真も、どのように使われるかは相手次第であり、利用を止めることも難しい。自分の手を離れてしまった情報は自分でコントロールできるものではない。相手に伝えた情報、相手について知っている情報を整理したうえで、今後の対処を考えることになる。相手から送られてきたメッセージ内容は、念のため画面保存等で証拠として残しておくが良い。インターネットで知り合った人に自分の情報を伝えてしまうと、思わぬ心配事に発展する可能性がある。今後は安易に個人情報を伝えたり、写真を要求されても送ることのないよう注意してほしい。今回の心配事は、一人で抱えずに保護者にお話しして、家族の協力を得ながら対応することを強く勧める。

(ウ) 考察

インターネットを介して知り合った相手が自分の話しに耳を傾けてくれる。もしも、その居心地の良さを感じているとしたら、それは危険な入口かもしれない。相手の性別を本当に見抜けるか、相手の話の内容にウソがないと断言できるか、常に自問自答してほしい。今回の事例のように相手が脅してきたとしても、絶対に一人で解決しようとせずに保護者に相談する、保護者に話しにくかったら誰でも良いから周囲の人に相談してほしい。独りよがりやで相手を「良い人」と感じれば、それとは反対の意見に気付きにくくなるだろう。不安がよぎったら、まず誰かに相談してほしい。

学校における指導の留意点

「友人がネット上の相手から写真を要求されたとき、どうアドバイスするか。」をテーマに話し合いを行わせ、提案させることを通じて、情報モラルの育成を図る。

(6) 交際の相談事例②



(ア) 相談内容

アバターアプリで知り合った男性と連絡先を交換し、裸の画像を送ってと言われ、送ってしまった。顔写真も送ってと言われ、自分ではない女の人の写真をインターネット上から入手して送った。とても後悔している。

(イ) 回答

18歳未満の児童の裸の写真は児童ポルノである。どんな状況でも、絶対に裸の写真を渡すべきではない。裸の画像ではなくても、一度相手に渡した画像や知らせた情報などは取り戻すことはできない。相手の行動をコントロールすることも困難である。他人の顔写真を本人の許可なく勝手に使用することも、ルール・マナー違反にあたるだろう。ネットで知り合った人に、個人情報を伝えてしまうと、さまざまなトラブルに発展する可能性がある。あらためてインターネットを利用するための正しいモラルやルールについて考えられると良い。

(ウ) 考察

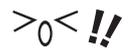
今回のような相談が後を絶たない。どんな画像であっても、自分の手元から離れたら、それを削除したり回収したりすることは極めて難しい。顔が見えない相手が何と言おうと、自分から危険に近づいて行かないようにしなければいけない。また18歳未満の児童本人が自分の裸の写真を撮影すれば、それはれっきとした児童ポルノ画像であることから、児童ポルノ規制の対象になることにも気付いてほしい。

学校における指導の留意点

残念ながらインターネット上には、このように事件に巻き込もうとする大人が実際に存在することを確認させる。被害の拡大を防ぐため、家族などまわりの大人に相談することの重要性を指導する。

また、自身の裸であっても、撮影・保存・送信することなどは、犯罪になるおそれもあることを理解させる。

(7) 削除方法に関する相談事例



(ア) 相談内容

子供の名前を検索すると、子供が親に内緒で作成した SNS アカウントを発見した。プロフィールには実名を公開している。子供に確認し、削除することにした。しかし、メールアドレスとパスワードを適当に登録してしまったため再ログインができず、非公開にしたり、プロフィールを編集したりすることができない。運営会社に問い合わせたが、メールアドレスが分からないとパスワードの再発行ができず、名前だけでは個人情報に該当しないので運営側で削除することはできないとの回答だった。

(イ) 回答

アカウントを削除するには規約違反でない限り、本人がログインをして削除するしかない。運営会社からの回答のとおりだろう。本人が何とかしてメールアドレスを思い出すことが必要である。ただし、サイトによっては長い間利用されていないアカウントは凍結されることもあるようだ。しかし、運営側が削除しないということは、規約違反に該当していないということであり、公開されていても問題のない内容だと考えて良いだろう。

(ウ) 考察

インターネットに投稿した内容を削除できるのは、投稿した本人、または投稿した場所を管理している人に限られている。この大原則を忘れてはならない。

自分自身で削除ができなかったら、この事例のように、運営側の判断を受け入れるしかないこともあるだろう。気軽に始めた投稿であっても、それに伴う責任は大きい。アカウントを作った時のメールアドレス、パスワードの管理は自己責任であり、その管理については一切の責任を自分が持つ重みを忘れないでほしい。

学校における指導の留意点

スマートフォンの普及に伴い、パスワードの管理の重要性が高まっている。生活の中でパスワードが使われる場面を挙げさせたり、パスワードの安全性の高さについて考えさせたりする指導を行う。さらに、家庭において、親子で話し合うよう促すなど、保護者に対する啓発も重要である。

第I章 インターネットのトラブルとその対応

3 東京都消費生活総合センターに寄せられた相談とその対応

東京都消費生活総合センターでは、消費生活に関わる相談を受け付けています。

最近、「契約した覚えのない料金を請求するメールが送られてきた」「インターネットで動画を見ようとしたら入金手続を強要する画面が表示された」といった、架空請求（いわゆる「ワンクリック詐欺」等を含む）に関する相談が急増しています。そこで、ここでは、架空請求に関する事例及び対処方法について掲載しました。

くらしにかかわる相談窓口・情報提供サイトの御案内

- 不審な請求、勧誘や契約上のトラブルなどで困ったときの相談を受け付けています。

<消費者ホットライン> **188**（局番なし）

※ お住まいの区市町村の消費生活相談窓口をご案内します。

<東京都消費生活総合センター>

消費生活相談 ☎ **03-3235-1155**

受付時間：月曜日～土曜日

午前9時～午後5時（祝日・年末年始を除く）

- 悪質商法の手口、身近な商品の事故情報などくらしに役立つ情報をお届けしています。

東京くらしWEB <http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/>



Twitter: 東京都消費生活行政

アカウント @tocho_shouhi



Facebook: 東京都消費生活

「消費生活相談 FAQ」

「キーワード」「事例一覧」「項目」から、よくある相談事例を探すことができます。トラブルを解決する手がかりとして、活用してください。

<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/sodan/faq/>

「架空請求対策 (STOP! 架空請求!)」

架空請求に関する最新の手口と対処方法を、事例を用いてわかりやすく解説しています。

<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/torihiki/taisaku/>

架空請求に関する相談事例

■スマートフォンでアクセスしたアダルトサイトで登録表示。請求が心配。

【相談】

スマートフォンで興味本位にアダルトサイトにアクセスした。サイトで「18歳以上」を押しただけで、3日以内に9万9800円を払うようにと書いてある画面が現れた。驚いて直ぐに請求画面にあった「退会する」のバナーを押したところ、メールの画面が立ち上がったので、空メールを送信した。サイトから、「有効な契約であり、3日以内に払わない場合は料金が15万円になり、弁護士に個人情報を調べてもらい告訴する場合もある」と返信メールが届いた。サイト業者からの今後の督促が心配。

消費者の意に反して会員登録させ、高額な利用料金を請求するワンクリック請求と呼ばれる詐欺的な手口です。契約は成立していないので、支払義務はありません。今後、サイト事業者からの督促メールや迷惑メールが多くなる可能性がありますので、携帯電話の受信拒否機能等を利用し、不要なメールが届かないようにしましょう。

【アドバイス】

ワンクリック請求はクリックしただけで、契約が成立したので代金を払えと脅す手口です。クリックすることによりアダルトサイトへ登録になることが消費者にはっきりわかるように書かれていたわけではないので、契約は成立していません。また、ネット通販で必要とされている契約内容を確認する画面の提示もなく、契約の無効を主張することもできます。

サイト宛にメールを送信していることから、サイト運営会社にメールアドレスを通知したことになります。しかし、サイト運営会社はメールアドレスから他の個人情報を確定することはできず、携帯電話会社が個人情報を開示することも原則ありません。携帯電話の受信拒否機能を利用して様子を見ましょう。携帯電話の受信拒否機能の利用が出来ない場合は、メールアドレスの変更も一つの方法です。

スマートフォンは携帯電話の新機種というよりは、通話機能が付いた小さなパソコンと考えられます。スマートフォンの普及に伴い、スマートフォンをねらうコンピューターウイルスが増えています。消費者もアップデートを行ったりセキュリティソフトを導入するなどの対策が必要です。

出典：「東京暮らしWEB」（消費生活相談FAQ）

<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/sodan/faq/main/277.html>

学校における指導の留意点

事例について、東京都消費生活総合センターに相談する児童・生徒及びその保護者が増えている。発達段階を考慮しながら、どのような場合にワンクリック請求が行われやすいのかを考えさせる指導を行う。

第I章 インターネットのトラブルとその対応

4 警視庁に寄せられた相談とその対応

警視庁サイバー犯罪対策課がインターネット上で提供している情報から、写真の公開に係る不適切な事例とその対策を掲載しました。

● 警視庁 情報セキュリティ広場

URL

<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/haiteku/>

自分の氏名や顔写真を無断で使用された事例

■自分の氏名や顔写真を無断で使用された

【相談内容】

- 他人が自分の写真をアイコン等に加工して、SNSに書き込みをしている。
- 誰かが自分の名前を使って他人の悪口を書き込み、トラブルになっている。

【対応方法】

- 削除するためには、プロバイダやサイト管理者に依頼する必要があります。
- 法務省人権擁護局に相談することも検討してください。

法務省 インターネット人権相談受付窓口

<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken113.html>

【重要】

あなたの性的な画像・動画があなたの同意なしに掲載されたり、または、掲載するといった脅迫されている場合など（リベンジポルノ事案等）は、すぐに最寄りの警察署に相談してください。

【説明】

写真については、個人を特定することが可能な場合には、肖像権の侵害に当たるおそれがあります。また、自分で撮影した写真や動画（いわゆる自撮り）を勝手に他人が公開することは、著作権侵害に当たる可能性があります。プロバイダやウェブサイトの管理者に連絡し、削除対応を依頼しましょう。

名前については、ウェブサイトの管理者側から見ると、書き込みに使用された名前と、実際に書き込みを行った人の名前が同一であるかどうかは、書き込みの内容だけでは判断できません。また、同姓同名の人物が書き込みを行っている可能性や、その名前をハンドルネーム（ペンネーム）として書き込みを行っている可能性もあります。このため、削除依頼に応じてもらえないこともあります。

名前を使っている人に対して使用をやめるように連絡したり、掲示板などに「この書き込みは自分の偽物である」のような書き込みをすることで、かえって炎上する可能性があります。放置して事態の鎮静化を図ることも検討してください。

【参考】削除依頼について

削除依頼は、本人か本人の法定代理人からウェブサイトの管理者に対して行ってください。ウェブサイトの管理者が対応しない場合は、プロバイダ事業者に対応を求めてください。

出典：「情報セキュリティ広場 自分の氏名や顔を無断で使用された」
<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/haiteku/haiteku/haiteku39.htm>

☑ 学校における指導の留意点

写真を無断で公開することの問題を児童・生徒同士で話し合わせる。また、他者の裸の写真のやりとりについて、人権を侵害する行為であるとともに、児童ポルノの単純所持について、刑罰法令に触れる可能性があることを指導する。

第Ⅱ章 指導する上で知っておきたい基本的な知識

ここでは、児童・生徒に情報モラル教育やインターネット等の適正な利用を指導する教員が、知っておくべき基本的な事項を掲載しています。

1 インターネットが利用できる機器



(1) 携帯電話

通話、インターネット、メール、画像・動画撮影など、多くの機能を有している。自分または家族のスマートフォンを使用していると回答した児童・生徒は小学校3年生で約6割、中学校1年生で約8割となっている。

フィルタリングサービスを利用することで、出会い系やアダルトサイトなどの有害サイトへのアクセスを制限することができる。

※ 東京都教育委員会 平成26年度「インターネット・携帯電話利用に関する 実態調査」より



(2) スマートフォン

世帯普及率が6割(※1)を超えるなど利用者が増加している。ネット上に多数ある「アプリ」の中から、利用者が好きなものをダウンロードして追加することもできる。ウイルス、ワンクリック詐欺、個人情報の流出等、多くの問題も発生しており、セキュリティ対策が必須である。「Wi-Fi^{ワイファイ}(※2)」環境でもインターネット接続が可能であるが、**フィルタリングサービスが機能しないという課題がある。**

※1 内閣府 消費動向調査(平成27年3月調査)

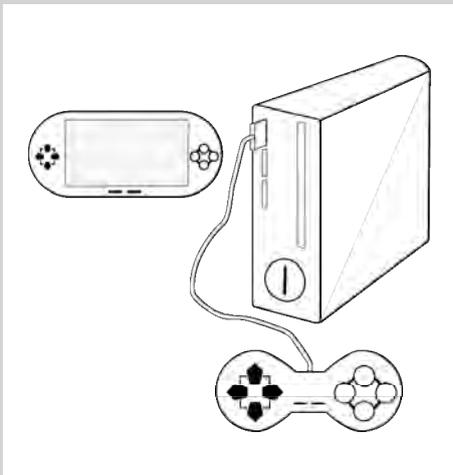
※2 Wi-Fiとは:無線LANの規格名のこと。ケーブル配線の必要がなく、無線でインターネット通信が可能である。



(3) パソコン

文章作成、動画・画像編集、ゲーム、DVD・音楽鑑賞、インターネット、メールなど様々な機能を兼ね備えている。掲示板、ブログ、SNSの書き込みなど、多くのサービスに利用されている。**ログインID・パスワードを盗まれる「フィッシング詐欺(※)」の被害が発生**している。また、パソコンを遠隔操作され、知らないうちに掲示板に殺人予告等の違法・犯罪行為を勝手に書き込まれ、なりすまし被害に遭うといった問題も起きている。

※ 偽サイトに誘導し、暗証番号などを詐取する詐欺のこと(59ページ参照)



(4) ゲーム機(据置型、携帯型)

ゲーム機能に加えて、DVD・CDの再生、インターネット接続、メールなど多くの機能が利用できる。インターネットに接続する方法は、直接ケーブルをつなぐ有線方式と無線方式による「Wi-Fi」接続の2通りがある。**ゲーム機からのインターネット接続には、閲覧制限がなく、出会い系・アダルトサイトなどの有害サイトを含む全てのサイトへアクセスが可能である。**ゲーム機各社がペアレンタルコントロールやフィルタリングサービスを用意しているが、**法的には義務付けられてはいない。**



(5) 音楽プレーヤー

音楽や動画の視聴、アプリなどの機能が利用できる。**機種によっては、「Wi-Fi」環境からインターネットへの接続も可能**であるが、閲覧制限がないため、有害サイトの閲覧も可能である。自宅に「Wi-Fi」環境がなくても、無料で「Wi-Fi」が利用可能な飲食店や地下街、コンビニやスーパーなど数多くの公衆アクセスポイント(※)が存在している。ペアレンタルコントロールの設定をすることで、有害サイトの閲覧等が制限できる。

※ 公衆アクセスポイント: 無料の場合でも運営会社への登録手続きが必要である。また、有料の場合もある。



(6) その他

スマートフォン、ゲーム機、音楽プレーヤーなどのほかに、タブレットパソコンやデジタルカメラ、テレビなど、インターネットに接続したり、メールやアプリが利用可能な機器が数多く存在する。主に**「Wi-Fi」環境からインターネットへ接続する。**インターネット接続を制限することができる機器もあるが、通常、**出荷時には、インターネット接続を制限する設定はされていない。**

☑ 学校における指導の留意点

ゲーム機や音楽プレーヤーについて、インターネットに接続する際の危険について認識が広まっていない。保護者会などの機会を捉え、啓発を行う。

2 最近増えているインターネット上のサービス

(1) 無料通話アプリ（LINE など）

- スマートフォンを購入後、利用者がインストールするアプリである。
- 個別または複数の友人とメッセージをやりとりできる。
- 「グループ外し」等のいじめにつながることもある

ア 1対1の会話について

相手がメッセージを読むと、「既読」と表示される。

相手の発言

自分の発言

文章だけでなく、写真なども投稿できる。

事前に下のようなQRコードを読み込み、友人として登録し、やりとりする。

※このQRコードは架空のものです。

学校における指導の留意点

ネットで知り合った人とやりとりしていないか注意するよう、保護者に啓発する。

イ グループ内の会話について

クラス内の友人、同じ部活動の部員などで、任意に構成

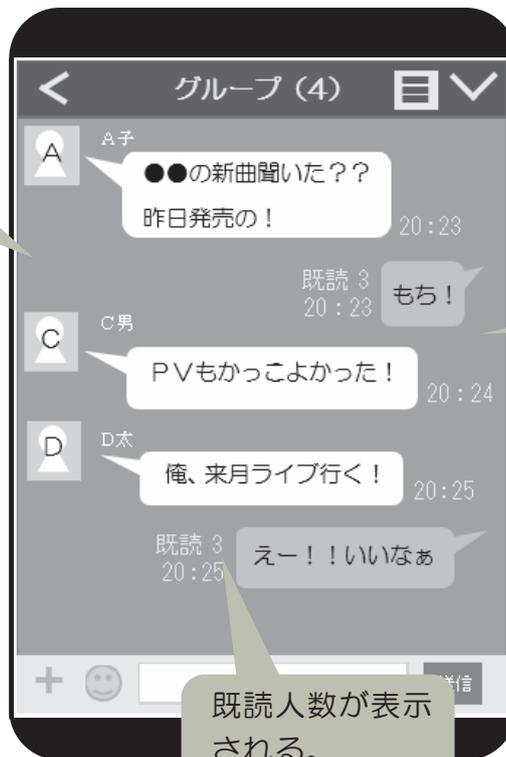
メンバー例



新たなグループの作成や、グループメンバーの追加・削除は自由に行える。

終了するきっかけがつかめず、夜遅くまで会話が続くことがある。

相手の発言



食事中や入浴中に操作し続けることもある。

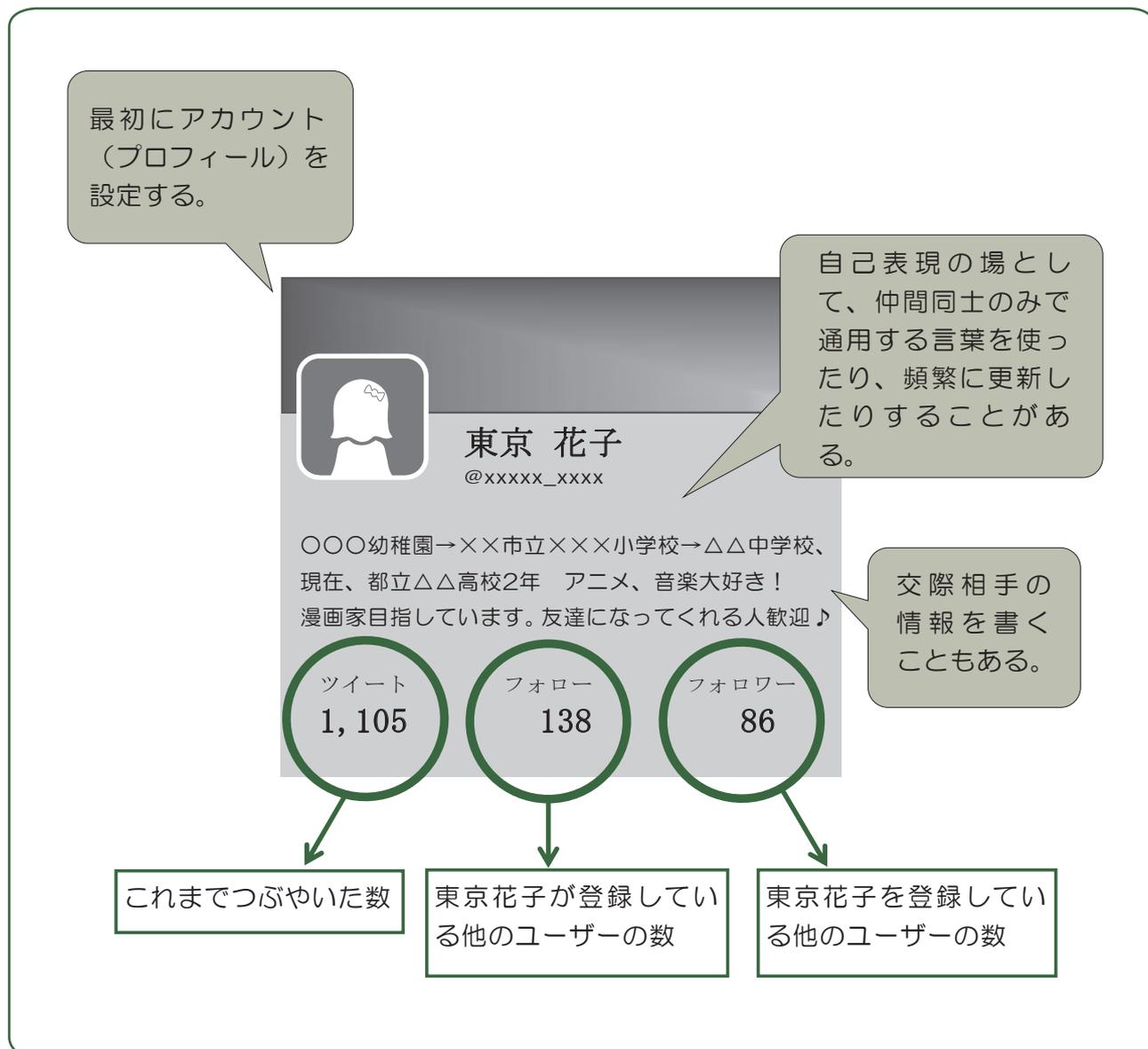
自分の発言

既読人数が表示される。

(2) Twitter (マイクロブログとも言う)

- パソコンやスマートフォンから文章や、画像・動画を添付して投稿できる。
- 感じたことや言いたいことを、「つぶやき」として不特定多数に公開できる。
- 都内では、Twitter を用いた不適切な書き込みが、多く検出されている。

ア プロフィール画面について

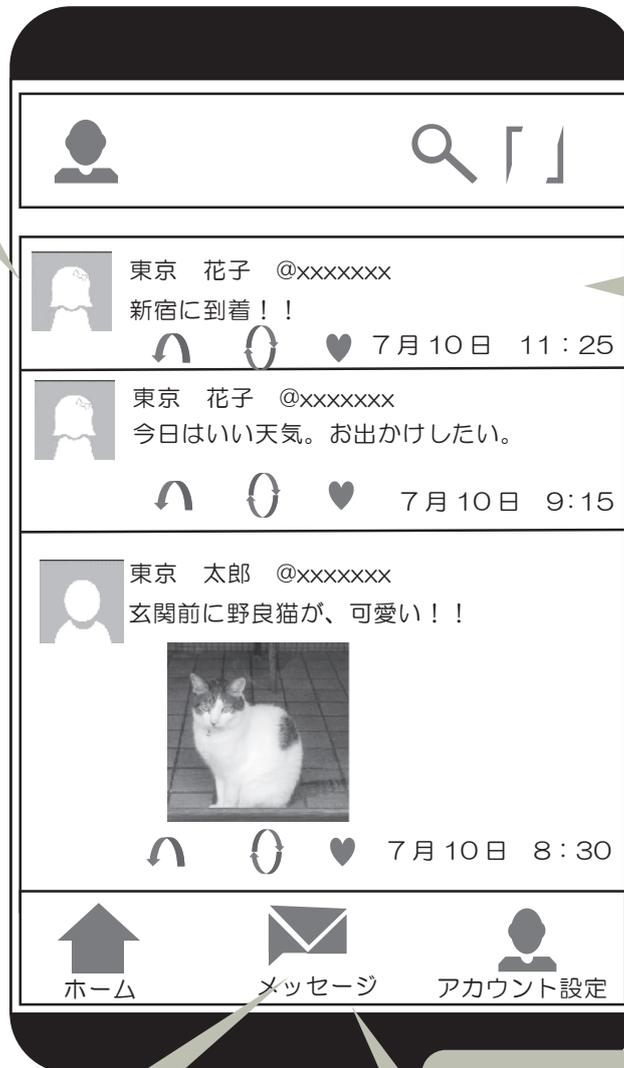


☑ 学校における指導の留意点

公開範囲を限定するため「つぶやき」を非公開にできる(45 ページ参照) ことを指導する。
安易に詳細な居場所をつぶやくと、第三者に声をかけられるなどトラブルにつながる可能性があることを指導する。

イ タイムラインについて

自分及びフォローしている人の書き込みが並んでいる。



「今、ここにいる。」「今、〇〇している。」など、今の状態を書き込むことが多い。

個別にメッセージを送ることができる。43ページ参照

自分がいる場所や、家族旅行等で自宅が不在であることを公開することで、思わぬトラブルに巻き込まれることがある。

学校における指導の留意点

書き込むべきでない情報があることを指導する。

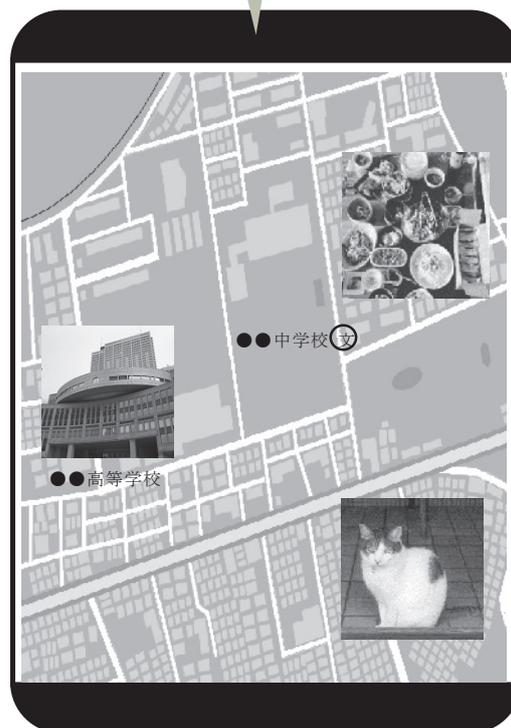
(3) Instagram (画像投稿サービス)

- 写真を加工し、投稿できる。
- ハッシュタグというキーワードを用いた検索機能が充実している。
- 設定を間違えると、自宅の場所を公開してしまう。



ジオタグ*により、写真が撮影された場所を、地図上で表示する機能がある。

写真を加工することや、強力な検索機能が特徴である。



学校における指導の留意点

ジオタグ*を不用意に付加する設定にしていないか、確認するよう指導する。

※ 用語説明 ジオタグ P 47

(4) 動画投稿アプリ (Vine など)

- 自分で撮影した動画を編集し、インターネットで公開できる。
- 閲覧した人が感想を残したり、再生回数が分かる。
- 多くの人に見てもらうため、不適切な行為に及ぶ場合がある。



撮影した動画を編集し、投稿する事ができる。

動画を編集し、より面白くすることができる。

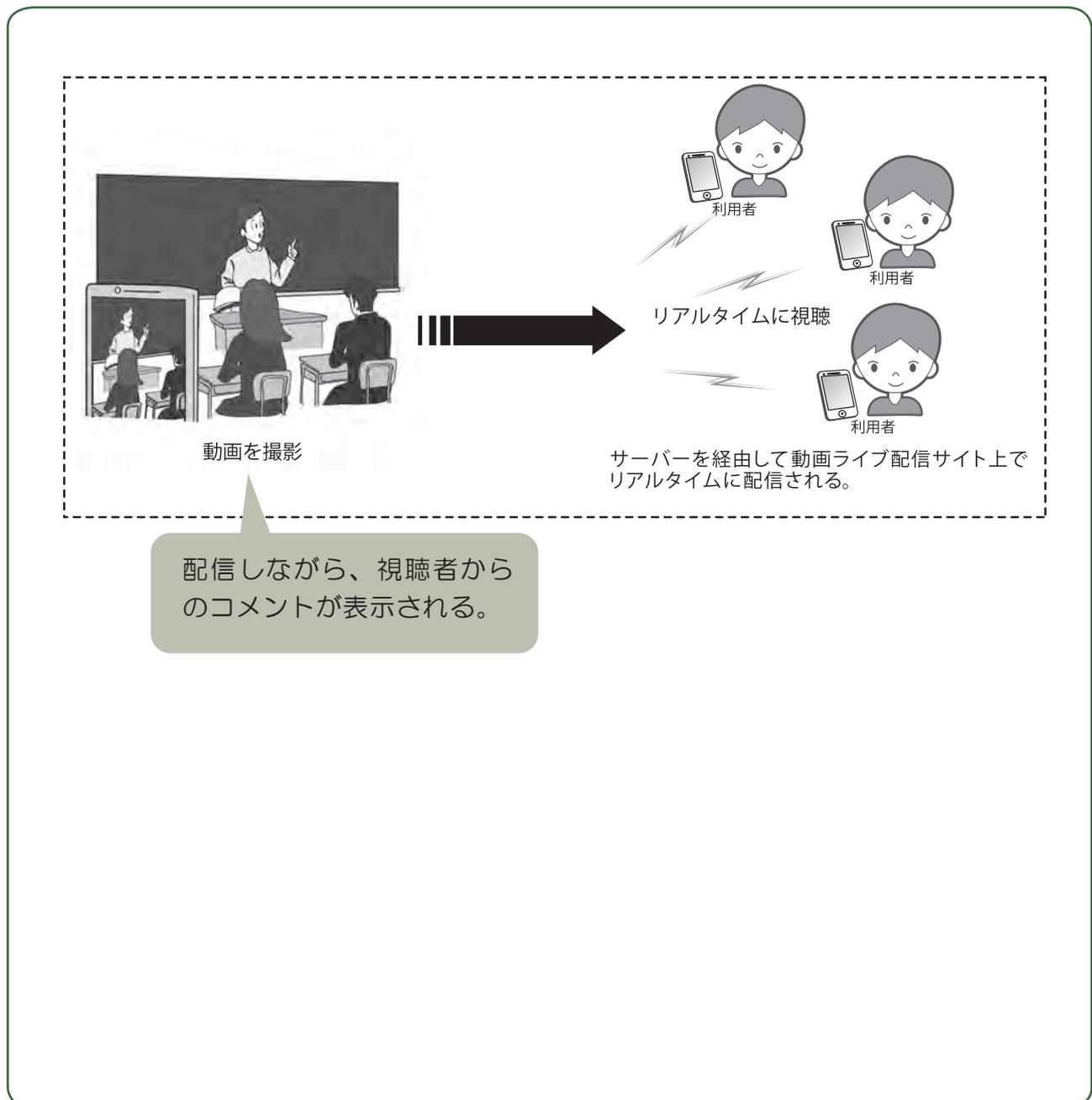


Facebook や Twitter に、同時に投稿することができる。



(5) 動画配信サービス（TwitCasting- ツイキャス - など）

- 動画のライブ配信（生放送）を無料でできる。
- Twitter などとの連携機能がある。
- 配信者が特定され、つきまといなどのトラブルにつながる可能性がある。



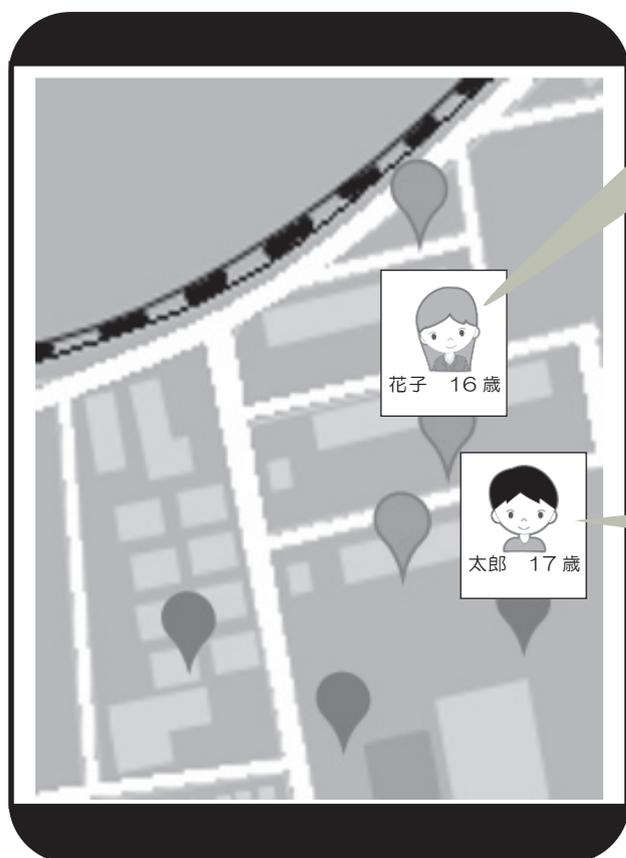
学校における指導の留意点

授業中、学校内、お風呂から配信が行われる場合がある。視聴者からの反応を面白がり、よりエスカレートした内容になりがちである。

(6) その他のコミュニケーションアプリ

- 出会い系サイトと実質的に変わらないものがある。
- 個別の連絡先を交換することで直接会うことができるため、危険がある。

(1) GPS機能を用いて、近くにいる人を検索するアプリ



インターネット上で会話などの相手を求めている人が、地図上に表示される。

表示されている年齢や写真が正しいとは限らない。

学校における指導の留意点

児童・生徒が利用することは大変危険であることを理解させる。

(2) 自らの動画を配信することで、複数の視聴者と会話するアプリ



リアルタイムで配信されるため、映った人や建物、音声などがそのまま配信される。

動画を視聴している人とコメントを通して、コミュニケーションが取れる。

個人情報を話してしまうと、つきまといなどに遭う危険性がある。

(3) ランダムに選ばれた人と個別にチャットができるアプリ



テレビ会議のように会話できる。

相手はランダムに決まる。

3 保護者への啓発について

- (1) スマートフォンや様々なアプリの多機能化に伴い、保護者に求められることが複雑化している。

保護者の悩みや不安の例

- 不適切な画像を見ること
- 課金サイトへの接続
- 犯罪に巻き込まれること
- 心身・情緒の発達における悪影響
- ネット依存による生活の乱れ
- いじめられること・いじめること
- 子供の方がスマートフォン等のことについて詳しく、コントロールできないこと

「未就学児の ICT 利活用能力に係る 保護者の意識に関する調査報告書【概要版】」（総務省）の設問項目を参考に作成
(http://www.soumu.go.jp/main_content/000368846.pdf)

家庭における対処方法

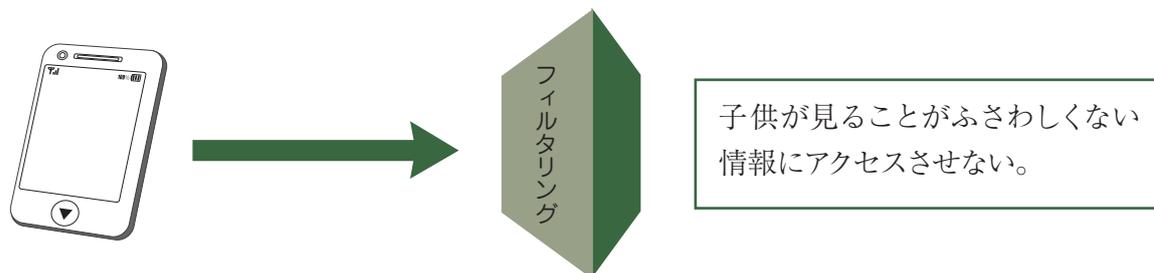
対処方法	対処することが期待できること
○ フィルタリング・ペアレンタルコントロール（保護者機能）を設定する。 ※ 技術的に完全に対処できない状況がある。	・ 不適切な画像、課金サイトへのアクセス ・ 見知らぬ人とのメッセージのやりとり ・ 犯罪に巻き込まれること ・ ネット依存（ペアレンタルコントロール等による使用時間の制限）
○ 家庭における使用のルールを作る。	・ 心身・情緒の発達における悪影響 ・ ネット依存
○ インターネット利用について話し合う。	・ いじめられること・いじめること ・ 犯罪に巻き込まれること

保護者会等において啓発する際のポイント

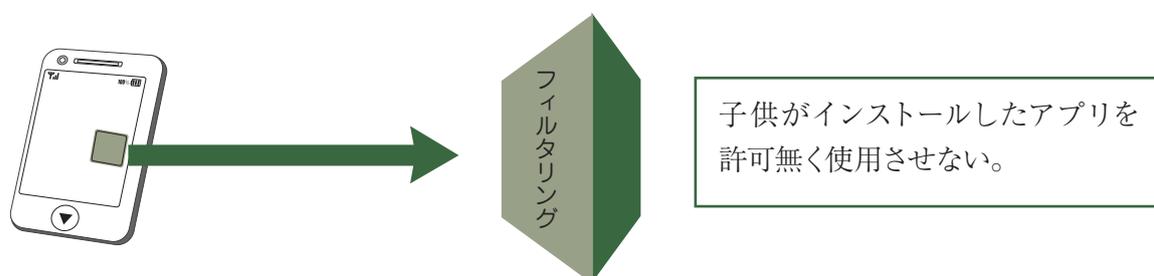
- 携帯電話・スマートフォンを購入する際、あらかじめ子供と話し合い、家庭のルールを決めましょう。家庭のルールは、年齢に応じて、毎年見直しましょう。
- メール・LINE等無料通話アプリによるメッセージのやりとりについては、段階を踏んでコミュニケーションの相手を少しずつ広げるようにしましょう。（家族→親戚→同じクラスの友人等）。
- フィルタリングやペアレンタルコントロールには、技術的に至らないと感じられることがあるかもしれませんが、子供が犯罪に巻き込まれないために必ず設定しましょう。購入時、店頭では解除しないようにしましょう。
- 購入後も、子供の利用状況に関心をもち、話し合ったり、確認したりしましょう。
 - ・ ネットで知り合った人とメッセージのやりとりをしていないか
 - ・ グループ外しなどのいじめをしたりされたりしていないか

(2) フィルタリングとは何か

○ ホームページへアクセスさせない機能



○ 使用を認めていないアプリを起動させない機能



- ※1 どのページにアクセスさせないのか、どのアプリを使用させないようにするかは、あらかじめ業界団体が決めている。一部のアプリを使用させるなど、カスタマイズが可能である。
- ※2 携帯電話やスマートフォンを購入する際、使用者が未成年である場合、店頭でフィルタリングを付ける（事業者の義務）。
- ※3 フィルタリングには、無償のものと有償のものがある。

(3) ペアレンタルコントロールとは何か

ペアレンタルコントロールとは、iPhone 等に搭載されている、保護者が管理するための機能である。

- 子供の年齢に応じてフィルタリングをかける機能
- 勝手にアプリをインストールさせない機能
- 使用時間を制限する機能

4 インターネット嗜癖（依存）

▶ オンラインゲームにはまることを、ネット依存と呼ぶことがある。関係する資料を提示する。なお、ここでは「ネット依存」は、正確には「インターネット嗜癖」と呼ぶ。

(1) インターネット嗜癖（依存）

インターネット嗜癖の定義はまだ明確ではありませんが、アメリカの臨床心理学者キンバリー・ヤングによれば、「インターネットに過度に没入してしまうあまり、コンピューターや携帯が使用できないと何らかの情緒的苛立ちを感じることに、また実生活における人間関係を煩わしく感じたり、通常の対人関係や日常生活の心身状態に弊害が生じているにも関わらず、インターネットに精神的に嗜癖してしまう状態」と定義されています。

(引用元) 久里浜医療センター ネット依存治療部門「インターネット嗜癖（依存）について」

http://www.kurihama-med.jp/tiar/tiar_01.html

(2) 「DQ」調査

インターネットの依存的な傾向を調べるには、「DQ」調査を一つの指標として利用することも有効である。前述のヤングが作った「診断質問票DQ (= Diagnostic Questionnaire)」は、ギャンブル依存の診断ガイドラインをベースにしたものである。8項目の質問のうち、五つに当てはまれば「ネット依存状態」にあると判定される。

【小学生向け（小学3年生以上）質問】

- パソコン、スマートフォン、携帯電話などで、インターネットを利用して、次のようなことはありますか。
当てはまるものに ✓ をしてください。
- インターネットを利用したことを思い出したり、次に利用することが楽しみになるなど、インターネットに夢中になっている。
- 満足するには、インターネットの利用時間をどんどん長くしていかなければならない。
- 利用時間を減らしたり、やめようとしたりしても、うまくいかないことがくりかえしある。
- インターネットの利用時間を減らそうとすると、落ち着かなくなったり、きげんが悪くなったり、落ち込んだり、いらいらしたりする。
- インターネットを利用する時間が、利用する前に決めていた時間より長くなる。
- インターネットの利用のせいで、大切な人との関係を悪くしたり、勉強の時間をなくしたりする。
- インターネットに夢中になりすぎたせいで困ったことがおきても、ごまかすためにうそをつく。
- 困っていることやいやなことからにげるためにインターネットを利用する。

「Diagnostic Questionnaire (Young, 1998)」の久里浜医療センターによる翻訳版を改編して使用

【中高生向け質問】

- パソコン、スマートフォン、携帯電話などで、インターネットを利用して、次のようなことを感じたことはありますか。
当てはまるものに をしてください。
- インターネットを利用した活動(※)を思い出したり、次の利用が楽しみになるなど、インターネットに夢中になっている。
- 満足するには、インターネットの利用時間をどんどん長くしていかなければならない。
- 利用時間を減らしたり、やめようとしたりしても、うまくいかないことが繰り返しある。
- インターネットの利用時間を減らそうとすると、落ち着かなくなったり、不機嫌になったり、落ち込んだり、いらいらしたりする。
- インターネットを利用した活動の時間が、利用する前に予定していた時間より長くなる。
- インターネットの利用のせいで、大切な人との関係を危うくしたり、勉強の機会を失ったりする。
- インターネットに夢中になり過ぎたせいで困ったことが起きても、ごまかすためにうそをつく。
- 困っていることや不快なことから逃れるためにインターネットを使う。

※ インターネットを利用した活動：

インターネットに接続して、SNSやゲーム、ショッピングや音楽などを楽しむ活動

「Diagnostic Questionnaire (Young, 1998)」の久里浜医療センターによる翻訳版を改編して使用

※ 五段階で回答を設定し、該当する数値が高いほど「ネット依存状態」とであると判断することもできる。

- 0 当てはまらない。
- 1 めったにない。
- 2 たまにある。
- 3 時々ある。
- 4 よくある。(しばしばある。)
- 5 いつもある。

第Ⅲ章 トラブルを回避するために

主に、アプリを使う上でトラブルを回避するため、留意すべき事項を掲載しています。

【活用の仕方】

- インターネット等の適正な利用に関する指導を行う際に、知っておいた方が良いと思われる情報を資料としてまとめました。

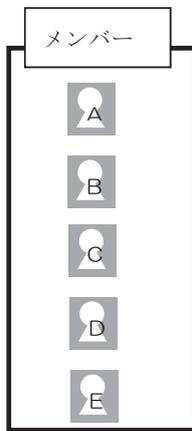
1 無料通話アプリ（LINE など）でのトラブルについて

(1) グループ機能を使ったいじめ

- グループの作成、友人の招待、退会等は容易にできる。
- グループから強制退会させることができる。
- 以下は、いじめの対象者以外のメンバーで、別グループを作成する例である。

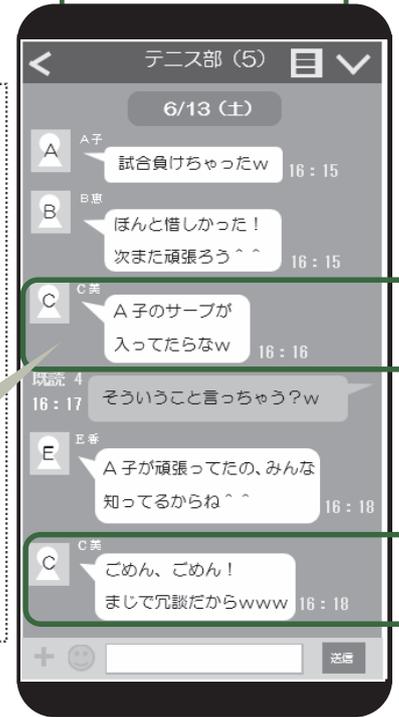


同じ学校、同じ部活に所属する
5人で構成されるグループ



A・B・C・Eの発言

大会当日のやりとり



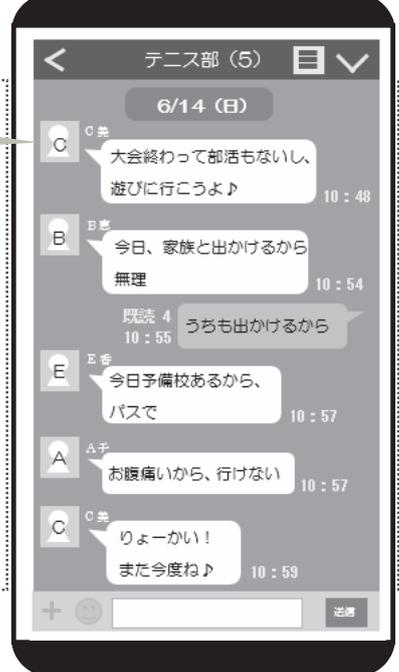
Dの発言

この発言が、友人
達を怒らせた。

次の日のやりとり

翌日、Cが遊びに
誘うが、誰も誘
いに乗らない。

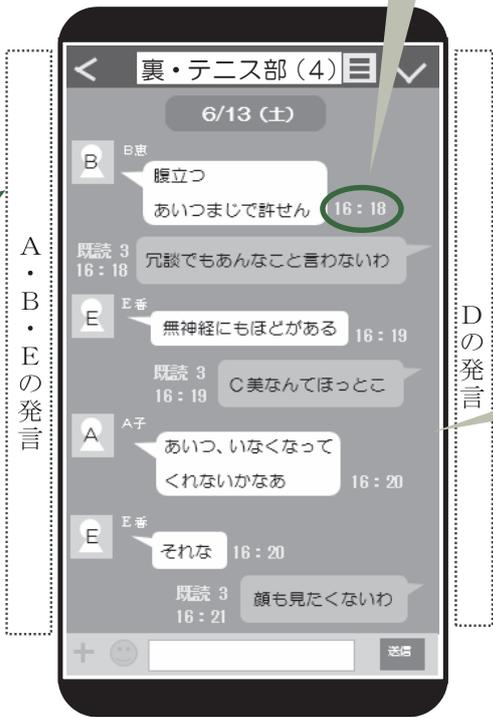
A・B・C・Eの発言



Dの発言

Cの発言が気に入らなかった
4人が作成したグループ

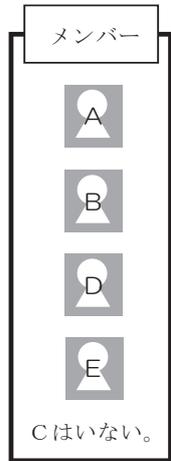
左ページの発言を受け、別のグループをす
ぐに作成した。



表グループと同時
に会話している。

用語説明

それな:「そうだよね」
など同意を表す言葉



Cは見えないところで中傷さ
れた。
Cはそのことに気付いていな
い。

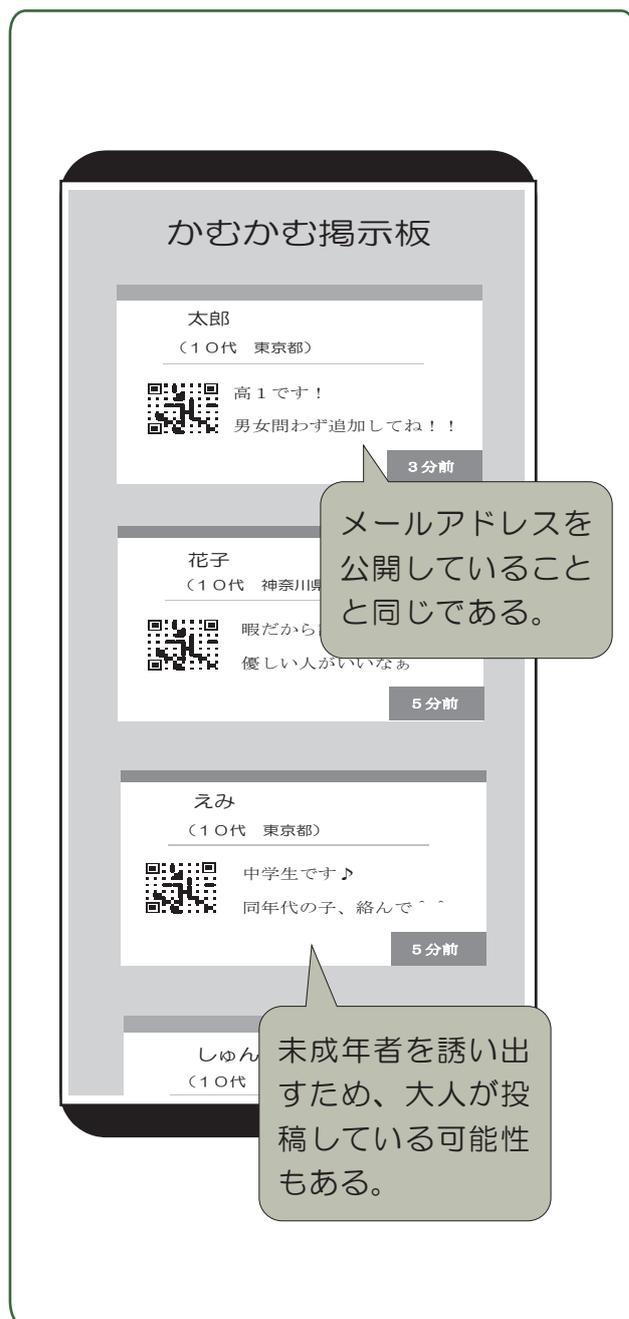
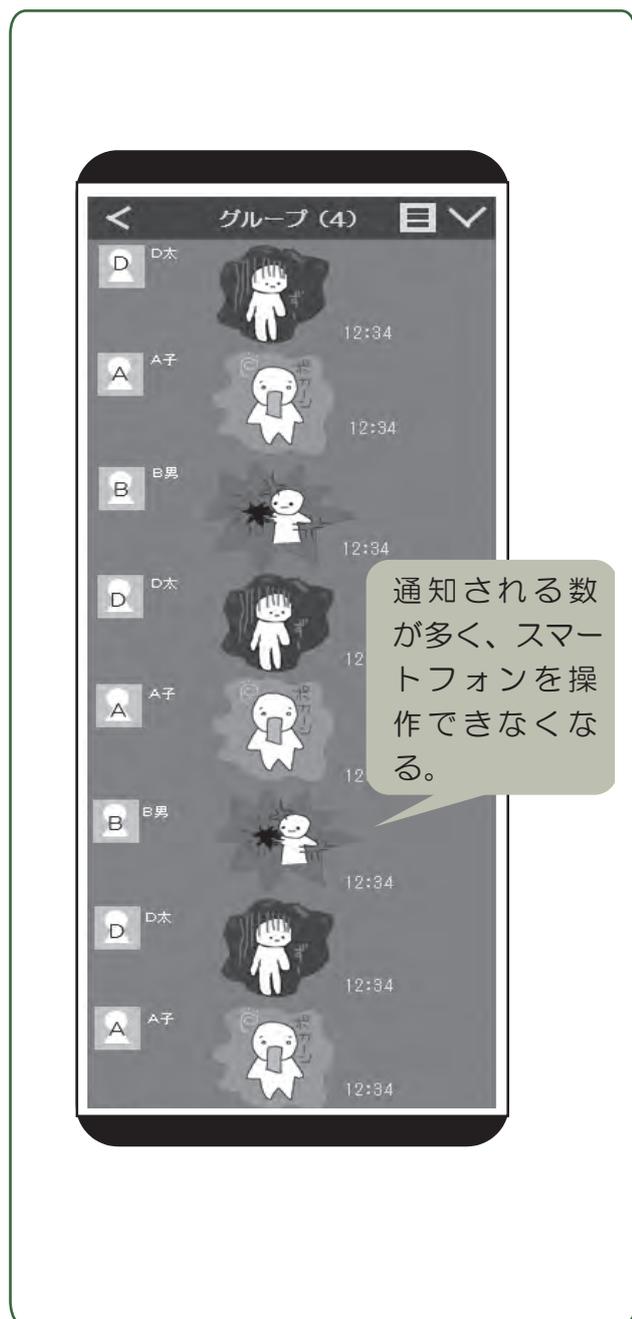
さらに、「Aがいないグループ」、「B
がいないグループ」など、特定の児童・
生徒を外したグループをあらかじめ作
っておき、聞かれると都合の悪い会話
をすぐを開始できるようにしているこ
とがある。

(2) スタンプによる嫌がらせ
(スタ爆)

- LINEのスタンプは、連投が容易であり、連投することを「スタ爆」と呼ぶ。
- 合意のない「スタ爆」は、嫌がらせの一種である。

(3) QRコード交換掲示板
(見知らぬ人と連絡先の交換)

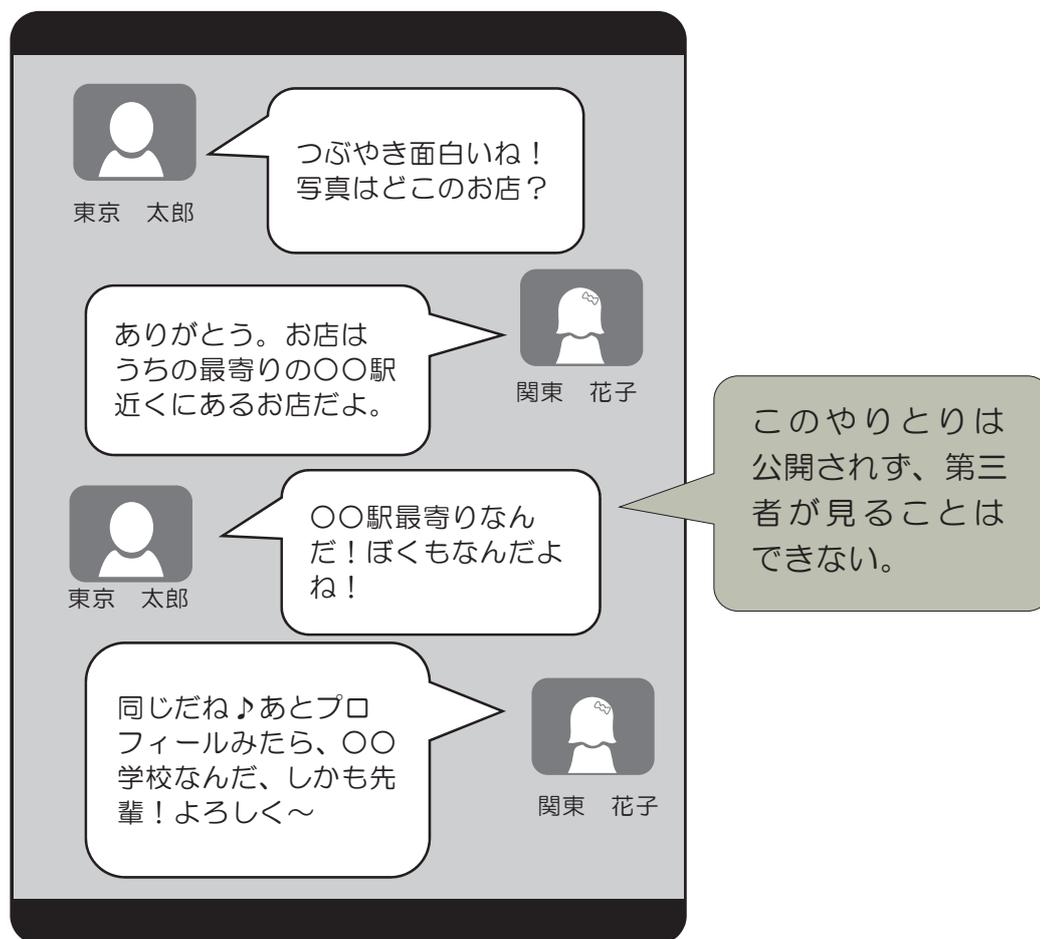
- QRコードを悪用し、見知らぬ人と連絡を取り合うことができちゃう。



2 Twitter (マイクロブログ)

(1) DM (ダイレクトメッセージ) について

- Twitter には、DM という、1 対 1 でメッセージをやりとりする機能がある。
- 直接会ったことのない人とのやりとりができるため、トラブルに巻き込まれることがある。



※ 初期設定ではフォロワーとのみメッセージをやりとりできるが、設定を変更することにより、見知らぬ人からのメッセージを受け取ることが可能となる。

(2) リプライ（返信）について

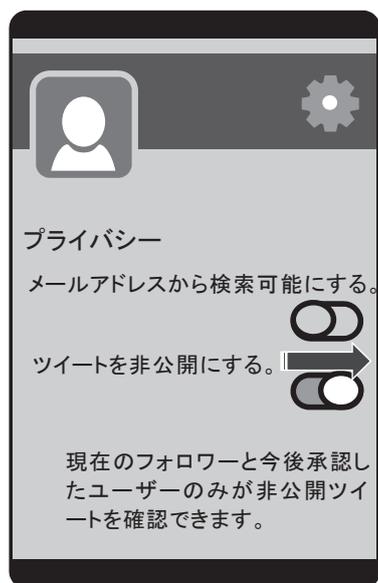
- 公開されたつぶやきに対して、リプライ（返信）ができる。
- 公開の場であることを忘れ、個人情報を公開してしまうことがある。



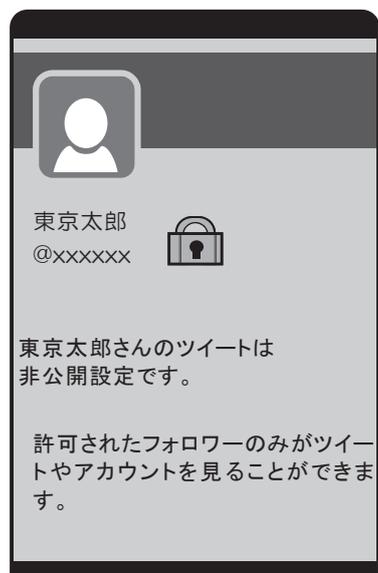
3 公開する範囲を制限することについて

(1) Twitter における非公開（鍵付アカウント）設定について

- つぶやきをフォロワーに限定して公開することができる。
- 「鍵付き」「鍵アカ」と呼ばれることがある。



公開と非公開を高い頻度で交互に切り替える者もいる。

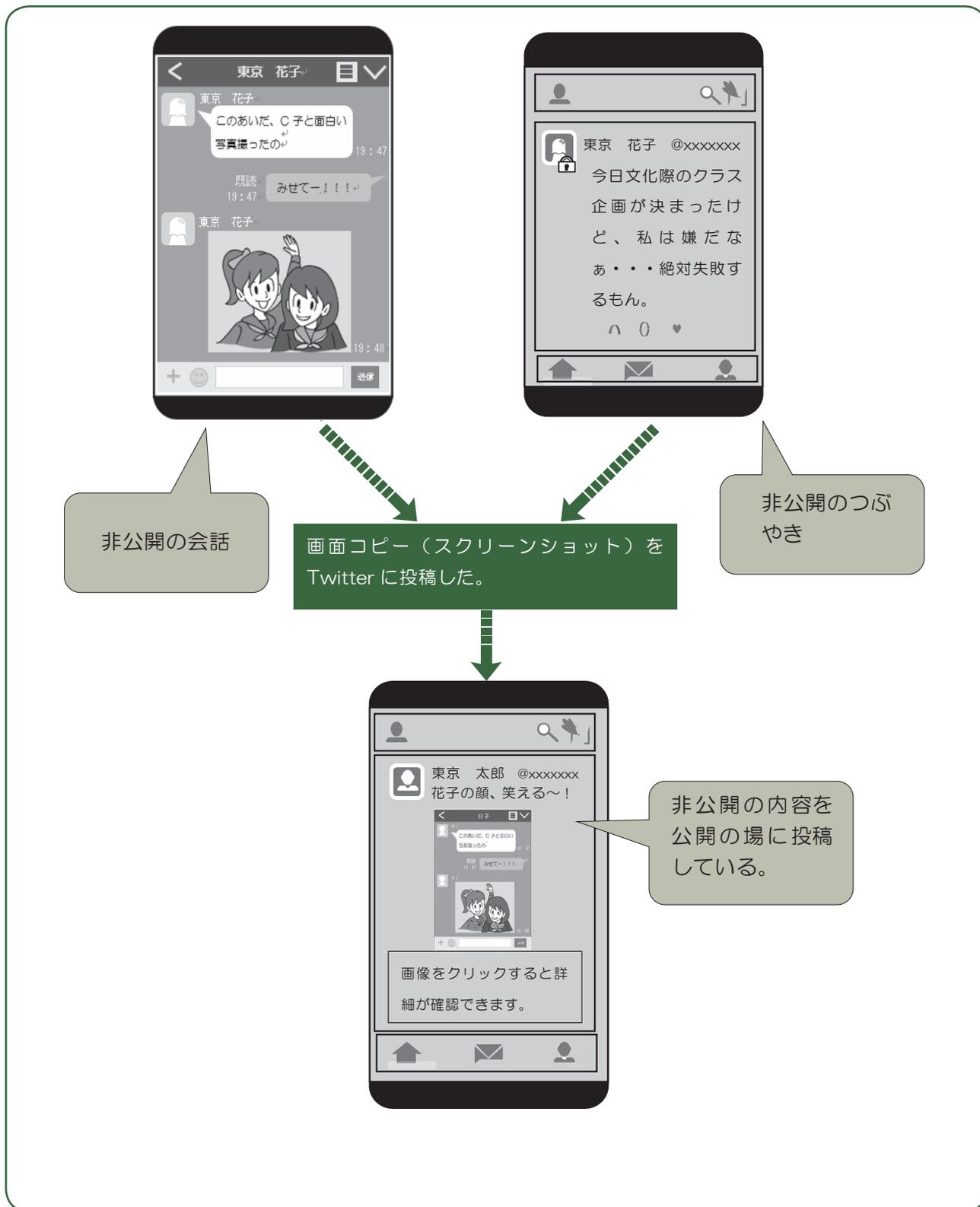


非公開にすると、フォロワー以外には、内容を見ることができなくなる。

※ Twitter に限らず、公開範囲を制限することは、理解させたい重要な概念である。

(2) 非公開の情報を公開してしまうことについて

- 非公開エリアと公開エリアについての扱いを混同し、トラブルになることがある。



4 ジオタグ（位置情報）について

- スマートフォンには、写真等に、GPS によるジオタグという位置情報を付加する機能がある。
- ジオタグの扱いを誤ると、自宅等を公開してしまうことになるため、大変危険である。
- スマートフォンを利用する者は、ジオタグの設定を理解する必要がある。

(1) 写真のジオタグについて



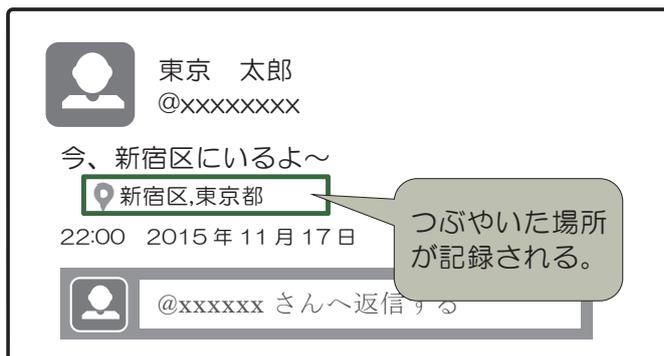
東京都庁.jpeg のプロパティ

全般	セキュリティ	詳細
GPS		
緯度	35;41;24.9799*****	
経度	139,41;29.666*****	
高度	236.8317*****	
ファイル		
名前	東京都庁.JPG	
種類	JPEG イメージ	

ジオタグはこのように記録される。

どこで撮影されたかを地図上に表示することができる（30 ページ参照）。

(2) Twitter のジオタグについて



つぶやいた場所
が記録される。

画像にジオタグを埋め込むのではなく、書き込む際に位置情報を付け、どこで書き込みをしたかを表示している。さらにクリックすると、書き込んだ位置を地図上で示す。

- アプリのバージョンアップにより、ジオタグの扱いが変わらないか、注意するようにする。
- ジオタグの設定を理解するよう指導する。

(3) アプリのバージョンアップの際に注意することについて

例 1

現在、○○○○というアプリは、写真をアップロードする際、写真に埋め込まれたジオタグを削除している。

可能性のあるバージョンアップ内容

ジオタグを削除しないようになった。

例 2

現在、●●●●というアプリは、自分から設定しない限り、位置情報を利用しない。

初期設定で位置情報を利用するようになった。

※ 位置情報やジオタグの埋め込みについて、各アプリの設定を定期的に確認する必要がある。

(4) スマートフォン本体の設定について



この場合、撮影する写真にジオタグが埋め込まれる。

※ 実際の設定は機種ごとに異なる。

5 フィルタリングの重要性

(1) フィルタリングを付けることについて

■保護者の義務

保護者には、18歳未満に使用させるために携帯電話やスマートフォンを購入する場合に、携帯電話会社にその旨を伝える義務がある。

保護者フィルタリングサービスを利用しない場合は、その正当な理由等を記載した書面を事業者に提出する。

■フィルタリングを付けると子供の携帯電話・スマートフォンはどうか

有害サイトへアクセスしようとしたり、認めていないアプリを起動しようとする、ブロックする画面が表示される。

なお、フィルタリングでブロックするサイトについては、フィルタリングを提供する事業者が決めており、常に更新されている。

どうしてもあるサイトを見たい、または、このアプリを使いたい、という場合、次の対応がある。

- ① 保護者が、個別にアクセスできるように設定をカスタマイズする。
- ② 保護者が、年齢設定を変更したり、強度を変更したり、カテゴリごとにまとめて許可したりすることで、基準を緩める。
- ③ 販売店等に行き、保護者が、フィルタリングの解除を申請する。

子供の安全のため、安易にフィルタリングを解除せず、カスタマイズにより対処する。



フィルタリングのアプリをブロックする画面（再現）

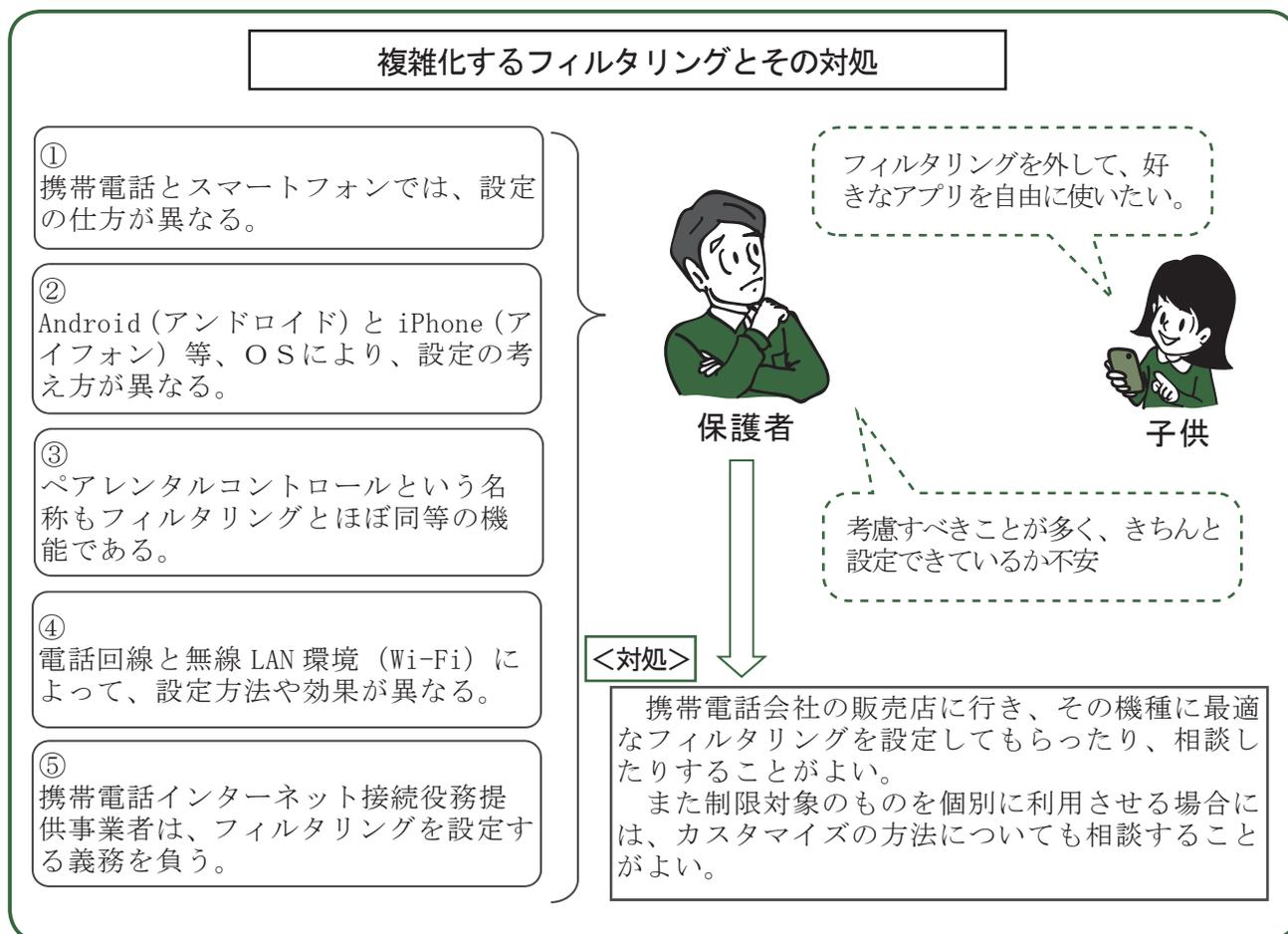
■複雑化するフィルタリングとその対処

テレビ等では、子供向けのアプリの広告が流れており、それらを使いたい子供が、親に対してフィルタリングの解除を要求することは十分に予想できる。

また、スマートフォンの機種やインターネットに接続する回線の種類により、フィルタリングの設定も複雑化している。

保護者をお願いしたいこと

- フィルタリングを確実に設定するためには、販売店等で確認する。



(2) フィルタリングを解除しない

インターネットサイトの閲覧履歴や書き込み内容など、子供のインターネット利用状況を把握することは、容易なことではない。子供が嫌がるからといって、フィルタリングを安易に解除しないことが大切である。

保護者をお願いしたいこと

- 「友達には使えるのに、自分だけフィルタリングでアプリが使えない。仲間外れになってしまう。」という子供の訴えには、フィルタリングを解除せずに対象のアプリだけを解除する。
- フィルタリングを解除するのではなく、子供の発達段階に応じたフィルタリングサービスを利用する。

(3) 子供と話し合う

フィルタリングは万能ではないが、トラブルに巻き込まれることをある程度防いでくれる。子供が自らフィルタリングの意義を捉えることが大切である。

保護者をお願いしたいこと

- インターネット上のトラブルについて子供と話し合い、フィルタリングや家庭のルールの意義を納得させた上で、インターネットの利用を認めることが重要です。

第Ⅳ章 参考資料

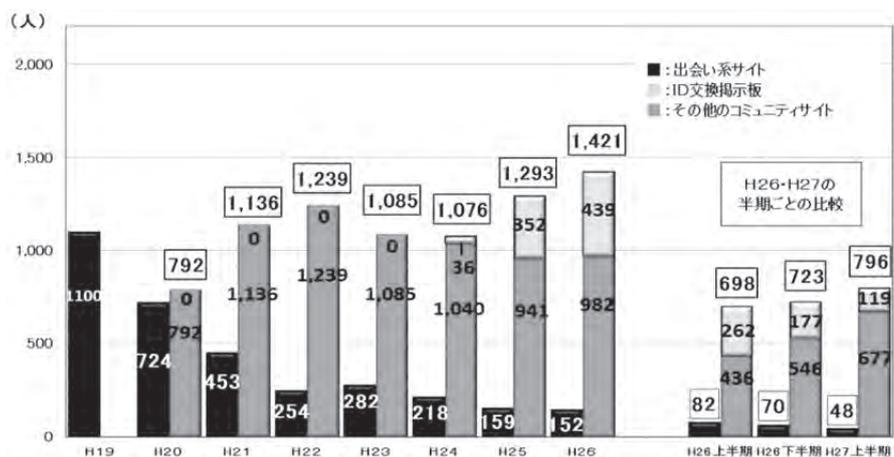
インターネットの適正な利用について、関連する資料を掲載しています。

1 児童・生徒のインターネット利用に関する各種調査等

ここでは、児童・生徒のインターネット利用に関する国の調査等から、主要な調査結果を抜粋して掲載する。

(1) 平成27年上半期の出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について（警察庁 平成27年10月15日発表）

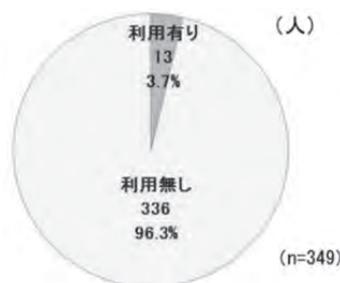
○ 出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の被害児童数の推移



※ コミュニティサイトの統計は平成20年から取り始めた。

コミュニティサイトに起因する事犯の被害児童は796人（前年同期比+98人、+14.0%）。平成25年上半期以降、コミュニティサイトのうち、いわゆるID交換掲示板の利用に起因する犯罪被害は減少したものの、全体としては増加傾向にある。

○ コミュニティサイトに起因する事犯の被害児童のフィルタリングの利用状況



コミュニティサイトに起因する事犯の被害児童で、フィルタリングの利用の有無が判明した被害児童のうち、フィルタリングを利用していなかった被害児童は336人（96.3%）。

出典：「平成27年上半期の出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について」（警察庁）
http://www.npa.go.jp/cyber/statics/h27/h27_1.pdf

学校における指導の留意点

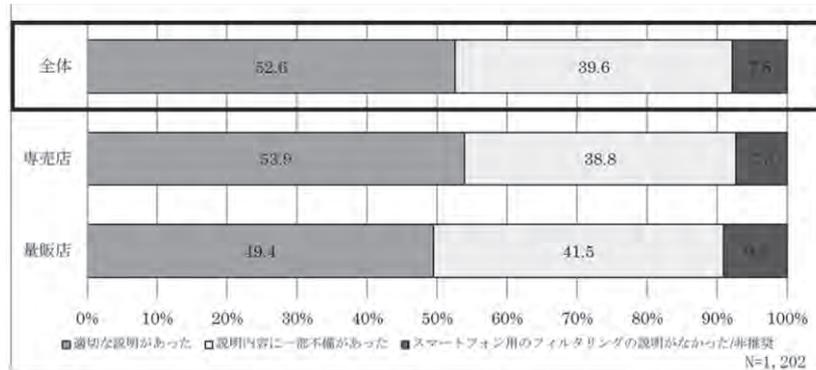
フィルタリングをかけることが、思わぬトラブルから身を守ることであることを児童・生徒に指導し、保護者に啓発する。

(2) 携帯電話販売店に対するフィルタリング推奨状況等実態調査

(警察庁 平成27年2月発表)

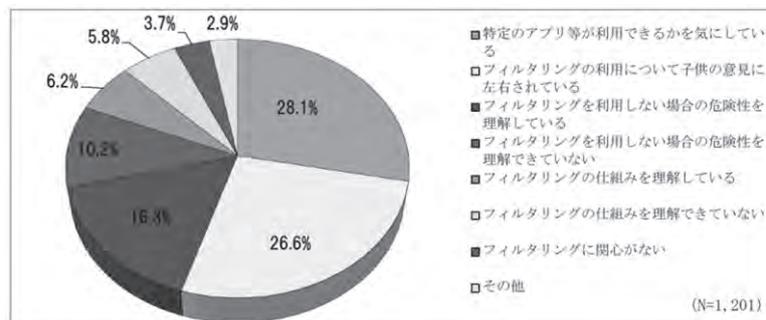
○ スマートフォン用のフィルタリングに関する説明

調査目的：スマートフォン用のフィルタリングが適切に推奨されているか、また、その機能について一定程度の説明ができていないか。



不適切と認められた店舗の多くは、従来型の携帯電話用のフィルタリングの説明のみであった。「説明内容に一部不備があった」店舗の多くは、スマートフォン用のフィルタリングの機能(無線LAN回線やアプリによるインターネット接続にも有効であること等)について説明できなかった。

○ 販売員へのアンケート調査の結果 フィルタリングを推奨した際の保護者の主な反応



「特定のアプリが利用できるかを気にしている」(28.1%)が最も多く、次いで「子供の意見に左右されている」(26.6%)となっており、子供の意向を重視する保護者が多いことがうかがえる。

《特に印象に残っている保護者の例》

- ・ 子供の方が詳しいため、子供任せになっている。
- ・ 無料通話アプリができないので、子供から外すように頼まれて来店する。
- ・ 危険性を感じておらず、うちの子は大丈夫と思っている。
- ・ フィルタリングの説明を聞いてもらえず、早くしろと急かされた。
- ・ 小学校入学前の子供だったが、保護者がフィルタリングは必要ないと怒ってしまった。

出典：「携帯電話販売店に対するフィルタリング推奨状況等実態調査」(警察庁)

<http://www.npa.go.jp/safetylife/syonen/filtering/270212filtering.pdf>

学校における指導の留意点

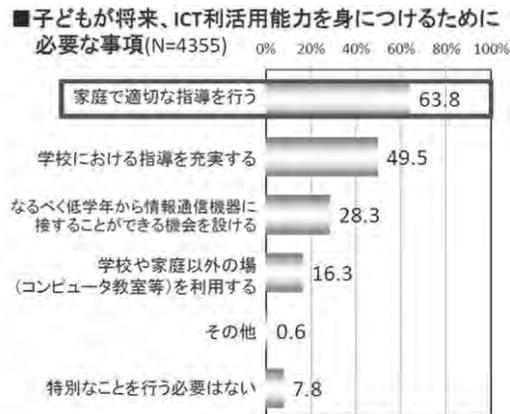
販売店においては、フィルタリングの説明に課題があることを理解し、これから子供の携帯電話・スマートフォンを購入する保護者に対し、啓発する。

保護者は、フィルタリングについて子供の意見に左右されることがあることを理解し、本資料を参考に、保護者に対し、フィルタリングを適切に設定することを啓発する。

(3) 子どもの ICT 利活用能力に係る保護者の意識に関する調査

(総務省情報通信政策研究所 平成 26 年 7 月発表)

○ 子どもが将来、ICT 利活用能力を身につけるために必要な事項



家庭での指導に対する認識

子どもの ICT 利活用能力獲得のために必要なこととして、家庭での適切な指導を挙げる保護者が6割以上(63.8%)と最も多く、学校における指導の充実(49.5%)を上回る。

○ 子どもへの ICT 利活用に係る指導状況

	N	指導状況					その他
		日常的に行っている	時々行っている	現在はほとんど行っていないが、かつて行ったことがある	全く行っていない	自分が行っていないが、配偶者は行っている、または現在はほとんど行っていないが、かつて行ったことがある	
		%	%	%	%	%	%
全体	4800	7.8	42.8	21.0	24.0	3.9	0.4
保護者性別	男性	7.8	47.1	21.5	22.2	1.4	0.1
	女性	2018	7.9	36.9	20.4	26.6	7.4

家庭での指導実施割合

家庭において日常的又は時々子どもに対する指導を行っているとする保護者の割合は約5割(50.6%)保護者の性別では、男性で54.9%、女性で44.8%が家庭において日常的又は時々子どもへの指導を実施

出典：「子どもの ICT 利活用能力に係る 保護者の意識に関する調査報告書【概要版】」(総務省)
<http://www.soumu.go.jp/iicp/chousakenkyu/data/research/survey/telecom/2014/2014children-ict.pdf>

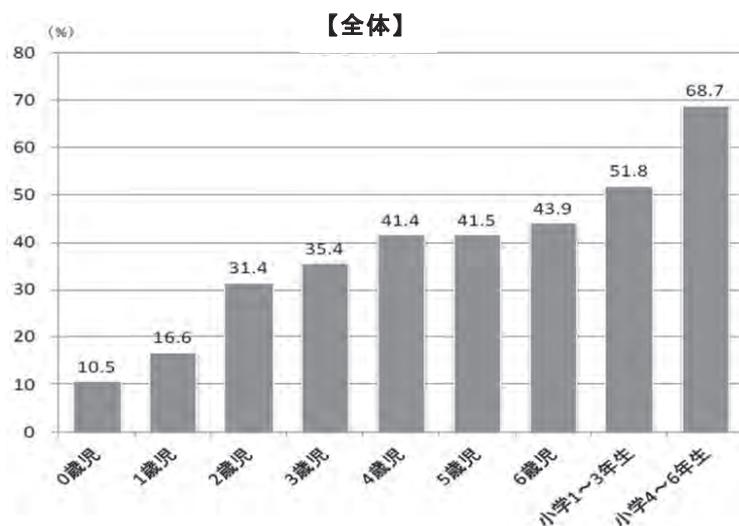
学校における指導の留意点

ICT 利活用について、家庭における指導の状況を把握する上で参考にする。

(4) 未就学児の ICT 利活用能力に係る保護者の意識に関する調査

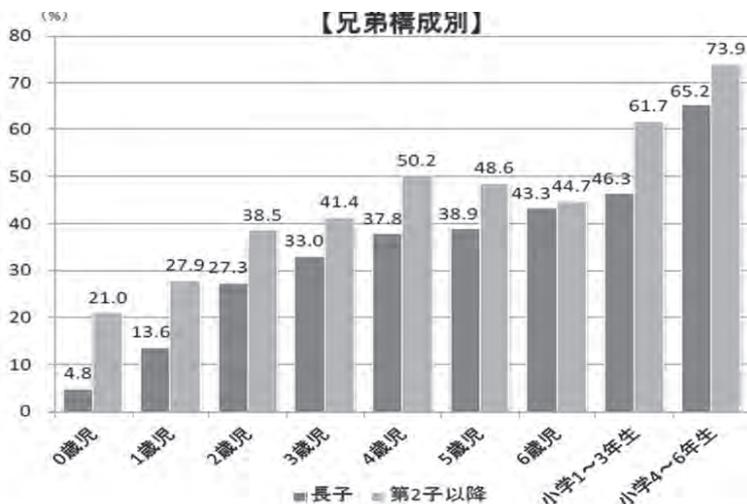
(総務省情報通信政策研究所 平成 27 年 7 月発表)

○ 子どもの情報通信端末利用状況



0歳児の1割が情報通信端末を利用（保護者が見せたり使わせたりしている場合を含む）しており、その割合は年齢とともに上昇する。0歳児と1歳児は10%台、2歳児と3歳児は30%台、4歳児から6歳児は40%台、小学1～3年生は51.8%、4～6年生は68.7%。

○ 子どもへの ICT 利活用に係る指導状況



同一年齢で比較した場合、第一子よりも第二子以降の方が利用率が高い。第二子以降の0歳児は21.0%が利用。

出典：「未就学児の ICT 利活用能力に係る 保護者の意識に関する調査報告書【概要版】」（総務省）
http://www.soumu.go.jp/main_content/000368846.pdf

学校における指導の留意点

0歳児において、第1子では4.8%、第2子では21.0%が情報通信端末を利用していることを理解し、学校における情報モラル教育を計画する上で参考にする。

2 インターネット隠語・用語集

掲載している用語や用例の中には、人権上問題がある表現も含まれているが、利用実態を把握するために掲載しているものであり、これらの用語の使用を認めるものではない。

※ SNSや掲示板などの一部では、差別や犯罪に係る不適切な表現を、自動的に検出するシステムを備えている。こうした表現は、その監視をかいくぐるために生み出されたものである。

用語	意味
垢	<p>アカウントの意味インターネット上のサービスを利用する際などに必要となるIDのことである。以下の種類を、本人がプロフィール画面で宣言するなどして使用される。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>本垢：メインで使用 リア垢：限られた友人や家族に向けた内容を書き込むために使用 裏垢：裏アカウントの略、不適切な書き込みなどをするために使用する。 趣味垢：趣味に関することを書き込みするために使用 病み垢：気持ちの落ち込みやネガティブな内容を書き込むために使用</p> </div>
アバター	インターネットコミュニティ等で用いられる、「自分の分身となるキャラクター」、または、そのサービスの名称をいう。
いもる	緊張したり、おじけづくの意
※ 援	「援助交際」の隠語。その他「円光」、「㍻」、「瓜」、「円」なども使われる。
炎上	インターネット上に不適切な書き込みをした人に対して、第三者が、個人を特定し、不適切な書き込みを複製・拡散した上で、大量の非難や批判、誹謗中傷などの書き込みを行うことをいう。
オラつく	オラオラする=強気、横柄な態度をとること
※ ^{がいじ} 害児	障害児の略 いじめや差別的な書き込みに見られる。
拡散	他人の書き込みを、Twitter や掲示板などで不特定多数の人間に広めること
鍵付き	Twitter のアカウントを非公開（非公開設定にすると鍵マークが表示される。）にすること。 鍵付きのアカウントは、フォロワー以外のユーザーは「非公開」の状態になり、投稿内容が閲覧できなくなる。
神待ち	無料で泊めてくれる人を探しているという意味。 神ががって素晴らしい人を「神」と呼ぶため、色々な面で使用される。

用語	意味
※ 基知害 <small>きちがい</small>	「きちがい」の意味 障害者に対する差別的な表現。「基地」、「キティ」、「Kitty Guy」、「基地外」などとも書かれる。
既読スルー	無料通話アプリなどで、自身のメッセージが読まれているのにも係らず返信がこないこと。(既読無視)ともいう
きゃわわ	「可愛い」という意味
魚拓 (Web 魚拓)	Web サイト (ホームページ) の情報を Web ページ記録サービス上に保存 (コピー) すること。一定期間が経過すると、削除されてしまいそうな記事を保存しておきたい場合などに利用される。
ぐう～	ぐうの音も出ないほど～である。 例：ぐうかわ (ぐうの音も出ないほど可愛い。)
グルチャ	LINEを代表とする無料通話アプリなどで、複数人が参加するグループを作り、同時にチャット (メッセージのやり取り) すること
工房	高校生を表す隠語。類語として、消防 (小学生)、厨房 (小学生) など存在する。
個チャ (こちゃ)	LINEを代表とする無料通話アプリなどで、個別にチャット (一対一でのメッセージのやり取り) すること。
誤爆	自分の意図する場所 (相手) とは、別の場所 (別人) に誤って書き込みをしたり、メッセージを送ってしまったこと。
コミュ障	コミュニケーション障害の略。人とのコミュニケーションが苦手な人のこと
※ サポ	サポートの略で、援助交際 (売春) の隠語「佐保」 <small>さほ</small> 、「割り切り」、「割り」なども使用される。
ジオタグ	写真や Twitter のツイートなどに追加される、地図上の位置 (緯度・経度) を示す数値データのこと。ジオタグが付与されたデータ (写真や書き込み) は、ジオタグをサポートしているアプリケーションやサービスなどを利用することにより、撮影場所を特定することができる。自宅で撮影した写真を公開する場合にはジオタグが付与されていないか注意が必要である。「位置情報」とも呼ばれる。
自撮り	撮影者がスマートフォンなどのカメラを自分自身に向けて被写体とする撮影方法のこと。
スタ爆	スタンプ爆撃 (爆弾) の略。LINEでスタンプを連続で送ること。
それな	「そうだよな。」などの同意を表すときに使用される。

用語	意味
〇〇の代	〇〇歳と年齢を書く時に、歳を使用せず代を表現する。 (例) 17の代など
※ タヒたい	「死にたい。」の意味 漢字の「死」をカタカナに見立てて表現した言葉
チェーンメール	「このメールを何人かに転送してください」などと、不特定多数の人へ送信され、連鎖的に広がって行くメールのこと
※ 池沼 ^{ちしょう}	知的障害者を表す隠語
ツイ禁	Twitterの利用を禁止すること
通報	不正行為などについて、サイトの管理者や運営元に報告すること
ディスる	軽蔑し攻撃する状態や行為を表す隠語。軽蔑や無礼を意味する「disrespect」が語源と言われている。
豆腐メンタル	精神的に非常に弱いことを表す言葉
トプ画	プロフィールなどで使用されるトップ画像のこと
鳥写真	盗撮や隠し撮り写真を指す隠語、「撮り」を「鳥」に変えて使用されることがある。
なり垢	「なりすましアカウント」または、「なりきりアカウント」を意味する隠語。他人になりすまして書き込みを行うアカウントのこと
なりすまし	他人の名前やIDやパスワードを盗用し、その人のふりをして、不適切な書き込みを行うなど、ネット上で悪意のある行為をすること
粘着	しつこくつきまとう人のこと。掲示板などで批判的な書き込みをしつこく続けること
バイトテロ	バイトで働く人が、働き先において迷惑行為を行うこと
バカッター	バカ+ツイッターを組み合わせた言葉 Twitterで不適切な行為が多く見受けられたことから、「バカ発見器」とも呼ばれる。
パクツイ	パクリツイートの略 他人の書き込みをコピーし、Twitterにそのまま書き込むことをいう。
ふぁぼ (ファボ)	英語の「Favorite」が語源。Twitter上で、他人のつぶやきを「お気に入り」に登録すること。「お気に入り」に登録する行為を、「ふぁぼる」という。

用語	意味
フィッシング 詐欺	金融機関などを装い、登録情報の変更を促すメールなどを無差別に送信し、偽サイトに誘導して暗証番号やクレジットカード番号などを詐取する詐欺のこと
ぼっち	一人ぼっちのこと。一人で行動する人や一人で寂しい人のことをいう。
メシウマ	他人の不幸でメシがうまいの略。他人の不幸を喜ぶこと
メンブレ	「メンタルブレイク」の略。テストの成績が非常に悪かったり、仕事で大きなミスをしてしまった時など精神的に追いつめられ、休んでしまったり発狂してしまったりした様な状況に対して使用する。
病み期	精神的に辛く落ち込んでいる時期のこと
リスカ	自身の手首を傷つける自傷行為。リストカットの略称
was わず	過去を意味する言葉 例：バイトわず（アルバイトに行ってきた。）
bot	自動的につぶやき（書き込み）を行う、Twitter アカウント及びそのプログラムのこと
DM	「ダイレクトメッセージ」の略。Twitter などのサービスの機能を使用し、一対一で直接メッセージをやり取りすること
J C ジョシチュウガクセイ	女子中学生のこと
J K ジョシコウカセイ	女子高生のこと
J S ジョシショウガクセイ	女子小学生のこと
L J K ラストジョシコウカセイ	Last Joshi Kosei（ラスト女子高生）高校3年女子生徒のこと 中学3年女子生徒は、L J C=Last Joshi Chugakusei（ラスト女子中学生）という。
W	笑い（warai）を表す。（笑）などに相当する文字 「www」と連続させると、草が生えているように見えることから、「草は生える。」や「草不可避」（笑うしかない状態）ともいう。

3 DVD 教材の紹介

「わっかカフェへようこそ～ココロまじわるヨリドコロ～」

平成27年度制作 DVD カラー 35分 実写

東京下町の路地裏に、「和っ菓カフェ」がオープンするところから物語は始まります。

オーナーの駿と、ここで働く大学生の彩は、カフェに立ち寄る様々な人たちと出会い、言葉を交わしながら、心を通わせていきます。

自分も相手も大切にすることができる、「ココロまじわるヨリドコロ」ー心から交流できる場ーを目指し、「わっかカフェ」という店名に変えていきます。

この作品では、

- ・インターネットによる人権侵害「三色団子の向こう側」
- ・高齢者の人権「世代をつなぐ柏餅」
- ・外国人の人権「コンペイトウの来た道」

の三つのエピソードを、ドラマや解説・インタビューなどで紹介しています。

この三つのエピソードを通して、インターネット・高齢者・外国人に関する人権問題について、自分なりの「ココロまじわるヨリドコロ」をつくりながら、いろいろな人たちと出会い、言葉を交わし、そして、自分に何ができるのかを考えていけるよう、メッセージを発信しています。

カフェのオーナー 駿役は、俳優の阿部 力あべ つよしさんです。



インターネットによる人権侵害
三色団子の向こう側

<ドラマ>
主人公・彩乃は、初めて自分のスマートフォンを持ち、友達との舞に使い方を教えてもらい、うれしくて仕方がない。「学校でルールは習ったから大丈夫」と彩乃は言うものの、そのはしゃぐ様子を見て、少し心配になる桜。夜、ついルールを破って、自分の部屋で遅くまで友達とのSNSを続けてしまう彩乃。そして、事件が起こる…

教材ビデオの貸出等は、東京都教育庁地域教育支援部生涯学習課
(人権学習担当)：03 (5320) 6864 までお問い合わせください。

◆ 下記の施設には、人権問題についての普及啓発資料がございます。

施設名	所在地	電話	ホームページ
東京都教職員研修センター 人権教育資料センター	〒113-0033 文京区本郷一丁目3番3号	03 (5802) 0306	http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/08ojt/jinken/index.html
東京都人権プラザ 図書・ビデオライブラリー	〒111-0023 台東区橋場一丁目1番6号	03 (3876) 2961	http://www.tokyo-jinken.or.jp/book/index_tosho.html
公益財団法人人権教育啓発推進センター 人権ライブラリー	〒105-0012 港区芝大門二丁目10番12号 KDX 芝大門ビル4F	03 (5777) 1919	http://www.jinken-library.jp/

4 参考リンク



東京都教育委員会 重要な政策情報 「ネット・携帯電話」

http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/pickup/seisaku_net.htm



東京都 青少年・治安対策本部 青少年課 「こたエール (東京こどもネット・ケータイヘルプデスク)」

<http://www.tokyohelpdesk.jp/>



東京都消費生活総合センター 「東京くらしWEB」

<https://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/>



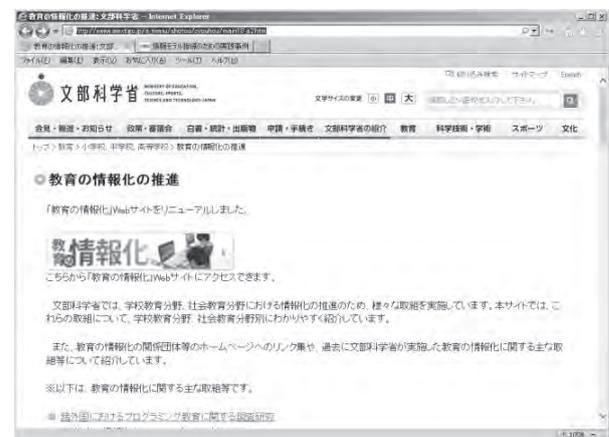
警視庁サイバー犯罪対策課 「情報セキュリティ広場」

<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/haiteku/>



安心ネットづくり促進協議会 「もっとグッドネット」

<http://www.good-net.jp/>



文部科学省生涯学習政策局情報教育課 「教育の情報化の推進」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/main18_a2.htm

5 「SNS東京ルール」(平成27年11月26日)



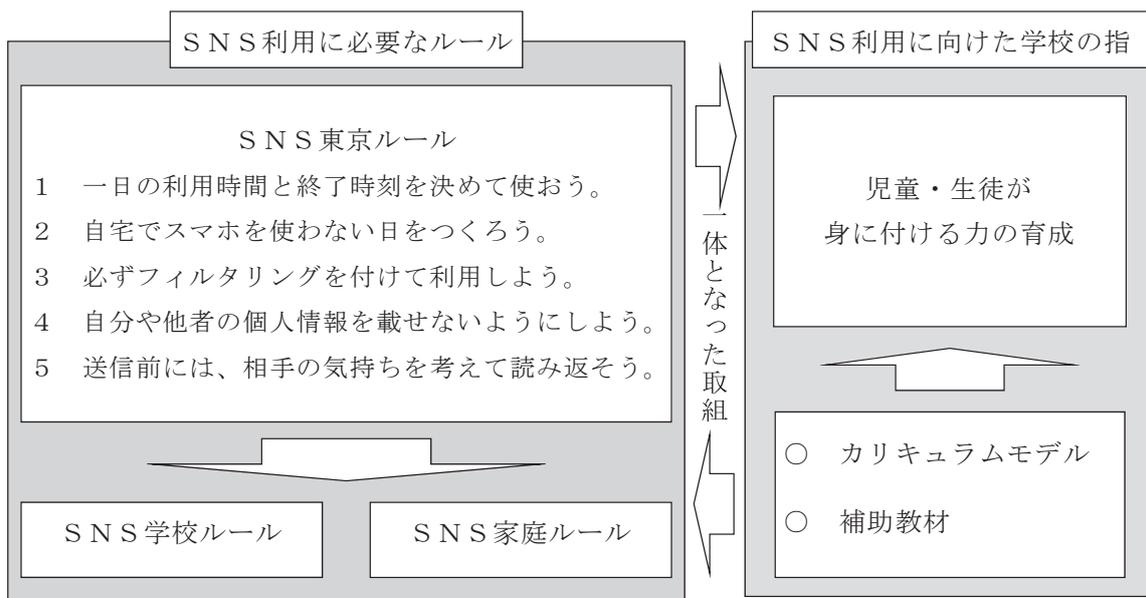
平成27年11月26日
教 育 庁

「SNS東京ルール」の策定について

東京都教育委員会は、児童・生徒が、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、次のとおり「SNS東京ルール」を策定しましたのでお知らせします。

本件は、「東京都教育施策大綱」の具体的な取組の一つです。

「SNS東京ルール」取組のイメージ



<問合せ先>

教育庁指導部指導企画課 児玉・丸茂
直通 03(5320)6848 内線 53-73

「SNS東京ルール」の策定について

1 「SNS東京ルール」策定の趣旨

都教育委員会は、都内全公立学校の児童・生徒が、いじめ等のトラブルや犯罪に巻き込まれないようにするとともに、学習への悪影響を防ぐため、SNSを利用する際のルールを策定する。
また、学校や区市町村教育委員会と連携して、児童・生徒の発達段階に応じた指導を強力に推進していく。

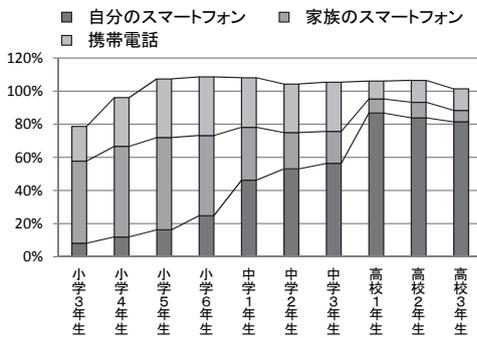
※SNS … ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。ネットワーク上のコミュニケーション機能をもったサービス全般を指す。(メール、掲示板、無料通話アプリ、ゲーム、画像投稿サービス等)

2 現状

(1) スマートフォン・携帯電話の使用率

※平成26年度「インターネット・携帯電話利用に関する実態調査報告書(東京都教育委員会)」から作成

(対象:児童・生徒18,612人)



⇒ 小学生でもほとんどの児童がSNSを利用可能な状況にある。

(2) ネット利用に関するルールづくりの状況

※平成26年度「インターネット・携帯電話利用に関する実態調査報告書(東京都教育委員会)」から作成

(対象:児童・生徒18,612人)

■家庭等でルールを決めているか

	小学校	中学校	高校	特別支援
決めている	49.4%	31.0%	11.4%	30.6%
決めていない	46.2%	68.2%	88.0%	59.7%
無回答	4.5%	0.8%	0.7%	9.7%

⇒ ルールがない中で、児童・生徒はインターネットを利用している。

■SNSの利用時間について

	小学校	中学校	高校	特別支援
SNSを一日当たり3時間以上利用する	12.0%	19.3%	26.7%	21.6%
SNSを午後10時以降も利用している	8.3%	26.8%	40.0%	13.8%

⇒ 高校生の4人に一人が3時間以上SNSを利用している。
⇒ 年齢が上がると、夜10時以降までSNSを利用している。

(3) SNSによるトラブルの状況

※平成26年度「インターネット・携帯電話利用に関する実態調査報告書(東京都教育委員会)」から作成

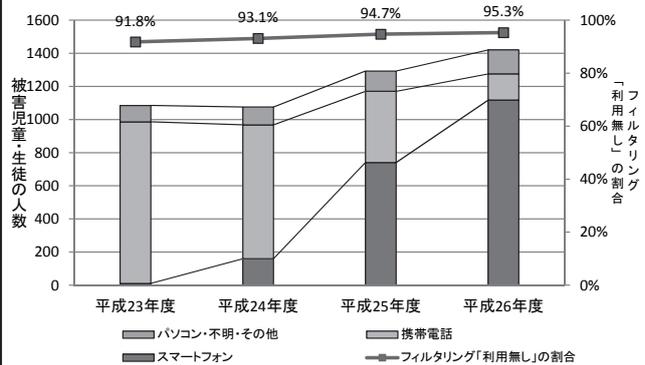
(対象:児童・生徒18,612人)

	小学校	中学校	高校	特別支援
自分の悪口や個人情報を書かれた	3.2%	8.9%	15.4%	8.9%
仲間はずれにされた	2.6%	6.4%	11.9%	5.6%

⇒ 年齢が上がると、トラブルが増加している。

(4) コミュニティサイト等で被害を受けた児童・生徒の状況

※「平成27年度上半期の出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯の現状と対策について」(警察庁)から作成

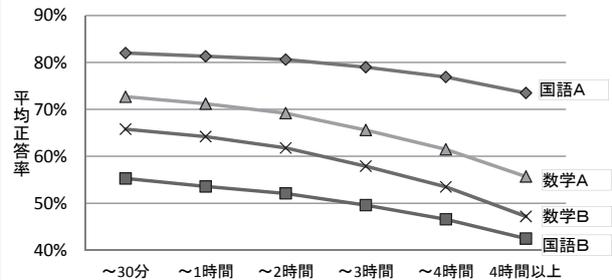


⇒ 被害児童・生徒の数は年々増加し、約8割はスマートフォンでアクセスしている。

⇒ 被害児童・生徒のうち、約95%はフィルタリングを利用していない。

(5) スマートフォン等の使用時間と学力の関係

※平成26年度「全国学力・学習状況調査(中学校)」(文部科学省)から作成



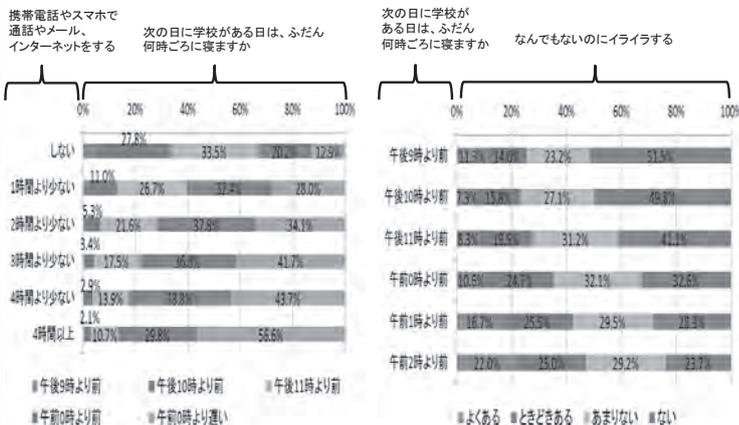
⇒ スマートフォン等を長時間使用している生徒は学力・学習状況調査の正答率が低い。

3 情報機器の長時間使用による健康被害

(1) 情報機器の使用と睡眠の関係

○ 携帯電話・スマートフォンとの接触時間が長い子供ほど、就寝時刻が遅い。
【小・中・高】

○ 就寝時刻が遅い子供ほど、自分のことが好きと回答する割合が低く、なんでもないのでイライラすることがあると回答する割合が高い。【小・中】



※「睡眠を中心とした生活習慣と子供の自立等との関係性に関する調査(文部科学省)」(平成27年3月)から作成

(2) 情報機器の使用とブルーライトとの関係

■ブルーライト

・寝る前に1時間、被験者にスマートフォンを見せらう実験を行った結果、青色の光を減少させるメガネを使った人の方が睡眠時間が長く、睡眠の質もよいという傾向
(杏林大学 医学部 古賀良彦 教授)

・被験者にブルーライトがほとんど当たらない部屋、少し含んだ照明の部屋、多く含んだ照明の部屋で夜間過ごしてもらい、メラトニン(体内時計に影響する物質)の変化を測定した結果、ブルーライトを多く含む照明ほどメラトニンの分泌は減少

(九州大学大学院 生理人類学 安河内朗 主幹教授)

(3) インターネット等の長時間利用による健康面の変化(高校生)

- 目が悪くなった 28.0%
- 寝不足になった 26.3%
- 夜なかなか眠れなくなった 13.2%
- 手や指が痛くなった 3.0%

※「インターネット・携帯電話利用に関する実態調査報告書(東京都教育庁)」(平成27年3月)から作成

4 諸外国の状況

■フランス

「環境のための国家的政策に関する法律」(2010年7月12日)

第L511-5条

・幼稚園、小学校、中学校において、校間で定められた場所以外で授業中に児童・生徒が携帯電話を使用することを禁止

■韓国

「青少年保護法」(2013年9月23日)

第26条 深夜時間帯におけるインターネットゲーム提供時間の制限

・インターネットゲームの提供者は、16歳未満の青少年には午前0時から午前6時までインターネットゲームを提供禁止
※16歳未満の青少年には、ネットにアクセスするために必要なIDが与えられない。

※「フランス・韓国における有害環境への法規制及び非行防止対策等に関する実態調査研究(内閣府)」から作成

■イギリス

業界団体や公的機関が連携して性的児童虐待等青少年保護

PEGI制度による適正年齢分類(専用ゲーム機からネットワークに接続する際のレーティング審査)を実施

■ドイツ

法により、プロバイダは有害な情報に対するアクセス制限義務

■イタリア

法によりプロバイダは児童ポルノに対するアクセス制限の義務

■インドネシア

情報通信省が、有害情報から子供を守り、教育コンテンツを提供するソフトウェア「PERISAI」を開発

■シンガポール

メディア開発庁が、プロバイダと協働で、「Family Access Network(FAN)」というフィルタリングサービスを提供

※「諸外国における青少年保護のためのインターネット規制と運用(ジェトロ海外事務所)」(2012年2-3月、2013年3月)から作成

5 インターネット利用のルール

(1)「ルールづくり」の呼び掛け状況

平成20年10月9日

子供の携帯電話利用についてのアピール

(東京都教育委員会)

<子供>家族でよく話し合って、使い方などについてルールをつくるようにしてほしい。

<家庭>携帯電話を持たせる場合には、よく子供と話し合い、ルールづくりをしてください。

平成26年2月24日

緊急メッセージ(東京都青少年問題協議会)

<子供>生徒同士で十分に議論して、ケータイ・スマホの自主ルールを作ってください。

<家庭>子供と十分に話し合い、共通理解のもとに、家庭のルールを作ることが大切です。

平成27年6月

ネットの危険からお子様を守るために、保護者ができること

(内閣府・総務省・経済産業省・内閣官房IT総合戦略室・警察庁・消費者庁・法務省・文部科学省・厚生労働省)

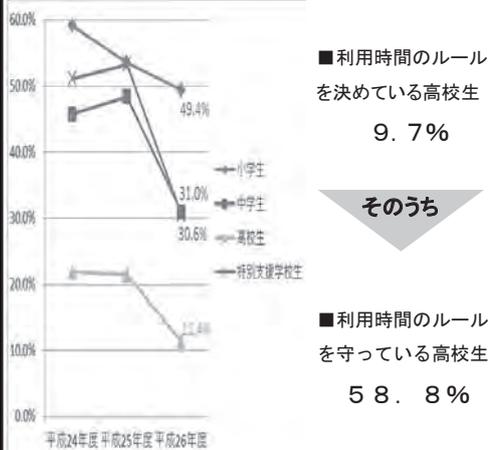
<家庭>家庭のルールをお子様と一緒に作りましょう。フィルタリングを設定しましょう。



(2) ルールづくりの状況

※児童・生徒がインターネットの利用に関するルールを決めている割合(家庭・学校・友人等)

ルールを定めている割合の推移 → 利用時間に関するルール



※「インターネット・携帯電話利用に関する実態調査報告書(東京都教育庁)」(平成27年3月)から作成

(3) ルールづくりへの意識

■ルールは必要ないと思う高校生 48.5%

【主な理由】

- インターネットの利用は自己管理するものだから。
- インターネットの利用は個人の自由だと思うから。
- 家庭により生活時間帯が違うため、ルール化できないから。
- 使わない人もいて、一律にルールを決めることはできないから。

※「インターネット・携帯電話利用に関する実態調査報告書(東京都教育庁)」(平成27年3月)から作成

ルールの必要性和ルールづくりの視点、方法等を周知していくことが重要

6 「子供の携帯電話利用についてのアピール」(平成20年10月9日)

子供の携帯電話利用についてのアピール

はじめに

インターネットや携帯電話の利用により、生命の危険や深い心の傷を受ける被害が発生しています。また、メールでいじめられて、友達と楽しく学校生活を送れなくなったり、メールに夢中になって勉強ができなくなったりしている児童・生徒もいます。

私たちは、子供たちが携帯電話を利用することで、被害者になったり、加害者になったりすることがあってはならないと考えています。

そこで、児童・生徒の皆さんをはじめ、保護者、教員及び関係者等の方々、それぞれに対して、子供の携帯電話利用について、都教育委員会としての考え方をまとめてアピールを致します。

平成20年10月9日
東京都教育委員会

児童・生徒の皆さんへ
—携帯電話の利用は慎重に—

今、多くの子供たちが携帯電話を利用しています。ところが、皆さんも知っていると思いますが、携帯電話には、皆さんに見てほしくない、危険な情報がたくさんあります。それを見たために、犯罪に巻き込まれた子供たちもたくさんいます。実際どのようになっているのか、東京都教育委員会では、この夏、皆さん方の一部の方や保護者、先生にも御協力いただき、調査をしました(*1)。その結果などを見て、私たちは、皆さんや保護者の方にも、携帯電話の問題で、私たちの意見を是非お伝えしたいと考えました。

私たちは、携帯電話にあふれかえっている、あなた方に見てほしくない情報など無くしてしまいたいと思っていますが、それはすぐにできることではありません。皆さんを危険から守ることは私たちだけではできないのです。また、私たちは皆さんが携帯電話でメールを盛んに利用していることを知っています。中には食事中や深夜にもメールの対応に追われるなど、メールに振り回されている人も少なからずいます。それにメールがいじめや友達の悪口をいうことに使われたり、プロフィールサイトなどで自分や他人の大切な情報(個人情報と言います。)を不注意に出してしまうケースもあります。私たちは、皆さんが、できればお互いの顔を見て、声を聞いてコミュニケーションをしてほしいと願っています。メールは思いがけないトラブルを引き起こすこともしばしばあり、また、メールがあなた方の生活を支配してしまいかねないと心配しているのです。

そこで、皆さんに、携帯電話をめぐる様々な危険から自分で自分を守ることをお願いしたいのです。そのためには、まず、必要のない限り、携帯電話は持たないようにしましょう。どうしても持つ必要があるときには、必要最小限の機能(*2)をもつ携帯電話を選びましょう。また、インターネットにつながなければならないときには、必ずフィルタリング(*3)機能を付けましょう。そして、携帯電話やインターネットの良い点、悪い点をもっと勉強しましょう。

私たちは、皆さんが、今の時期に、一人前の社会人になるために、もっと勉強し、もっと身体を鍛えてほしいと思っています。携帯電話の利用によって、今あなた方がやるべきことを妨げられたり、危険に巻き込まれたりするようなことがあってはならないと考えています。ですから、皆さんにも、携帯電話の問題を簡単に考えず、みんなが持っているから、おもしろいから、持っていないと仲間はずれになりそうだからといった理由だけで、決めてしまわないで、「少し待ってみよう、自分で十分使いこなせるようになるまで。便利なものには危険もあるのだから、できるだけ危険は避けよう。」と考えてほしいのです。

このことは、皆さんの保護者にも伝えていきます。家庭でこの問題をよく話し合ってもらいたいと思います。そして携帯電話を利用する場合には、その使い方などについてルールを作るようにしてほしいと思います。もし、心配なことがあったら、一人で悩まず、すぐに保護者や先生に相談しましょう。

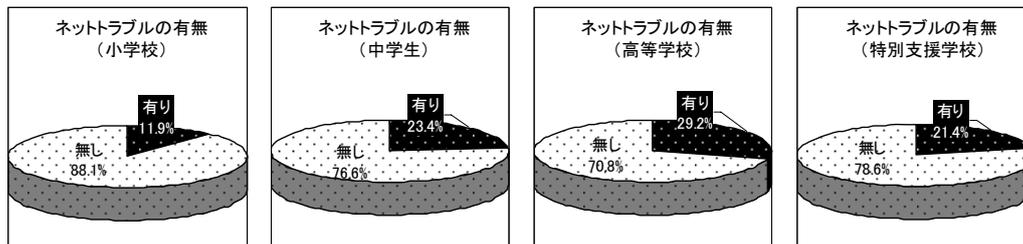
皆さんが、私たちの思いを受け止めてくれることを願っています。

平成20年10月9日
東京都教育委員会

(*1) 【調査における被害の状況】

携帯電話を持っている小学生のおよそ10人に1人、中学生の4人に1人、高校生の10人に3人、特別支援学校の5人に1人がネット被害に遭っています。

その内容は「メールを送らなければならぬというチェーンメールを流された」「プロフやブログにきもい、うざいと書き込まれ不登校になってしまった」「出会い系サイトで会員登録したら、多額の金額を振り込めという脅しのメールが届いた」「掲示板で知り合った人から、しつこくメールがきた」など様々です。



トラブルの種類と件数

	メールの使い方	メールでのトラブル	チェーンメール	プロフ・ブログ	学校裏サイト	アダルトサイト	出会い系サイト	個人情報悪用	自殺誘引・犯罪誘引など	アルバイト紹介サイト	ゲームサイト	コミュニケーションサイト	ヒッキングサイト	ショッピングサイト	その他	合計
小学生	47	72	154	17	15	17	13	14	9	9	55	7	7	17	161	614
中学生	94	171	614	91	27	75	74	66	19	16	44	38	42	20	135	1,526
高校生	73	95	227	97	35	53	62	66	16	19	27	42	38	24	64	938
特別支援	10	8	12	2	1	4	2	1	1	1	0	2	1	2	4	51
合計	224	346	1,007	207	78	149	151	147	45	45	126	89	88	63	364	3,129

(*2) 必要最小限の機能

今、業者は、以下のような様々な機能をもつ携帯電話を用意しています。

- ・通話だけの機能
- ・通話先を限定できる機能
- ・通話料が限定できる機能
- ・使用時間を限定できる機能など

(*3) フィルタリング

有害な情報に接続できないようにする仕組み。

保護者の皆さんへ —子供の携帯電話利用は慎重に—

東京都教育委員会では、この7月に皆さん方の一部の方や、子供、先生方にも御協力いただき携帯電話に関する実態調査をいたしました。その結果を見ると、メール、ブログ、サイトなどで数多くのトラブルがあり、深い心の傷を受ける被害も発生しています(*1)。また、ネット犯罪は、保護者の方々が想像している以上に悪質で巧妙になっています。

もとより、携帯電話の通信費用は、保護者が負担しておられることと思います。子供に良かれと思って買い与えたものが、子供に危険をもたらしているのです。

この状況は、科学技術の進歩に人間社会が追いついていけないことを示しています。携帯電話やインターネットが、便利なものである以上、子供たちを含めて、私たちはこれを危険なく使いこなす知恵を身に付けなければなりません。

とりわけ子供たちは、発達段階に応じて、必要な知識が持てるように大人が教えていかなければなりません。学校では、情報教育としてこの問題に取り組んでおりますが、御家庭でも是非お願いしたいと思います(*2)。

東京都教育委員会では、この問題は子供たちをめぐる大きな問題として、子供たちに別添のおとりメッセージを発信しました。

そこでは、子供たちには「必要のない限り、携帯電話は持たないようにしましょう。」「必要最小限の機能をもつ携帯電話を選びましょう。」「インターネットにつながなければならないときには、必ずフィルタリング機能を付けましょう。」「携帯電話やインターネットの良い点、悪い点をもっと勉強しましょう。」と呼びかけをしました。

これを御参考に、子供が持ちたがる場合には、その必要性をよく御判断いただき、もし持たせる場合でも必要最小限の機能を持つものや、フィルタリング機能の付いたものを持たせるようにしてください。また、携帯電話を学校に持ち込ませないなど、授業等の妨げにならないようにお願いします。

なお、子供たちに携帯電話を持たせる場合にはその必要性についてよく子供と話し合いをし、その使い方についてルールづくりをするようにしてください(*3)。

平成20年10月9日
東京都教育委員会

(※1) 【調査における被害の状況】

携帯電話を持っている小学生のおよそ10人に1人、中学生の4人に1人、高校生の10人に3人、特別支援学校の5人に1人がネット被害に遭っています。

その内容は「メールを送らなければ不幸になるというチェーンメールを流された」「ブログやブログにきもい、うざいと書き込まれ不登校になってしまった」「出会い系サイトで会員登録したら、多額の金額を振り込めという脅しのメールが届いた」「掲示板で知り合った人から、しつこくメールがきた」など様々です。

(※2) 【保護者の力を発揮するために】

保護者の責務として、子供がインターネットを適正に利用できるようフィルタリング機能を設定することが「東京都青少年の健全な育成に関する条例」で定められています。

また、本年6月に「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」が成立し、近く施行されることになっています。事業者は、保護者の承諾がない限りフィルタリングサービスの利用を提供の条件とすることなど、事業者、保護者、学校、行政機関等が、青少年の携帯電話を安心・安全に利用できるようにする責務があることなどが規定されています。

これを受けて、関係業界は、携帯電話の安全な使い方を学習する機会の提供、18歳未満が所有する携帯電話へのフィルタリング機能の標準設定などの取組を進めることとしています。

このように、携帯電話の問題は、保護者はもちろん学校・事業者等関係者すべての責任において解決すべき問題として、社会全体での取組が始まっています。

(※3) 【家庭でのルールづくり】

69.4%の保護者が「ルールを決めて守らせている」と回答したのに対し、53.0%の子供が「ルールは決めていない」、もしくは「決めているが守っていない」と答えており、子供との意識の乖離があります。また、被害に遭った小・中学生の半数以上、高校生の3人に2人は保護者に相談していません。

家庭において、ファミリー e ルール(東京都/心の東京革命推進協議会作成：<http://www.kokoro-tokyo.jp>)などを活用して、携帯電話利用についての家庭でのルールづくりをしてください。

そこでは、「私の宣言書」として次のような約束が紹介されています。

- ・ 「私は、メールをやりすぎず、〇〇時までには寝ます。」
- ・ 「私は、インターネット上の掲示板では、相手の立場を考えて書き込みをします。」
- ・ 「私は、不幸のメールが届いても転送しません。」
- ・ 「私は、インターネット上で知り合った人と会いません。」
- ・ 「私は、知らない人からのメールが届いたら無視します。」

先生方へ

ー携帯電話の利用について指導・啓発をー

多くの子供たちが携帯電話を持ち、携帯電話を使ったメールやインターネットによる被害やトラブルが後を絶ちません。また、ネットいじめによる自殺や犯罪予告など、かつては考えられなかった様々な憂慮すべき問題も起きています。

携帯電話をめぐる子供の様々な問題は、すべての大人が、それぞれの立場で真剣に取り組まなければならない社会問題ですが、目の前の子供に降りかかる危険を、学校が黙視することはできません。今、まさに、先生方一人一人が、最も影響力の強い大人として、「うちの学校の子供たちを被害者にも加害者にもさせない」という強い思いをもって接し、子供たちの安全を守っていかなくてはなりません。

また、子供たちは携帯メールを利用して、いじめ問題を起こしたり、深夜までメールの対応に追われて睡眠時間が不足したりするなどの問題があります。このようなことは、子供の成長にとって良い影響があるとは思われません。

このような状況に対し、東京都教育委員会では、児童・生徒、保護者、関係業者に対してもアピールを発しています。このアピールでは、子供は「必要のない限り携帯電話は持たない」、携帯電話を持つなら「必ずルールを決める」、インターネットにつながなければならないときには「必ずフィルタリング機能を付ける」など、基本的な考えを示しています。

各学校においては、このアピールに示した内容を踏まえ、児童・生徒の携帯電話の学校への持込みを禁止するなど、授業等の妨げとならないような明確な措置を講じるとともに、携帯電話を持っている児童・生徒には、「フィルタリング機能を設定することの必要性」と「家庭でのルールづくりの大切さ」を理解させてください。

先生方は、このアピール文を子供たちに配布して、すべての学級で、帰りの時間やホームルームの時間を使って指導を行い、子供自身が自分で自分を守る力を身に付けさせてください。あわせて、保護者会やPTA活動等を利用して、保護者にもアピールを素材にした啓発を行ってください。

また、子供たちは、携帯電話を使ったメールやインターネットによる被害やトラブルがあっても、注意を受けることが分かっているので、保護者や学校に相談したり報告したりしないことが多くあります。こうしたことから、「学校は、困ったときには何でも相談できる場所」という雰囲気を醸成することも大切です。

携帯電話をめぐる子供たちの様々な問題は、一朝一夕に解決できることではありません。困難であればあるほど、子供の安全を守るためには、何としても先生方の力が必要です。

平成 20 年 10 月 9 日
東京都教育委員会

関係業者の方へ

ー子供たちが被害者にも加害者にもならないためにー

携帯電話の普及に伴い、子供たちの携帯電話・携帯ネットによる様々なトラブルや被害が増加しており、憂慮すべき事態にあります。

東京都では、インターネット利用に係る事業者の責務について「東京都青少年の健全育成に関する条例」に示しています。

関係者におかれては、今後なお一層、子供たちが安心して利用できる携帯電話の環境づくりを推進してください。

○製造業者の方へ

子供がネット被害に遭わないように、必要最小限の機能をもった携帯電話をさらに開発してください。

○販売業者の方へ

ネット被害から子供を守るため、フィルタリング機能を設定するよう「有害サイトアクセス制限サービス」などの保護者への啓発活動を一層進めてください。

○インターネット管理会社の方へ

ネット上の誹謗・中傷などの書き込みは、早急に削除するなどの対応策を一層推進させてください。

(参考)「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」から抜粋

(インターネット接続役務提供事業者の義務)

第十八条 インターネット接続役務提供事業者は、インターネット接続役務の提供を受ける者から求められたときは、青少年有害情報フィルタリングソフトウェア又は青少年有害情報フィルタリングサービスを提供しなければならない。ただし、青少年による青少年有害情報の閲覧に及ぼす影響が軽微な場合として政令で定める場合は、この限りでない。

(インターネットと接続する機能を有する機器の製造事業者の義務)

第十九条 インターネットと接続する機能を有する機器であって青少年により使用されるもの(携帯電話端末及びPHS端末を除く。)を製造する事業者は、青少年有害情報フィルタリングソフトウェアを組み込むことその他の方法により青少年有害情報フィルタリングソフトウェア又は青少年有害情報フィルタリングサービスの利用を容易にする措置を講じた上で、当該機器を販売しなければならない。ただし、青少年による青少年有害情報の閲覧に及ぼす影響が軽微な場合として政令で定める場合は、この限りでない。

(青少年有害情報フィルタリングソフトウェア開発事業者等の努力義務)

第二十条 青少年有害情報フィルタリングソフトウェアを開発する事業者及び青少年有害情報フィルタリングサービスを提供する事業者は、青少年有害情報であって閲覧が制限されないものをできるだけ少なくするとともに、次に掲げる事項に配慮して青少年有害情報フィルタリングソフトウェアを開発し、又は青少年有害情報フィルタリングサービスを提供するよう努めなければならない。

- 一 閲覧の制限を行う情報を、青少年の発達段階及び利用者の選択に応じ、きめ細かく設定できるようにすること。
- 二 閲覧の制限を行う必要がない情報について閲覧の制限が行われることをできるだけ少なくすること。

2 前項に定めるもののほか、青少年有害情報フィルタリングソフトウェアを開発する事業者及び青少年有害情報フィルタリングサービスを提供する事業者は、その開発する青少年有害情報フィルタリングソフトウェア又はその提供する青少年有害情報フィルタリングサービスについて、その性能及び利便性の向上に努めなければならない。

平成 20 年 10 月 9 日

東京都教育委員会



索引

【あ～お】

アカウント（垢）	56
アバター	56
いもる	56
インターネット隠語集・用語集	56
援	56
炎上	56
オラつく	56
音楽プレイヤー	25

【か～こ】

害児	56
書き込みの事例（自身の個人情報を公開）	2
書き込みの事例（他者の個人情報を公開）	3
書き込みの事例（不適切行為）	4、5
書き込みの事例（家出・家出受入れ）	5
書き込みの事例（誹謗中傷）	6
書き込みの事例（虐待・暴力）	6
書き込みの事例（違法・犯罪行為）	7
書き込みの事例（自傷・自殺）	7
鍵付き（鍵アカ）	56
拡散	56
画像投稿サービス	30
神待ち	56
基地害	57
既読スルー	57
既読無視	57
きゃわわ	57
魚拓（Web 魚拓）	57
ぐう～	57
グルチャ	57
携帯電話	24
ゲーム機	25
工房	57
個チャ（こちや）	57
誤爆	57
コミュ障	57
コミュニケーションアプリ	33



索引

【さ～そ】

サポ	57
参考リンク	61
ジオタグ	47、57
自撮り	57
スタ爆	42、57
スマートフォン	24
それな	57

【た～と】

〇〇の代	58
タヒたい	58
チェーンメール	13
池沼（ちしょう）	58
チャット	34
ツイ禁	58
ツイート（つぶやき）	29
通報	58
ディスる	58
動画投稿アプリ	31
動画配信サービス	32
東京子どもネット・ケータイヘルプデスク	11
東京都いじめ相談ホットライン	11
豆腐メンタル	58
トップ画	58

【な～の】

生放送	32、34
なり垢	58
なりすまし	58
ネット依存	15、37
粘着	58

【は～ほ】

バイトテロ	58
バカッター	58
パクツイ	58
パソコン	24
ふぁぼ	58



索引

フィッシング詐欺	59
フィルタリング	36、49
フォロー	28
フォロワー	28
ペアレンタルコントロール	36
ぼっち	59

【ま～も】

マイクロブログ	28
無料通話アプリ	26
メシウマ	59
メンブレ	59

【や～よ】

病み期	59
-----	----

【ら～ろ】

ログイン ID	24
リスカ	59
リプライ	44

【わ】

わず	59
----	----

【アルファベット】

bot	59
DM (ダイレクトメッセージ)	43、59
DQ 調査	37
GPS	47
JC	59
JK	59
JS	59
LJK	59
QR コード	3
QR コード掲示板	42
Twitter	28
w	59
Wi-Fi	24

インターネット等の適正な利用に関する 指導事例集・活用の手引

東京都教育委員会 印刷物登録番号
平成27年度第150号

平成28年3月
編集・発行

東京都教育庁指導部指導企画課
東京都新宿区西新宿2-8-1
03-5320-6848

作成

教育庁指導部指導企画課長	増渕 達夫
教育庁指導部主任指導主事	児玉 大祐
教育庁指導部指導企画課統括指導主事	丸茂 聡
教育庁指導部指導企画課指導主事	江川 徹

協力

ピットクルー株式会社

印刷

(資)新英社 小泉印刷所

平成 27 年度 児童・生徒のインターネット利用状況調査報告書 (概要版)

～ 目次 ～

調査の概要	・・・ P01
1.インターネットの利用状況 (児童・生徒)	・・・ P02
2.インターネットの利用開始時期・利用目的 (児童・生徒)	・・・ P03
3.インターネットの利用時間 (児童・生徒、保護者)	・・・ P04
4.インターネット利用時のルール (児童・生徒、保護者)	・・・ P06
5.決めたルールを守っているか (児童・生徒、保護者)	・・・ P07
6.フィルタリング機能の設定状況 (保護者)	・・・ P08
7.インターネット利用時のトラブル (児童・生徒、保護者)	・・・ P09

調査の概要

■調査の目的

この調査は、インターネットの利用に係るトラブル被害を経験した、都内公立学校児童・生徒の割合及びその内容、保護者の認識、学校の対応等の現状を明らかにし、情報教育行政を進める上での基礎資料とするとともに、有害情報から子供を守るための情報教育等の推進を図るために実施するものである。

■調査の種類及び対象校

	区市町村立 小学校	区市町村立 中学校	都立高等学校 附属中学校	都立 高等学校	都立 特別支援学校
①児童・生徒調査	87校	53校	2校	33校	12校
②保護者調査	87校	53校	2校	33校	12校
③学校調査	87校	53校	2校	33校	12校

■調査方法

児童・生徒の総数の2%程度を抽出して、質問紙法により実施した。質問紙は、各学校へ郵送配布し、各学校経由で回収を行った。

■回収数

学校種別	調査の種類		
	①児童・生徒	②保護者	③教職員
小学校	14,475人	13,155人	76校
中学校	5,367人	4,562人	42校
高等学校	2,721人	1,541人	25校
特別支援学校	229人	277人	12校
合計	22,792人	19,535人	155校

※都立高等学校附属中学校は、上記表の「中学校」に含む。

■調査期間

平成28年2月5日（金）から2月29日（月）まで

※詳細な結果は、「平成27年度 児童・生徒のインターネット利用状況調査」を参照。

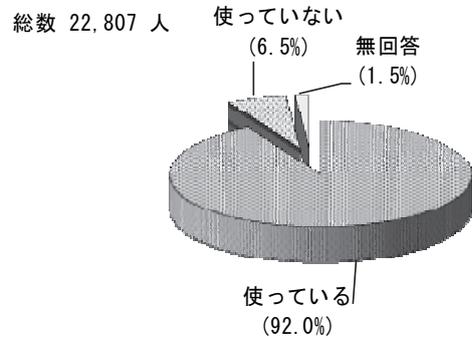
1. インターネットの利用状況

1

インターネットに接続できる機器の利用状況(児童・生徒)

■インターネットに接続できる機器の利用は9割以上

インターネットに接続することができる機器を使っていますか。



(上段:件/下段:%)

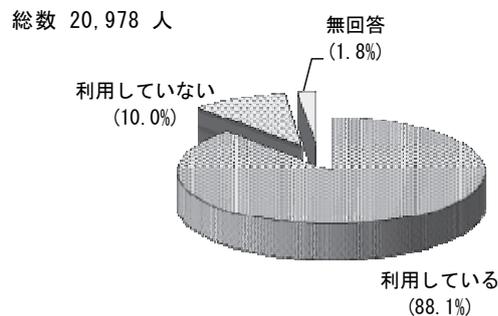
学校種別	全体	(上段:件/下段:%)		
		使っている	使っていない	無回答
全体	22,807	20,978 92.0	1,480 6.5	349 1.5
小学校	14,477	12,976 89.6	1,204 8.3	297 2.1
中学校	5,237	5,030 96.0	164 3.1	43 0.8
高等学校	2,864	2,800 97.8	56 2.0	8 0.3
特別支援学校	229	172 75.1	56 24.5	1 0.4

2

インターネットの利用状況(児童・生徒)

■インターネットの利用は9割弱

以下の機器のどれかを使って、インターネットを利用していますか。
※ゲーム機・スマートフォン・パソコン・タブレット端末・携帯電話・携帯型音楽プレーヤー



(上段:件/下段:%)

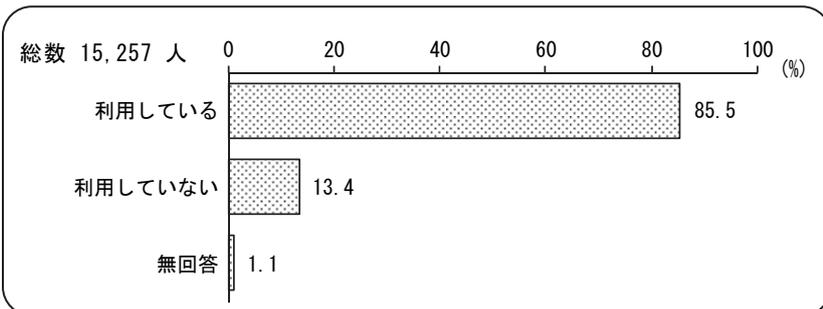
学校種別	全体	(上段:件/下段:%)		
		利用している	利用していない	無回答
全体	20,978	18,488 88.1	2,105 10.0	385 1.8
小学校	12,976	10,687 82.4	1,946 15.0	343 2.6
中学校	5,030	4,883 97.1	114 2.3	33 0.7
高等学校	2,800	2,775 99.1	18 0.6	7 0.3
特別支援学校	172	143 83.1	27 15.7	2 1.2

3

携帯電話又はスマートフォンでのインターネットの利用状況(児童・生徒)

■携帯電話又はスマートフォンでのインターネットの利用は8割半ば

携帯電話又はスマートフォンでインターネットを利用していますか。



(上段:件/下段:%)

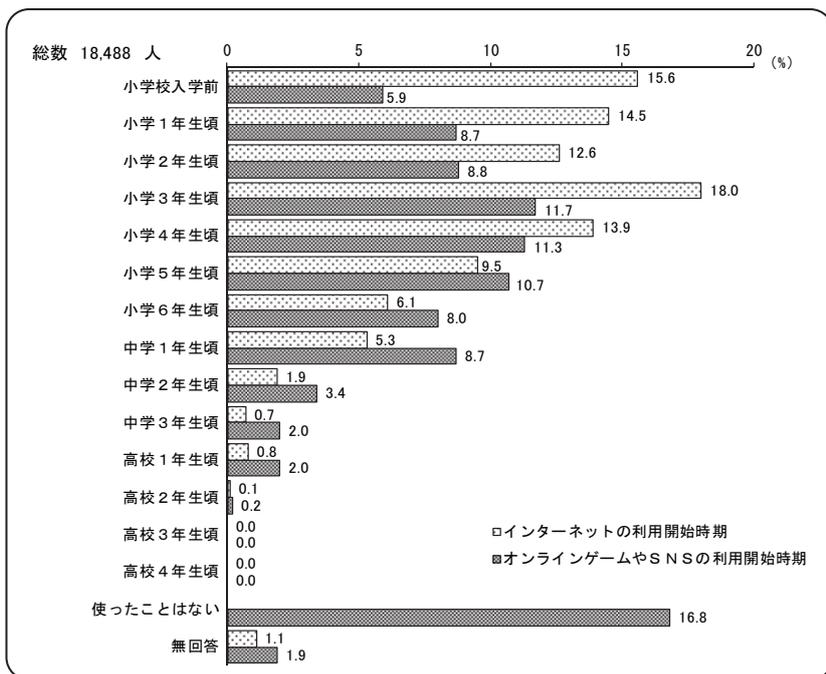
学校種別	全体	(上段:件/下段:%)		
		利用している	利用していない	無回答
全体	15,257	13,042 85.5	2,043 13.4	172 1.1
小学校	8,344	6,586 78.9	1,603 19.2	155 1.9
中学校	4,084	3,679 90.1	397 9.7	8 0.2
高等学校	2,730	2,688 98.5	33 1.2	9 0.3
特別支援学校	99	89 89.9	10 10.1	-

2. インターネットの利用開始時期・利用目的

1 インターネット、オンラインゲームやSNSの利用開始時期(児童・生徒)

- 「小学3年生頃」で最も高い。
- インターネットは9割、オンラインゲームやSNSは6割半ばが中学校入学前に利用開始

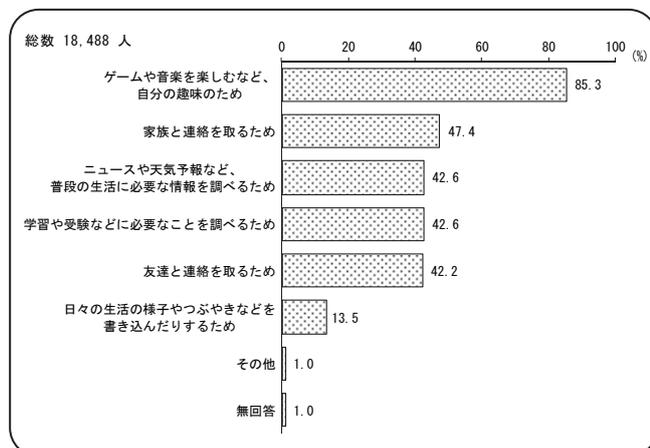
質問1 インターネットを初めて利用したのはいつ頃ですか。
 質問2 オンラインゲーム(自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの)や、SNS(メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど)を初めて利用したのはいつ頃ですか。



2 インターネットの利用目的(児童・生徒)

- 趣味のための利用が8割半ば

インターネットを、どのような目的で利用しますか【いくつ〇を付けてもかまいません】。



学校種別	全体	(上段:件/下段:%)									
		ゲームや音楽を楽しむなど、自分の趣味のため	家族と連絡を取るため	調べるための生活に必要な情報	学習や受験などに必要なこと	友達と連絡を取るため	日々の生活の様子やつぶやきなどを書き込んだりするため	その他	無回答		
全体	18,488	15,764	8,765	7,881	7,873	7,805	2,502	189	178		
小学校	10,687	8,863	3,778	3,384	3,677	2,229	411	118	166		
中学校	4,883	4,330	3,009	2,565	2,649	3,311	875	29	6		
高等学校	2,775	2,444	1,939	1,891	1,517	2,229	1,202	40	3		
特別支援学校	143	127	39	41	30	36	14	2	3		
		88.8	27.3	28.7	21.0	25.2	9.8	1.4	2.1		

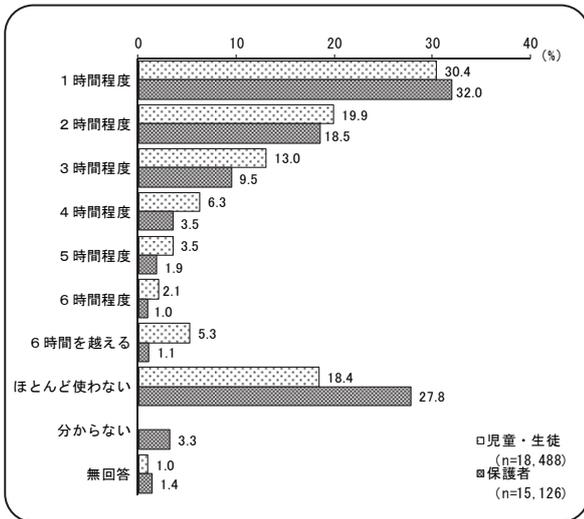
3. インターネットの利用時間

1

一日のインターネット利用時間(児童・生徒、保護者)

■「1時間程度」が3割以上

- ・(児童・生徒) 一日何時間くらい、インターネットを利用しますか。
- ・(保護者) お子さんは、1日何時間くらい、インターネットを利用していますか。



〈児童・生徒のインターネット利用状況〉

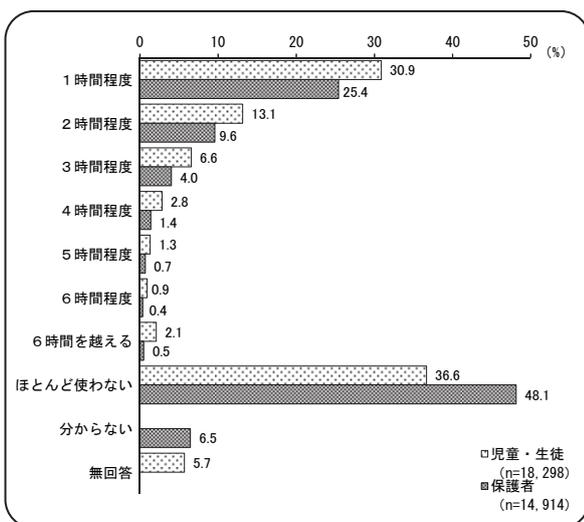
学校種別	全体	(上段:件/下段:%)								
		1時間程度	2時間程度	3時間程度	4時間程度	5時間程度	6時間程度	6時間を越える	ほとんど使わない	無回答
全体	18,488	5,619 (30.4)	3,681 (19.9)	2,405 (13.0)	1,173 (6.3)	638 (3.5)	390 (2.1)	982 (5.3)	3,410 (18.4)	190 (1.0)
学校種別	小学校	10,687	3,922 (36.7)	1,837 (17.2)	904 (8.5)	402 (3.8)	248 (2.3)	118 (1.1)	275 (2.6)	154 (1.4)
	中学校	4,883	1,278 (26.2)	1,224 (25.1)	885 (18.1)	414 (8.5)	191 (3.9)	116 (2.4)	269 (5.5)	20 (0.4)
	高等学校	2,775	373 (13.4)	587 (21.2)	597 (21.5)	346 (12.5)	194 (7.0)	152 (5.5)	429 (15.5)	81 (2.9)
	特別支援学校	143	46 (32.2)	33 (23.1)	19 (13.3)	11 (7.7)	5 (3.5)	4 (2.8)	9 (6.3)	16 (11.2)

2

オンラインゲームやSNSの利用時間(児童・生徒、保護者)

■「ほとんど使わない」が児童・生徒で3割半ば、保護者で5割弱

上記 1 で答えた利用時間のうち、オンラインゲーム(自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの)や、SNS(メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど)の利用時間はどれくらいですか。



〈児童・生徒のオンラインゲームやSNS利用状況〉

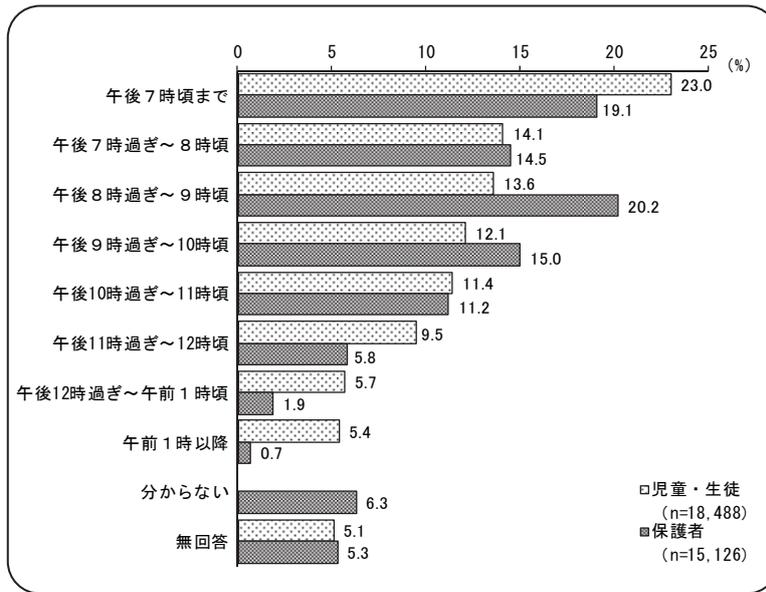
学校種別	全体	(上段:件/下段:%)								
		1時間程度	2時間程度	3時間程度	4時間程度	5時間程度	6時間程度	6時間を越える	ほとんど使わない	無回答
全体	18,298	5,648 (30.9)	2,405 (13.1)	1,201 (6.6)	515 (2.8)	241 (1.3)	165 (0.9)	379 (2.1)	6,705 (36.6)	1,039 (5.7)
学校種別	小学校	10,533	3,286 (31.2)	925 (8.8)	376 (3.6)	138 (1.3)	69 (0.7)	32 (0.3)	75 (0.7)	1,140 (10.8)
	中学校	4,863	1,597 (32.8)	869 (17.9)	432 (8.9)	187 (3.8)	78 (1.6)	79 (1.6)	89 (1.8)	421 (8.7)
	高等学校	2,759	738 (26.7)	603 (21.9)	389 (14.1)	189 (6.9)	93 (3.4)	69 (2.5)	209 (7.6)	67 (2.4)
	特別支援学校	143	23 (16.1)	11 (7.7)	6 (4.2)	1 (0.7)	1 (0.7)	1 (0.7)	6 (4.2)	12 (8.4)

3

毎日のインターネット終了時刻(児童・生徒、保護者)

■過半数が午後9時頃までに終了する。

- ・(児童・生徒) 毎日何時頃まで、インターネットを利用しますか。
- ・(保護者) お子さんは、毎日何時頃まで、インターネットを利用しますか。



〈児童・生徒のインターネット終了時刻〉

(上段:件/下段:%)

学校種別	全体	午後7時頃まで	午後7時過ぎ～8時頃	午後8時過ぎ～9時頃	午後9時過ぎ～10時頃	午後10時過ぎ～11時頃	午後11時過ぎ～12時頃	午後12時過ぎ～午前1時頃	午前1時以降	無回答	
		件	件	件	件	件	件	件	件		
全体	18,488	4,255	2,609	2,523	2,233	2,116	1,755	1,061	997	939	
		23.0	14.1	13.6	12.1	11.4	9.5	5.7	5.4	5.1	
学校種別	小学校	10,687	3,836	2,168	1,748	1,018	448	194	147	321	807
			35.9	20.3	16.4	9.5	4.2	1.8	1.4	3.0	7.6
	中学校	4,883	339	344	614	947	1,122	791	389	250	87
			6.9	7.0	12.6	19.4	23.0	16.2	8.0	5.1	1.8
高等学校	2,775	57	71	123	241	537	767	523	420	36	
		2.1	2.6	4.4	8.7	19.4	27.6	18.8	15.1	1.3	
特別支援学校	143	23	26	38	27	9	3	2	6	9	
		16.1	18.2	26.6	18.9	6.3	2.1	1.4	4.2	6.3	

4. インターネット利用時のルール

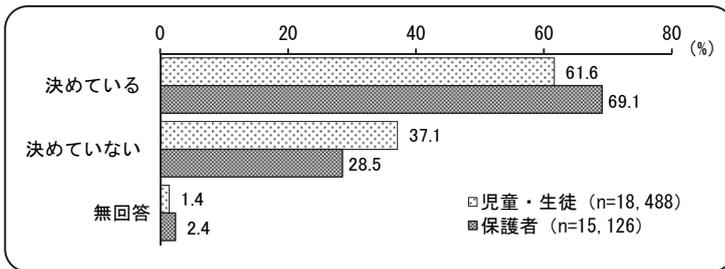
1

インターネット利用時のルールについて(児童・生徒、保護者)

■「決めている」が6割以上

インターネットを利用するときのルールを決めていますか。

〈児童・生徒の利用時のルールについて〉



(上段:件/下段:%)

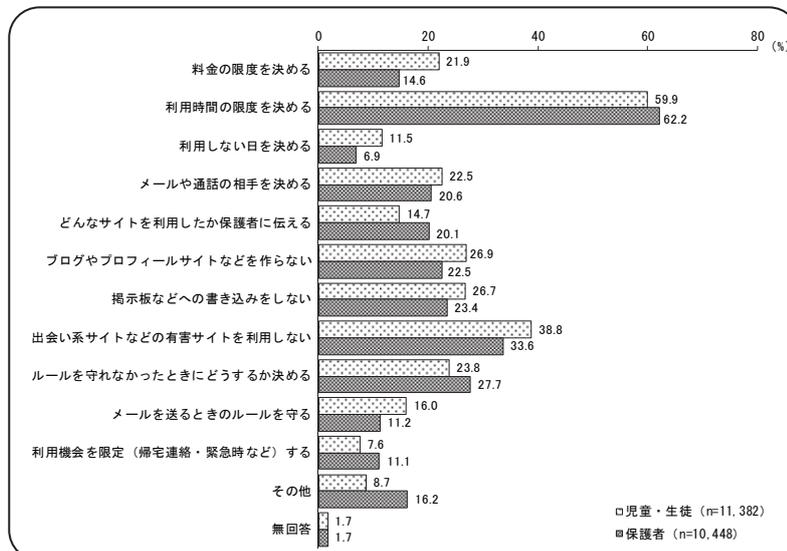
	全体	決めている	決めていない	無回答	
全体	18,488	11,382	6,853	253	
学校種別	小学校	10,687	7,815	2,667	205
	中学校	4,883	2,694	2,166	23
	高等学校	2,775	803	1,949	23
	特別支援学校	143	70	71	2
			61.6	37.1	1.4
		73.1	25.0	1.9	
		55.2	44.4	0.5	
		28.9	70.2	0.8	
		49.0	49.7	1.4	

2

インターネット利用時のルール内容(児童・生徒、保護者)

■「利用時間の限度を決める」が児童・生徒で約6割、保護者で6割強

どのようなルールを決めていますか。



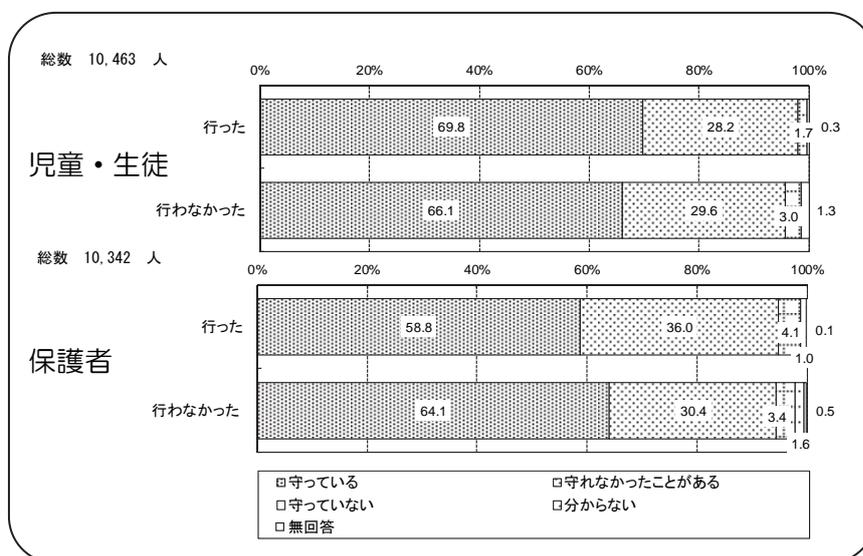
5. 決めたルールを守っているか

1 家族との話し合いと決めたルールを守っているか(児童・生徒、保護者)

■「話し合いを行い、ルールを守っている」は、児童・生徒、保護者ともに5割を超える。

- ・(児童・生徒) 質問1 ルールを決めるときに、話し合いを行いましたか。
質問2 決めたルールを守っていますか。

- ・(保護者) 質問1 ルールを決めるときに、お子さんと話合って決めましたか。
質問2 お子さんは、決めたルールを守っていますか。



※児童・生徒用の設問には「分からない」の項目は設定されていない。

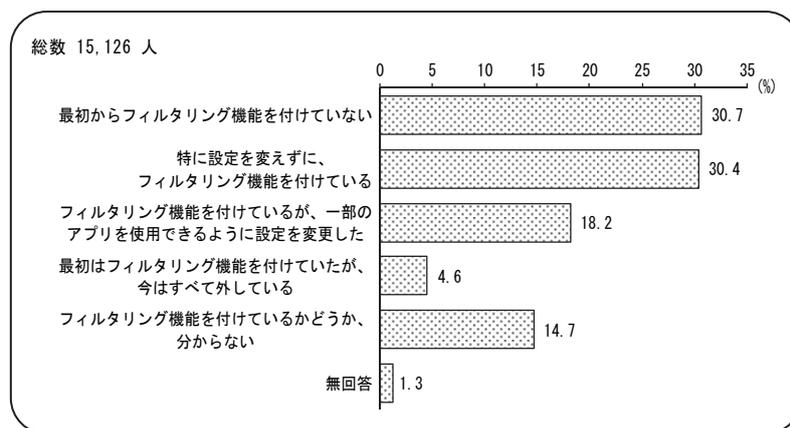
6. フィルタリング機能の設定状況

1

フィルタリング機能設定の有無(保護者)

■約3割が設定しておらず、設定中が5割弱

お子さんが使用している機器にフィルタリング機能を付けていますか。

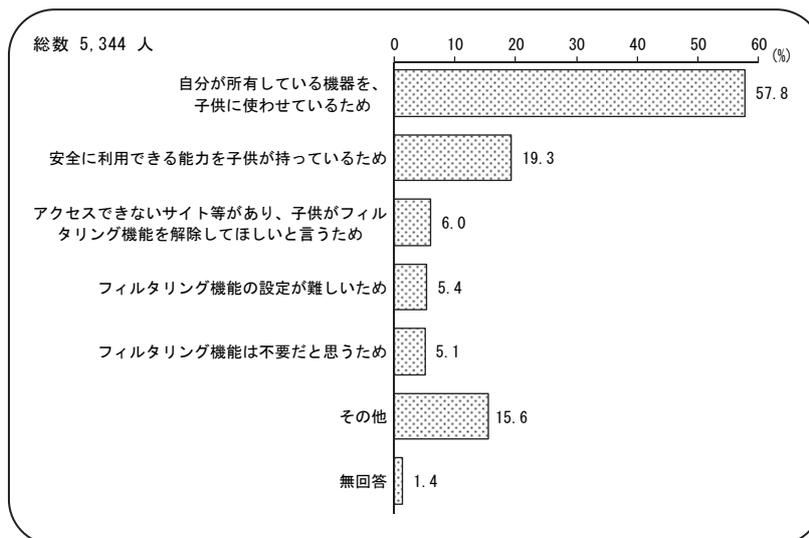


2

フィルタリング機能を利用しない理由(保護者)

■「自分が所有している機器を、子供に使わせているため」が6割弱

上記 1 で「最初はフィルタリング機能を付けていたが、今はすべて外している」又は、「最初からフィルタリング機能を付けていない」と答えた方にお聞きします。フィルタリング機能を利用しない理由は何ですか。



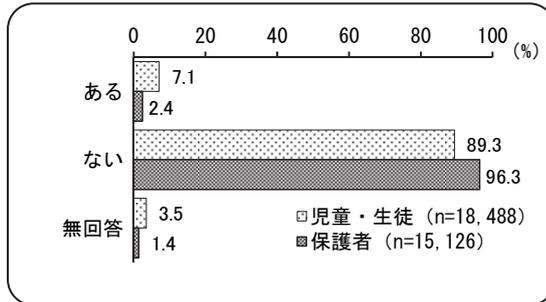
7. インターネット利用時のトラブル

1

トラブルや嫌な思いをした経験の有無(児童・生徒、保護者)

- 児童・生徒の約9割がトラブルを経験していない。
- トラブルを経験していても保護者の認知に至らない場合もある。

- ・(児童・生徒) 平成27年4月1日から12月31日までの間に、インターネットを利用するときにトラブルや嫌な思いをしたことがありますか。
 - ・(保護者) 平成27年4月1日から12月31日までの間に、お子さんから、インターネットに関するトラブルや被害について相談を受けたことがありますか。
- ※前回調査(平成26年1月実施)後の状況について調査を行った。



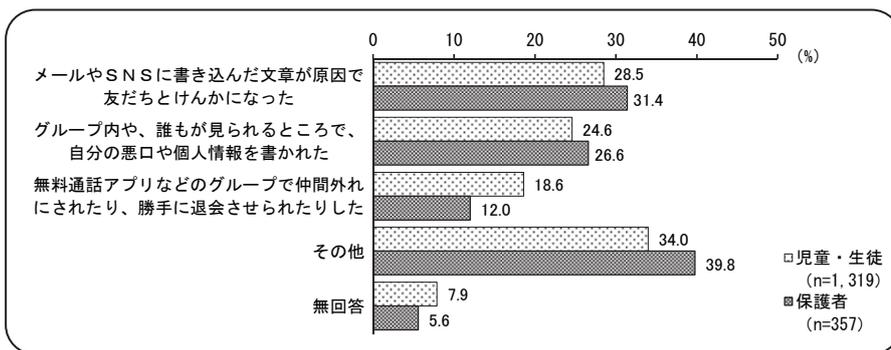
2

トラブルや嫌な思いをした経験の内容(児童・生徒、保護者)

- 「その他」が3割以上で、トラブルが多様化している。

- ・(児童・生徒) 自分が経験したトラブルや嫌な思いは何ですか【いくつ〇を付けてもかまいません】。
- ・(保護者) お子さんから受けた相談の内容は、どのようなものですか【いくつ〇を付けてもかまいません】。

〈児童・生徒が経験したトラブルの内容〉



学校種別	全体	(上段:件/下段:%)				
		メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友だちとけんかになった	グループ内や、誰も見られるところで、自分の悪口や個人情報を書かれた	無料通話アプリなどのグループで仲間外れにされたり、勝手に退会させられたりした	その他	無回答
全体	1,319	376 28.5	324 24.6	245 18.6	448 34.0	104 7.9
小学校	596	97 16.3	109 18.3	140 23.5	230 38.6	68 11.4
中学校	422	150 35.5	120 28.4	73 17.3	122 28.9	24 5.7
高等学校	290	125 43.1	94 32.4	31 10.7	91 31.4	11 3.8
特別支援学校	11	4 36.4	1 9.1	1 9.1	5 45.5	1 9.1

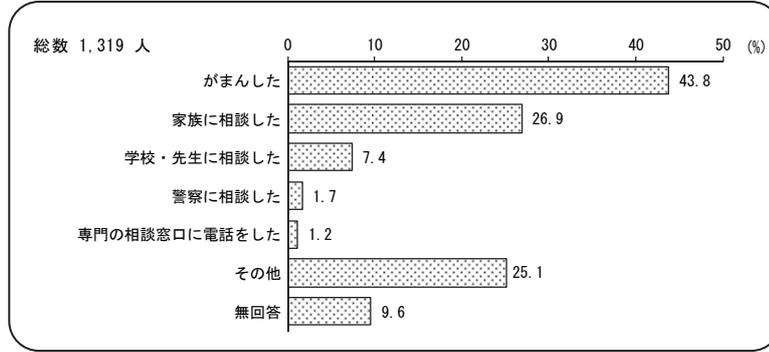
「その他」の主な内容では、「ゲーム内でのトラブル(キャラクターやアイテムをとられた)」、「ゲーム内でのトラブル(チャットで誹謗中傷をされた)」が最も多く、次いで「詐欺、迷惑メール、架空請求が届いた」が挙げられる。

3

トラブルを受けての対応(児童・生徒)

■「がまんした」が4割半ば

トラブルをうけて、どのようにしましたか【いくつ〇を付けてもかまいません】。



「その他」の主な内容では、「謝罪して和解した」が最も多く、次いで「友人の協力を得て解決した」、「仕返しや八つ当たりをした」が挙げられる。

平成 27 年度
児童・生徒のインターネット利用状況調査報告書
(概要版)

東京都教育委員会印刷物登録

平成 27 年度第 229 号

平成 28 年 3 月 発行

東京都教育庁指導部指導企画課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目 8 番 1 号

都庁第一本庁舎 38 階

TEL : 03-5320-6848

調査委託：株式会社 タイム・エージェント

平成27年度
児童・生徒のインターネット利用状況調査報告書

平成28年3月

東京都教育庁

目 次

1	調査について	1
2	児童・生徒、保護者比較	5
3	児童・生徒対象	35
4	保護者対象	63
5	学校対象	83
6	調査票	95

1 調査について

〔1〕調査の目的

この調査は、インターネットの利用に係るトラブル被害を経験した、都内公立学校児童・生徒の割合及びその内容、保護者の認識、学校の対応等の現状を明らかにし、情報教育行政を進める上での基礎資料とするとともに、有害情報から子供を守るための情報教育等の推進を図るために実施するものである。

〔2〕調査対象校

	区市町村立 小学校	区市町村立 中学校	都立高等学校 附属中学校	都立 高等学校	都立 特別支援学校
① 児童・生徒調査	87校	53校	2校	33校	12校
② 保護者調査	87校	53校	2校	33校	12校
③ 学校調査	87校	53校	2校	33校	12校

〔3〕調査方法

児童・生徒の総数の2%程度を抽出して、質問紙法により実施した。質問紙は、各学校へ郵送配布し、各学校経由で回収を行った（〔5〕回収数を参照）。

〔4〕調査期間

平成28年2月5日（金）から2月29日（月）まで

〔5〕回収数

学校種別	調査の種類		
	①児童・生徒	②保護者	③学校
小学校	14,475人	13,155人	76校
中学校	5,367人	4,562人	42校
高等学校	2,721人	1,541人	25校
特別支援学校	229人	277人	12校
合計	22,792人	19,535人	155校

※都立高等学校附属中学校は、上記の「中学校」に含む。

〔6〕集計・分析に当たって

- ①回答比率（％）は、小数第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても、100%にならない場合がある。小さな数字を母集団で割っている場合は、回答比率の表記が「0.0%」等になっている場合がある。
- ②設問によっては、複数回答の結果、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ③グラフや表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票の文章とは一致していない場合がある。
- ④都立高等学校附属中学校は、「中学校」として集計・分析を行った。
- ⑤分析に当たって、各校種の調査数が異なるため、比較では注意が必要である。

表記（例）	約4割（4割）	4割強	4割半ば	5割弱	約5割（5割）
範囲	39.0～40.9% (40.0%)	41.0～42.9%	43.0～46.9%	47.0～48.9%	49.0～50.9% (50.0%)

2 兒童・生徒、保護者比較

[1] インターネットに接続できる機器の利用状況

[対象：児童・生徒、保護者]

質問1 インターネットに接続することができる機器を使っていますか。

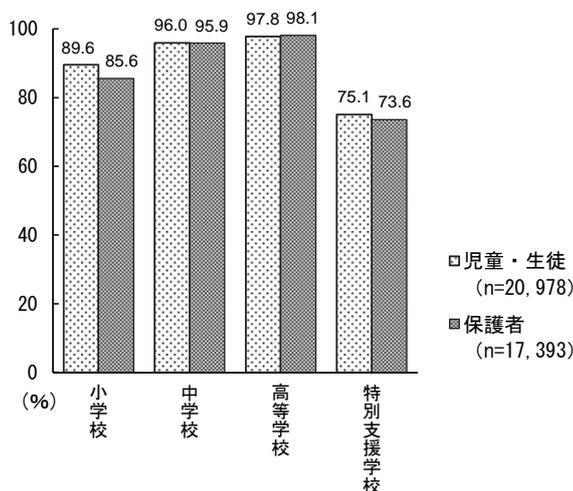
【分析】

校種別では、児童・生徒、保護者ともに、インターネットに接続できる機器を「使っている」で『高等学校』が10割弱と最も高くなっている。学年別では、児童・生徒と保護者ともに、「使っている」で『高校1年生』が最も高くなっている。

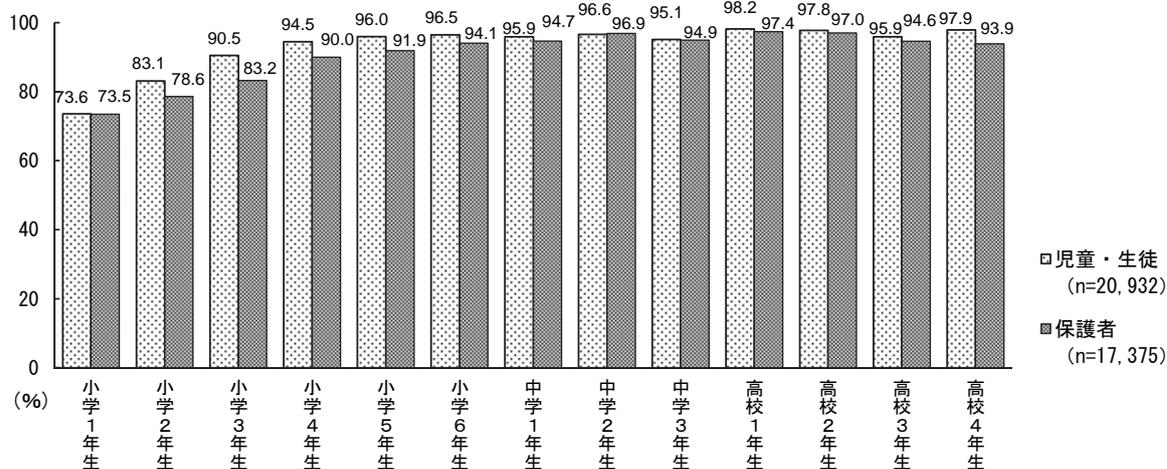
【指導のポイント】

小学校3年生以上でも9割の児童がインターネットに接続できる環境を持っている。
早い段階から、情報モラルやリテラシーに関する啓発を行うことが必要である。

【インターネットに接続できる機器を使っていると回答した割合/学校種別】



【インターネットに接続できる機器を使っていると回答した割合/学年別】



[2] インターネットの利用状況

[対象：児童・生徒、保護者]

質問3 質問2の機器*のどれかを使って、インターネットを利用していますか。

*携帯電話・スマートフォン・タブレット端末・パソコン・ゲーム機・携帯型音楽プレイヤー

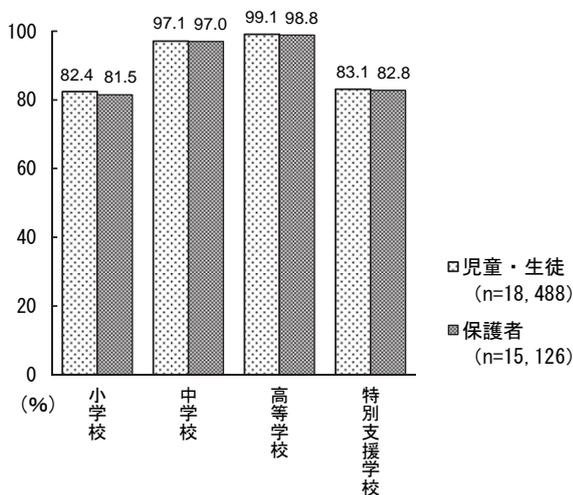
【分析】

校種別では、児童・生徒、保護者ともに、インターネットを「利用している」で『高等学校』が10割弱と最も高くなっている。学年別では、児童・生徒で『高校2年生』(99.2%)、保護者で『高校4年生』(100.0%)が最も高くなっている。

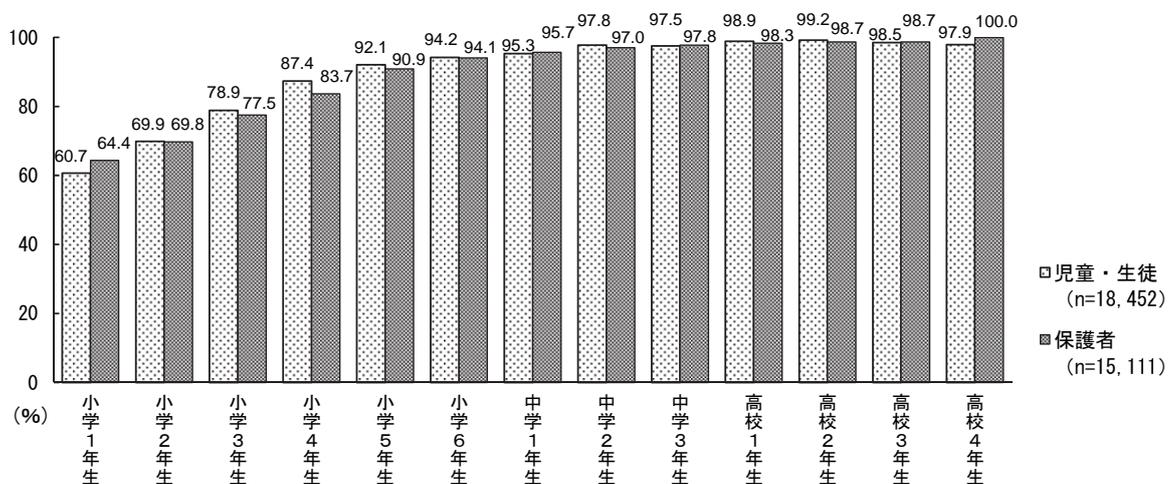
【指導のポイント】

インターネットを適切に利用できるように、家庭でしっかりと話し合い、発達段階に応じた利用のルール等を決めるように啓発することが重要である。

【インターネットを利用していると回答した割合/学校種別】



【インターネットを利用していると回答した割合/学年別】



[3] 携帯電話又はスマートフォンでのインターネットの利用状況

[対象：児童・生徒、保護者]

質問4 質問2の機器*のうち、携帯電話又はスマートフォンでインターネットを利用していますか。
 *携帯電話・スマートフォン・タブレット端末・パソコン・ゲーム機・携帯型音楽プレイヤー

【分析】

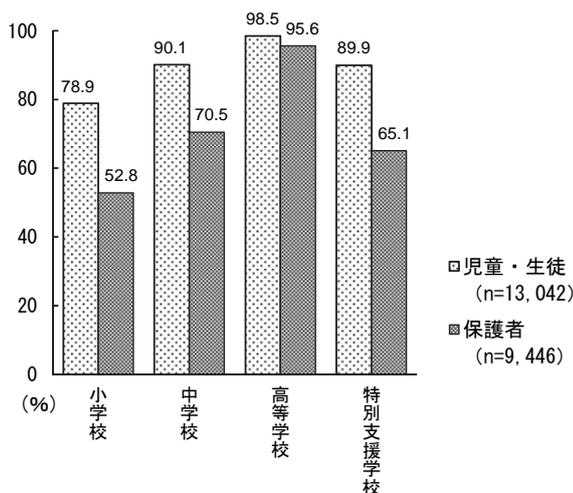
校種別では、児童・生徒、保護者ともに、携帯電話又はスマートフォンでインターネットを「利用している」で『高等学校』が9割を超えて最も高くなっている。学年別では、児童・生徒で『高校1年生』(98.9%)が最も高く、保護者で『高校1年生』、『高校2年生』(同率95.5%)が最も高くなっている。

【指導のポイント】

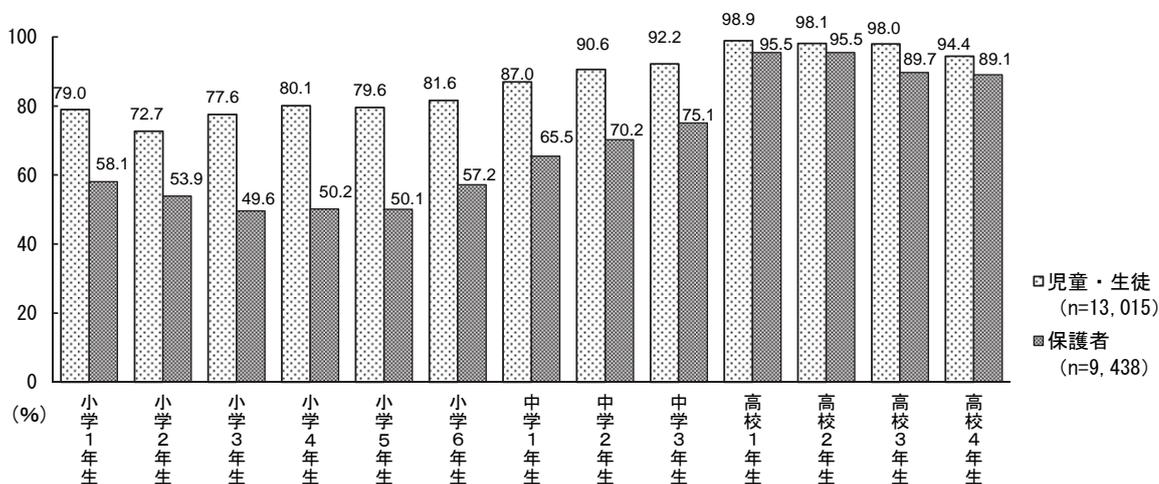
特に、小・中学校では、児童・生徒と保護者の認識が大きく異なっている。

インターネットに簡単に接続できる機器を所持していることを意識し、適切な活用のルールを定めたり、フィルタリングを設定したりするなどの対策について啓発していくことが必要である。

【携帯電話又はスマートフォンでインターネットを利用していると回答した割合/学校種別】



【携帯電話又はスマートフォンでインターネットを利用していると回答した割合/学年別】



[4] インターネット、オンラインゲーム、SNSの利用開始時期

[対象：児童・生徒]

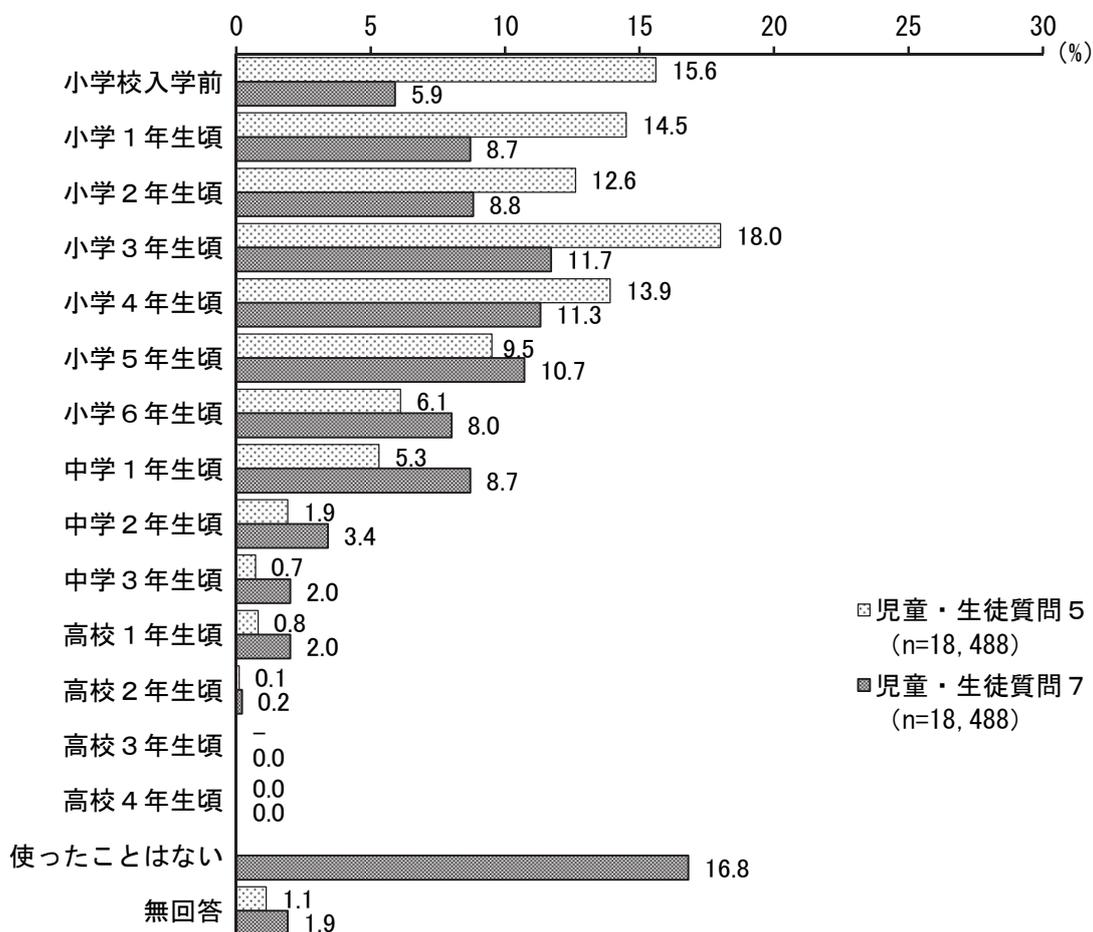
質問5 インターネットを初めて利用したのはいつ頃ですか。
 質問7 オンラインゲーム（自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの）や、SNS（メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど）を初めて利用したのはいつ頃ですか。

【分析】

インターネットを初めて利用したのは「小学3年生頃」(18.0%)で最も高く、オンラインゲームやSNSを初めて利用したのも「小学3年生頃」(11.7%)で最も高くなっている。

【指導のポイント】

小学生の早い段階から、ネット上のトラブル事例などを用いて適切に利用するための情報リテラシーの向上を図ることが大切である。



[5] インターネット、オンラインゲーム、SNSの利用開始時期

[対象：保護者]

質問7 お子さんが、インターネットを初めて利用したのはいつ頃ですか。
 質問9 お子さんが、オンラインゲーム（自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの）や、SNS（メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど）を初めて利用したのはいつ頃ですか。

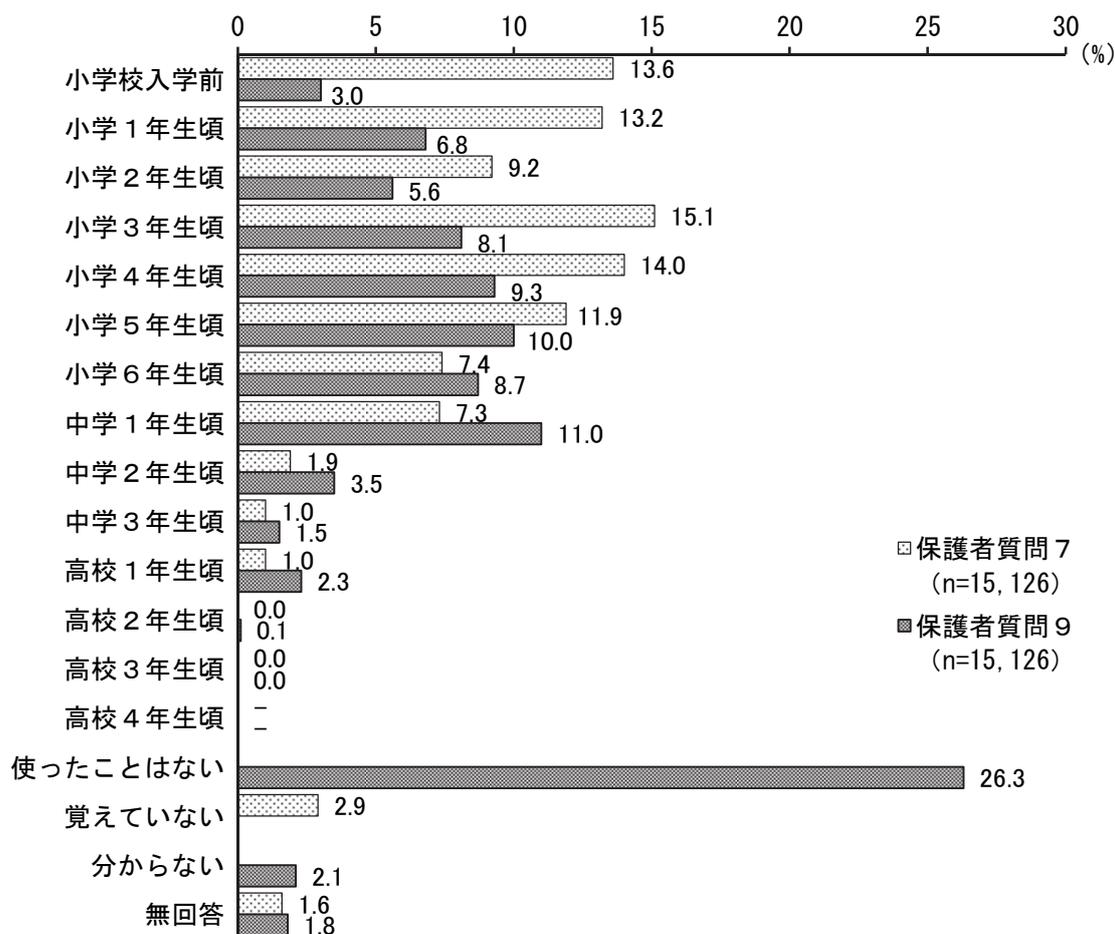
【分析】

子供がインターネットを初めて利用した時期について、保護者の認識は「小学3年生頃」（15.1%）で最も高くなっており、オンラインゲームやSNSを初めて利用したでは「中学1年生頃」（11.0%）が最も高くなっている。

【指導のポイント】

前項[4]においては、児童・生徒がオンラインゲームやSNSを利用した時期は「小学3年生頃」が多くなっており、保護者の認識時期と異なっている。

保護者の知らないところで、児童・生徒はネット上のコミュニケーションを始めている可能性がある。小学校低学年など、早い時期からの家庭への啓発が必要である。



[6] インターネットの利用開始時期

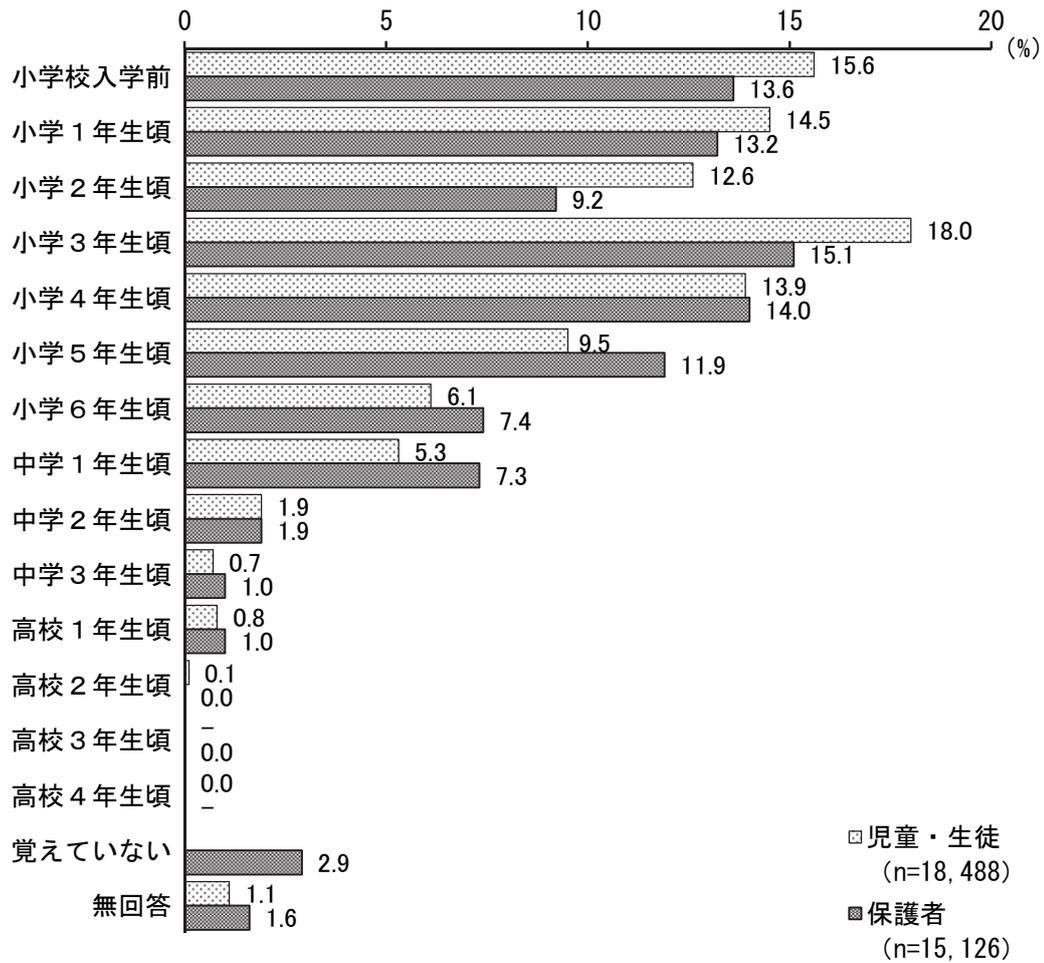
[対象：児童・生徒、保護者]

(児童・生徒) 質問5 インターネットを初めて利用したのはいつ頃ですか。

(保護者) 質問7 お子さんが、インターネットを初めて利用したのはいつ頃ですか。

【分析】

インターネットの利用開始時期について、児童・生徒、保護者ともに「小学3年生頃」(各18.0%、15.1%)で最も高くなっている。



[7] オンラインゲームやSNSの利用開始時期

[対象：児童・生徒、保護者]

(児童・生徒) 質問7 オンラインゲーム(自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの)や、SNS(メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど)を初めて利用したのはいつ頃ですか。

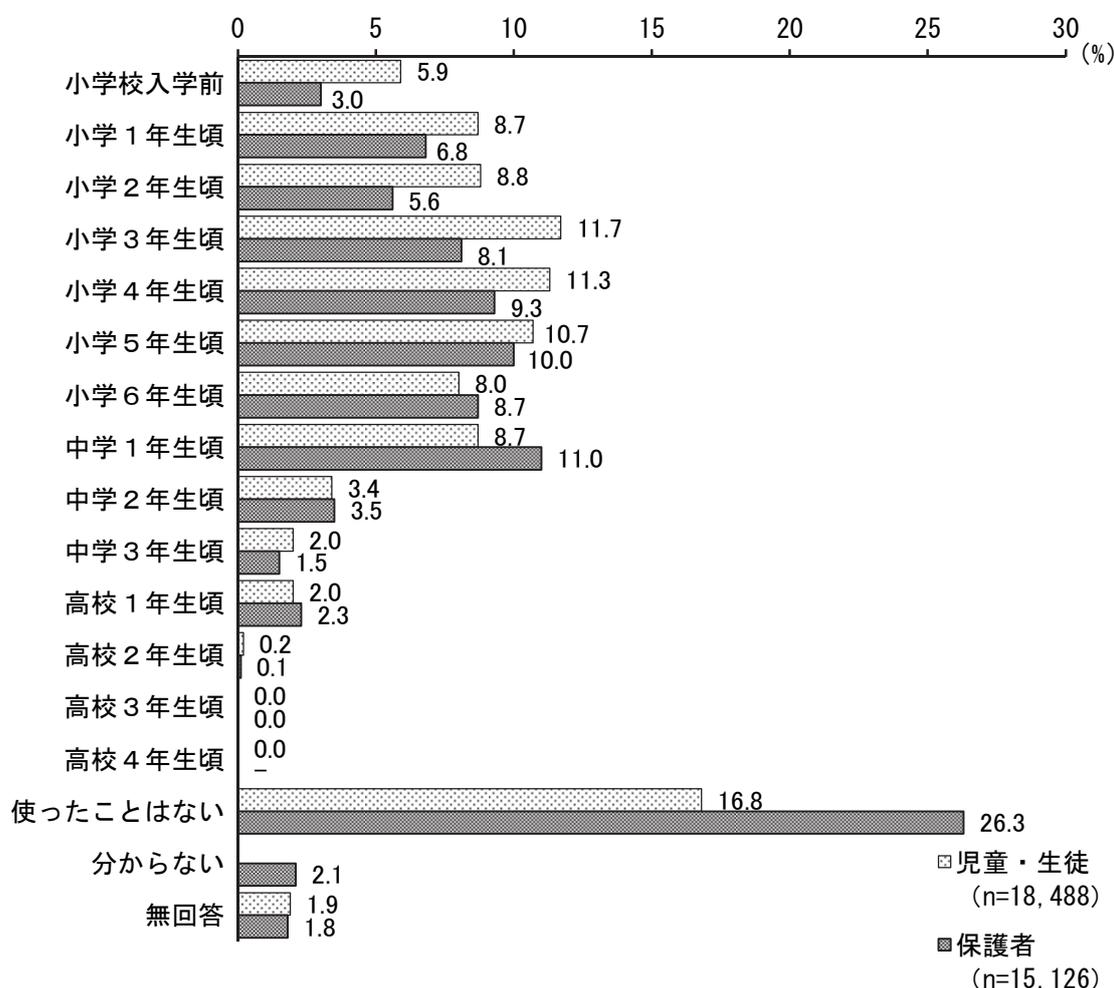
(保護者) 質問9 お子さんが、オンラインゲーム(自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの)や、SNS(メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど)を初めて利用したのはいつ頃ですか。

【分析】

オンラインゲームやSNSの利用開始時期について、児童・生徒で「小学3年生頃」(11.7%)が最も高く、保護者では「中学1年生頃」(11.0%)が最も高くなっている。一方で「使ったことはない」では、児童・生徒が16.8%に対して、保護者は26.3%とオンラインゲームやSNSの利用開始の認識がやや異なっている。

【指導のポイント】

保護者の知らないところで、児童・生徒がネット上のコミュニケーションを行っている場合もある。利用開始に当たっては、フィルタリングやペアレンタルコントロールを利用したり、事前に適切な利用範囲について十分話し合いをしたりするように啓発することが大切である。



[8] インターネットの利用目的

[対象：児童・生徒、保護者]

(児童・生徒) 質問6 インターネットを、どのような目的で利用しますか。

(保護者) 質問8 お子さんは、インターネットを、どのような目的で利用しますか。

【分析】

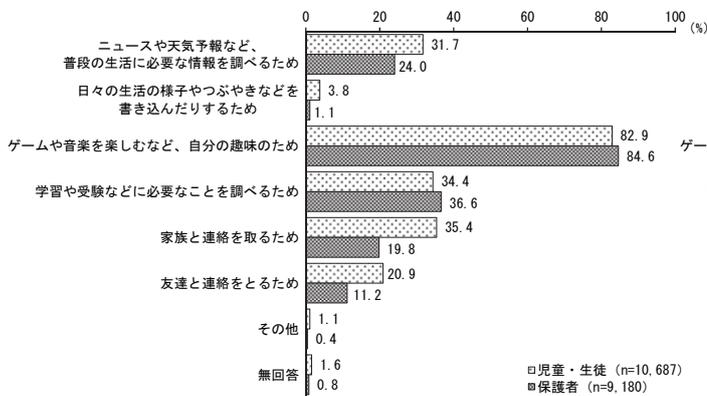
児童・生徒、保護者ともに、全ての校種で「ゲームや音楽を楽しむなど、自分の趣味のため」が最も高くなっており、8割を超えている。

【指導のポイント】

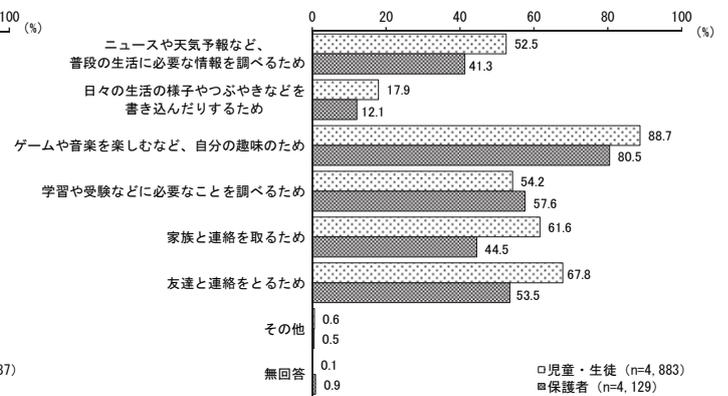
中学校、高等学校では、学習への利用も50%を超えている。ルールを作る際には、どのような目的で利用しているかも考慮して、話し合いを行うことが大切である。

また、長時間利用の弊害についても十分に話し合うことが大切である。

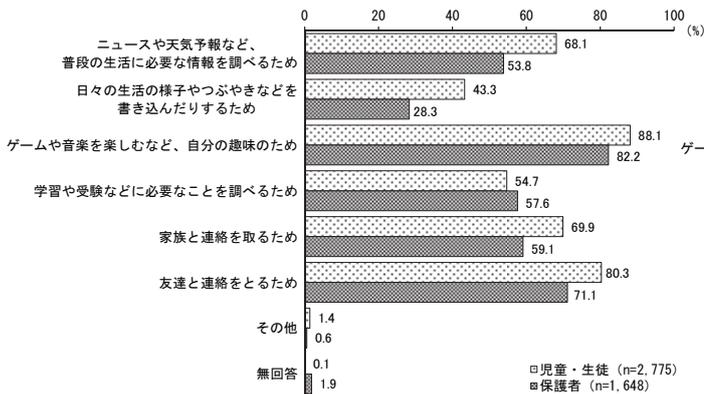
〈小学校〉



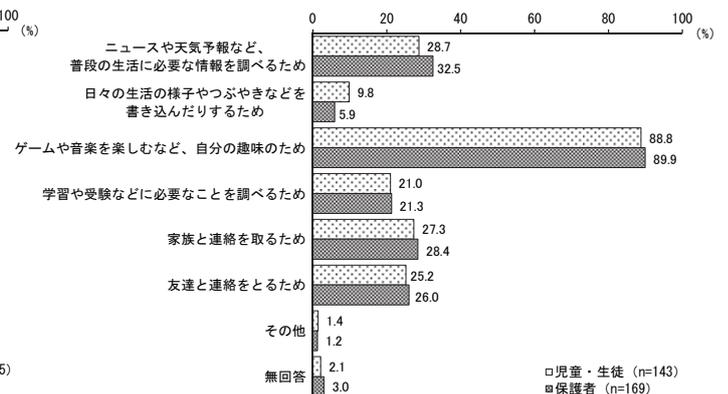
〈中学校〉



〈高等学校〉



〈特別支援学校〉



[9] 一日のインターネット利用時間

[対象：児童・生徒]

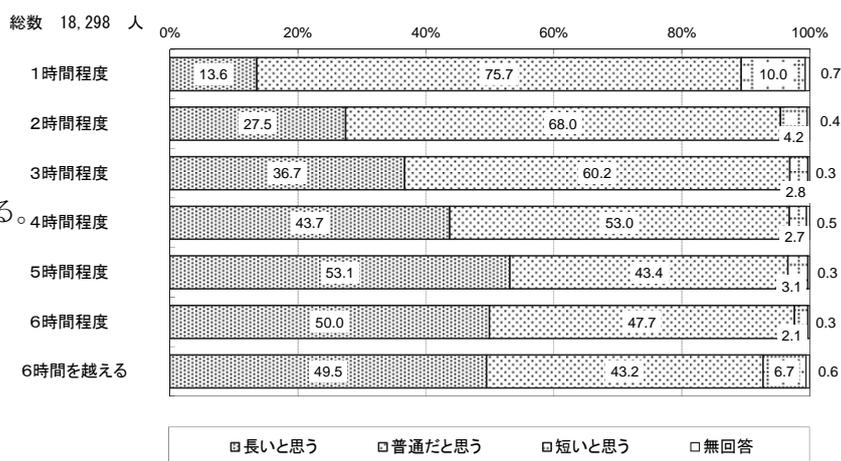
質問8 一日何時間くらい、インターネットを利用しますか。
 質問9 質問8で答えた利用時間について、どう思いますか。

【分析】

インターネットの一日の利用時間が増加するとともに、「長いと思う」も増加傾向にあり、『5時間程度』では、「長いと思う」が53.1%と最も高くなっている。

【指導のポイント】

長時間利用をしても、約半数は「普通」と感じている。
 長時間利用の弊害について考えさせ、適切なルール作りにつなげる必要がある。



[10] 一日のインターネット利用時間

[対象：保護者]

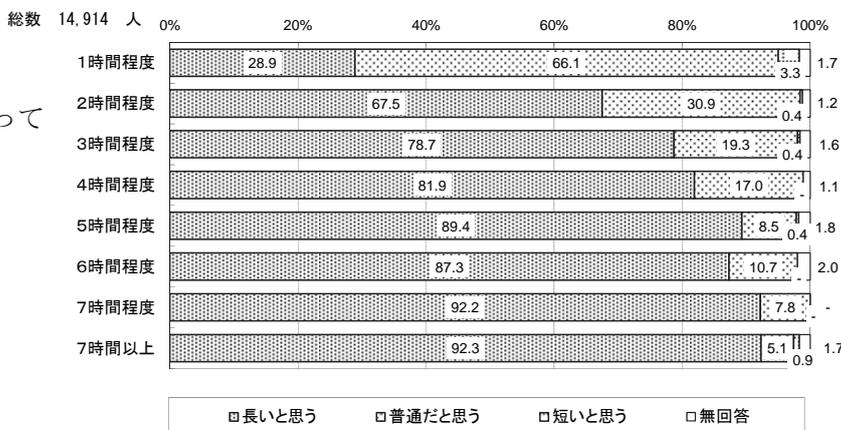
質問10 お子さんは、1日何時間くらい、インターネットを利用していますか。
 質問11 質問10で答えた利用時間について、どう思いますか。

【分析】

インターネットの一日の利用時間の認識で、利用時間が『2時間程度』から『7時間以上』で「長いと思う」が6割を超えており、児童・生徒の回答より割合が高くなっている。

【指導のポイント】

前項 [9] と大きく意識に差がある。
 適切な利用時間について十分に話し合ってルールを決めていく必要がある。



[11] 1日のインターネット利用時間のうちの、オンラインゲーム、SNSの利用時間

[対象：児童・生徒]

質問8 1日何時間くらい、インターネットを利用しますか。
 質問10 質問8で答えた利用時間のうち、オンラインゲーム（自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの）や、SNS（メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど）の利用時間はどれくらいですか。

【分析】

1日のインターネット利用時間と、そのうち、オンラインゲームやSNSを利用している時間の比較である。小学校、中学校、高等学校では、それぞれ2割前後がインターネット利用時間のほとんどをオンラインゲームやSNS利用としている。

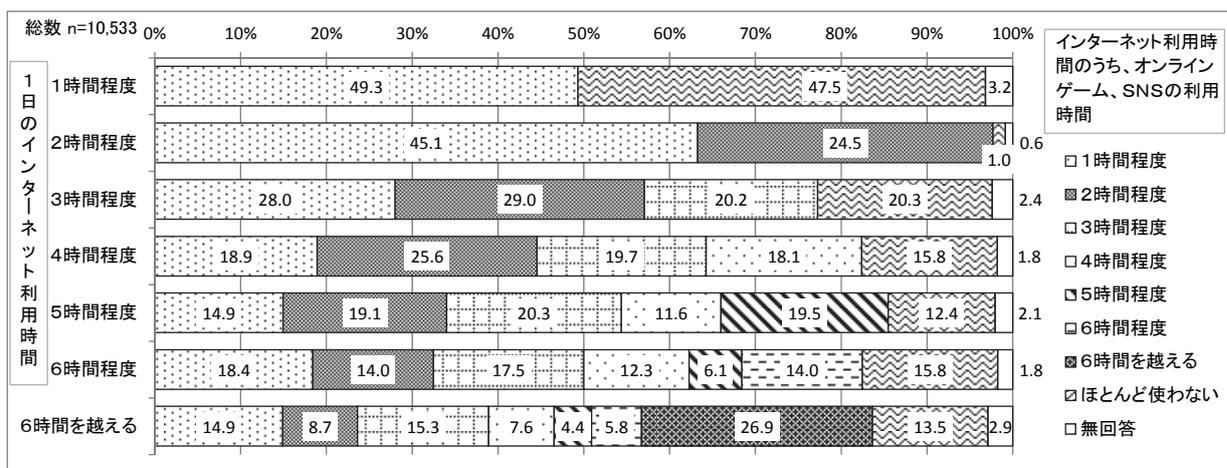
特に、中学校や高等学校において、総利用時間6時間程度の生徒で、その時間のほとんどをオンラインゲームやSNS利用としている生徒は3割程度となっている。

【指導のポイント】

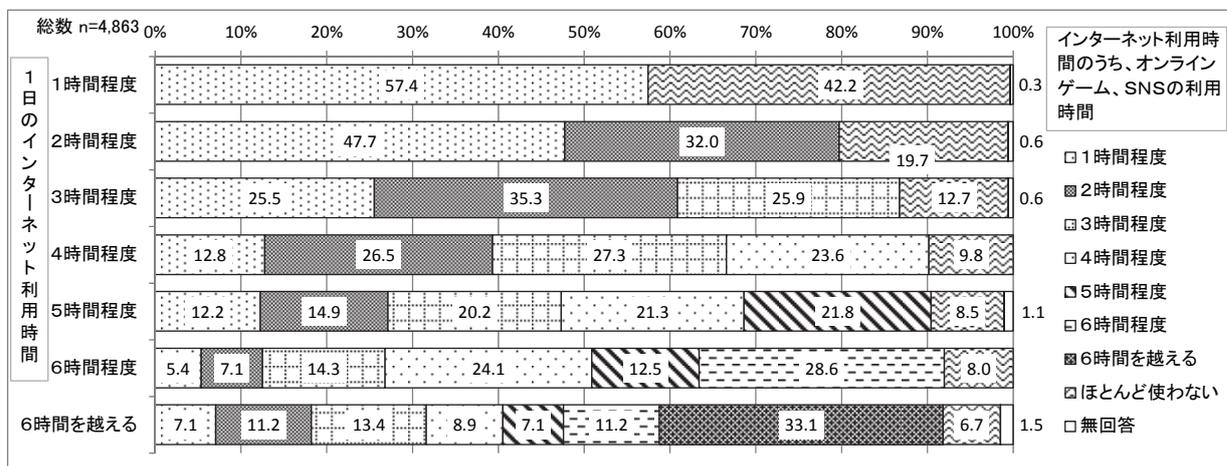
適切な利用時間について十分に話し合っ、ルールを定めていく必要がある。

【1日のインターネット利用時間のうちの、オンラインゲーム、SNSの利用時間①】

〈小学校〉

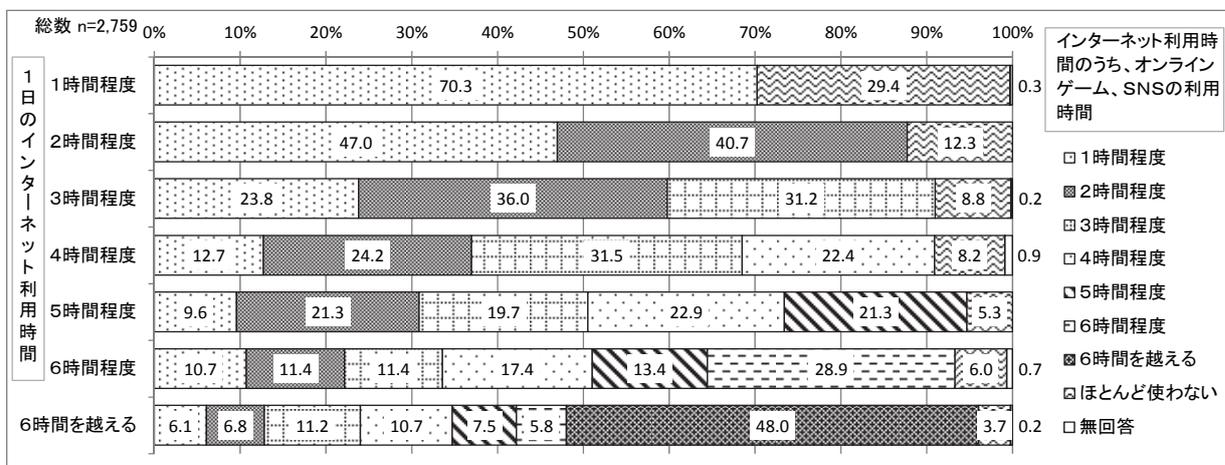


〈中学校〉

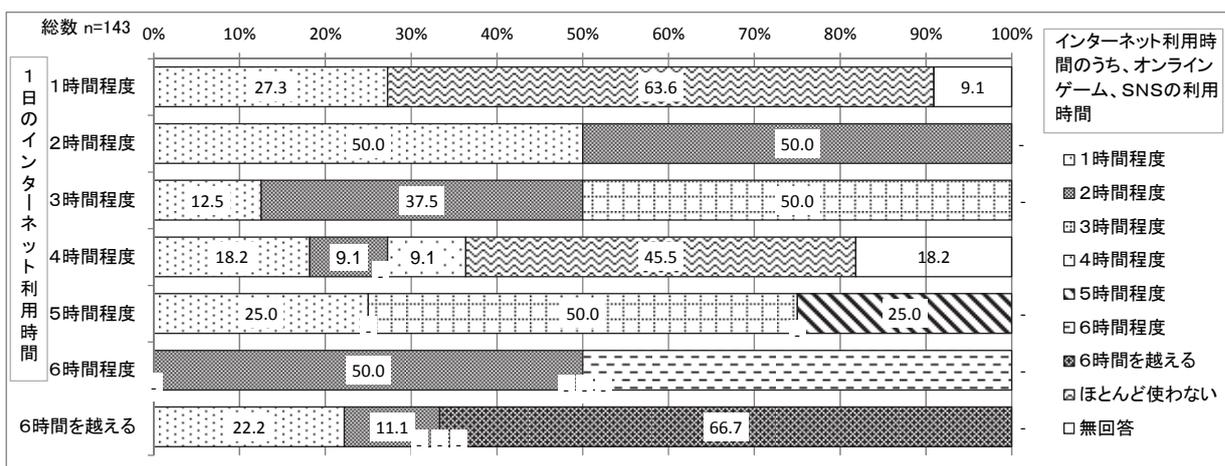


【1日のインターネット利用時間のうちの、オンラインゲーム、SNSの利用時間②】

〈高等学校〉



〈特別支援学校〉



[12] 1日のインターネット利用時間

[対象：児童・生徒、保護者]

(児童・生徒) 質問8 1日何時間くらい、インターネットを利用しますか。

(保護者) 質問10 お子さんは、1日何時間くらい、インターネットを利用していますか。

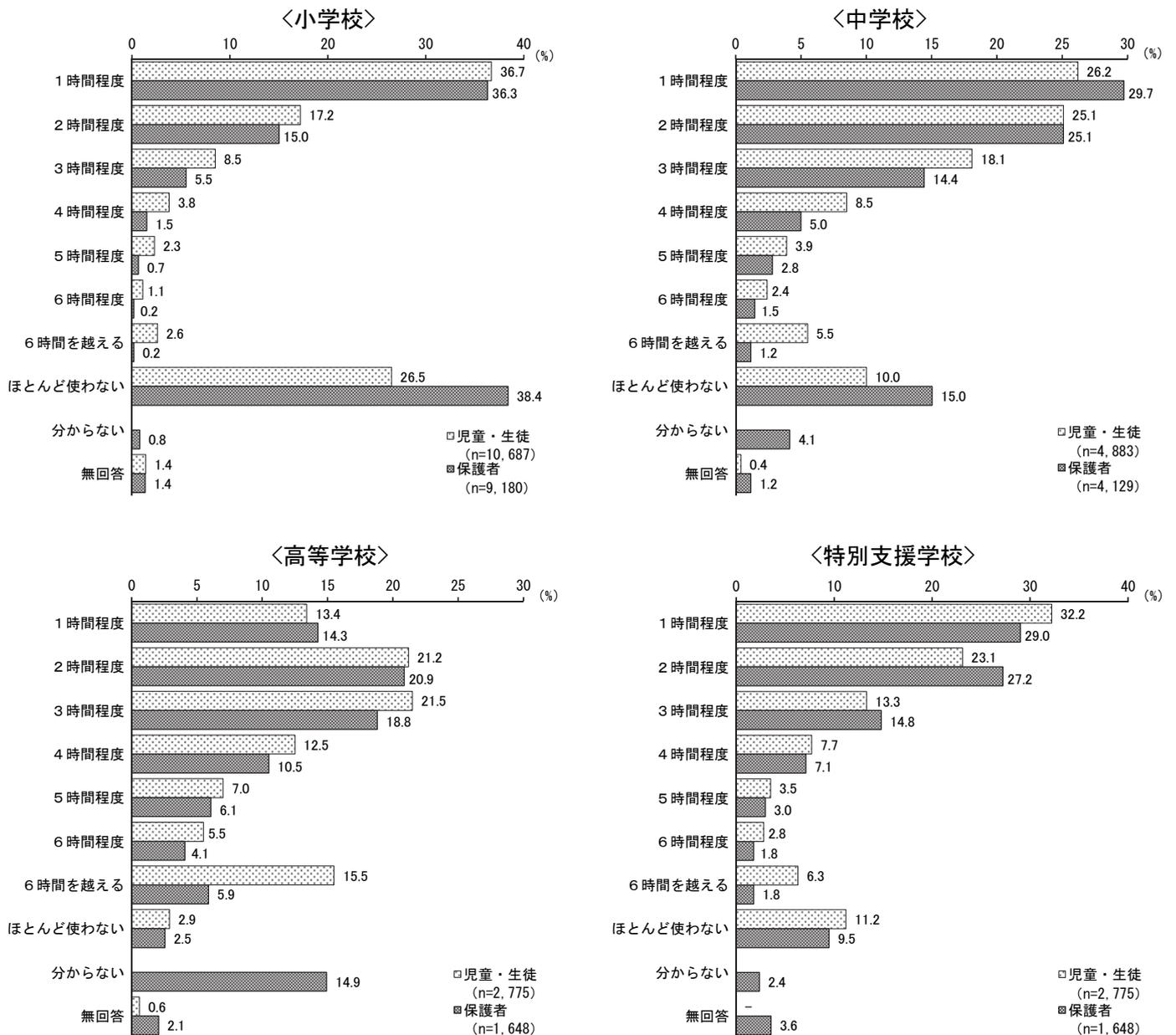
【分析】

児童・生徒では、『高等学校』を除く全ての校種でインターネットの利用時間で「1時間程度」が最も高くなっている。『高等学校』では、児童・生徒で「3時間程度」、保護者で「2時間程度」がそれぞれ最も高くなっている。一方で「ほとんど使わない」は、学年が上がるにつれて減少傾向にある。

【指導のポイント】

小学生、中学生では、「ほとんど使わない」の児童・生徒と保護者の回答に差がある。

保護者の知らない間に児童・生徒が利用できるようになることも考え、適切な利用方法について話し合ったり、利用のためのルールを決めたりするように啓発する必要がある。



[13] オンラインゲームやSNSの利用時間

[対象：児童・生徒、保護者]

(児童・生徒) 質問10 質問8で答えた利用時間のうち、オンラインゲーム(自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの)や、SNS(メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど)の利用時間はどれくらいですか。

(保護者) 質問12 質問10で答えた利用時間のうち、オンラインゲーム(自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの)や、SNS(メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど)の利用時間はどれくらいですか。

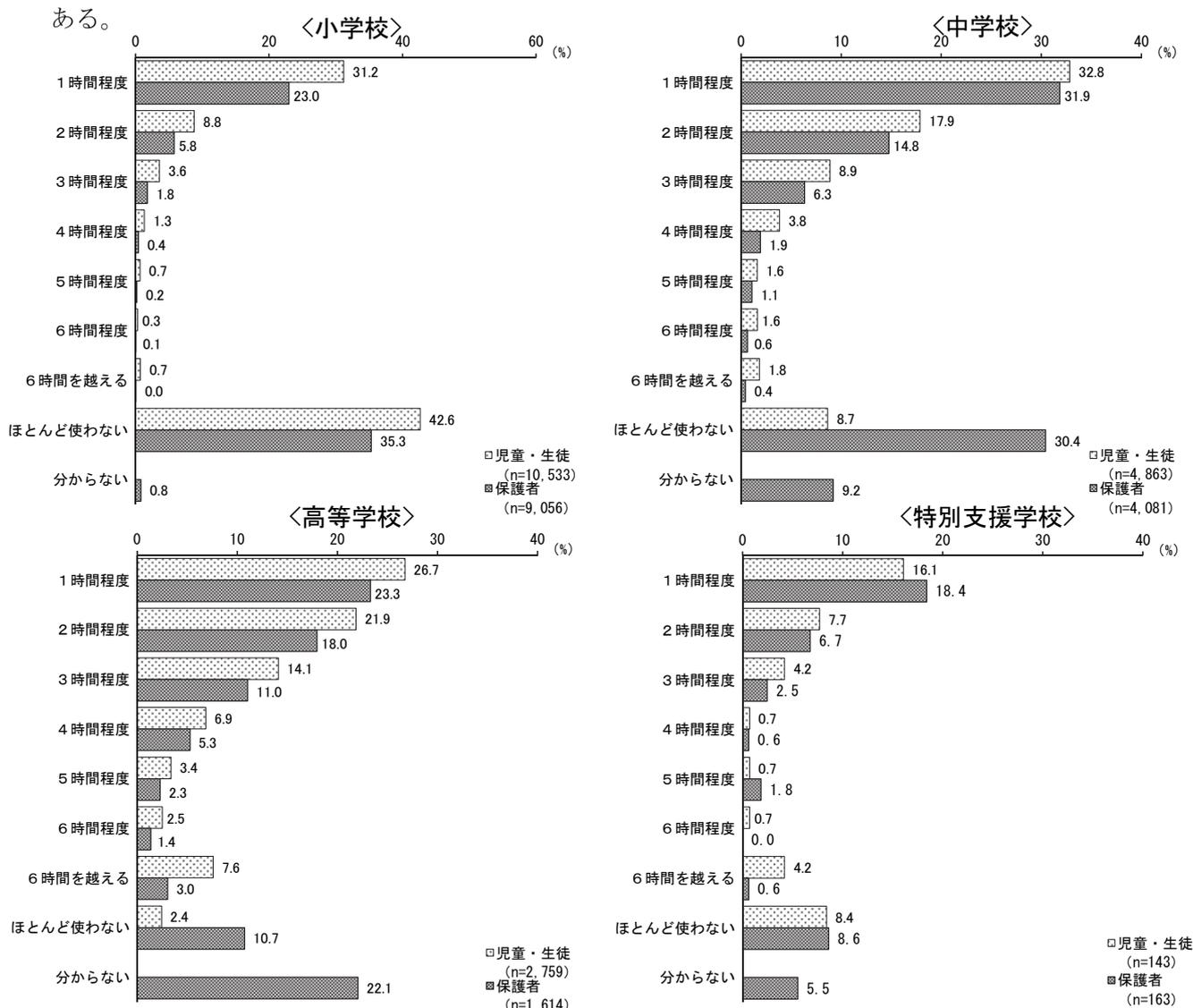
【分析】

児童・生徒、保護者ともに、『小学校』で「ほとんど使わない」が最も高く、『中学校』、『高等学校』、『特別支援学校』で「1時間程度」が最も高くなっている。また、児童・生徒、保護者ともに、「ほとんど使わない」は、学年が上がるにつれて減少傾向にある。

【指導のポイント】

学年が上がるにつれて、保護者の「分からない」という回答の割合が増えている。

適切な利用方法について話し合ったり、利用のためのルールを決めたりするように啓発する必要がある。



※保護者の「7時間程度」、「7時間以上」は、「6時間を越える」に合算している。 ※無回答は、表示していない。

[14] インターネット利用による生活や健康の変化（経年比較）

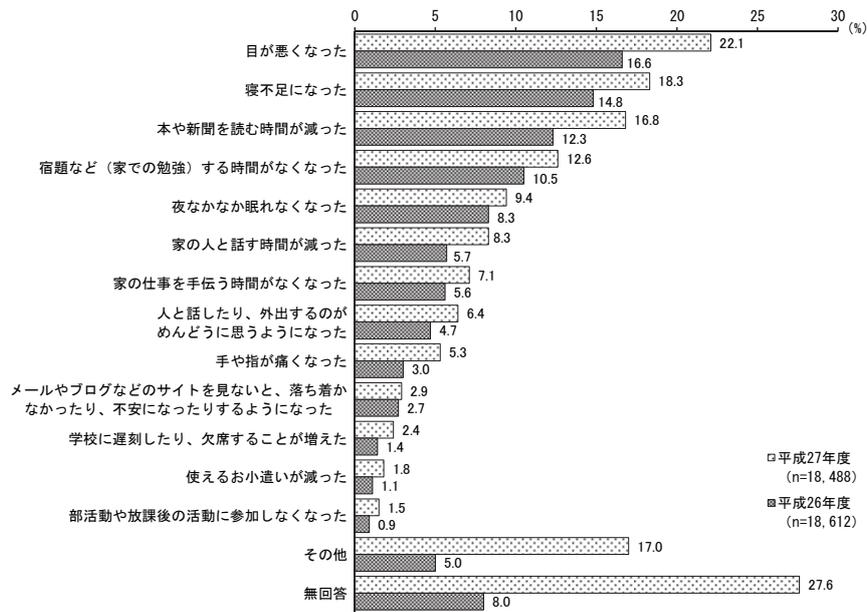
[対象：児童・生徒]

【参考】

インターネット利用による生活や健康の変化

全体では「目が悪くなった」が昨年度同様、最も高くなっている。校種別では、『特別支援学校』を除く全ての校種で「目が悪くなった」が最も高くなっている。『特別支援学校』では、「夜なかなか眠れなくなった」が本年度は最も高くなっている。

【インターネット利用による生活や健康の変化（経年比較）】



【インターネット利用による生活や健康の変化（経年比較）】

	学校種別 (%)									
	全体		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度	平成27年度	平成26年度
全 体 (件)	18,488	18,612	10,687	10,052	4,883	5,214	2,775	3,222	143	124
目が悪くなった	22.1	16.6	15.5	9.8	30.3	22.7	33.2	28.0	16.8	15.3
寝不足になった	18.3	14.8	11.8	7.7	25.2	21.3	31.4	26.3	16.1	13.7
本や新聞を読む時間が減った	16.8	12.3	14.1	9.0	19.9	14.4	21.6	19.2	13.3	8.9
宿題など（家での勉強）する時間がなくなった	12.6	10.5	8.1	4.5	18.7	16.8	19.6	19.2	9.1	5.6
夜なかなか眠れなくなった	9.4	8.3	7.8	5.4	9.9	10.9	14.6	13.2	17.5	10.5
家の人と話す時間が減った	8.3	5.7	8.1	4.2	8.9	7.7	7.8	6.9	10.5	10.5
家の仕事を手伝う時間がなくなった	7.1	5.6	7.0	4.1	7.9	8.0	6.2	5.9	7.0	8.1
人と話したり、外出するのがめんどろに思うようになった	6.4	4.7	5.9	3.2	7.1	6.4	7.3	6.4	7.0	3.2
手や指が痛くなった	5.3	3.0	6.2	3.2	3.9	2.5	4.5	3.0	2.1	8.1
メールやブログなどのサイトを見ないと、落ち着かなかつたり、不安になったりするようになった	2.9	2.7	1.6	1.0	4.3	4.3	5.4	5.3	3.5	4.8
学校に遅刻したり、欠席することが増えた	2.4	1.4	2.0	1.2	1.8	1.1	4.7	2.4	2.8	1.6
使えるお小遣いが減った	1.8	1.1	1.9	1.1	1.5	1.1	1.9	1.2	1.4	1.6
部活動や放課後の活動に参加しなくなった	1.5	0.9	1.0	0.4	2.0	1.4	2.5	1.6	1.4	-
その他	17.0	5.0	21.6	5.8	11.5	4.6	9.0	3.2	16.1	4.0
無回答	27.6	8.0	31.6	8.3	23.7	7.2	18.4	7.9	37.1	12.9

[15] インターネット利用時のルールについて

[対象：児童・生徒、保護者]

(児童・生徒) 質問 13 インターネットを利用するときのルールを決めていますか。

(保護者) 質問 14 インターネットを利用するときのルールを決めていますか。

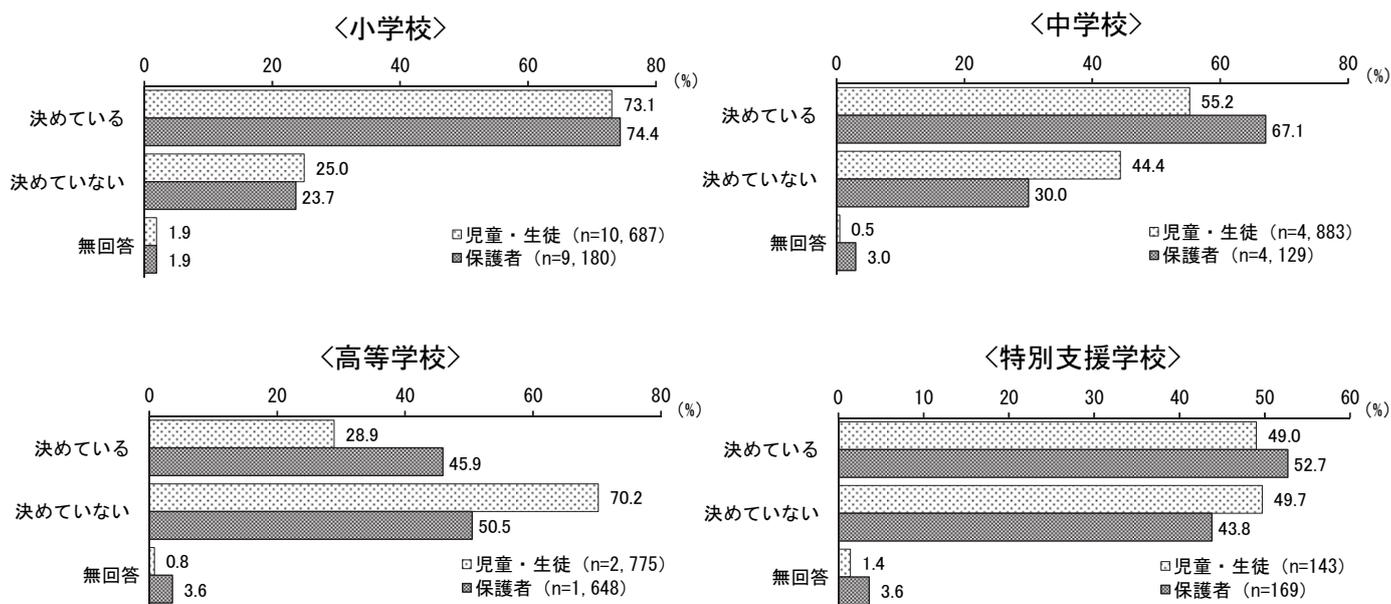
【分析】

児童・生徒、保護者ともに、『小学校』、『中学校』で「決めている」の割合が「決めていない」と比べて高くなっているが、『高等学校』では「決めていない」の方が高くなっている。『特別支援学校』では、児童・生徒で「決めていない」が49.7%、保護者で「決めている」が52.7%とそれぞれ高くなっている。

【指導のポイント】

中学生、高校生では、生徒と保護者の回答に差があり、特に保護者は決めていると思っけていても、子供はそのように認識していないことが考えられる。

話し合ってルールを決めることの大切さを伝え、家庭でも改めてルールについて話し合いを行うように啓発していく必要がある。



[16] インターネット利用時のルール内容

[対象：児童・生徒、保護者]

(児童・生徒) 質問14 どのようなルールを決めていますか。

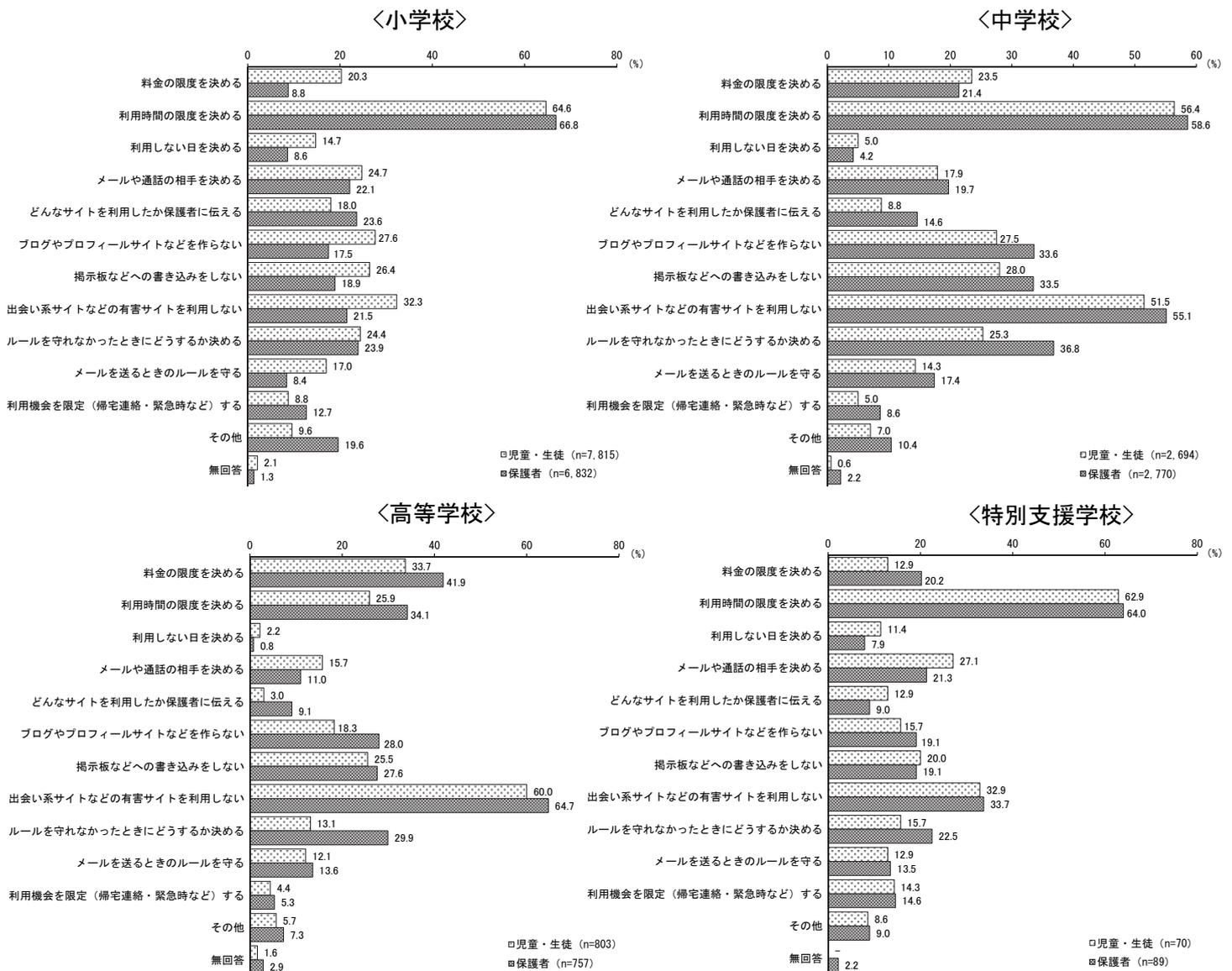
(保護者) 質問15 どのようなルールを決めていますか。

【分析】

児童・生徒、保護者ともに、『高等学校』を除く全ての校種で「利用時間の限度を決める」が5割を超えて最も高くなっている。『高等学校』では、児童・生徒と保護者ともに、「出会い系サイトなどの有害サイトを利用しない」が6割を超える。

【指導のポイント】

調査結果を参考にしながら、話し合いを通して、児童・生徒の実態に応じた、適切なルールを定める必要がある。



[17] インターネット利用時のルール内容（経年比較）

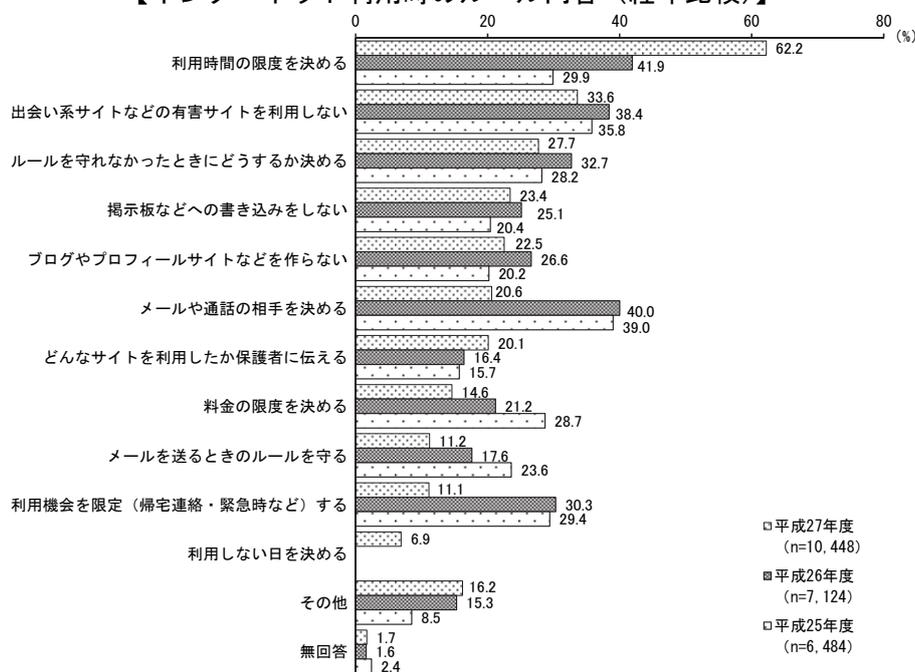
[対象：保護者]

【参考】

インターネット利用時のルール内容

平成25年度、26年度及び本年度の比較で、全体では平成27年度と26年度で「利用時間の限度を決める」、平成25年度で「メールや通話の相手を決める」がそれぞれ最も高くなっている。校種別では、『小学校』で平成25年度及び26年度で「メールや通話の相手を決める」が5割を超えて最も高くなっているが、本年度では、「利用時間の限度を決める」が6割半ばと最も高くなっている。『中学校』では、平成25年度及び26年度で「出会い系サイトなどの有害サイトを利用しない」が5割を超えて最も高く、本年度では、「利用時間の限度を決める」が6割弱と最も高くなっている。

【インターネット利用時のルール内容（経年比較）】



【インターネット利用時のルール内容（経年比較）】

	全体			学校種別											
	平成27年度	平成26年度	平成25年度	小学校			中学校			高等学校			特別支援学校		
全体 (件)	10,448	7,124	6,484	平成27年度	平成26年度	平成25年度									
利用時間の限度を決める	62.2	41.9	29.9	66.8	39.4	24.5	58.6	51.8	43.0	34.1	27.8	17.7	64.0	26.8	29.2
出会い系サイトなどの有害サイトを利用しない	33.6	38.4	35.8	21.5	23.5	15.7	55.1	57.1	50.8	64.7	70.6	65.4	33.7	41.1	41.6
ルールを守れなかったときにどうするか決める	27.7	32.7	28.2	23.9	25.6	18.6	36.8	46.2	41.6	29.9	34.0	28.3	22.5	32.1	33.7
掲示板などへの書き込みをしない	23.4	25.1	20.4	18.9	18.7	12.2	33.5	36.2	30.9	27.6	28.5	22.8	19.1	33.9	22.5
ブログやプロフィールサイトなどを作らない	22.5	26.6	20.2	17.5	20.1	11.5	33.6	37.9	31.4	28.0	30.5	22.7	19.1	26.8	19.1
メールや通話の相手を決める	20.6	40.0	39.0	22.1	51.2	58.4	19.7	28.3	25.3	11.0	8.5	8.1	21.3	44.6	40.4
どんなサイトを利用したか保護者に伝える	20.1	16.4	15.7	23.6	16.8	13.9	14.6	17.7	20.1	9.1	9.5	11.5	9.0	16.1	19.1
料金の限度を決める	14.6	21.2	28.7	8.8	11.5	12.6	21.4	31.0	37.2	41.9	48.9	59.1	20.2	37.5	47.2
メールを送るときのルールを守る	11.2	17.6	23.6	8.4	15.7	16.3	17.4	22.5	34.9	13.6	13.9	19.8	13.5	19.6	39.3
利用機会を限定（帰宅連絡・緊急時など）する	11.1	30.3	29.4	12.7	39.6	47.5	8.6	19.5	14.5	5.3	7.0	5.6	14.6	39.3	28.1
利用しない日を決める	6.9	-	-	8.6	-	-	4.2	-	-	0.8	-	-	7.9	-	-
その他	16.2	15.3	8.5	19.6	15.6	8.4	10.4	15.2	8.9	7.3	14.8	8.6	9.0	8.9	-
無回答	1.7	1.6	2.4	1.3	1.9	2.4	2.2	1.1	2.6	2.9	1.0	1.8	2.2	7.1	1.1

[18] ルールを決めるときの話合いの有無

[対象：児童・生徒、保護者]

(児童・生徒) 質問 16 質問 15で「①家族」に○を付けた人にお聞きします。ルールを決めるときに、話合いを行いましたか。

(保護者) 質問 16 ルールを決めるときに、お子さんと話し合って決めましたか。

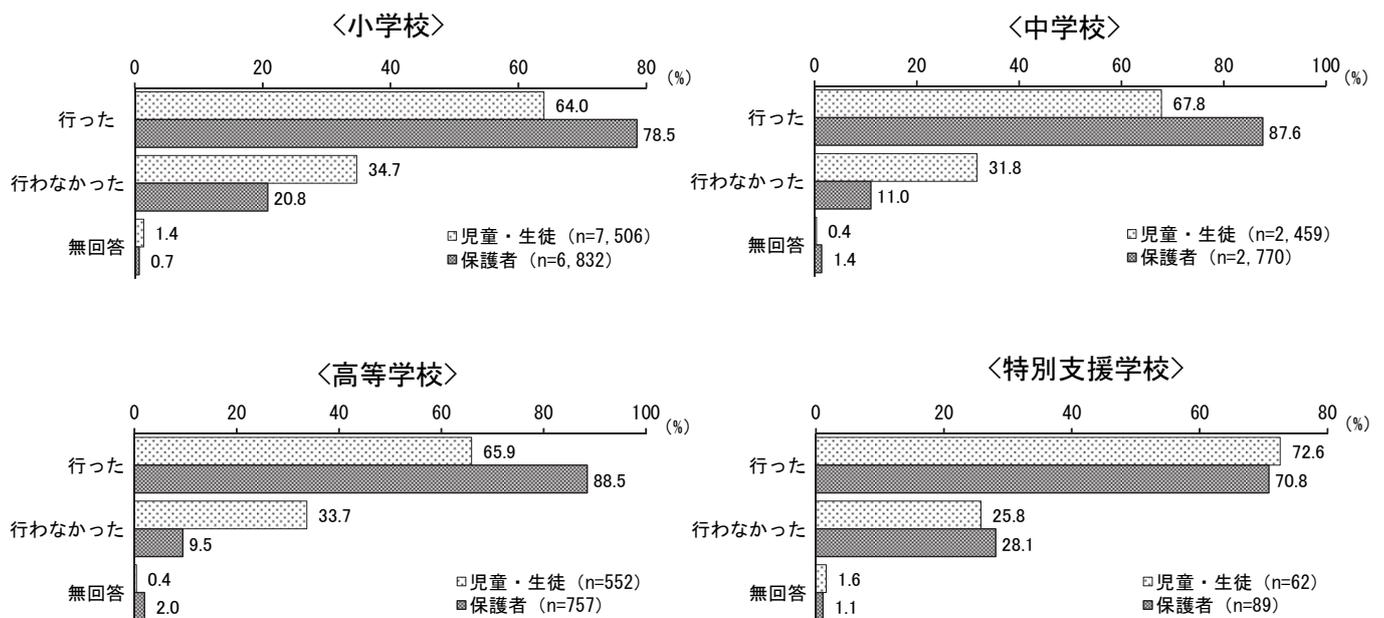
【分析】

児童・生徒、保護者ともに、全ての校種でルールを決める時に話合いを「行った」が6割を超えている。また、保護者では、児童・生徒と比べて話合いを「行った」が高く、全ての校種で7割を超えている。

『特別支援学校』では、児童・生徒と保護者で大きな差はみられない。

【指導のポイント】

特別支援学校以外では、児童・生徒と保護者の認識に違いが見られる。一度ルールを決めた場合でも、定期的に見直しを行い、子供と十分に話し合う機会を確保するように家庭に対して啓発していくことが大切である。



[19] 家族とインターネット使用時のルールの話し合いと決めたルールを守っているか

[対象：児童・生徒]

質問16 質問15で「① 家族」に○を付けた人にお聞きします。ルールを決めるときに、話し合いを行いましたか。

質問17 質問15で「① 家族」に○を付けた人にお聞きします。決めたルールを守っていますか。

【分析】

家族と話し合いを『行った』と回答した児童・生徒のうち決めたルールを「守っている」は、全ての校種で6割を超えているが、一方で家族と話し合いを『行った』が決めたルールを「守れなかった」は、6割を超えている。

【指導のポイント】

ルールを決める時は、「もし守れなかったときにどうするか」も併せて考えることが大切である。

その際、事項[20]に示した理由も確認し、どうすれば決めたルールを守れるかについても、しっかりと話合う必要がある。

(%)

	全体	学校種別							
		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
		行った	行わなかった	行った	行わなかった	行った	行わなかった	行った	行わなかった
全体 (件)	10,472	4,802	2,602	1,666	782	364	186	45	16
守っている	7,223	65.9	33.2	68.3	31.4	65.5	34.3	74.4	25.6
守れなかったことがある	3,022	62.0	37.3	69.1	30.4	68.3	30.8	68.8	25.0
守っていない	227	47.0	51.3	55.7	44.3	61.5	38.5	100.0	-

※全体の件数は無回答を除いている。

[20] ルールを守れなかった理由

[対象：児童・生徒、保護者]

(児童・生徒) 質問18 質問17で②、又は③と答えた人にお聞きします。ルールを守れなかった理由は何ですか。

(保護者) 質問19 質問18で②、③と答えた方にお聞きします。ルールを守れなかった理由は何ですか。

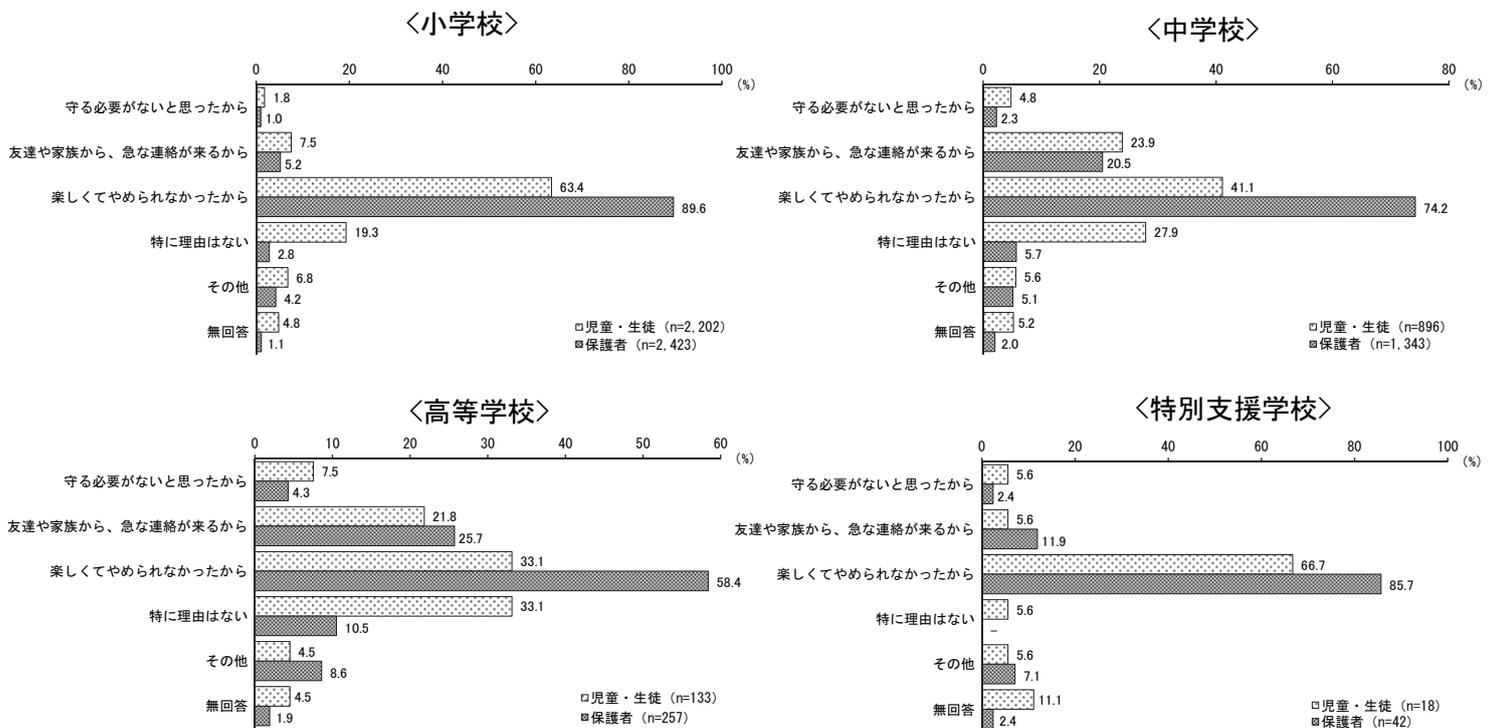
【分析】

児童・生徒、保護者ともに、『高等学校』を除く全ての校種で「楽しくてやめられなかったから」が最も高く、その中でも『小学校』、『特別支援学校』では6割を超える。

保護者の回答では、全ての校種で「楽しくてやめられなかったから」が最も高く、児童・生徒と比べて全体的に割合が高くなっている。

【指導のポイント】

中学生、高校生では「友達や家族から、急な連絡が来るから」も増えている。学校や家庭で利用時間に関するルールを定める必要がある。



[2 1] インターネット利用時にトラブルや嫌な思いをした経験の内容(学校種別経年比較)

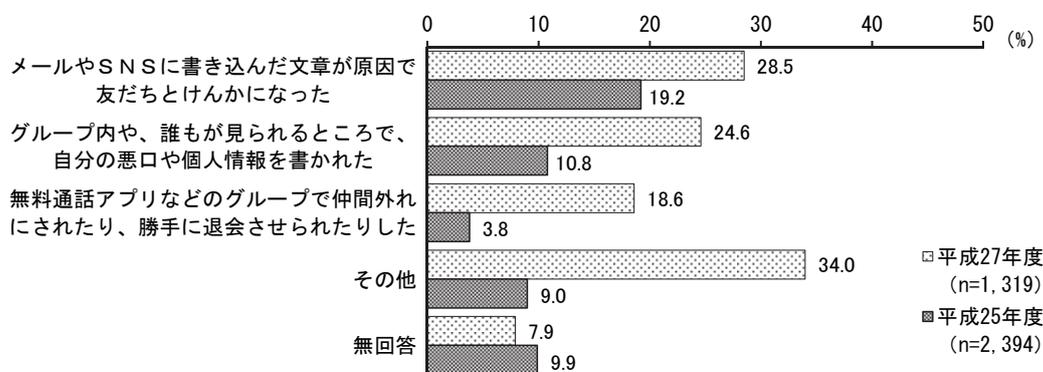
[対象：児童・生徒]

【参考】

インターネット利用時にトラブルや嫌な思いをした経験の内容

全体では「メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友達とけんかになった」が平成25年度同様、最も高くなっている。

学校種別では、平成27年度の『小学校』で「無料通話アプリなどのグループで仲間外れにされたり、勝手に退会させられたりした」(23.5%)が最も高くなっている。また、平成25年度の『高等学校』では、「グループ内や、誰も見られるところで、自分の悪口や個人情報を書かれた」(16.2%)が最も高くなっている。



(%)

	全体		学校種別							
			小学校		中学校		高等学校		特別支援学校	
	平成27年度	平成25年度								
全体 (件)	1,319	2,394	596	737	422	931	290	695	11	31
メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友達とけんかになった	28.5	19.2	16.3	15.7	35.5	24.8	43.1	15.3	36.4	19.4
グループ内や、誰も見られるところで、自分の悪口や個人情報を書かれた	24.6	10.8	18.3	4.1	28.4	12.2	32.4	16.2	9.1	6.5
無料通話アプリなどのグループで仲間外れにされたり、勝手に退会させられたりした	18.6	3.8	23.5	2.3	17.3	5.0	10.7	3.7	9.1	-
その他	34.0	9.0	38.6	15.2	28.9	6.4	31.4	5.8	45.5	12.9
無回答	7.9	9.9	11.4	21.2	5.7	5.8	3.8	3.7	9.1	3.2

[22] インターネット利用時にトラブルや嫌な思いをした経験の内容

[対象：児童・生徒、保護者]

(児童・生徒) 質問24 自分が経験したトラブルや嫌な思いは何ですか。

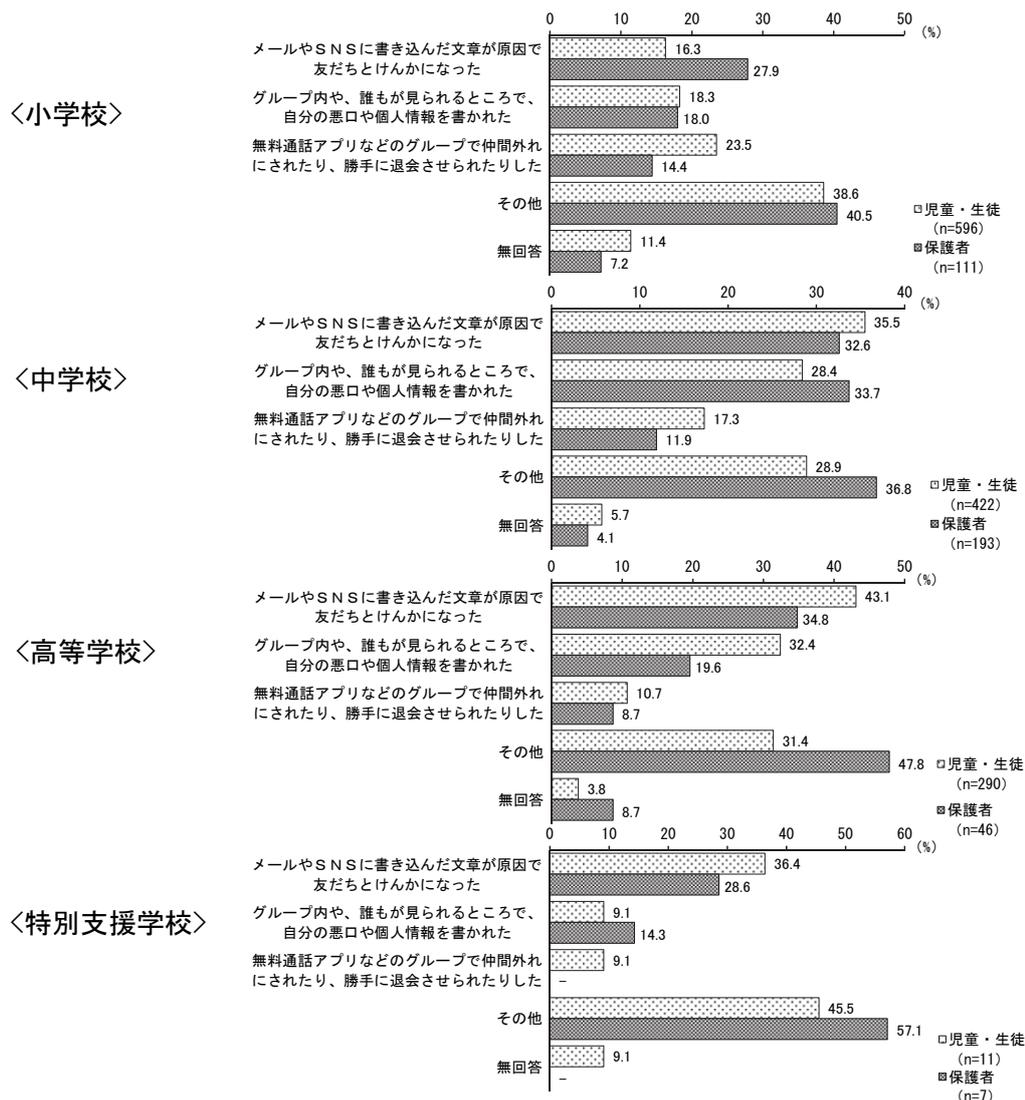
(保護者) 質問21 お子さんから受けた相談の内容は、どのようなものですか。

【分析】

児童・生徒の回答では、『小学校』を除く全ての校種で「メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友達とけんかになった」が最も高くなっており、保護者の回答では『中学校』を除く全ての校種で「メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友達とけんかになった」が最も高くなっている。児童・生徒の『小学校』では、「無料通話アプリなどのグループで仲間外れにされたり、勝手に退会させられたりした」が最も高くなっているが、相談を受けた内容では「メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友達とけんかになった」が最も高くなっている。「その他」の割合が高くなっているが、内容については、児童・生徒対象の内容はP.58参照、保護者対象の内容はP.81に記載している。

【指導のポイント】

東京都が作成している「平成27年度 インターネット等の適正な利用に関する指導事例集・活用の手引き」やSNS東京ルール学習用の補助教材「SNS東京ノート」等を活用し、情報モラルや情報リテラシーに関する教育を推進する。



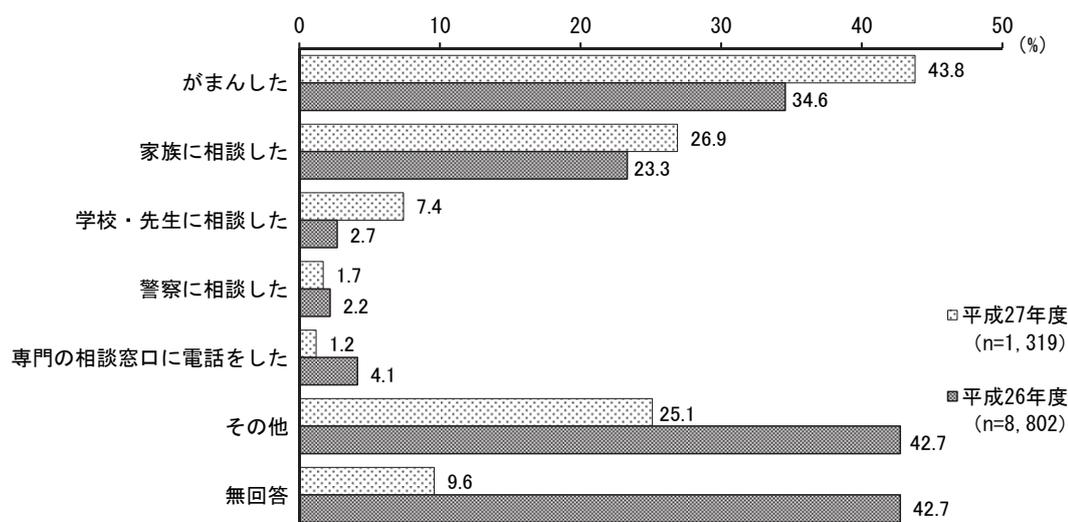
[23] トラブルを受けての対応（経年比較）

[対象：児童・生徒]

【参考】

トラブルを受けての対応

全体では、「がまんした」が平成26年度同様に最も高く、次いで、「家族に相談した」が高くなっている。本年度調査では、「学校・先生に相談した」が26年度と比較して、やや増加している。一方で「専門の相談窓口で電話をした」が2.9ポイント減少している。



※平成26年度調査の「専門相談窓口で電話をした」は、「いじめ相談ホットラインに相談した」、「教育相談センターに電話した」、「東京子どもネットケータイヘルプデスクに電話した」の項目を全て足した件数から割合を出している。

[24] SNS東京ルール認知状況

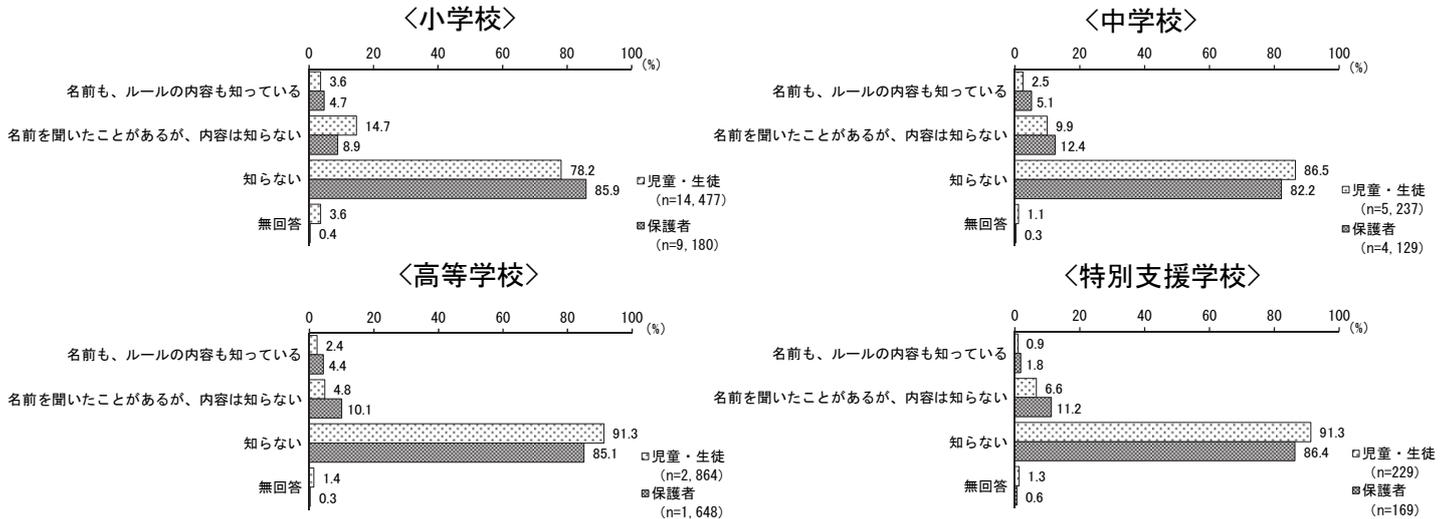
[対象：児童・生徒、保護者]

(児童・生徒) 質問27 「SNS東京ルール」を知っていますか。

(保護者) 質問22 「SNS東京ルール」を知っていますか。

【分析】

児童・生徒、保護者ともに、全ての校種でSNS東京ルールを「知らない」が7割を超えており、認知度が低くなっている。



[25] SNS東京ルールを知ったきっかけ

[対象：児童・生徒、保護者]

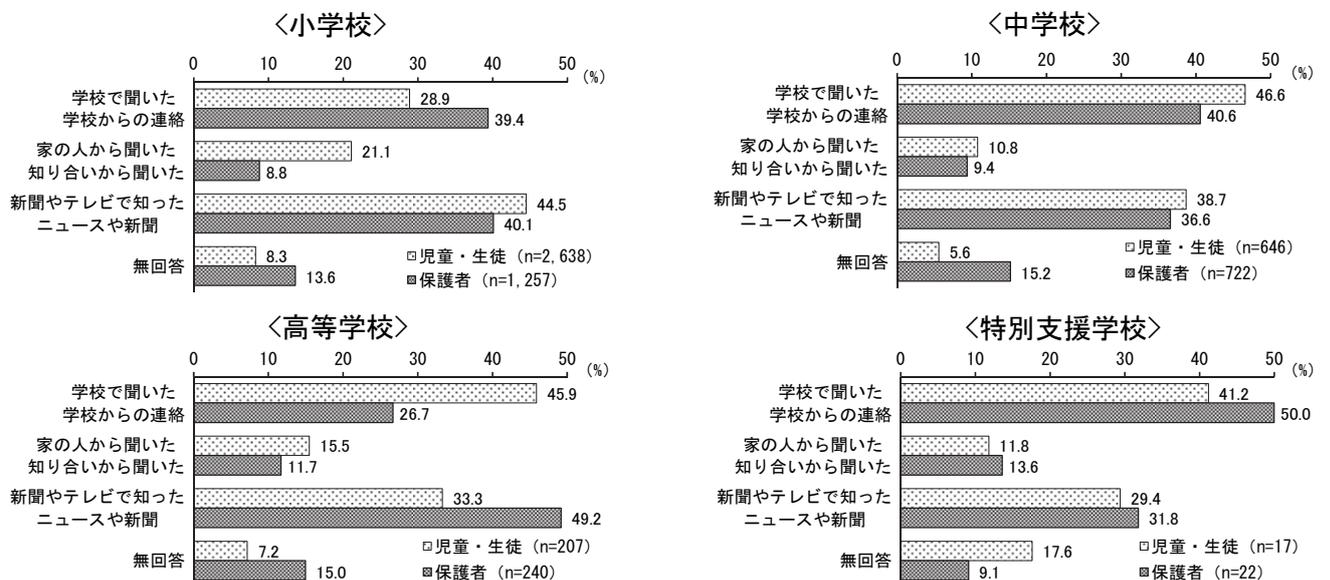
質問28 質問27で①、又は②と答えた人にお聞きします。「SNS東京ルール」を、どこで知りましたか。

質問23 質問22で①、又は②と答えた人にお聞きします。「SNS東京ルール」を、どこで知りましたか。

【分析】

児童・生徒では、『小学校』を除く全ての学校で「学校で聞いた」が最も高くなっている。

保護者では、『中学校』、『特別支援学校』で「学校からの連絡」が最も高く、『小学校』、『高等学校』で「ニュースや新聞」が最も高くなっている。



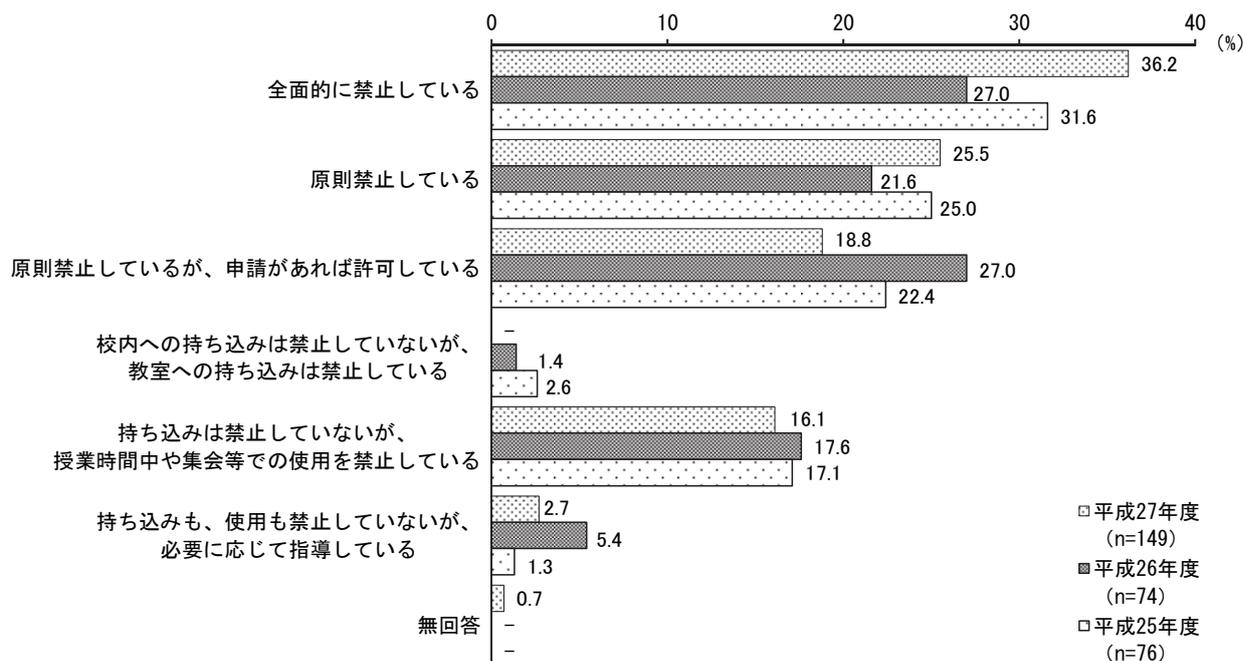
[26] スマートフォン等の校内への持ち込みについての指導（経年比較）

[対象：学校]

【参考】

スマートフォン等の校内への持ち込みについての指導

「全面的に禁止している」が平成25年度、26年度同様に最も高くなっている。校種では、『高等学校』で「持ち込みは禁止していないが、授業時間中や集会等での使用を禁止している」が平成25年度、26年度同様に最も高くなっている。



	全体			学校種別											
	平成27年度	平成26年度	平成25年度	小学校			中学校			高等学校			特別支援学校		
全体 (件)	149	74	76	76	34	36	42	20	24	25	15	13	6	5	3
全面的に禁止している	36.2	27.0	31.6	39.5	32.4	33.3	57.1	45.0	50.0	-	-	-	-	-	-
原則禁止している	25.5	21.6	25.0	35.5	35.3	33.3	26.2	15.0	29.2	-	-	-	-	20.0	-
原則禁止しているが、申請があれば許可している	18.8	27.0	22.4	25.0	32.4	33.3	16.7	40.0	20.8	-	6.7	-	33.3	-	-
校内への持ち込みは禁止していないが、教室への持ち込みは禁止している	-	1.4	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.0	66.7
持ち込みは禁止していないが、授業時間中や集会等での使用を禁止している	16.1	17.6	17.1	-	-	-	-	-	-	92.0	80.0	92.3	16.7	20.0	33.3
持ち込みも、使用も禁止していないが、必要に応じて指導している	2.7	5.4	1.3	-	-	-	-	-	-	8.0	13.3	7.7	33.3	40.0	-
無回答	0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-

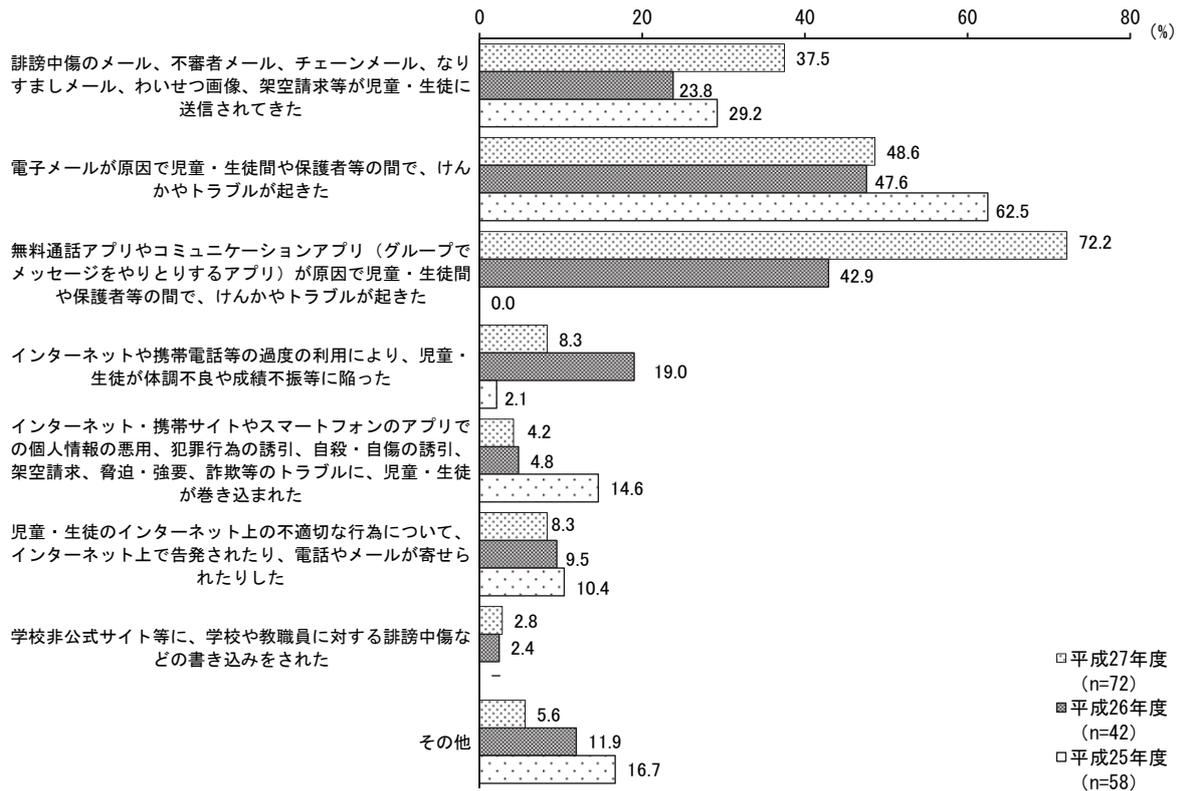
[27] インターネットや携帯電話に関するトラブルの内容（学校種別経年比較）

[対象：学校]

【参考】

インターネットや携帯電話に関するトラブルの内容

平成25年度、26年度で「電子メールが原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた」（各62.5%、47.6%）が最も高かったが本年度は、「無料通話アプリやコミュニケーションアプリ（グループでメッセージをやりとりするアプリ）が原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた」（72.2%）が最も高くなっている。



	全体			学校種別											
	平成27年度	平成26年度	平成25年度	小学校			中学校			高等学校			特別支援学校		
	平成27年度	平成26年度	平成25年度												
全体（件）	72	42	58	24	11	15	31	20	19	16	9	12	1	2	12
誹謗中傷のメール、不審者メール、チェーンメール、なりすましメール、わいせつ画像、架空請求等が児童・生徒に送信されてきた	37.5	23.8	29.2	25.0	9.1	20.0	45.2	40.0	47.4	43.8	11.1	-	-	-	16.6
電子メールが原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた	48.6	47.6	62.5	45.8	36.4	53.3	51.6	60.0	78.9	50.0	22.2	-	-	100.0	50.0
無料通話アプリやコミュニケーションアプリ（グループでメッセージをやりとりするアプリ）が原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた	72.2	42.9	-	54.2	27.3	-	83.9	65.0	-	75.0	11.1	-	100.0	50.0	-
インターネットや携帯電話等の過度の利用により、児童・生徒が体調不良や成績不振等に陥った	8.3	19.0	2.1	8.3	18.2	-	9.7	30.0	-	6.3	-	-	-	-	8.3
インターネット・携帯サイトやスマートフォンのアプリでの個人情報の悪用、犯罪行為の誘引、自殺・自傷の誘引、架空請求、脅迫・強要、詐欺等のトラブルに、児童・生徒が巻き込まれた	4.2	4.8	14.6	-	-	6.7	6.5	5.0	26.3	6.3	-	-	-	50.0	-
児童・生徒のインターネット上の不適切な行為について、インターネット上で告発されたり、電話やメールが寄せられたりした	8.3	9.5	10.4	-	-	-	3.2	5.0	5.3	31.3	33.3	-	-	-	33.3
学校非公式サイト等に、学校や教職員に対する誹謗中傷などの書き込みをされた	2.8	2.4	-	-	-	-	3.2	-	-	6.3	11.1	-	-	-	-
その他	5.6	11.9	16.7	12.5	9.1	26.7	3.2	-	5.3	-	44.4	-	-	-	25.0

※平成25年度調査では、「無料通話アプリやコミュニケーションアプリが原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた」の項目は設定されていない。

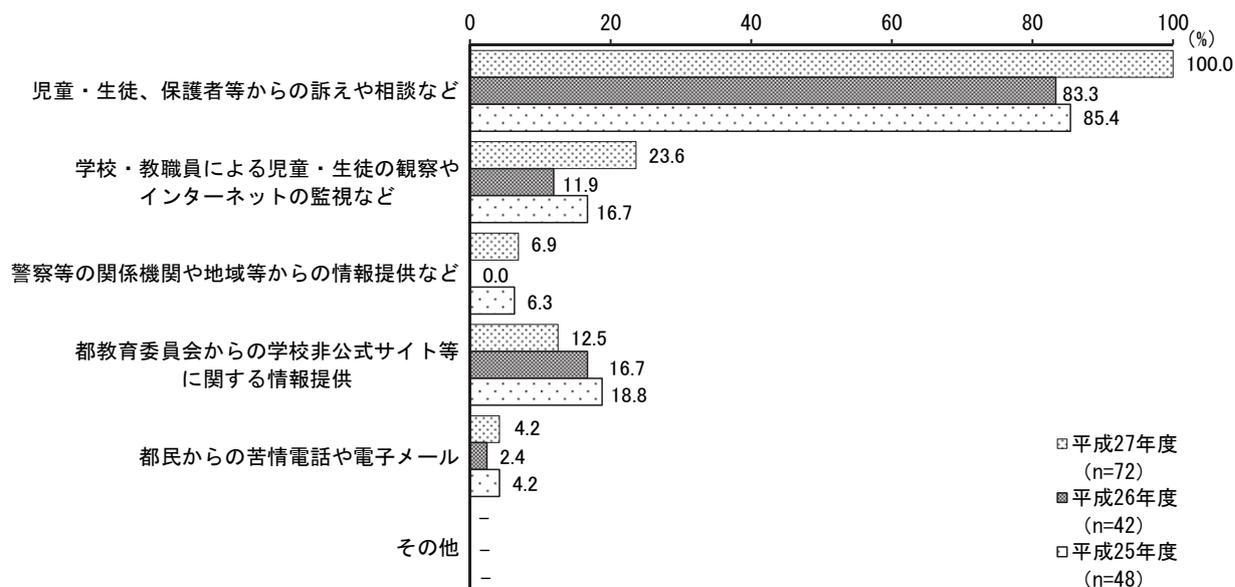
[28] トラブルの把握について（学校種別経年比較）

[対象：学校]

【参考】

トラブルの把握について

「児童・生徒、保護者等からの訴えや相談など」が8割を超えており、平成25年度、26年度と同様に最も高くなっている。



	全体			学校種別											
	平成27年度	平成26年度	平成25年度	小学校			中学校			高等学校			特別支援学校		
全体 (件)	72	42	48	平成27年度	平成26年度	平成25年度									
児童・生徒、保護者等からの訴えや相談など	100.0	83.3	85.4	100.0	90.9	86.7	100.0	100.0	94.7	100.0	33.3	66.7	100.0	100.0	100.0
学校・教職員による児童・生徒の観察やインターネットの監視など	23.6	11.9	16.7	12.5	9.1	13.3	25.8	10.0	10.5	37.5	22.2	33.3	-	-	-
警察等の関係機関や地域等からの情報提供など	6.9	-	6.3	-	-	-	12.9	-	10.5	6.3	-	-	-	-	50.0
都教育委員会からの学校非公式サイト等に関する情報提供	12.5	16.7	18.8	-	-	-	6.5	5.0	15.8	43.8	66.7	50.0	-	-	-
都民からの苦情電話や電子メール	4.2	2.4	4.2	-	-	-	-	-	-	18.8	11.1	16.7	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3 児童・生徒対象

[1] 学年

(上段:件/下段:%)

		全 体	小学 1 年生	小学 2 年生	小学 3 年生	小学 4 年生	小学 5 年生	小学 6 年生	中学 1 年生	中学 2 年生	中学 3 年生	高校 1 年生	高校 2 年生	高校 3 年生	高校 4 年生	無 回 答
全体		22,807	2,171 9.5	2,244 9.8	2,434 10.7	2,429 10.7	2,648 11.6	2,580 11.3	1,652 7.2	1,924 8.4	1,710 7.5	1,095 4.8	1,050 4.6	704 3.1	97 0.4	69 0.3
学校 種 別	小学校	14,477	2,158 14.9	2,228 15.4	2,423 16.7	2,416 16.7	2,636 18.2	2,568 17.7	-	-	-	-	-	-	-	48 0.3
	中学校	5,237	-	-	-	-	-	-	1,638 31.3	1,897 36.2	1,682 32.1	-	-	-	-	20 0.4
	高等学校	2,864	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,064 37.2	1,022 35.7	680 23.7	97 3.4	1 0.0
	特別支援学校	229	13 5.7	16 7.0	11 4.8	13 5.7	12 5.2	12 5.2	14 6.1	27 11.8	28 12.2	31 13.5	28 12.2	24 10.5	-	-

[2] 性別

(上段:件/下段:%)

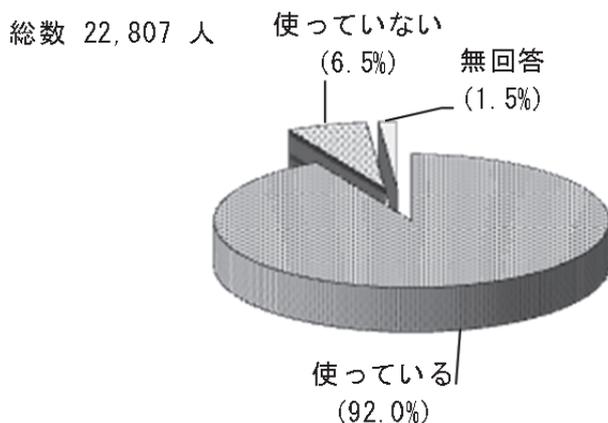
		全 体	男 子	女 子	無 回 答
全体		22,807	11,623 51.0	11,015 48.3	169 0.7
学校 種 別	小学校	14,477	7,270 50.2	7,087 49.0	120 0.8
	中学校	5,237	2,670 51.0	2,534 48.4	33 0.6
	高等学校	2,864	1,539 53.7	1,311 45.8	14 0.5
	特別支援学校	229	144 62.9	83 36.2	2 0.9

[3] インターネットに接続できる機器の利用状況

質問1 インターネットに接続することができる機器を使っていますか。※インターネットに接続できる機器については質問2の絵を見てください。

【分析】

全体では、「使っている」が92.0%と高くなっている。校種別では、「使っている」が『高等学校』で97.8%と最も高く、学年別では、『高校1年生』で98.2%と他の学年と比べて最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

		全 体	使 っ て い る	使 っ て い な い	無 回 答
全体		22,807	20,978 92.0	1,480 6.5	349 1.5
学 校 種 別	小学校	14,477	12,976 89.6	1,204 8.3	297 2.1
	中学校	5,237	5,030 96.0	164 3.1	43 0.8
	高等学校	2,864	2,800 97.8	56 2.0	8 0.3
	特別支援学校	229	172 75.1	56 24.5	1 0.4

※学年不明を除く

(上段:件/下段:%)

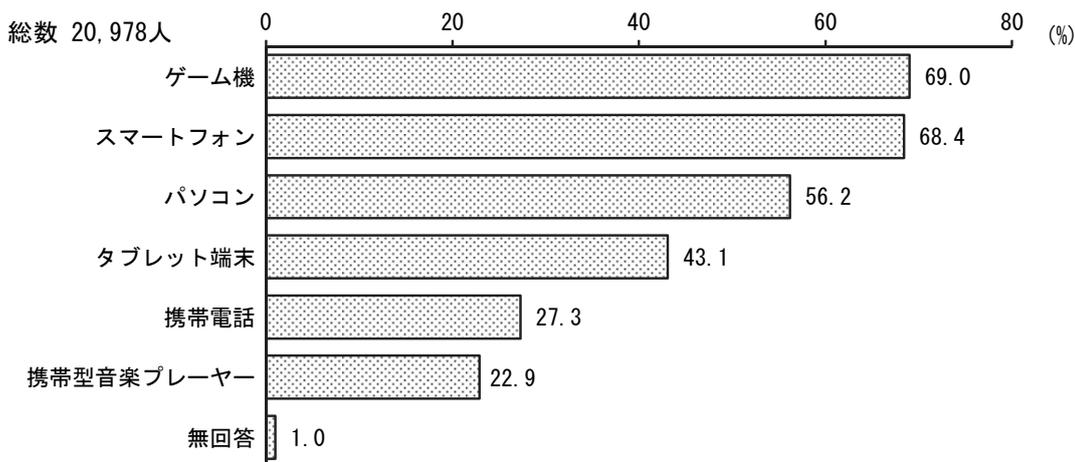
		全 体	使 っ て い る	使 っ て い な い	無 回 答
全体		22,738	20,978 92.0	1,480 6.5	349 1.5
学 年 別	小学1年生	2,171	1,597 73.6	498 22.9	76 3.5
	小学2年生	2,244	1,865 83.1	306 13.6	73 3.3
	小学3年生	2,434	2,202 90.5	197 8.1	35 1.4
	小学4年生	2,429	2,295 94.5	97 4.0	37 1.5
	小学5年生	2,648	2,543 96.0	73 2.8	32 1.2
	小学6年生	2,580	2,490 96.5	52 2.0	38 1.5
	中学1年生	1,652	1,584 95.9	57 3.5	11 0.7
	中学2年生	1,924	1,858 96.6	52 2.7	14 0.7
	中学3年生	1,710	1,626 95.1	76 4.4	8 0.5
	高校1年生	1,095	1,075 98.2	18 1.6	2 0.2
	高校2年生	1,050	1,027 97.8	19 1.8	4 0.4
	高校3年生	704	675 95.9	27 3.8	2 0.3
	高校4年生	97	95 97.9	2 2.1	-

[4] 使用している機器の種類【機器別】

質問2 どのような機器を使っていますか（自分のものではなくても、使っていれば○を付けてください。

【分析】

全体では、「ゲーム機」が69.0%で最も高く、次いで、「スマートフォン」(68.4%)、「パソコン」(56.2%)、「タブレット端末」(43.1%)となっている。校種別では、「スマートフォン」が『高等学校』で95.0%と最も高くなっている一方で、「携帯電話」(11.7%)で最も低くなっている。学年別では、「ゲーム機」が『小学4年生』(81.9%)で最も高く、学年が上がるにつれ減少傾向にある。



※学年不明を除く

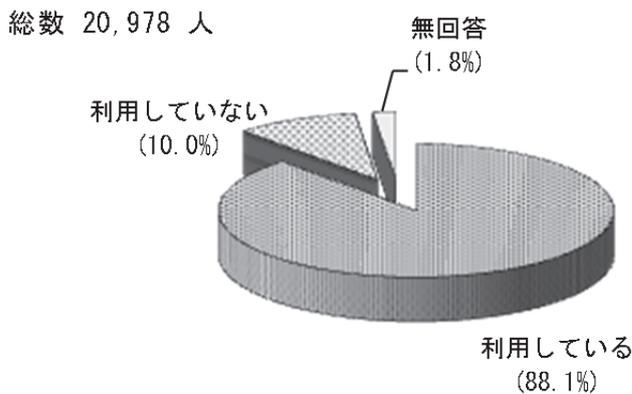
		(上段:件/下段:%)							※学年不明を除く (上段:件/下段:%)									
学校種別	全体	ゲーム機	スマートフォン	パソコン	タブレット端末	携帯電話	携帯型音楽プレーヤー	無回答	全体	ゲーム機	スマートフォン	パソコン	タブレット端末	携帯電話	携帯型音楽プレーヤー	無回答		
全体	20,978	14,477 69.0	14,345 68.4	11,782 56.2	9,032 43.1	5,718 27.3	4,797 22.9	212 1.0	20,932	14,477 69.0	14,345 68.4	11,782 56.2	9,032 43.1	5,718 27.3	4,797 22.9	212 1.0		
学校種別	小学校	12,976	10,040 77.4	7,939 61.2	6,788 52.3	6,153 47.4	4,269 32.9	2,230 17.2	193 1.5	小学1年生	1,597	1,093 68.4	937 58.7	556 34.8	689 43.1	342 21.4	160 10.0	70 4.4
	中学校	5,030	3,006 59.8	3,652 72.6	3,141 62.4	2,050 40.8	1,095 21.8	1,663 33.1	15 0.3	小学2年生	1,865	1,381 74.0	1,107 59.4	690 37.0	790 42.4	451 24.2	177 9.5	49 2.6
		高等学校	2,800	1,350 48.2	2,660 95.0	1,770 63.2	746 26.6	328 11.7	884 31.6	1 0.0	小学3年生	2,202	1,751 79.5	1,318 59.9	1,117 50.7	1,015 46.1	698 31.7	228 10.4
	特別支援学校	172	81 47.1	94 54.7	83 48.3	83 48.3	26 15.1	20 11.6	3 1.7	小学4年生	2,295	1,879 81.9	1,450 63.2	1,317 57.4	1,135 49.5	879 38.3	391 17.0	12 0.5
										小学5年生	2,543	1,992 78.3	1,551 61.0	1,521 59.9	1,301 51.2	1,008 39.6	536 21.1	18 0.7
										小学6年生	2,490	1,946 78.2	1,577 63.3	1,588 63.8	1,237 49.7	888 35.7	738 29.6	8 0.3
										中学1年生	1,584	1,066 67.3	1,071 67.6	979 61.8	681 43.0	404 25.5	485 30.6	6 0.4
										中学2年生	1,858	1,104 59.4	1,356 73.0	1,160 62.4	790 42.5	389 20.9	638 34.3	4 0.2
										中学3年生	1,626	845 52.0	1,242 76.4	1,015 62.4	603 37.1	307 18.9	542 33.3	5 0.3
										高校1年生	1,075	544 50.6	1,029 95.7	651 60.6	311 28.9	95 8.8	323 30.0	-
										高校2年生	1,027	475 46.3	976 95.0	655 63.8	272 26.5	109 10.6	328 31.9	1 0.1
										高校3年生	675	327 48.4	621 92.0	446 66.1	161 23.9	117 17.3	220 32.6	1 0.1
									高校4年生	95	45 47.4	79 83.2	65 68.4	24 25.3	24 25.3	26 27.4	-	

[5] インターネットの利用状況

質問3 質問2の機器のどれかを使って、インターネットを利用していますか。

【分析】

全体では、「利用している」が88.1%と高くなっている。校種別では、『高等学校』で99.1%と最も高く、学年別では、『高校2年生』で99.2%と最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

		全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
全体		20,978	18,488 88.1	2,105 10.0	385 1.8
学 校 種 別	小学校	12,976	10,687 82.4	1,946 15.0	343 2.6
	中学校	5,030	4,883 97.1	114 2.3	33 0.7
	高等学校	2,800	2,775 99.1	18 0.6	7 0.3
	特別支援学校	172	143 83.1	27 15.7	2 1.2

※学年不明を除く (上段:件/下段:%)

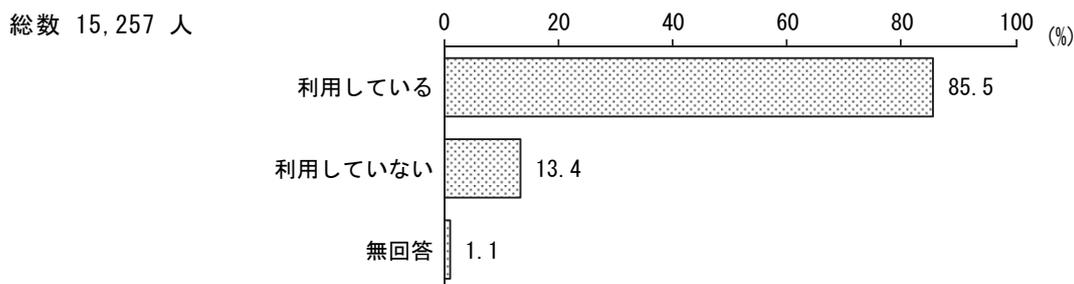
		全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
全体		20,932	18,488 88.1	2,105 10.0	385 1.8
学 年 別	小学1年生	1,597	969 60.7	520 32.6	108 6.8
	小学2年生	1,865	1,304 69.9	470 25.2	91 4.9
	小学3年生	2,202	1,737 78.9	407 18.5	58 2.6
	小学4年生	2,295	2,005 87.4	242 10.5	48 2.1
	小学5年生	2,543	2,341 92.1	180 7.1	22 0.9
	小学6年生	2,490	2,345 94.2	130 5.2	15 0.6
	中学1年生	1,584	1,509 95.3	62 3.9	13 0.8
	中学2年生	1,858	1,817 97.8	32 1.7	9 0.5
	中学3年生	1,626	1,585 97.5	29 1.8	12 0.7
	高校1年生	1,075	1,063 98.9	12 1.1	-
	高校2年生	1,027	1,019 99.2	6 0.6	2 0.2
	高校3年生	675	665 98.5	6 0.9	4 0.6
	高校4年生	95	93 97.9	-	2 2.1

[6] 携帯電話又はスマートフォンでのインターネットの利用状況

質問4 質問2の機器のうち、携帯電話又はスマートフォンでインターネットを利用していますか。

【分析】

全体では、「利用している」が85.5%と高くなっている。校種別では、『高等学校』で98.5%と最も高く、学年別では、『高校1年生』で98.9%と最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

	全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
全体	15,257	13,042 85.5	2,043 13.4	172 1.1
学 校 種 別	小学校	8,344 6,586 78.9	1,603 19.2	155 1.9
	中学校	4,084 3,679 90.1	397 9.7	8 0.2
	高等学校	2,730 2,688 98.5	33 1.2	9 0.3
	特別支援学校	99 89 89.9	10 10.1	-

※学年不明を除く

(上段:件/下段:%)

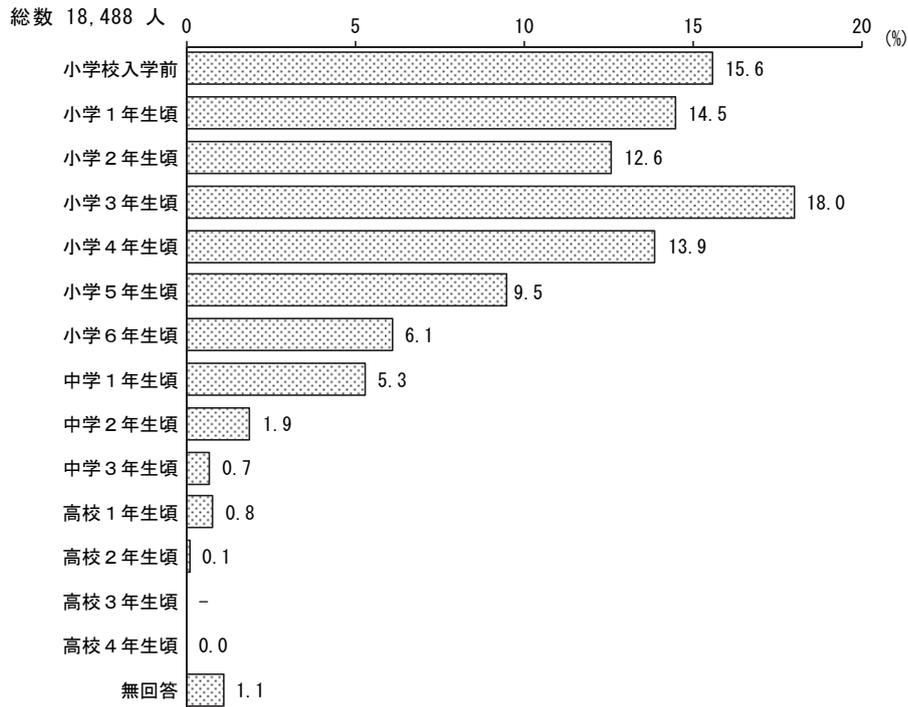
	全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
全体	15,228	13,042 85.5	2,043 13.4	172 1.1
学 年 別	小学1年生	766 605 79.0	120 15.7	41 5.4
	小学2年生	993 722 72.7	242 24.4	29 2.9
	小学3年生	1,316 1,021 77.6	263 20.0	32 2.4
	小学4年生	1,595 1,278 80.1	296 18.6	21 1.3
	小学5年生	1,839 1,463 79.6	356 19.4	20 1.1
	小学6年生	1,838 1,500 81.6	326 17.7	12 0.7
	中学1年生	1,213 1,055 87.0	158 13.0	-
	中学2年生	1,524 1,381 90.6	137 9.0	6 0.4
	中学3年生	1,360 1,254 92.2	104 7.6	2 0.1
	高校1年生	1,045 1,034 98.9	6 0.6	5 0.5
	高校2年生	999 980 98.1	15 1.5	4 0.4
	高校3年生	650 637 98.0	13 2.0	-
	高校4年生	90 85 94.4	5 5.6	-

[7] インターネットの利用開始時期

質問5 インターネットを初めて利用したのはいつ頃ですか。

【分析】

全体では、「小学3年生頃」が18.0%で最も高く、次いで、「小学校入学前」(15.6%)、「小学1年生頃」(14.5%)となっている。インターネットを利用している児童のうち9割が中学校入学前に利用し始めている。校種別では、『小学校』で「小学校入学前」(22.8%)、『中学校』で「小学5年生頃」(17.5%)、『高等学校』で「小学3年生頃」(15.1%)、『特別支援学校』では「小学4年生頃」、「中学1年生頃」(同率12.6%)がそれぞれ最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

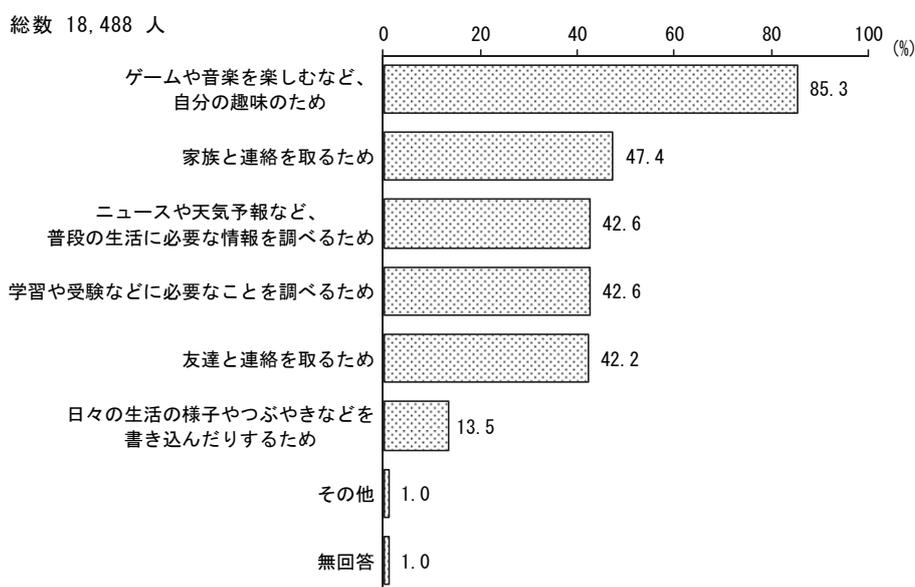
学校種別	全体	小学校入学前	小学1年生頃	小学2年生頃	小学3年生頃	小学4年生頃	小学5年生頃	小学6年生頃	中学1年生頃	中学2年生頃	中学3年生頃	高校1年生頃	高校2年生頃	高校3年生頃	高校4年生頃	無回答
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
全体	18,488	2,885	2,674	2,338	3,328	2,570	1,757	1,137	972	343	130	140	14	-	1	199
		15.6	14.5	12.6	18.0	13.9	9.5	6.1	5.3	1.9	0.7	0.8	0.1	-	0.0	1.1
小学校	10,687	2,438	2,172	1,843	2,115	1,290	534	134	-	-	-	-	-	-	-	161
		22.8	20.3	17.2	19.8	12.1	5.0	1.3	-	-	-	-	-	-	-	1.5
中学校	4,883	272	288	331	783	846	855	741	586	138	20	-	-	-	-	23
		5.6	5.9	6.8	16.0	17.3	17.5	15.2	12.0	2.8	0.4	-	-	-	-	0.5
高等学校	2,775	158	198	154	418	416	354	248	368	194	109	132	14	-	1	11
		5.7	7.1	5.5	15.1	15.0	12.8	8.9	13.3	7.0	3.9	4.8	0.5	-	0.0	0.4
特別支援学校	143	17	16	10	12	18	14	14	18	11	1	8	-	-	-	4
		11.9	11.2	7.0	8.4	12.6	9.8	9.8	12.6	7.7	0.7	5.6	-	-	-	2.8

[8] インターネットの利用目的

質問6 インターネットを、どのような目的で利用しますか。【いくつ○を付けてもかまいません】

【分析】

全体では、「ゲームや音楽を楽しむなど、自分の趣味のため」が85.3%で最も高く、次いで、「家族と連絡を取るため」(47.4%)、「ニュースや天気予報など、普段の生活に必要な情報を調べるため」、「学習や受験などに必要なことを調べるため」(同率42.6%)となっている。校種別では、「ゲームや音楽を楽しむなど、自分の趣味のため」を除く全ての項目で『高等学校』が最も高く、その中でも、「友達と連絡を取るため」(80.3%)、「日々の生活の様子やつぶやきなどを書き込んだりするため」(43.3%)が他の校種と比べて特に高くなっている。



(上段:件/下段:%)

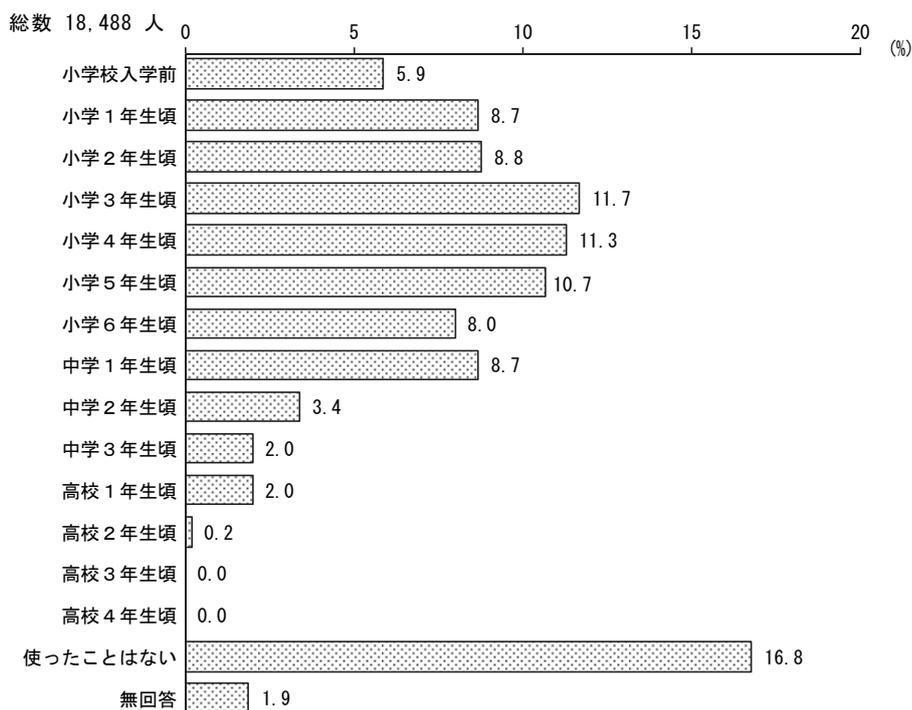
学校種別	人数	ゲームや音楽を楽しむなど、自分の趣味のため	家族と連絡を取るため	ニュースや天気予報など、普段の生活に必要な情報を調べるため	学習や受験などに必要なことを調べるため	友達と連絡を取るため	日々の生活の様子やつぶやきなどを書き込んだりするため	その他	無回答
		件	件	件	件	件	件	件	件
全体	18,488	15,764	8,765	7,881	7,873	7,805	2,502	189	178
		85.3	47.4	42.6	42.6	42.2	13.5	1.0	1.0
小学校	10,687	8,863	3,778	3,384	3,677	2,229	411	118	166
		82.9	35.4	31.7	34.4	20.9	3.8	1.1	1.6
中学校	4,883	4,330	3,009	2,565	2,649	3,311	875	29	6
		88.7	61.6	52.5	54.2	67.8	17.9	0.6	0.1
高等学校	2,775	2,444	1,939	1,891	1,517	2,229	1,202	40	3
		88.1	69.9	68.1	54.7	80.3	43.3	1.4	0.1
特別支援学校	143	127	39	41	30	36	14	2	3
		88.8	27.3	28.7	21.0	25.2	9.8	1.4	2.1

[9] オンラインゲームやSNSの利用開始時期

質問7 オンラインゲーム（自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの）や、SNS（メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど）を初めて利用したのはいつ頃ですか。

【分析】

全体では、「小学3年生頃」が11.7%で最も高く、次いで、「小学4年生頃」（11.3%）、「小学5年生頃」（10.7%）となっている。インターネットを利用している児童のうち6割半ばが中学校入学前に利用し始めている。一方で「使ったことはない」が16.8%となっている。校種別では、『小学校』で「小学3年生頃」（15.6%）、『中学校』で「中学1年生頃」（21.1%）、『高等学校』で「中学1年生頃」（20.6%）がそれぞれ最も高くなっている。一方で『小学校』、『特別支援学校』で「使ったことはない」が他の校種と比べて高くなっている。



(上段:件/下段:%)

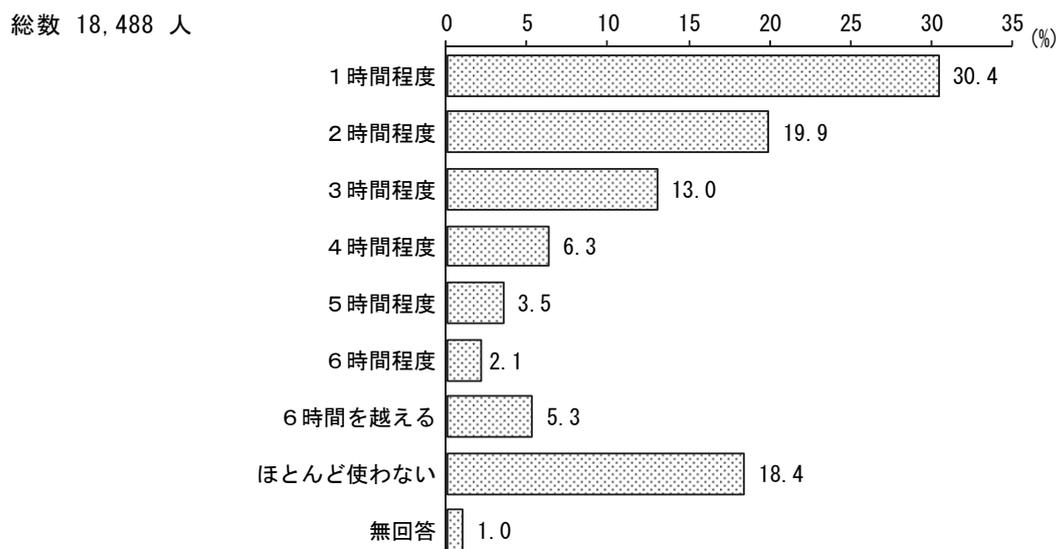
学校種別	全体	小学校入学前	小学1年生頃	小学2年生頃	小学3年生頃	小学4年生頃	小学5年生頃	小学6年生頃	中学1年生頃	中学2年生頃	中学3年生頃	高校1年生頃	高校2年生頃	高校3年生頃	高校4年生頃	使ったことはない	無回答
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
全体	18,488	1,082	1,607	1,625	2,165	2,080	1,983	1,485	1,612	633	361	367	33	4	1	3,105	345
		5.9	8.7	8.8	11.7	11.3	10.7	8.0	8.7	3.4	2.0	2.0	0.2	0.0	0.0	16.8	1.9
小学校	10,687	940	1,400	1,388	1,664	1,372	924	280	-	-	-	-	-	-	-	2,439	280
		8.8	13.1	13.0	15.6	12.8	8.6	2.6	-	-	-	-	-	-	-	22.8	2.6
中学校	4,883	84	127	155	347	504	794	977	1,028	264	56	-	-	-	-	512	35
		1.7	2.6	3.2	7.1	10.3	16.3	20.0	21.1	5.4	1.1	-	-	-	-	10.5	0.7
高等学校	2,775	57	80	80	151	199	253	224	572	364	301	353	32	3	1	86	19
		2.1	2.9	2.9	5.4	7.2	9.1	8.1	20.6	13.1	10.8	12.7	1.2	0.1	0.0	3.1	0.7
特別支援学校	143	1	-	2	3	5	12	4	12	5	4	14	1	1	-	68	11
		0.7	-	1.4	2.1	3.5	8.4	2.8	8.4	3.5	2.8	9.8	0.7	0.7	-	47.6	7.7

[10] 一日のインターネット利用時間

質問8 一日何時間くらい、インターネットを利用しますか。

【分析】

全体では、「1時間程度」が30.4%で最も高く、次いで「2時間程度」が19.9%、「3時間程度」が13.0%となっている。一方で「ほとんど使わない」が18.4%となっている。校種別では、『高等学校』を除く全ての校種で「1時間程度」が最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

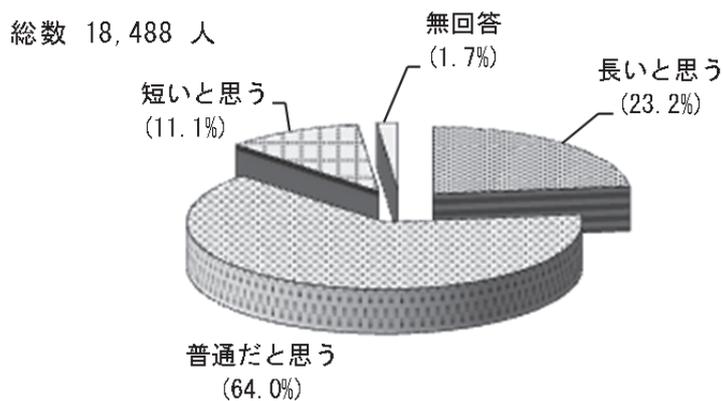
学校種別	全体	利用時間									
		1時間程度	2時間程度	3時間程度	4時間程度	5時間程度	6時間程度	6時間を越える	ほとんど使わない	無回答	
全体	18,488	5,619 30.4	3,681 19.9	2,405 13.0	1,173 6.3	638 3.5	390 2.1	982 5.3	3,410 18.4	190 1.0	
学校種別	小学校	10,687	3,922 36.7	1,837 17.2	904 8.5	402 3.8	248 2.3	118 1.1	275 2.6	2,827 26.5	154 1.4
	中学校	4,883	1,278 26.2	1,224 25.1	885 18.1	414 8.5	191 3.9	116 2.4	269 5.5	486 10.0	20 0.4
	高等学校	2,775	373 13.4	587 21.2	597 21.5	346 12.5	194 7.0	152 5.5	429 15.5	81 2.9	16 0.6
	特別支援学校	143	46 32.2	33 23.1	19 13.3	11 7.7	5 3.5	4 2.8	9 6.3	16 11.2	-

[1 1] 利用時間について

質問9 質問8で答えた利用時間について、どう思いますか。

【分析】

全体では、「普通だと思う」が64.0%と最も高く、次いで「長いと思う」が23.2%となっている。校種別で見ても、「普通だと思う」が最も高くなっている。「長いと思う」では、『高等学校』が33.4%と他の校種と比べて最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

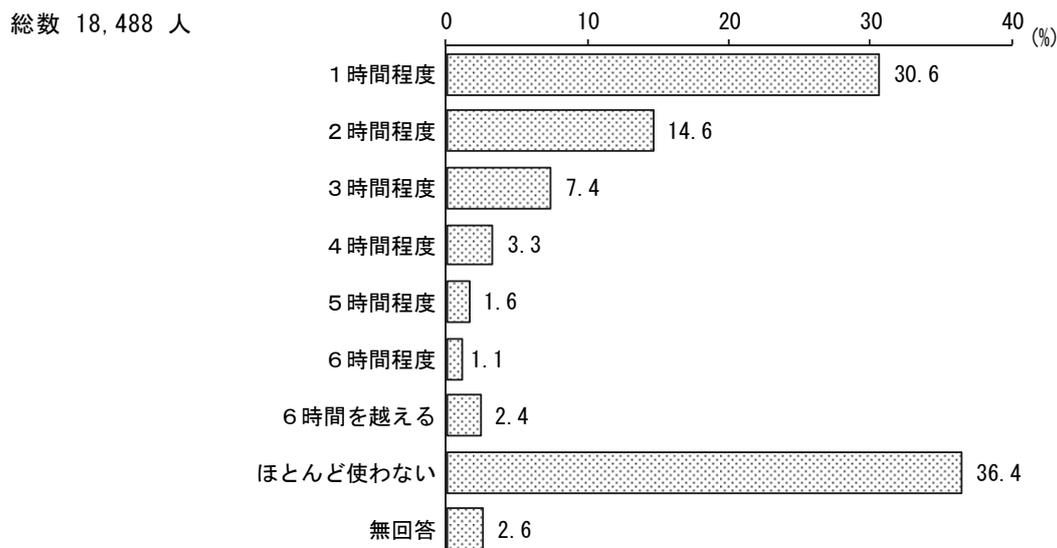
	全 体	長 い と 思 う	普 通 だ と 思 う	短 い と 思 う	無 回 答	
		件	件	件	件	
全体	18,488	4,296	11,826	2,055	311	
		23.2	64.0	11.1	1.7	
学 校 種 別	小学校	10,687	2,128	6,851	1,458	250
			19.9	64.1	13.6	2.3
	中学校	4,883	1,201	3,171	474	37
			24.6	64.9	9.7	0.8
	高等学校	2,775	926	1,721	108	20
		33.4	62.0	3.9	0.7	
特別支援学校	143	41	83	15	4	
		28.7	58.0	10.5	2.8	

[12] オンラインゲームやSNSの利用時間

質問10 質問8で答えた利用時間のうち、オンラインゲーム（自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの）や、SNS（メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど）の利用時間はどれくらいですか。

【分析】

全体では、「1時間程度」が30.6%と最も高く、次いで「2時間程度」が14.6%、「3時間程度」が7.4%となっている。校種別で見ても、「1時間程度」が最も高くなっている。また、「ほとんど使わない」は、『小学校』、『特別支援学校』で高くなっている。



(上段:件/下段:%)

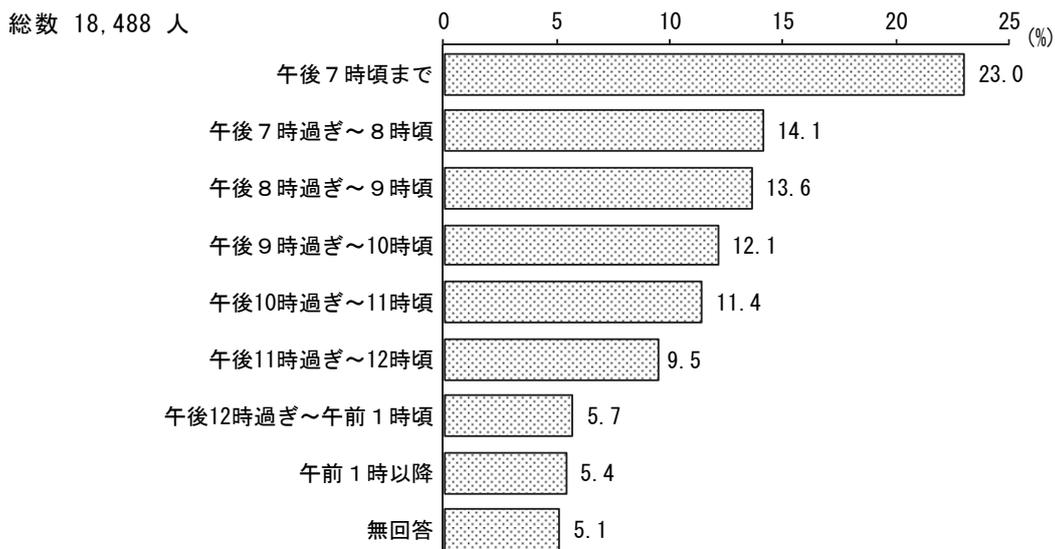
学校種別	全体	1時間程度	2時間程度	3時間程度	4時間程度	5時間程度	6時間程度	6時間を越える	ほとんど使わない	無回答	
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	
全体	18,488	5,662	2,693	1,370	612	296	212	438	6,724	481	
		30.6	14.6	7.4	3.3	1.6	1.1	2.4	36.4	2.6	
学校種別	小学校	10,687	3,298	1,107	453	183	96	45	96	5,000	409
			30.9	10.4	4.2	1.7	0.9	0.4	0.9	46.8	3.8
	中学校	4,883	1,599	944	487	218	88	78	104	1,321	44
			32.7	19.3	10.0	4.5	1.8	1.6	2.1	27.1	0.9
高等学校	2,775	738	633	425	210	111	87	231	325	15	
		26.6	22.8	15.3	7.6	4.0	3.1	8.3	11.7	0.5	
特別支援学校	143	27	9	5	1	1	2	7	78	13	
		18.9	6.3	3.5	0.7	0.7	1.4	4.9	54.5	9.1	

[13] インターネットを何時まで利用しているか

質問11 毎日何時頃まで、インターネットを利用しますか。

【分析】

全体では、「午後7時頃まで」(23.0%)が最も高くなっているが、校種別では、『小学校』で「午後7時頃まで」(35.9%)、『中学校』で「午後10時過ぎ～11時頃」(23.0%)、『高等学校』で「午後11時過ぎ～12時頃」(27.6%)がそれぞれ最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

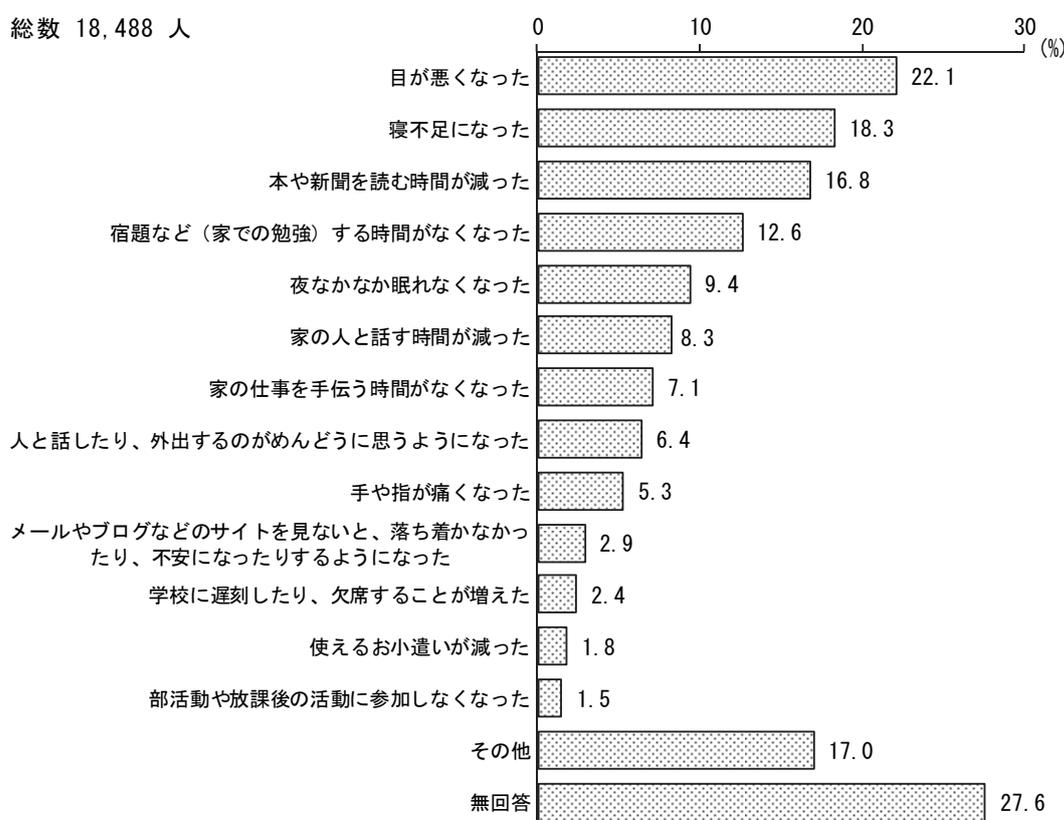
学校種別	全体	午後7時頃まで	午後7時過ぎ～8時頃	午後8時過ぎ～9時頃	午後9時過ぎ～10時頃	午後10時過ぎ～11時頃	午後11時過ぎ～12時頃	午後12時過ぎ～午前1時頃	午前1時以降	無回答
		件	件	件	件	件	件	件	件	件
全体	18,488	4,255	2,609	2,523	2,233	2,116	1,755	1,061	997	939
		23.0	14.1	13.6	12.1	11.4	9.5	5.7	5.4	5.1
小学校	10,687	3,836	2,168	1,748	1,018	448	194	147	321	807
		35.9	20.3	16.4	9.5	4.2	1.8	1.4	3.0	7.6
中学校	4,883	339	344	614	947	1,122	791	389	250	87
		6.9	7.0	12.6	19.4	23.0	16.2	8.0	5.1	1.8
高等学校	2,775	57	71	123	241	537	767	523	420	36
		2.1	2.6	4.4	8.7	19.4	27.6	18.8	15.1	1.3
特別支援学校	143	23	26	38	27	9	3	2	6	9
		16.1	18.2	26.6	18.9	6.3	2.1	1.4	4.2	6.3

[14] インターネット利用による生活や健康の変化

質問12 インターネットを利用していることにより、あなたの生活や健康に変化がありましたか。
【いくつか〇を付けてもかまいません】

【分析】

全体では、「目が悪くなった」が22.1%と最も高く、次いで「寝不足になった」が18.3%、「本や新聞を読む時間が減った」が16.8%となっている。校種別では、『特別支援学校』を除く全ての校種で「目が悪くなった」が最も高くなっている。「その他」の主な内容では、「インターネット利用による変化はない」が最も多く、次いで「疲れがたまり、体調が悪い」が多くなっている。一方でインターネット利用による良い意見も多数あり、「生活習慣が向上した」、「知識・情報が増えた」、「友人が増えた、関係が良好になった」等の意見が挙げられる。



(上段:件/下段:%)

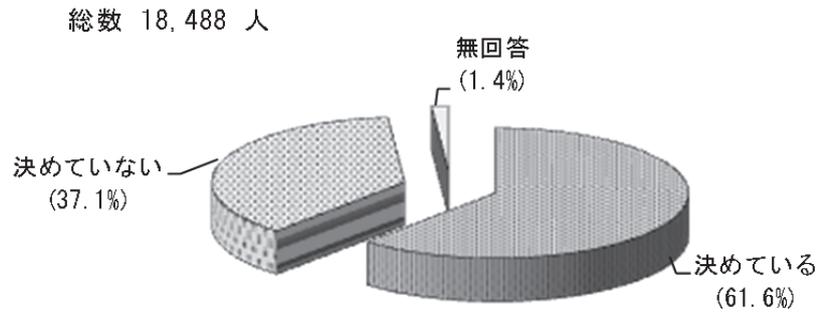
学校種別	全体	目が悪くなった	寝不足になった	本や新聞を読む時間が減った	宿題など(家での勉強)する時間がなくなった	夜なかなか眠れなくなった	家の人と話す時間が減った	家の仕事を手伝う時間がなくなった	人と話したり、外出するのめんどろに思うようになった	手や指が痛くなった	メールやブログなどのサイトを見ないと、落ち着かなかったり、不安になったりするようになった	学校に遅刻したり、欠席することが増えた	使えるお小遣いが減った	部活動や放課後の活動に参加しなくなった	その他	無回答
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
全体	18,488	4,082	3,378	3,104	2,337	1,744	1,533	1,314	1,189	984	541	440	331	272	3,147	5,100
		22.1	18.3	16.8	12.6	9.4	8.3	7.1	6.4	5.3	2.9	2.4	1.8	1.5	17.0	27.6
小学校	10,687	1,659	1,256	1,511	865	833	866	745	628	667	176	217	204	103	2,312	3,379
		15.5	11.8	14.1	8.1	7.8	8.1	7.0	5.9	6.2	1.6	2.0	1.9	1.0	21.6	31.6
中学校	4,883	1,478	1,229	974	914	481	435	387	348	189	210	89	72	99	562	1,157
		30.3	25.2	19.9	18.7	9.9	8.9	7.9	7.1	3.9	4.3	1.8	1.5	2.0	11.5	23.7
高等学校	2,775	921	870	600	545	405	217	172	203	125	150	130	53	68	250	511
		33.2	31.4	21.6	19.6	14.6	7.8	6.2	7.3	4.5	5.4	4.7	1.9	2.5	9.0	18.4
特別支援学校	143	24	23	19	13	25	15	10	10	3	5	4	2	2	23	53
		16.8	16.1	13.3	9.1	17.5	10.5	7.0	7.0	2.1	3.5	2.8	1.4	1.4	16.1	37.1

[15] インターネット利用時のルールについて

質問13 インターネットを利用するときのルールを決めていますか。

【分析】

全体では、インターネットを利用するときのルールを「決めている」が61.6%と過半数を超えている。



(上段:件/下段:%)

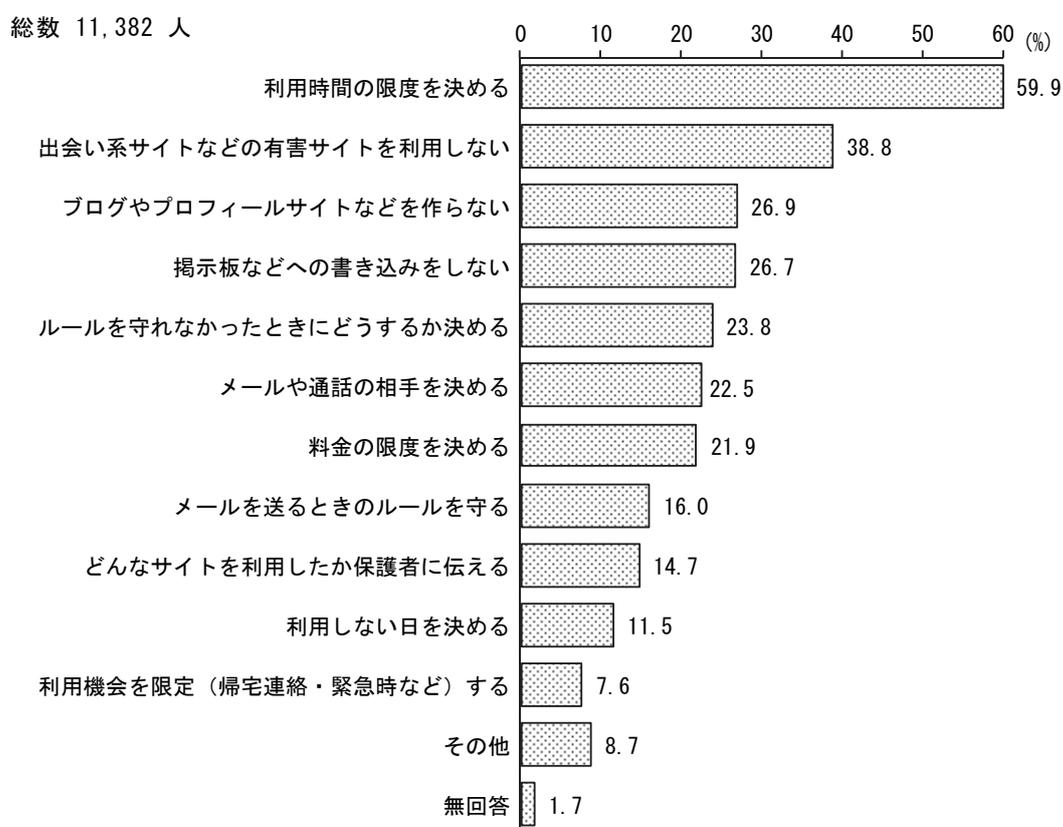
	全 体	決 め て い る	決 め て い な い	無 回 答	
全体	18,488	11,382 61.6	6,853 37.1	253 1.4	
学 校 種 別	小学校	10,687	7,815 73.1	2,667 25.0	205 1.9
	中学校	4,883	2,694 55.2	2,166 44.4	23 0.5
	高等学校	2,775	803 28.9	1,949 70.2	23 0.8
	特別支援学校	143	70 49.0	71 49.7	2 1.4

[16] インターネット利用時のルール内容

質問14 どのようなルールを決めていますか。【いくつ〇を付けてもかまいません】

【分析】

全体では、「利用時間の限度を決める」が59.9%と最も高く、次いで「出会い系サイトなどの有害サイトを利用しない」が38.8%、「ブログやプロフィールサイトなどを作らない」が26.9%となっている。校種別では、『高等学校』を除く全ての校種で「利用時間の限度を決める」が5割を超えている。『高等学校』では、「出会い系サイトなどの有害サイトを利用しない」が6割となっている。「その他」の主な内容では、「料金が発生することはしない（課金等）」が最も多く、次いで「使用をする前に許可をとる」、「保護者のいるところでのみ使用できる」が挙げられる。



(上段:件/下段:%)

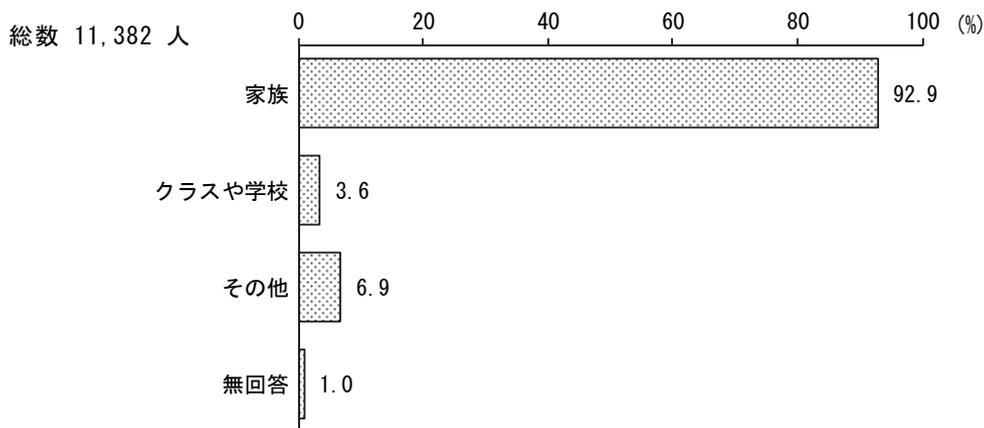
	全体	利用時間の限度を決める	出会い系サイトを利用しないなどの有害	ブログやプロフィールサイトなどを作らない	掲示板などへの書き込みをしない	ルールを守れなかったとき	メールや通話の相手を決める	料金の限度を決める	メールを送るときのルールを守る	保護者に伝える	利用しない日を決める	利用機会を限定 (帰宅連絡・緊急時など) する	その他	無回答
全体	11,382	6,820 59.9	4,414 38.8	3,059 26.9	3,040 26.7	2,705 23.8	2,556 22.5	2,498 21.9	1,816 16.0	1,672 14.7	1,305 11.5	869 7.6	995 8.7	193 1.7
学校種別	小学校	7,815 5,049 64.6	2,522 32.3	2,160 27.6	2,066 26.4	1,907 24.4	1,928 24.7	1,585 20.3	1,326 17.0	1,403 18.0	1,145 14.7	690 8.8	754 9.6	163 2.1
	中学校	2,694 1,519 56.4	1,387 51.5	741 27.5	755 28.0	682 25.3	483 17.9	633 23.5	384 14.3	236 8.8	134 5.0	134 5.0	189 7.0	17 0.6
	高等学校	803 208 25.9	482 60.0	147 18.3	205 25.5	105 13.1	126 15.7	271 33.7	97 12.1	24 3.0	18 2.2	35 4.4	46 5.7	13 1.6
	特別支援学校	70 44 62.9	23 32.9	11 15.7	14 20.0	11 15.7	19 27.1	9 12.9	9 12.9	9 12.9	8 11.4	10 14.3	6 8.6	-

[17] ルールを決めた相手

質問15 ルールは誰と決めましたか。【いくつ〇を付けてもかまいません】

【分析】

全体では、ルールを決めた相手は、「家族」が9割強となっており、校種別で見ても、全ての校種で「家族」が高くなっている。「その他」の主な内容では、『高等学校』で「自分で決めた」が最も多く、『小学校』で「友人と決めた」、「習い事の先生と決めた」が挙げられる。



(上段:件/下段:%)

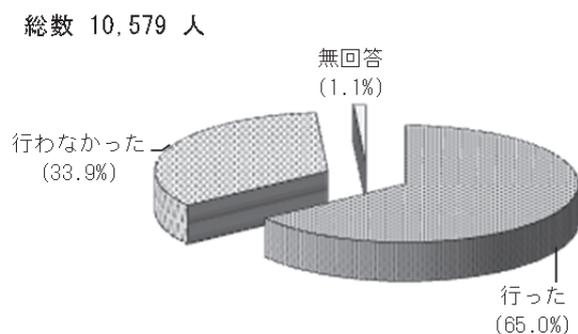
		全 体	家 族	ク ラ ス や 学 校	そ の 他	無 回 答
全体		11,382	10,579 92.9	411 3.6	788 6.9	113 1.0
学 校 種 別	小学校	7,815	7,506 96.0	295 3.8	299 3.8	71 0.9
	中学校	2,694	2,459 91.3	95 3.5	246 9.1	18 0.7
	高等学校	803	552 68.7	19 2.4	237 29.5	22 2.7
	特別支援学校	70	62 88.6	2 2.9	6 8.6	2 2.9

[18] ルールを決めるときの話合いの有無

質問16 質問15で「① 家族」に○を付けた人にお聞きします。ルールを決めるときに、話合いを行いましたか。

【分析】

全体では、「行った」が6割半ばとなっており、『小学校』、『中学校』、『高等学校』で大きな差は見られない。



(上段:件/下段:%)

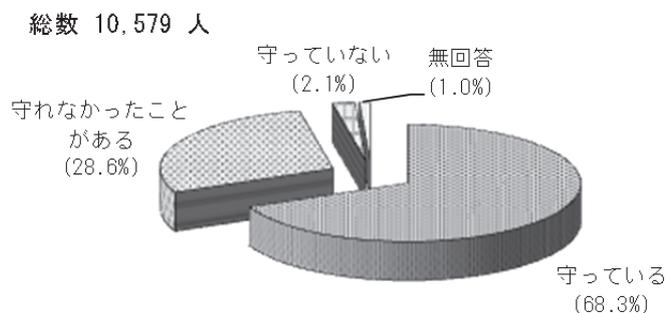
	全 体	行 っ た	行 わ な か っ た	無 回 答
全体	10,579	6,877 65.0	3,586 33.9	116 1.1
学 校 種 別	小学校	4,802 64.0	2,602 34.7	102 1.4
	中学校	1,666 67.8	782 31.8	11 0.4
	高等学校	364 65.9	186 33.7	2 0.4
	特別支援学校	45 72.6	16 25.8	1 1.6

[19] 決めたルールを守っているか

質問17 質問15で「① 家族」に○を付けた人にお聞きします。決めたルールを守っていますか。

【分析】

全体では、「守っている」が68.3%となっており、校種別では、『高等学校』が75.5%と他の校種と比べて、最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

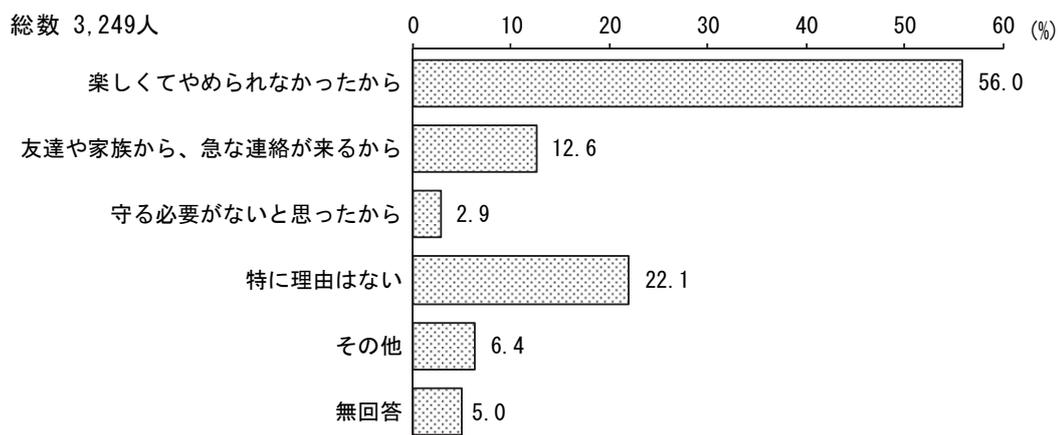
	全 体	守 っ て い る	守 れ な か っ た こ と が あ る	守 っ て い な い	無 回 答
全体	10,579	7,223 68.3	3,022 28.6	227 2.1	107 1.0
学 校 種 別	小学校	5,216 69.5	2,087 27.8	115 1.5	88 1.2
	中学校	1,547 62.9	799 32.5	97 3.9	16 0.7
	高等学校	417 75.5	120 21.7	13 2.4	2 0.4
	特別支援学校	43 69.4	16 25.8	2 3.2	1 1.6

[20] 家族と決めたルールを守れなかった理由

質問18 質問17で②、又は③と答えた人にお聞きます。ルールを守れなかった理由は何ですか。

【分析】

全体では、「楽しくてやめられなかったから」が56.0%と最も高く、校種別で見ても、全ての校種で「楽しくてやめられなかったから」が高くなっている。「その他」の主な内容では、「ルールの時間になっているのを気が付かなかった」が挙げられる。



(上段:件/下段:%)

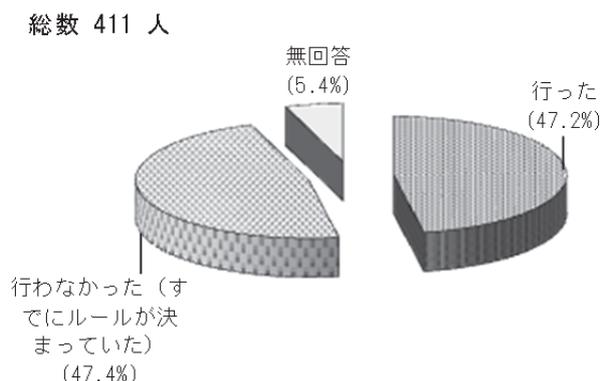
学校種別	全体	楽しくてやめられなかったから	友達や家族から、急な連絡が来るから	守る必要がないと思ったから	特に理由はない	その他	無回答
		件	件	件	件	件	件
全体	3,249	1,819	409	94	719	207	161
		56.0	12.6	2.9	22.1	6.4	5.0
学校種別	小学校	2,202	1,395	165	40	424	150
			63.4	7.5	1.8	19.3	6.8
	中学校	896	368	214	43	250	50
			41.1	23.9	4.8	27.9	5.6
高等学校	133	44	29	10	44	6	
		33.1	21.8	7.5	33.1	4.5	
特別支援学校	18	12	1	1	1	1	2
		66.7	5.6	5.6	5.6	5.6	11.1

[2 1] クラスや学校とルールを決めた際の話合いの有無

質問19 質問15で「② クラスや学校」に○を付けた人にお聞きします。ルールを決めるときに、話し合いを行いましたか。

【分析】

全体では、「行わなかった（すでにルールが決まっていた）」が47.4%となっている。校種別では、『中学校』で「行った」（67.4%）が「行わなかった（すでにルールが決まっていた）」（31.6%）より高くなっている。



(上段:件/下段:%)

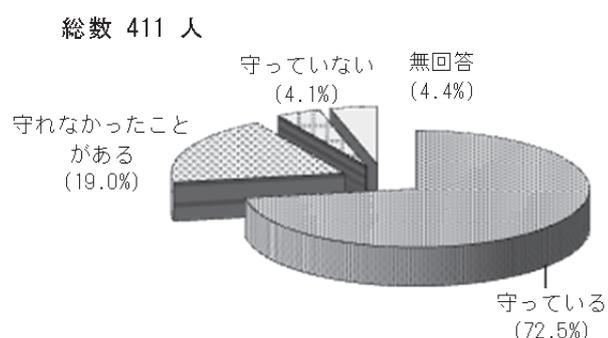
	全 体	行 っ た	行 わ な か っ た （ す で に ル ー ル が 決 ま っ て い た ）	無 回 答	
全体	411	194 47.2	195 47.4	22 5.4	
学 校 種 別	小学校	295 40.7	120 40.7	155 52.5	20 6.8
	中学校	95	64 67.4	30 31.6	1 1.1
	高等学校	19	9 47.4	10 52.6	-
	特別支援学校	2	1 50.0	-	1 50.0

[2 2] クラスや学校と決めたルールを守っているか

質問20 質問15で「② クラスや学校」に○を付けた人にお聞きします。決めたルールを守っていますか。

【分析】

全体では、「守っている」が7割以上を占めており、校種別で見ても同様の傾向である。



(上段:件/下段:%)

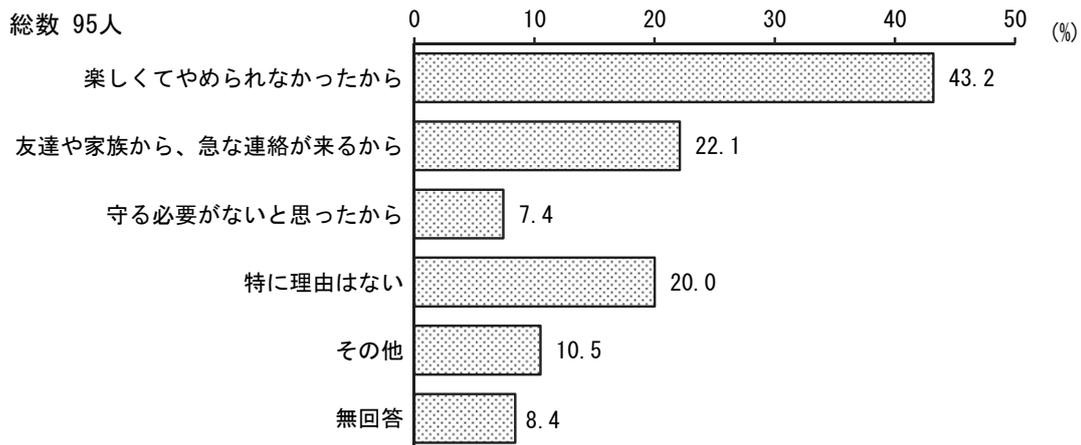
	全 体	守 っ て い る	守 れ な か っ た こ と が あ る	守 っ て い な い	無 回 答	
全体	411	298 72.5	78 19.0	17 4.1	18 4.4	
学 校 種 別	小学校	295 72.2	213 72.2	53 18.0	12 4.1	17 5.8
	中学校	95	69 72.6	23 24.2	3 3.2	-
	高等学校	19	15 78.9	2 10.5	2 10.5	-
	特別支援学校	2	1 50.0	-	-	1 50.0

[2 3] クラスや学校と決めたルールを守れなかった理由

質問 2 1 質問20で②、又は③と答えた人にお聞きします。ルールを守れなかった理由は何ですか。

【分析】

全体では、「楽しくてやめられなかったから」が43.2%と最も高く、次いで「友達や家族から、急な連絡が来るから」が22.1%となっている。「その他」の主な内容では、「学習で使用していたから」が挙げられる。



(上段:件/下段:%)

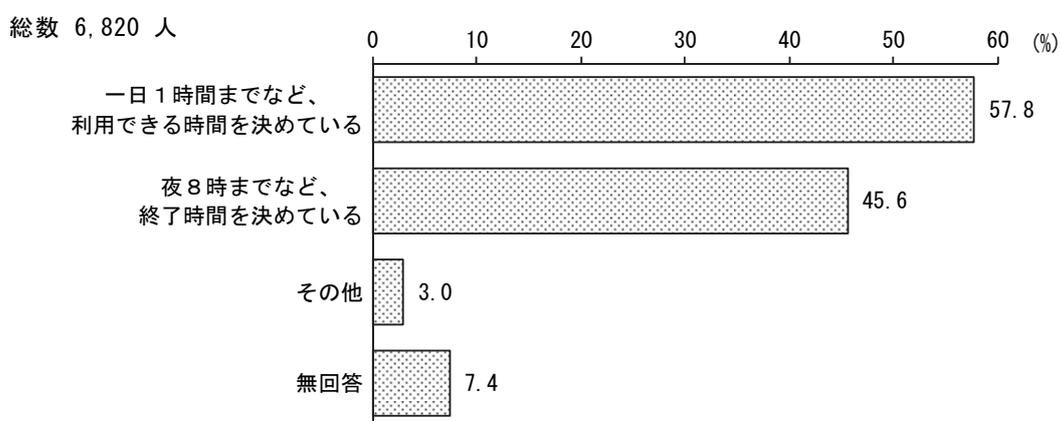
学校種別	全体	全	か	が	ら	特	そ	無	
		体	ら	友	守	に	他	回	
		件	楽	友	る	理		答	
			し	達	る	由			
			く	や	か	は			
			て	め	ら	な			
			や	ら	れ	い			
			め	れ	な	っ			
			ら	な	か	た			
			っ	っ	っ	か			
			た	た	た	か			
全体	95	41	43.2	21	22.1	7	19	10	8
小学校	65	27	41.5	15	23.1	4	11	8	8
中学校	26	12	46.2	5	19.2	1	8	2	-
高等学校	4	2	50.0	1	25.0	2	-	-	-
特別支援学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-

[24] 利用時間のルール

質問22 質問14で「② 利用時間の限度を決める」に○を付けた人にお聞きします。時間に関するどのようなルールを決めていますか。【いくつ○を付けてもかまいません】

【分析】

全体では、「一日1時間までなど、利用できる時間を決めている」が57.8%と利用できる時間を決めている回答が多くなっている。校種別では、「一日1時間までなど、利用できる時間を決めている」で『小学校』(64.4%)が最も高く、また、「夜8時までなど、終了時間を決めている」で『高等学校』(63.0%)が最も高くなっている。「その他」の主な内容では、『小学校』で「家族に注意されるまで」が最も多く、『中学校』で「学習時間に応じて、利用時間が決まる」、『高等学校』で「利用する際に毎回時間を決める」がそれぞれ最も多くなっている。



(上段:件/下段:%)

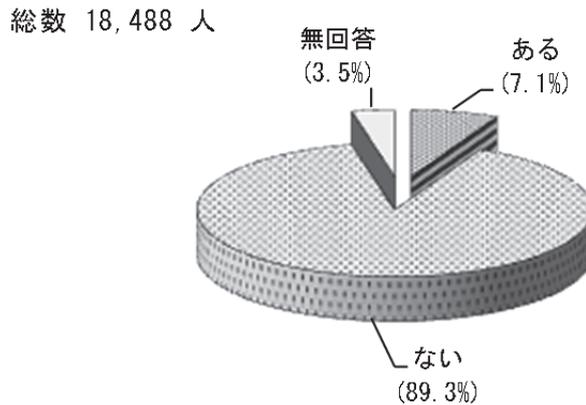
		全 体	で 一 日 1 時 間 ま で な ど、 利 用 可 能 な 時 間 を 決 め て い る	を 夜 8 時 ま で な ど、 終 了 時 間 を 決 め て い る	そ の 他	無 回 答
全体		6,820	3,941 57.8	3,113 45.6	202 3.0	507 7.4
学 校 種 別	小学校	5,049	3,250 64.4	2,052 40.6	156 3.1	378 7.5
	中学校	1,519	612 40.3	909 59.8	38 2.5	98 6.5
	高等学校	208	63 30.3	131 63.0	8 3.8	21 10.1
	特別支援学校	44	16 36.4	21 47.7	-	10 22.7

[25] インターネット利用時にトラブルや嫌な思いをした経験の有無

質問23 平成27年4月1日から12月31日までの間で、インターネットを利用するときにトラブルや嫌な思いをしたことがありますか。 ※前回調査（平成26年1月実施）後の状況について調査を行った。

【分析】

全体では、「ない」が89.3%となっている。校種別で見ても、全ての校種で8割を超えて高くなっている。



(上段:件/下段:%)

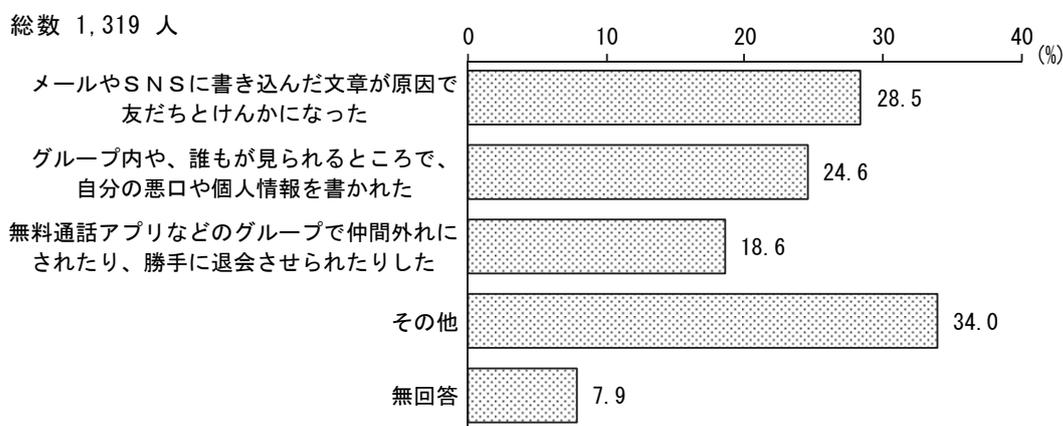
		全 体	あ る	な い	無 回 答
全体		18,488	1,319 7.1	16,519 89.3	650 3.5
学 校 種 別	小学校	10,687	596 5.6	9,585 89.7	506 4.7
	中学校	4,883	422 8.6	4,384 89.8	77 1.6
	高等学校	2,775	290 10.5	2,422 87.3	63 2.3
	特別支援学校	143	11 7.7	128 89.5	4 2.8

[26] トラブルや嫌な思いをした経験の内容

質問24 自分が経験したトラブルや嫌な思いは何ですか。【いくつ〇を付けてもかまいません】

【分析】

全体では、「メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友達とけんかになった」が28.5%と最も高く、次いで「グループ内や、誰もが見られるところで、自分の悪口や個人情報を書かれた」が24.6%となっている。校種別では、「メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友達とけんかになった」で『中学校』、『高等学校』(各35.5%、43.1%)がそれぞれ最も高く、「無料通話アプリなどのグループで仲間外れにされたり、勝手に退会させられたりした」で『小学校』(23.5%)が最も高くなっている。「その他」の主な内容では、「ゲーム内でのトラブル(キャラクターやアイテムをとられた)」、「ゲーム内でのトラブル(チャットで誹謗中傷をされた)」が最も多く、次いで「詐欺、迷惑メール、架空請求が届いた」が挙げられる。



(上段:件/下段:%)

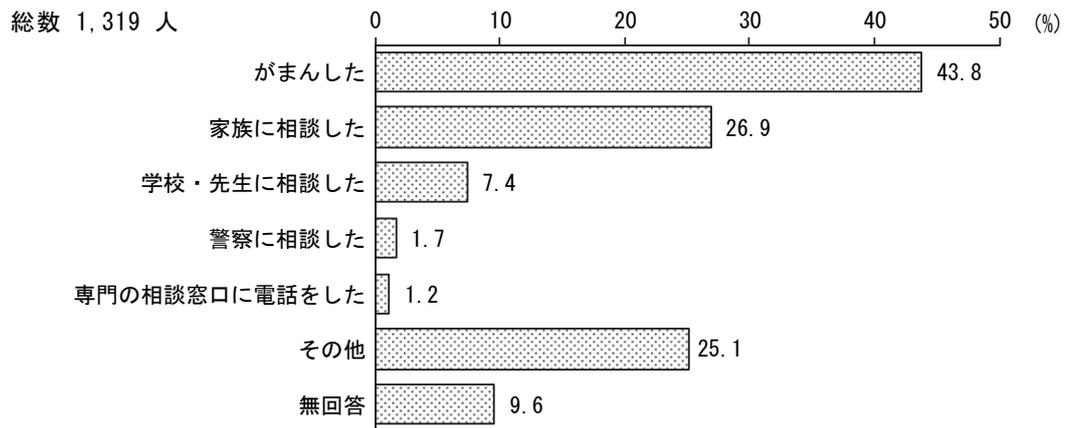
学校種別	全体	理由					無回答
		メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友達とけんかになった	グループ内や、誰もが見られるところで、自分の悪口や個人情報を書かれた	無料通話アプリなどのグループで仲間外れにされたり、勝手に退会させられたりした	その他	無回答	
全体	1,319	376 28.5	324 24.6	245 18.6	448 34.0	104 7.9	
学校種別	小学校	97 16.3	109 18.3	140 23.5	230 38.6	68 11.4	
	中学校	150 35.5	120 28.4	73 17.3	122 28.9	24 5.7	
	高等学校	125 43.1	94 32.4	31 10.7	91 31.4	11 3.8	
	特別支援学校	4 36.4	1 9.1	1 9.1	5 45.5	1 9.1	

[27]トラブルを受けての対応

質問25 トラブルを受けて、どのようにしましたか。【いくつ〇を付けてもかまいません】

【分析】

全体では、「がまんした」が43.8%と最も高く、次いで「家族に相談した」が26.9%となっている。「その他」の主な内容では、「謝罪して和解した」が最も多く、次いで「友人の協力を得て解決した」、「仕返しや八つ当たりをした」が挙げられる。



(上段:件/下段:%)

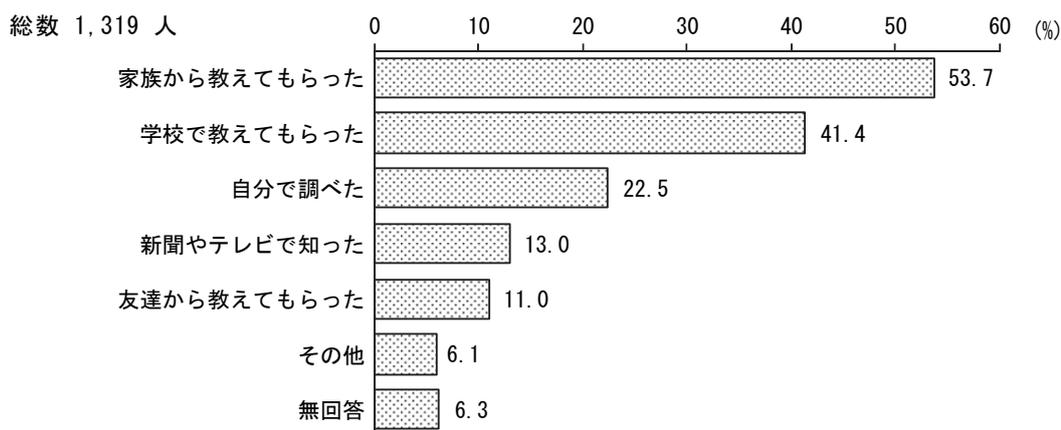
	全 体	が ま ん し た	家 族 に 相 談 し た	学 校 ・ 先 生 に 相 談 し た	警 察 に 相 談 し た	た 専 門 の 相 談 窓 口 に 電 話 を し	そ の 他	無 回 答
		件	件	件	件	件	件	件
全体	1,319	578	355	98	22	16	331	127
		43.8	26.9	7.4	1.7	1.2	25.1	9.6
学 校 種 別	小学校	596	257	181	28	7	7	122
			43.1	30.4	4.7	1.2	1.2	20.5
	中学校	422	186	119	47	9	5	106
			44.1	28.2	11.1	2.1	1.2	25.1
	高等学校	290	132	51	21	6	4	101
		45.5	17.6	7.2	2.1	1.4	34.8	
特別支援学校	11	3	4	2	-	-	2	
		27.3	36.4	18.2	-	-	18.2	

[28] インターネット利用時のルールやマナーについて

質問26 インターネットを利用する時のルールやマナーなどについて、どこで教えてもらいましたか。【いくつかを付けてもかまいません】

【分析】

全体では、「家族から教えてもらった」が53.7%と最も高く、次いで「学校で教えてもらった」が41.4%、「自分で調べた」が22.5%となっている。校種別では、『高等学校』で「学校で教えてもらった」が5割を超えて最も高くなっている。「その他」の主な内容では、『高等学校』で「教わっていない（知らない）」が最も多くなっている。



(上段:件/下段:%)

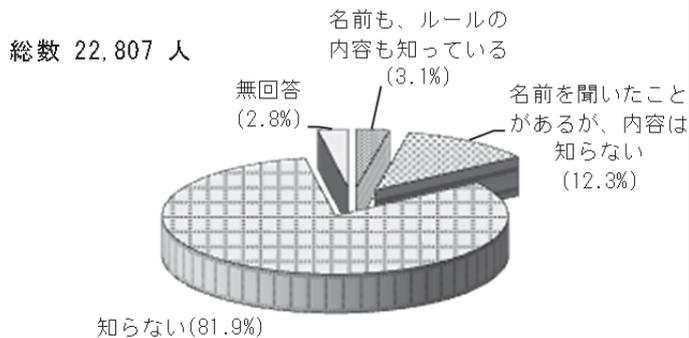
学校種別	全体	情報源						
		家族から教えてもらった	学校で教えてもらった	自分で調べた	新聞やテレビで知った	友達から教えてもらった	その他	無回答
全体	1,319	708 53.7	546 41.4	297 22.5	171 13.0	145 11.0	81 6.1	83 6.3
学校種別	小学校	596 381 63.9	179 30.0	114 19.1	77 12.9	47 7.9	27 4.5	45 7.6
	中学校	422 225 53.3	205 48.6	105 24.9	60 14.2	65 15.4	20 4.7	26 6.2
	高等学校	290 95 32.8	156 53.8	77 26.6	33 11.4	31 10.7	33 11.4	12 4.1
	特別支援学校	11 7 63.6	6 54.5	1 9.1	1 9.1	2 18.2	1 9.1	-

[29] SNS東京ルール認知状況

質問27 「SNS東京ルール」を知っていますか。

【分析】

全体では、「知らない」が8割を超えて最も高く、学校種別で見ても、全ての校種で同様の傾向があり認知状況は低くなっている。



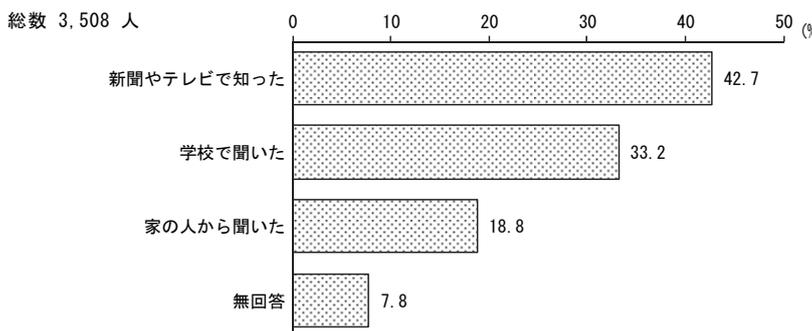
学校種別	全体	(上段:件/下段:%)			
		名前も、ルールの内容も知っている	名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答
全体	22,807	714 3.1	2,794 12.3	18,670 81.9	629 2.8
小学校	14,477	514 3.6	2,124 14.7	11,314 78.2	525 3.6
中学校	5,237	129 2.5	517 9.9	4,531 86.5	60 1.1
高等学校	2,864	69 2.4	138 4.8	2,616 91.3	41 1.4
特別支援学校	229	2 0.9	15 6.6	209 91.3	3 1.3

[30] SNS東京ルールを知ったきっかけ

質問28 質問27で①、又は②と答えた人にお聞きします。「SNS東京ルール」を、どこで知りましたか。

【分析】

SNS東京ルールを知っている又は聞いたことのある児童・生徒のうち、「新聞やテレビで知った」が42.7%と最も高く、次いで「学校で聞いた」が33.2%となっている。校種別では、『小学校』を除く全ての校種で「学校で聞いた」が4割を超えて最も高くなっている。



学校種別	全体	(上段:件/下段:%)			
		新聞やテレビで知った	学校で聞いた	家の人から聞いた	無回答
全体	3,508	1,498 42.7	1,165 33.2	660 18.8	272 7.8
小学校	2,638	1,174 44.5	762 28.9	556 21.1	218 8.3
中学校	646	250 38.7	301 46.6	70 10.8	36 5.6
高等学校	207	69 33.3	95 45.9	32 15.5	15 7.2
特別支援学校	17	5 29.4	7 41.2	2 11.8	3 17.6

4 保護者対象

4. 保護者対象

[1] 学年

(上段:件/下段:%)

	全 体	小学 1 年生	小学 2 年生	小学 3 年生	小学 4 年生	小学 5 年生	小学 6 年生	中学 1 年生	中学 2 年生	中学 3 年生	高校 1 年生	高校 2 年生	高校 3 年生	高校 4 年生	無 回 答
全体	19,576	2,047 10.5	2,097 10.7	2,258 11.5	2,177 11.1	2,401 12.3	2,254 11.5	1,483 7.6	1,569 8.0	1,443 7.4	835 4.3	699 3.6	240 1.2	49 0.3	24 0.1
学校 種 別	小学校	13,157	2,033 15.5	2,080 15.8	2,246 17.1	2,164 16.4	2,387 18.1	2,238 17.0	-	-	-	-	-	-	9 0.1
	中学校	4,441	-	-	-	-	-	-	1,469 33.1	1,542 34.7	1,415 31.9	-	-	-	15 0.3
	高等学校	1,701	-	-	-	-	-	-	-	-	-	785 46.1	661 38.9	206 12.1	49 2.9
	特別支援学校	277	14 5.1	17 6.1	12 4.3	13 4.7	14 5.1	16 5.8	14 5.1	27 9.7	28 10.1	50 18.1	38 13.7	34 12.3	-

[2] 性別

(上段:件/下段:%)

	全 体	男 子	女 子	無 回 答	
全体	19,576	9,784 50.0	9,657 49.3	135 0.7	
学校 種 別	小学校	13,157	6,518 49.5	6,560 49.9	79 0.6
	中学校	4,441	2,203 49.6	2,200 49.5	38 0.9
	高等学校	1,701	891 52.4	796 46.8	14 0.8
	特別支援学校	277	172 62.1	101 36.5	4 1.4

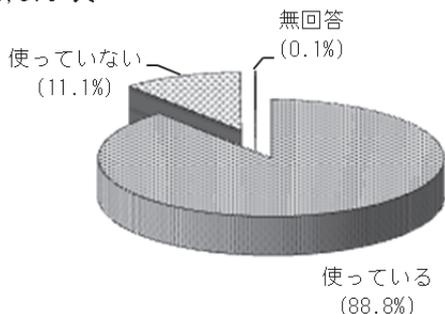
[3] インターネットに接続できる機器の利用状況

質問1 お子さんは、インターネットに接続することができる機器を使っていますか。 ※インターネットに接続できる機器については質問2の絵を見てください。

【分析】

全体では、「使っている」が9割弱と高く、校種別では、『高等学校』で98.1%と他の校種と比べて最も高くなっている。

総数 19,576 人



		(上段:件/下段:%)			
		全 体	使 っ て い る	使 っ て い な い	無 回 答
全体		19,576	17,393 88.8	2,172 11.1	11 0.1
学校 種 別	小学校	13,157	11,263 85.6	1,887 14.3	7 0.1
	中学校	4,441	4,258 95.9	180 4.1	3 0.1
	高等学校	1,701	1,668 98.1	32 1.9	1 0.1
	特別支援学校	277	204 73.6	73 26.4	-

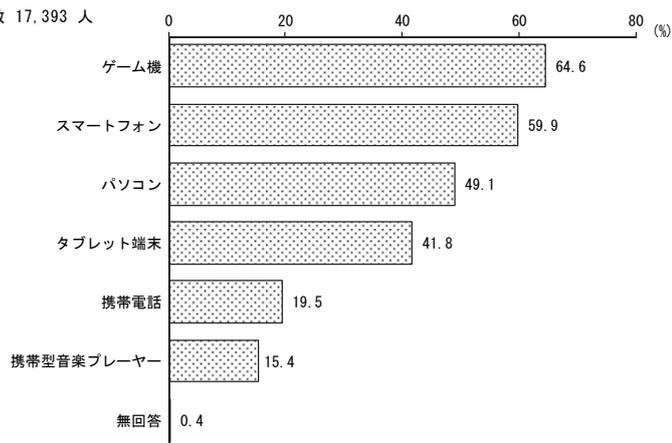
[4] 使用している機器の種類【機器別】

質問2 お子さんは、どのような機器を使っていますか。(本人のものではなくても、使っていれば○を付けてください。)【いくつ○を付けてもかまいません】

【分析】

校種別では、『小学校』で「ゲーム機」が71.1%と最も高く、『中学校』、『高等学校』、『特別支援学校』で「スマートフォン」がそれぞれ最も高くなっている。

総数 17,393 人



		(上段:件/下段:%)							
		全 体	ゲ ー ム 機	ス マ ー ト フ ォ ン	パ ソ コ ン	タ ブ レ ッ ト 端 末	携 帯 電 話	携 帯 型 音 楽 プ レ ー ヤ ー	無 回 答
全体		17,393	11,239 64.6	10,415 59.9	8,541 49.1	7,268 41.8	3,395 19.5	2,675 15.4	65 0.4
学校 種 別	小学校	11,263	8,003 71.1	5,915 52.5	4,852 43.1	5,233 46.5	2,308 20.5	1,005 8.9	46 0.4
	中学校	4,258	2,357 55.4	2,862 67.2	2,482 58.3	1,558 36.6	852 20.0	1,132 26.6	14 0.3
	高等学校	1,668	766 45.9	1,520 91.1	1,106 66.3	383 23.0	201 12.1	502 30.1	4 0.2
	特別支援学校	204	113 55.4	118 57.8	101 49.5	94 46.1	34 16.7	36 17.6	1 0.5

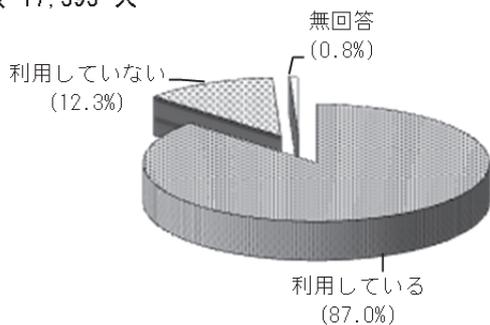
[5] インターネットの利用状況

質問3 お子さんは、質問2の機器のどれかを使って、インターネットを利用していますか。

【分析】

全体では、「利用している」が9割弱と利用率が高い。その中でも、『高等学校』で98.8%と特に高くなっている。

総数 17,393 人



		(上段:件/下段:%)		
	全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
	全体	17,393 87.0	2,136 12.3	131 0.8
学 校 種 別	小学校	11,263 81.5	1,987 17.6	96 0.9
	中学校	4,258 97.0	104 2.4	25 0.6
	高等学校	1,668 98.8	12 0.7	8 0.5
	特別支援学校	204 82.8	33 16.2	2 1.0

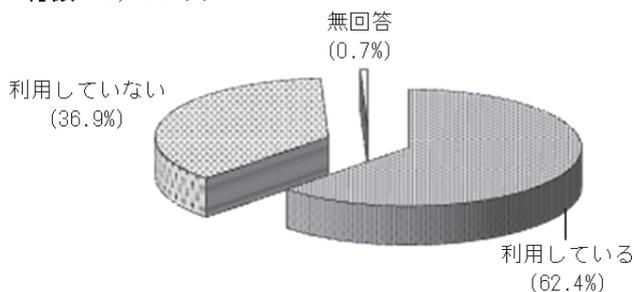
[6] 携帯電話又はスマートフォンでのインターネットの利用状況

質問4 お子さんは、質問2の機器のうち、携帯電話又はスマートフォンでインターネットを利用していますか。

【分析】

全体では、「利用している」が62.4%と過半数を超えている。校種別では、『高等学校』で95.6%と他の校種と比べて最も高くなっている。

総数 15,126 人



		(上段:件/下段:%)		
	全 体	利 用 し て い る	利 用 し て い な い	無 回 答
	全体	15,126 62.4	5,574 36.9	106 0.7
学 校 種 別	小学校	9,180 52.8	4,251 46.3	78 0.8
	中学校	4,129 70.5	1,193 28.9	26 0.6
	高等学校	1,648 95.6	71 4.3	2 0.1
	特別支援学校	169 65.1	59 34.9	-

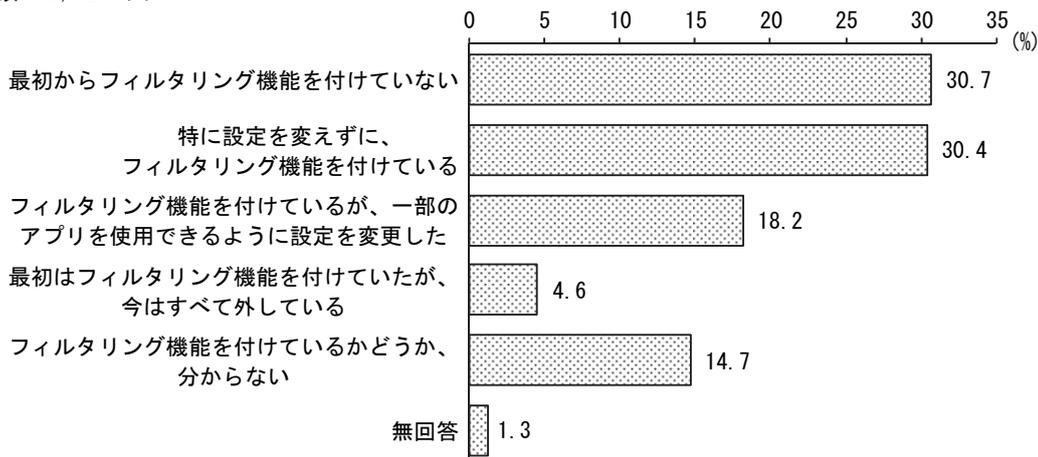
[7] フィルタリング機能設定の有無

質問5 お子さんが使用している機器にフィルタリング機能を付けていますか。

【分析】

校種別では、『小学校』を除く全ての校種で「特に設定を変えずに、フィルタリング機能を付けている」が最も高くなっている。『小学校』では、「最初からフィルタリング機能を付けていない」(34.2%)が最も高くなっている。

総数 15,126 人



(上段:件/下段:%)

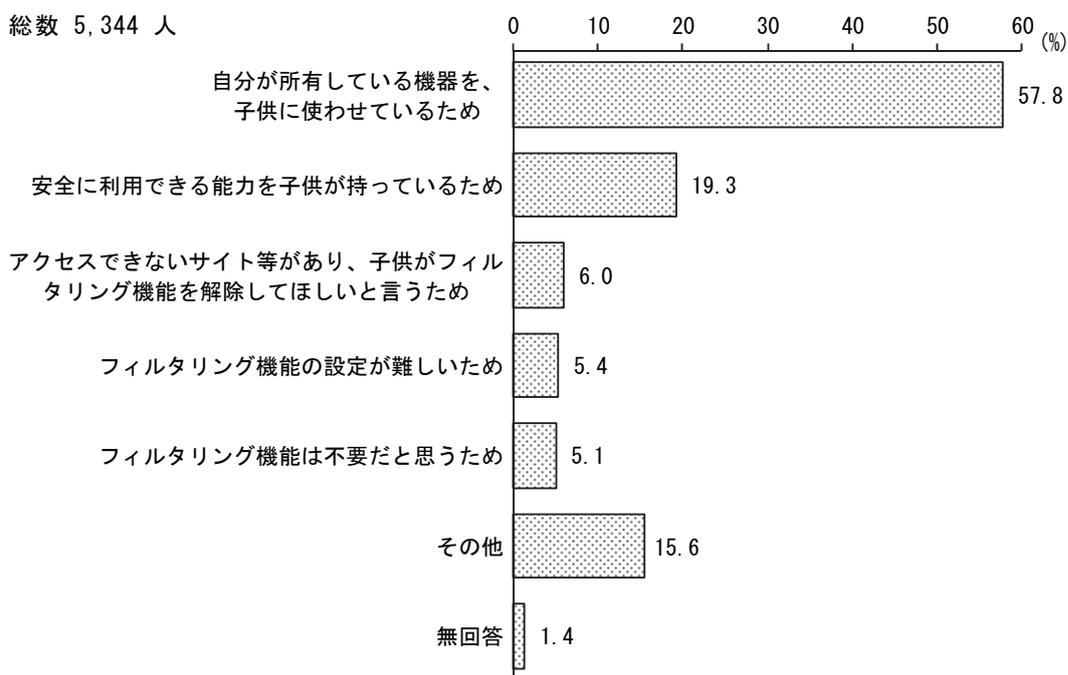
学校種別	全体	能	る	更	て	を	い	無 回 答
		最 初 か ら フ ィ ル タ リ ン グ 機 能 を 付 け て い な い	特 に 設 定 を 変 え ず に 、 フ ィ ル タ リ ン グ 機 能 を 付 け て フ ィ イ	使 用 で き る よ う に 設 定 を 変 更 し た	フ ィ ル タ リ ン グ 機 能 を 付 け て い る が 、 一 部 の ア プ リ を 使 用 し て い る	外 し て い る が 、 今 は す べ て フ ィ ル タ リ ン グ 機 能 を 付 け て い る	フ ィ ル タ リ ン グ 機 能 を 付 け て い る か ど う か 、 機 能 を 付 け な い	
	全体	15,126 4,642 30.7	4,604 30.4	2,758 18.2	702 4.6	2,220 14.7	200 1.3	
学校種別	小学校	9,180 3,142 34.2	2,635 28.7	1,623 17.7	210 2.3	1,430 15.6	140 1.5	
	中学校	4,129 1,053 25.5	1,404 34.0	841 20.4	239 5.8	548 13.3	44 1.1	
	高等学校	1,648 401 24.3	506 30.7	268 16.3	244 14.8	216 13.1	13 0.8	
	特別支援学校	169 46 27.2	59 34.9	26 15.4	9 5.3	26 15.4	3 1.8	

[8] フィルタリング機能を利用しない理由

質問6 質問5で③又は④と答えた方にお聞きします。フィルタリング機能を利用しない理由は何ですか。

【分析】

全体では、「自分が所有している機器を、子供に使わせているため」が57.8%と最も高くなっている。校種別では、「安全に利用できる能力を子供が持っているため」で『高等学校』が56.9%と他の校種と比べて最も高くなっている。「その他」の主な内容では、「保護者のいるところでのみ使用を許可する」、「許可を得てから利用させているから」が最も多く、次いで「用途を限定しているから」、「話し合いをしたり約束を決めたりしているから」が挙げられる。



(上段:件/下段:%)

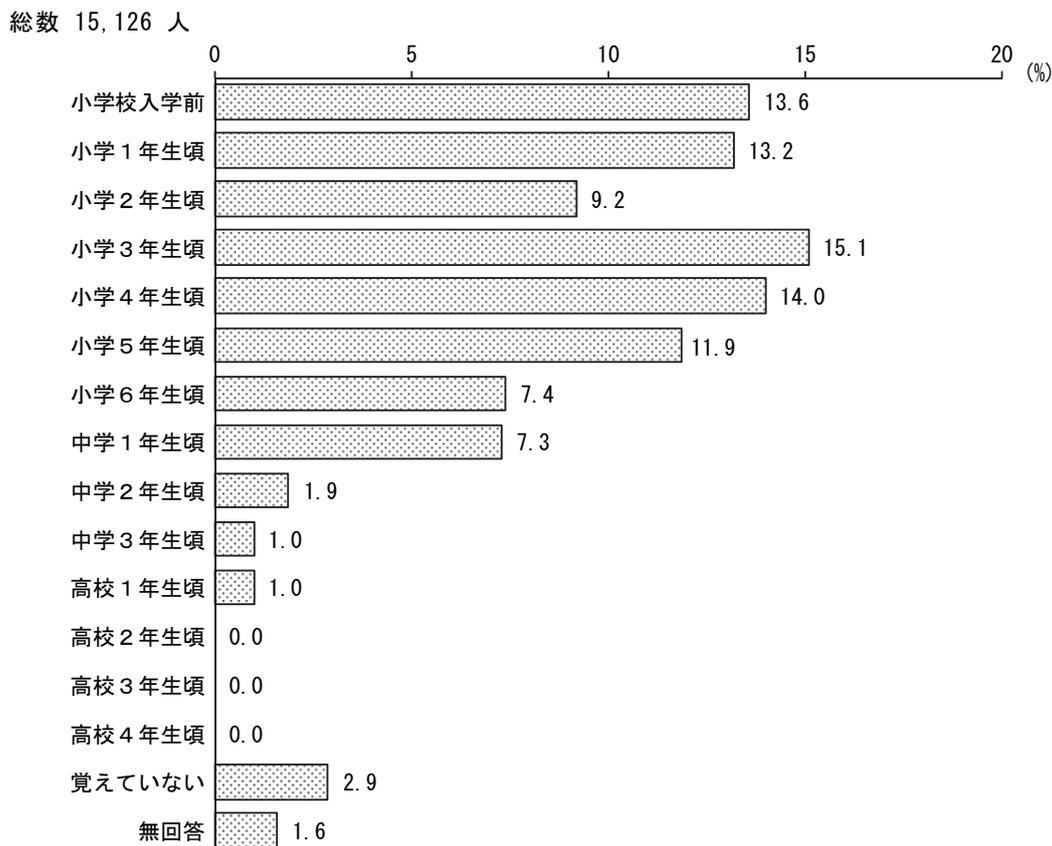
	全体	理由						
		自分が所有している機器を、子供に使わせているため	安全に利用できる能力を子供が持っているため	アクセスできないサイト等があり、子供がフィルタリング機能を解除してほしいというため	フィルタリング機能の設定が難しいため	フィルタリング機能は不要だと思うため	その他	無回答
全体	5,344	3,090 57.8	1,033 19.3	319 6.0	291 5.4	272 5.1	831 15.6	73 1.4
学校種別	小学校	3,352 74.8	2,507 8.2	275 2.4	163 4.9	114 3.4	572 17.1	29 0.9
	中学校	1,292 39.6	512 29.7	384 8.7	112 7.7	99 7.7	193 14.9	18 1.4
	高等学校	645 7.4	48 56.9	367 18.6	120 3.9	25 7.8	57 8.8	26 4.0
	特別支援学校	55 41.8	23 12.7	7 9.1	5 7.3	4 7.3	9 16.4	9 16.4

[9] インターネットの利用開始時期

質問7 お子さんが、インターネットを初めて利用したのはいつ頃ですか。

【分析】

校種別では、『小学校』で「小学校入学前」(20.1%)、『中学校』で「小学5年生頃」(20.5%)、『高等学校』、『特別支援学校』で「中学1年生頃」(各17.7%、15.4%)がそれぞれ最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

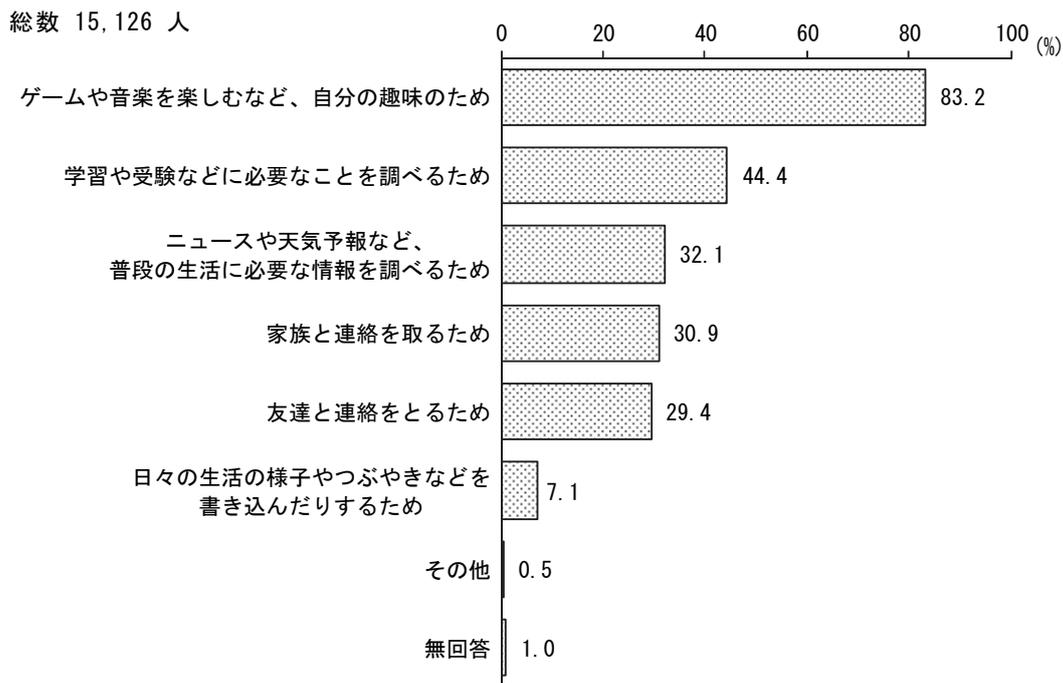
学校種別	全体	小学校入学前	小学1年生頃	小学2年生頃	小学3年生頃	小学4年生頃	小学5年生頃	小学6年生頃	中学1年生頃	中学2年生頃	中学3年生頃	高校1年生頃	高校2年生頃	高校3年生頃	高校4年生頃	覚えていない	無回答
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
全体	15,126	2,062	2,004	1,390	2,277	2,116	1,801	1,112	1,102	281	153	151	3	1	-	433	240
		13.6	13.2	9.2	15.1	14.0	11.9	7.4	7.3	1.9	1.0	0.0	0.0	-	2.9	1.6	
小学校	9,180	1,845	1,807	1,237	1,748	1,365	732	156	-	-	-	-	-	-	-	164	126
		20.1	19.7	13.5	19.0	14.9	8.0	1.7	-	-	-	-	-	-	-	1.8	1.4
中学校	4,129	150	126	106	386	563	846	768	785	127	24	-	-	-	-	183	65
		3.6	3.1	2.6	9.3	13.6	20.5	18.6	19.0	3.1	0.6	-	-	-	-	4.4	1.6
高等学校	1,648	53	53	39	129	164	216	178	291	146	122	136	3	1	-	78	39
		3.2	3.2	2.4	7.8	10.0	13.1	10.8	17.7	8.9	7.4	8.3	0.2	0.1	-	4.7	2.4
特別支援学校	169	14	18	8	14	24	7	10	26	8	7	15	-	-	-	8	10
		8.3	10.7	4.7	8.3	14.2	4.1	5.9	15.4	4.7	4.1	8.9	-	-	-	4.7	5.9

[10] インターネットの利用目的

質問8 お子さんは、インターネットを、どのような目的で利用しますか。【いくつ〇を付けてもかまいません】

【分析】

全体では、「ゲームや音楽を楽しむなど、自分の趣味のため」が8割半ばと最も高く、次いで「学習や受験などに必要なことを調べるため」(44.4%)となっている。



(上段:件/下段:%)

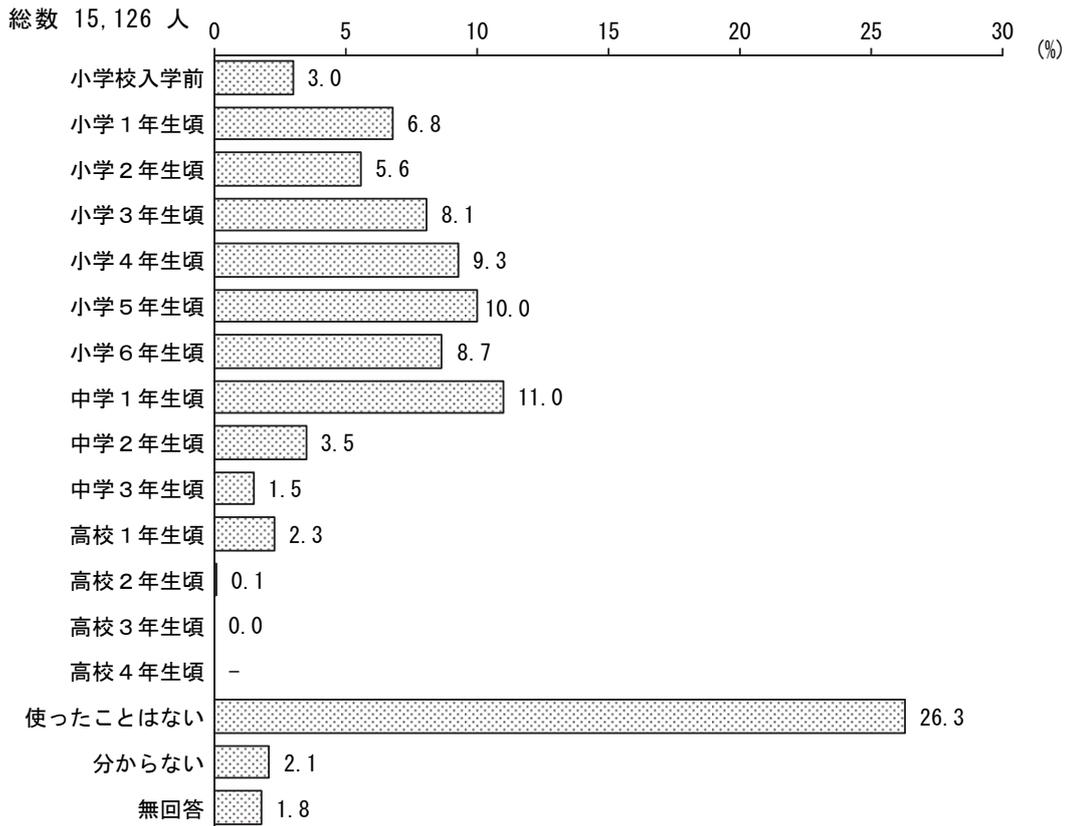
	全 体	ど、ゲ	と学	調普	ニ	家	友	た	日	そ	無
		ゲームや音楽を楽しむため	学習や受験などに必要なことを調べるため	ニュースや天気予報など、普段の生活に必要な情報を調べるため	家族と連絡を取るため	友達と連絡をとるため	日々の生活の様子やつぶやきなどを書き込んだりするため	その他	無回答		
全体	15,126	12,590 83.2	6,722 44.4	4,849 32.1	4,673 30.9	4,450 29.4	1,079 7.1	69 0.5	152 1.0		
学校 種別	小学校	9,180	7,762 84.6	3,358 36.6	2,201 24.0	1,815 19.8	1,027 11.2	105 1.1	36 0.4	78 0.8	
	中学校	4,129	3,322 80.5	2,379 57.6	1,706 41.3	1,836 44.5	2,207 53.5	498 12.1	21 0.5	38 0.9	
	高等学校	1,648	1,354 82.2	949 57.6	887 53.8	974 59.1	1,172 71.1	466 28.3	10 0.6	31 1.9	
	特別支援学校	169	152 89.9	36 21.3	55 32.5	48 28.4	44 26.0	10 5.9	2 1.2	5 3.0	

[1 1] オンラインゲームやSNSの利用開始時期

質問9 お子さんが、オンラインゲーム（自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの）や、SNS（メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど）を初めて利用したのはいつ頃ですか。

【分析】

校種別では、『小学校』で「小学4年生頃」（12.0%）が利用開始時期では高くなっているが、一方で「使ったことはない」が36.3%と最も高くなっている。『中学校』、『高等学校』では「中学1年生頃」（各31.5%、20.9%）がそれぞれ最も高くなっている。



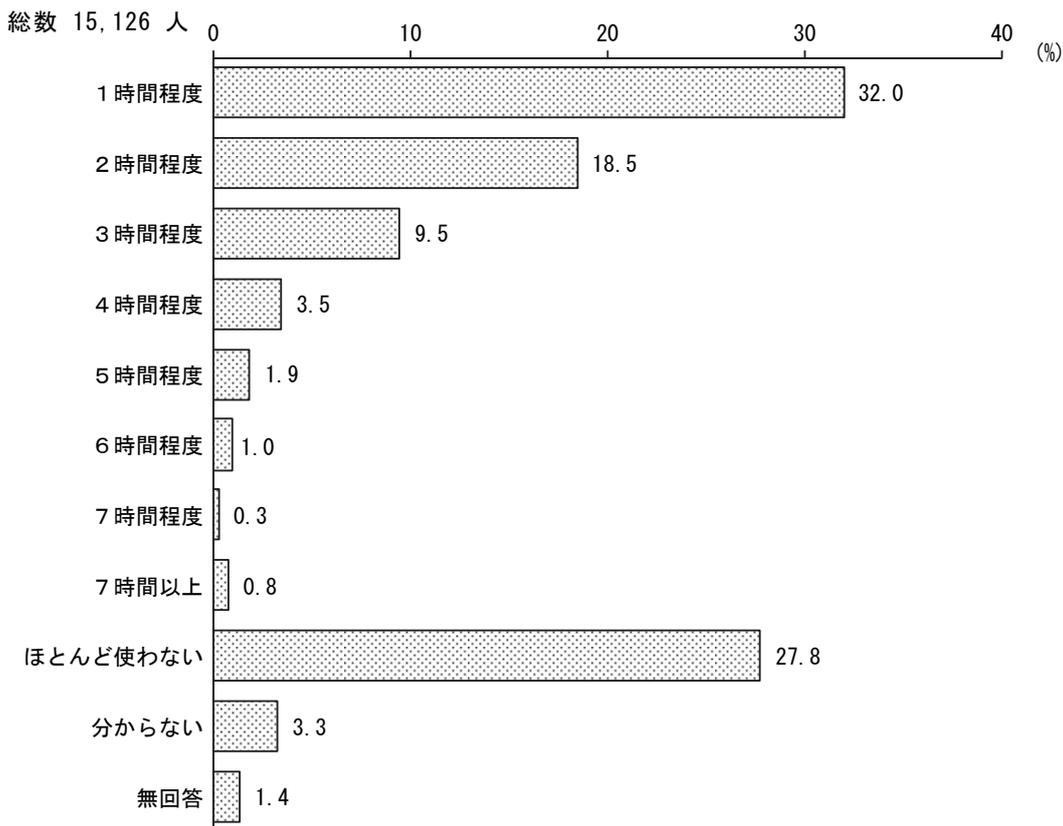
		(上段:件/下段:%)																
全体		小学校入学前	小学1年生頃	小学2年生頃	小学3年生頃	小学4年生頃	小学5年生頃	小学6年生頃	中学1年生頃	中学2年生頃	中学3年生頃	高校1年生頃	高校2年生頃	高校3年生頃	高校4年生頃	使ったことはない	分からない	無回答
全体	15,126	447	1,025	852	1,218	1,414	1,520	1,322	1,659	525	234	342	12	2	-	3,972	316	266
		3.0	6.8	5.6	8.1	9.3	10.0	8.7	11.0	3.5	1.5	2.3	0.1	0.0	-	26.3	2.1	1.8
学校種別	小学校	9,180	406	956	782	1,025	1,104	909	405	-	-	-	-	-	-	3,330	110	153
			4.4	10.4	8.5	11.2	12.0	9.9	4.4	-	-	-	-	-	-	36.3	1.2	1.7
	中学校	4,129	26	47	46	146	243	505	778	1,302	305	48	-	-	-	512	103	68
			0.6	1.1	1.1	3.5	5.9	12.2	18.8	31.5	7.4	1.2	-	-	-	12.4	2.5	1.6
高等学校	1,648	15	19	21	46	61	100	133	345	214	183	311	11	2	-	51	96	40
		0.9	1.2	1.3	2.8	3.7	6.1	8.1	20.9	13.0	11.1	18.9	0.7	0.1	-	3.1	5.8	2.4
特別支援学校	169	-	3	3	1	6	6	6	12	6	3	31	1	-	-	79	7	5
		-	1.8	1.8	0.6	3.6	3.6	3.6	7.1	3.6	1.8	18.3	0.6	-	-	46.7	4.1	3.0

[12] 一日のインターネット利用時間

質問10 お子さんは、1日何時間くらい、インターネットを利用していますか。

【分析】

全体では、「1時間程度」が32.0%と最も高く、次いで「2時間程度」が18.5%となっている。一方で「ほとんど使わない」が27.8%と高くなっている。校種別では、『小学校』の「1時間程度」が36.3%と最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

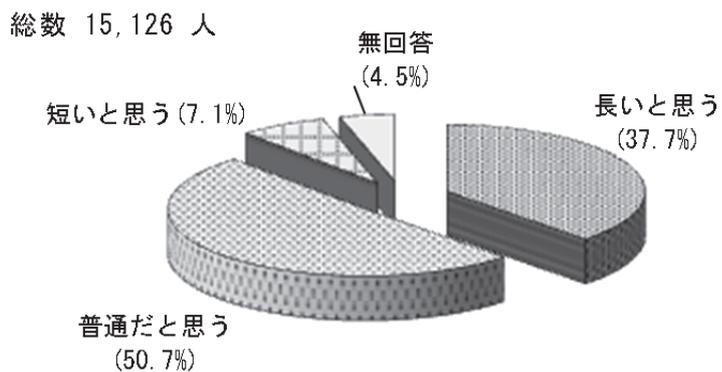
	全 体	(上段:件/下段:%)										
		1 時 間 程 度	2 時 間 程 度	3 時 間 程 度	4 時 間 程 度	5 時 間 程 度	6 時 間 程 度	7 時 間 程 度	7 時 間 以 上	ほ と ん ど 使 わ な い	分 か ら な い	無 回 答
全体	15,126	4,844 32.0	2,804 18.5	1,438 9.5	530 3.5	282 1.9	150 1.0	51 0.3	117 0.8	4,204 27.8	494 3.3	212 1.4
学 校 種 別	小学校	9,180 36.3	1,378 15.0	507 5.5	139 1.5	61 0.7	20 0.2	8 0.1	12 0.1	3,525 38.4	73 0.8	124 1.4
	中学校	4,129 29.7	1,036 25.1	596 14.4	206 5.0	116 2.8	60 1.5	20 0.5	28 0.7	621 15.0	171 4.1	48 1.2
	高等学校	1,648 14.3	344 20.9	310 18.8	173 10.5	100 6.1	67 4.1	22 1.3	75 4.6	42 2.5	246 14.9	34 2.1
	特別支援学校	169 29.0	46 27.2	25 14.8	12 7.1	5 3.0	3 1.8	1 0.6	2 1.2	16 9.5	4 2.4	6 3.6

[13] 利用時間について

質問11 質問10で答えた利用時間について、どう思いますか。

【分析】

校種別では、「普通だと思う」で『小学校』(57.0%)が最も高く、『小学校』を除く他の校種では「長いと思う」が最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

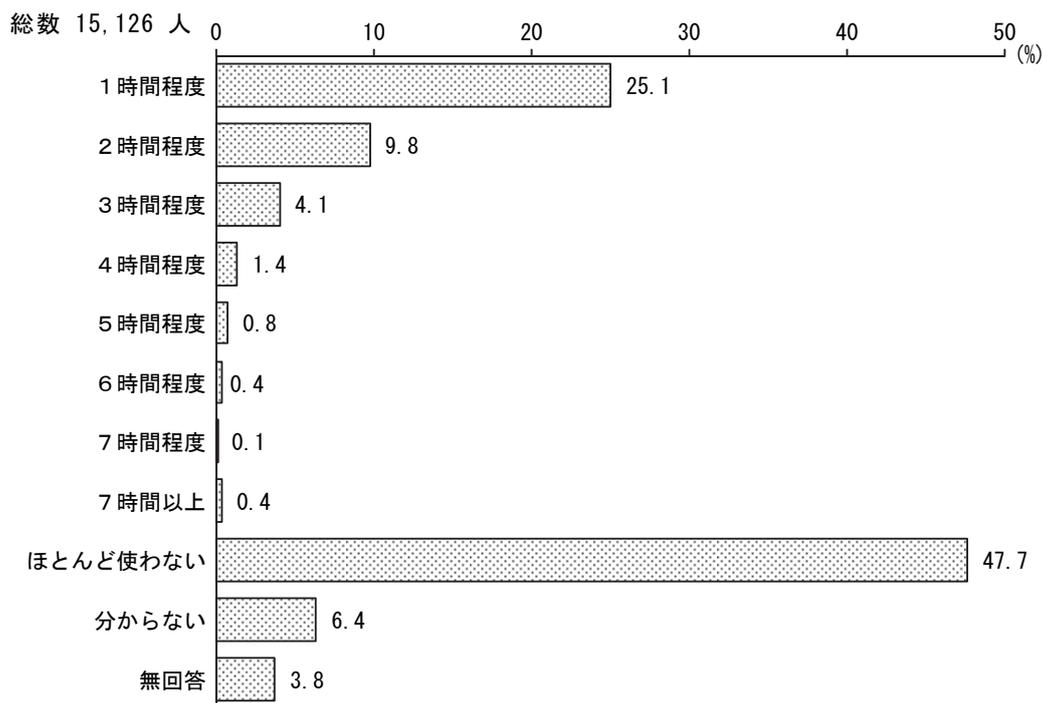
		全 体	長 い と 思 う	普 通 だ と 思 う	短 い と 思 う	無 回 答
全体		15,126	5,696 37.7	7,670 50.7	1,072 7.1	688 4.5
学 校 種 別	小学校	9,180	2,816 30.7	5,234 57.0	726 7.9	404 4.4
	中学校	4,129	1,907 46.2	1,769 42.8	290 7.0	163 3.9
	高等学校	1,648	897 54.4	593 36.0	48 2.9	110 6.7
	特別支援学校	169	76 45.0	74 43.8	8 4.7	11 6.5

[14] オンラインゲームやSNSの利用時間

質問12 質問10で答えた利用時間のうち、オンラインゲーム（自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの）や、SNS（メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど）の利用時間はどれくらいですか。

【分析】

全体では、「1時間程度」（25.1%）が利用した時間では高くなっている。一方で「ほとんど使わない」が47.7%と最も高くなっている。校種別では、「1時間程度」で『中学校』、『高等学校』（各31.5%、22.8%）が最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

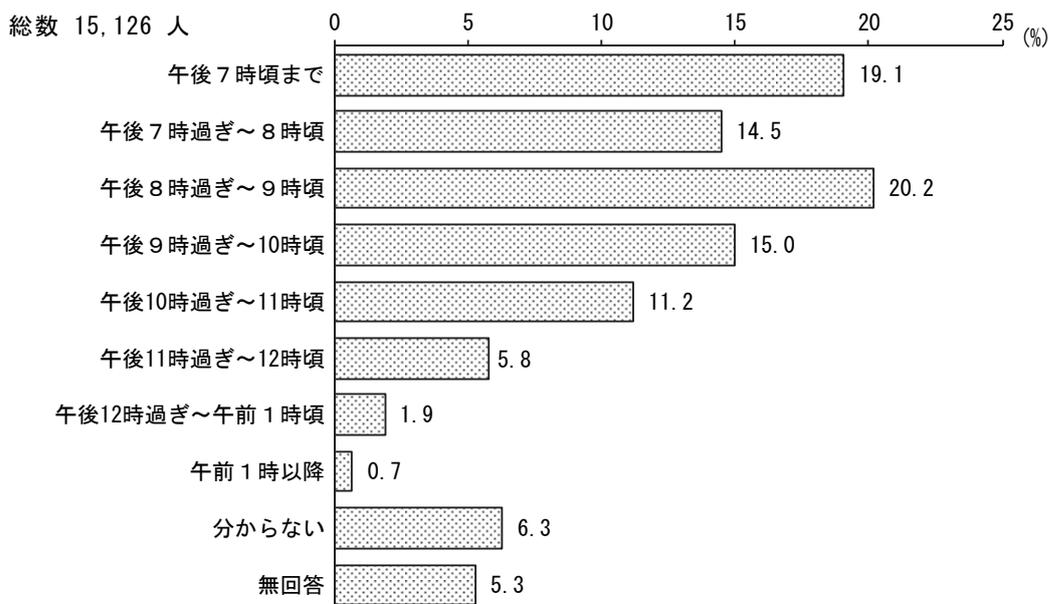
	全 体	1 時 間 程 度	2 時 間 程 度	3 時 間 程 度	4 時 間 程 度	5 時 間 程 度	6 時 間 程 度	7 時 間 程 度	7 時 間 以 上	ほ と ん ど 使 わ な い	分 か ら な い	無 回 答	
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	
全体	15,126	3,792	1,482	627	218	116	58	18	58	7,213	967	577	
		25.1	9.8	4.1	1.4	0.8	0.4	0.1	0.4	47.7	6.4	3.8	
学 校 種 別	小学校	9,180	2,084	542	163	44	19	6	1	3	5,699	222	397
			22.7	5.9	1.8	0.5	0.2	0.1	0.0	0.0	62.1	2.4	4.3
	中学校	4,129	1,302	632	273	85	50	29	6	13	1,246	377	116
			31.5	15.3	6.6	2.1	1.2	0.7	0.1	0.3	30.2	9.1	2.8
高等学校	1,648	376	297	185	88	44	23	11	40	174	357	53	
		22.8	18.0	11.2	5.3	2.7	1.4	0.7	2.4	10.6	21.7	3.2	
特別支援学校	169	30	11	6	1	3	-	-	2	94	11	11	
		17.8	6.5	3.6	0.6	1.8	-	-	1.2	55.6	6.5	6.5	

[15] インターネットを何時まで利用しているか

質問13 お子さんは、毎日何時頃まで、インターネットを利用しますか。

【分析】

校種別では、『小学校』で「午後7時頃まで」(29.3%)、『中学校』で「午後9時過ぎ～10時頃」(27.0%)、『高等学校』で「午後10時過ぎ～11時頃」(25.8%)、『特別支援学校』で「午後8時過ぎ～9時頃」(30.2%)がそれぞれ最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

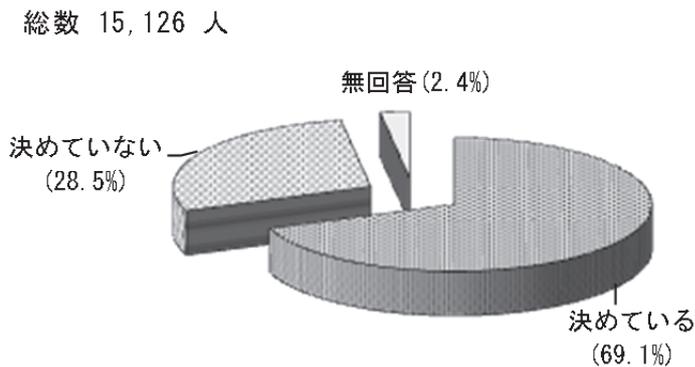
学校種別	全体	午後7時頃まで	午後7時過ぎ～8時頃	午後8時過ぎ～9時頃	午後9時過ぎ～10時頃	午後10時過ぎ～11時頃	午後11時過ぎ～12時頃	午後12時過ぎ～午前1時頃	午前1時以降	分からない	無回答	
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	
全体	15,126	2,886	2,188	3,060	2,273	1,694	880	283	110	955	797	
		19.1	14.5	20.2	15.0	11.2	5.8	1.9	0.7	6.3	5.3	
学校種別	小学校	9,180	2,692	1,922	2,260	923	244	43	6	12	466	612
			29.3	20.9	24.6	10.1	2.7	0.5	0.1	0.1	5.1	6.7
	中学校	4,129	166	204	685	1,113	1,007	417	105	34	264	134
			4.0	4.9	16.6	27.0	24.4	10.1	2.5	0.8	6.4	3.2
高等学校	1,648	11	36	64	210	425	413	167	63	221	38	
		0.7	2.2	3.9	12.7	25.8	25.1	10.1	3.8	13.4	2.3	
特別支援学校	169	17	26	51	27	18	7	5	1	4	13	
		10.1	15.4	30.2	16.0	10.7	4.1	3.0	0.6	2.4	7.7	

[16] インターネット利用時のルールの有無

質問14 インターネットを利用するときのルールを決めていますか。

【分析】

全体では、「決めている」が約7割となっている。校種別では、「決めていない」で『高等学校』が50.5%と他の校種と比べて最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

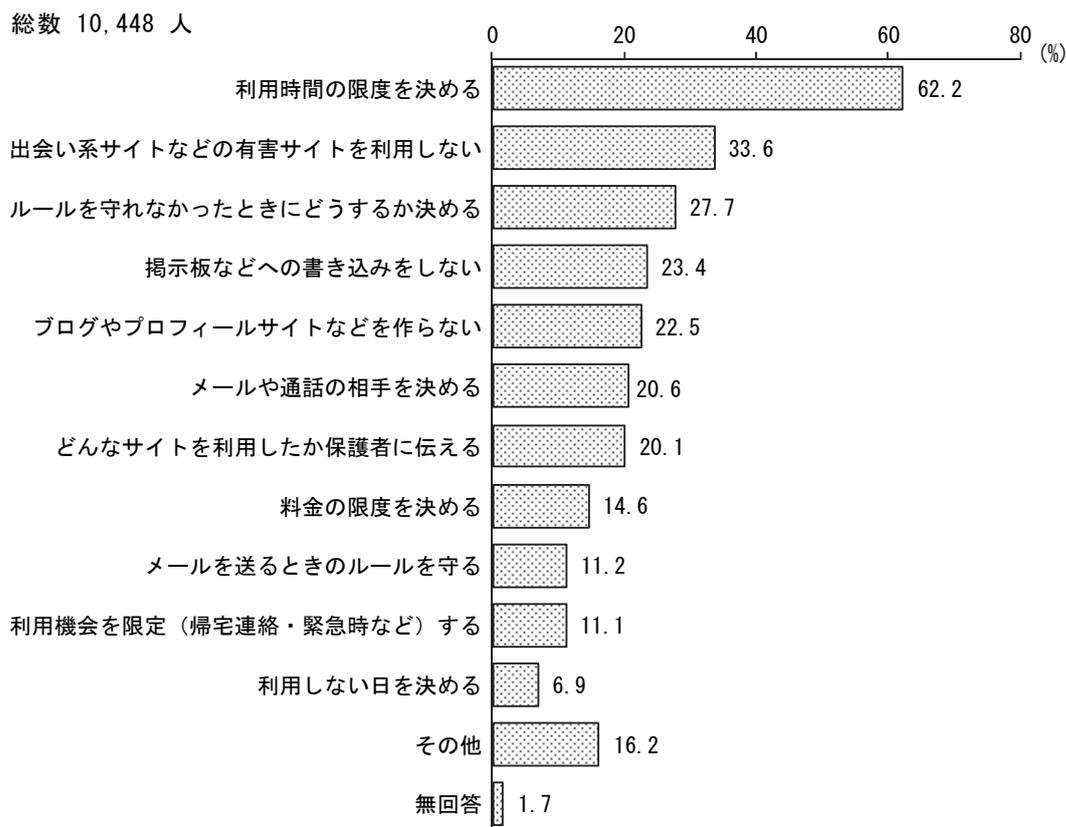
		全 体	決 め て い る	決 め て い な い	無 回 答
全体		15,126	10,448 69.1	4,317 28.5	361 2.4
学 校 種 別	小学校	9,180	6,832 74.4	2,174 23.7	174 1.9
	中学校	4,129	2,770 67.1	1,237 30.0	122 3.0
	高等学校	1,648	757 45.9	832 50.5	59 3.6
	特別支援学校	169	89 52.7	74 43.8	6 3.6

[17] インターネット利用時のルール内容

質問15 どのようなルールを決めていますか。【いくつ〇を付けてもかまいません】

【分析】

全体では、「利用時間の限度を決める」が62.2%と最も高くなっている。校種別では、「出会い系サイトなどの有害サイトを利用しない」で『高等学校』が64.7%と他の校種と比べて最も高くなっている。「その他」の主な内容では、「保護者のいるところでのみ使用を許可する」が最も多く、次いで「利用するサイトや用途を限定する」、「料金がかかることはしない（課金等）」、「許可を得てから利用する」が挙げられる。



(上段:件/下段:%)

	全体	利用時間の限度を決める	出会い系サイトなどの有害サイトを利用しない	ルールを守れなかったとき	掲示板などへの書き込みをしない	ブログやプロフィールサイトなどを作らない	メールや通話の相手を決める	保護者に伝える	料金の限度を決める	メールを送るときルールを守る	利用機会を限定（帰宅連絡・緊急時など）する	利用しない日を決める	その他	無回答	
全体	10,448	6,499	3,513	2,899	2,446	2,356	2,155	2,096	1,528	1,170	1,159	720	1,688	174	
		62.2	33.6	27.7	23.4	22.5	20.6	20.1	14.6	11.2	11.1	6.9	16.2	1.7	
学校種別	小学校	6,832	4,561	1,467	1,633	1,292	1,195	1,508	1,615	600	574	867	590	1,338	90
			66.8	21.5	23.9	18.9	17.5	22.1	23.6	8.8	8.4	12.7	8.6	19.6	1.3
	中学校	2,770	1,623	1,526	1,020	928	932	545	404	593	481	239	117	287	60
			58.6	55.1	36.8	33.5	33.6	19.7	14.6	21.4	17.4	8.6	4.2	10.4	2.2
高等学校	757	258	490	226	209	212	83	69	317	103	40	6	55	22	
		34.1	64.7	29.9	27.6	28.0	11.0	9.1	41.9	13.6	5.3	0.8	7.3	2.9	
特別支援学校	89	57	30	20	17	17	19	8	18	12	13	7	8	2	
		64.0	33.7	22.5	19.1	19.1	21.3	9.0	20.2	13.5	14.6	7.9	9.0	2.2	

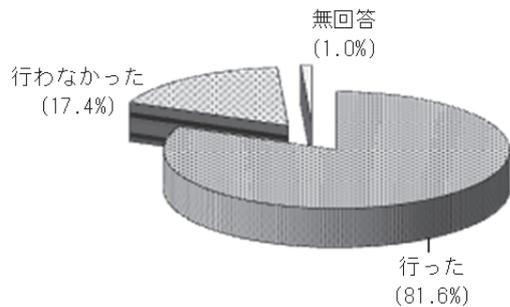
[18] ルールを決めるときの話合いの有無

質問16 ルールを決めるときに、お子さんと話合って決めましたか。

【分析】

全体では、話合いを「行った」が8割以上を占めている。

総数 10,448 人



		(上段:件/下段:%)			
	全体	行った	行わなかった	無回答	
全体	10,448	8,522	1,820	106	
学校種別	小学校	6,832	5,363	1,418	51
	中学校	2,770	2,426	305	39
	高等学校	757	670	72	15
	特別支援学校	89	63	25	1
			70.8	28.1	1.1

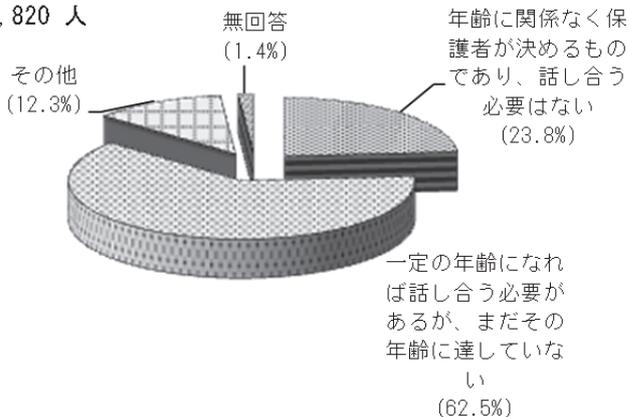
[19] ルールを決める話合いを行わなかった理由

質問17 質問16で②を選んだ方にお聞きします。話合いを行わなかった理由はなんですか。

【分析】

校種別では、「一定の年齢になれば話し合う必要があるが、まだその年齢に達していない」の項目が『小学校』、『中学校』(各69.9%、41.3%)でそれぞれ最も高くなっている。「年齢に関係なく保護者が決めるものであり、話し合う必要はない」は『高等学校』(50.0%)が最も高くなっている。「その他」の主な内容では、「使用頻度が少ないから(保護者のものを使用させているから)」が最も多く、次いで「保護者のいるところでのみ使用させているから」、「本人が理解している、信頼しているから」が挙げられる。

総数 1,820 人



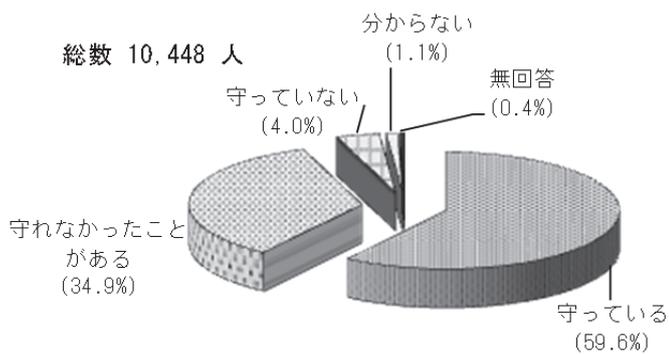
		(上段:件/下段:%)				
	全体	必要年齢に達していないが年齢に関係なく話し合う決	年齢に一定の年齢に達していないが年齢に達しないまま話し合う	その他	無回答	
全体	1,820	433	1,138	224	25	
学校種別	小学校	1,418	270	991	139	18
	中学校	305	119	126	55	5
	高等学校	72	36	15	19	2
	特別支援学校	25	8	6	11	-
			32.0	24.0	44.0	-

[20] 決めたルールを守っているか

質問18 お子さんは、決めたルールを守っていますか。

【分析】

全体では、「守っている」が59.6%と最も高くなっている。一方で「守れなかったことがある」が34.9%となっている。



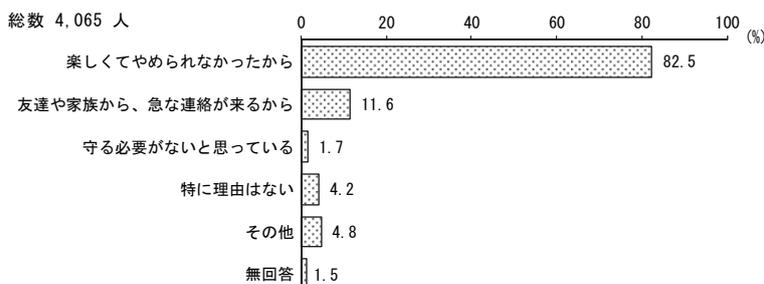
		(上段:件/下段:%)					
		全 体	守 つ て い る	守 れ な か つ た こ と が あ る	守 つ て い な い	分 か ら な い	無 回 答
全体		10,448	6,226 59.6	3,642 34.9	423 4.0	116 1.1	41 0.4
学 校 種 別	小学校	6,832	4,357 63.8	2,244 32.8	179 2.6	28 0.4	24 0.4
	中学校	2,770	1,363 49.2	1,147 41.4	196 7.1	51 1.8	13 0.5
	高等学校	757	462 61.0	213 28.1	44 5.8	34 4.5	4 0.5
	特別支援学校	89	44 49.4	38 42.7	4 4.5	3 3.4	-

[21] ルールを守れなかった理由

質問19 質問18で②、③と答えた方にお聞きします。ルールを守れなかった理由は何ですか。

【分析】

全体では、「楽しくてやめられなかったから」が82.5%と最も高いが、校種別では、『高等学校』で58.4%と他の校種と比べてやや低くなっている。



		(上段:件/下段:%)						
		全 体	か ら し く て や め ら れ な か つ た か ら	が 友 達 や 家 族 か ら 急 な 連 絡 が 来 る か ら	守 る 必 要 が な い と 思 っ て い る	特 に 理 由 は な い	そ の 他	無 回 答
全体		4,065	3,355 82.5	471 11.6	68 1.7	172 4.2	194 4.8	60 1.5
学 校 種 別	小学校	2,423	2,172 89.6	125 5.2	25 1.0	68 2.8	101 4.2	27 1.1
	中学校	1,343	997 74.2	275 20.5	31 2.3	77 5.7	68 5.1	27 2.0
	高等学校	257	150 58.4	66 25.7	11 4.3	27 10.5	22 8.6	5 1.9
	特別支援学校	42	36 85.7	5 11.9	1 2.4	-	3 7.1	1 2.4

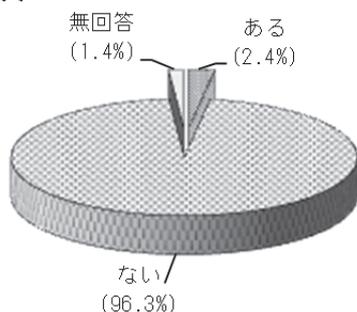
[2 2] インターネット利用時にトラブルや嫌な思いをした経験の相談

質問 2 0 平成27年4月1日から12月31日までの間に、お子さんから、インターネットに関するトラブルや被害について相談を受けたことがありますか。

【分析】

全体では、「ない」が9割半ばとなっており、保護者への相談は、ほとんどない。

総数 15,126 人



		(上段:件/下段:%)			
		全 体	あ る	な い	無 回 答
全体		15,126	357 2.4	14,563 96.3	206 1.4
学校 種 別	小学校	9,180	111 1.2	8,956 97.6	113 1.2
	中学校	4,129	193 4.7	3,883 94.0	53 1.3
	高等学校	1,648	46 2.8	1,567 95.1	35 2.1
	特別支援学校	169	7 4.1	157 92.9	5 3.0

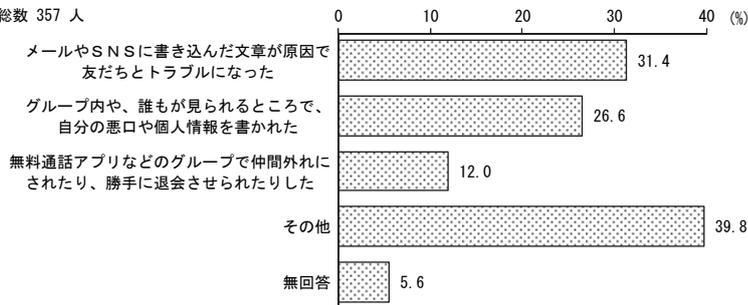
[2 3] トラブルや嫌な思いをした経験の相談内容

質問 2 1 お子さんから受けた相談の内容は、どのようなものですか。【いくつか〇を付けてもかまいません】

【分析】

全体では、「メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友達とトラブルになった」が31.4%と最も高く、次いで「グループ内や、誰もが見られるところで、自分の悪口や個人情報を書かれた」が26.6%となっている。また、「その他」の割合も高くなっており、「その他」の主な内容では、『特別支援学校』を除く全ての校種で「迷惑メールやSNSで知らない人から連絡が来る」が最も多くなっている。また、『中学校』で「有害サイトやワンクリック詐欺等にあいそうになった」も多くなっている。

総数 357 人



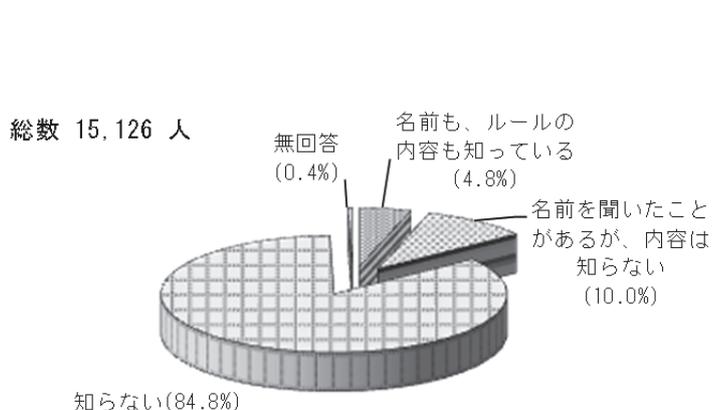
		(上段:件/下段:%)								
		全 体	ラ ダ メ ー ル や S N S に 書 き 込 ん だ 文 章 が 原 因 で 友 だ ち と ト ラ ブ ル に な っ た	グ ル ー プ 内 や 、 誰 も が 見 ら れ る と こ ろ で 、 自 分 の 悪 口 や 個 人 情 報 を 書 か れ た						
全体		357	112 31.4	95 26.6	43 12.0	142 39.8	20 5.6			
学校 種 別	小学校	111	31 27.9	20 18.0	16 14.4	45 40.5	8 7.2			
	中学校	193	63 32.6	65 33.7	23 11.9	71 36.8	8 4.1			
	高等学校	46	16 34.8	9 19.6	4 8.7	22 47.8	4 8.7			
	特別支援学校	7	2 28.6	1 14.3	-	4 57.1	-			

[24] SNS東京ルール認知状況

質問22 「SNS東京ルール」を知っていますか。

【分析】

全体では、「知らない」が8割半ばとなっており、認知状況が低くなっている。



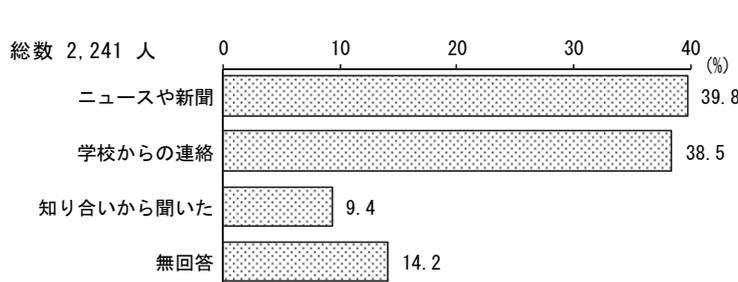
		(上段:件/下段:%)				
	全体	名前も、ルールの内容も知っている	名前も聞いたことがあるが、内容は知らない	知らない	無回答	
	全体	15,126	724 4.8	1,517 10.0	12,826 84.8	59 0.4
学校種別	小学校	9,180	436 4.7	821 8.9	7,884 85.9	39 0.4
	中学校	4,129	212 5.1	510 12.4	3,393 82.2	14 0.3
	高等学校	1,648	73 4.4	167 10.1	1,403 85.1	5 0.3
	特別支援学校	169	3 1.8	19 11.2	146 86.4	1 0.6

[25] SNS東京ルールを知ったきっかけ

質問23 質問22で①、又は②と答えた方にお聞きします。「SNS東京ルール」を、どこで知りましたか。

【分析】

SNS東京ルールを知ったきっかけは「ニュースや新聞」が『小学校』、『高等学校』（各40.1%、49.2%）、「学校からの連絡」が『中学校』、『特別支援学校』（各40.6%、50.0%）でそれぞれ最も高くなっている。



		(上段:件/下段:%)				
	全体	ニュースや新聞	学校からの連絡	知り合いから聞いた	無回答	
	全体	2,241	893 39.8	863 38.5	210 9.4	319 14.2
学校種別	小学校	1,257	504 40.1	495 39.4	111 8.8	171 13.6
	中学校	722	264 36.6	293 40.6	68 9.4	110 15.2
	高等学校	240	118 49.2	64 26.7	28 11.7	36 15.0
	特別支援学校	22	7 31.8	11 50.0	3 13.6	2 9.1

5 学校对象

5. 学校対象

[1] 学校種別

(上段:件/下段:%)

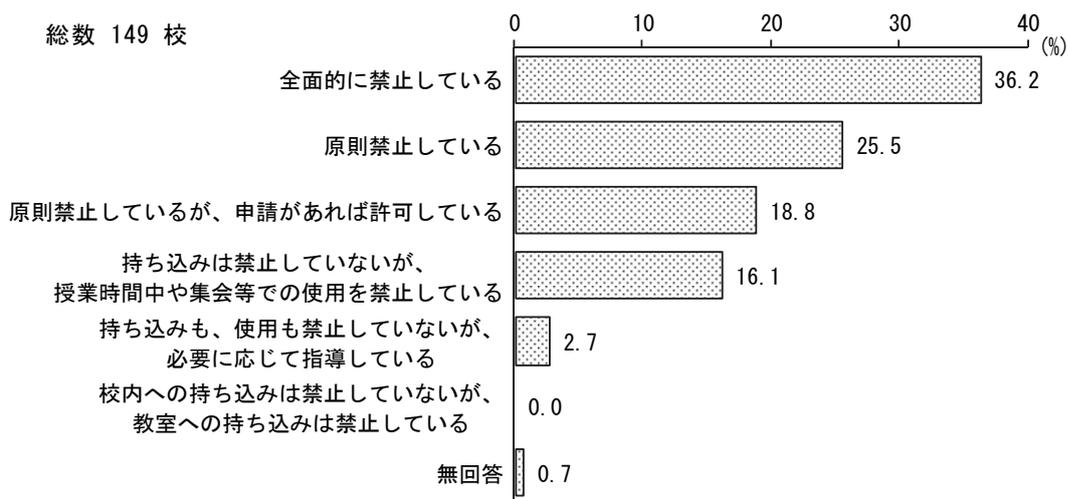
		全 体	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校	特 別 支 援 学 校
全体		149	76 51.0	42 28.2	25 16.8	6 4.0
学 校 種 別	小学校	76	76 100.0	- -	- -	- -
	中学校	42	- -	42 100.0	- -	- -
	高等学校	25	- -	- -	25 100.0	- -
	特別支援学校	6	- -	- -	- -	6 100.0

[2] スマートフォン等の校内への持ち込みについての指導

質問1 児童・生徒のスマートフォン等の校内への持ち込みについて、どのように指導していますか。

【分析】

全体では、「全面的に禁止している」が36.2%と最も高く、次いで、「原則禁止している」(25.5%)となっている。校種別では、「全面的に禁止している」が『中学校』で57.1%、「持ち込みは禁止していないが、授業時間中や集会等での使用を禁止している」が『高等学校』で92.0%と他の校種と比べて、それぞれ最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

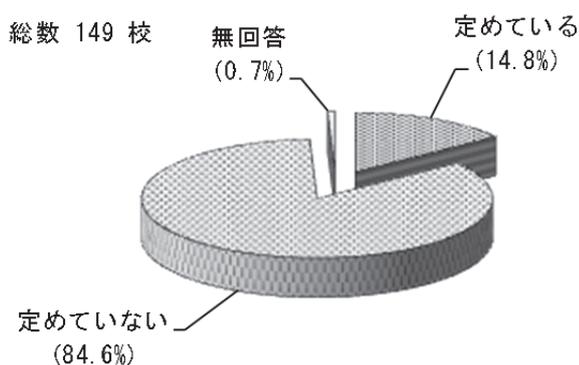
	全 体	(上段:件/下段:%)							無 回 答
		全 面 的 に 禁 止 し て い る	原 則 禁 止 し て い る	が 原 則 禁 止 し て い る が、 申 請	込 み は 禁 止 し て い る	校 内 へ の 持 ち 込 み は 禁 止 し て い る	の が、 持 ち 込 み は 禁 止 し て い る	指 導 し て い る	
全体	149	54 36.2	38 25.5	28 18.8	-	24 16.1	4 2.7	1 0.7	
学 校 種 別	小学校	76 39.5	30 35.5	27 25.0	19	-	-	-	
	中学校	42 57.1	24 26.2	11 16.7	7	-	-	-	
	高等学校	25	-	-	-	-	23 92.0	2 8.0	-
	特別支援学校	6	-	-	2 33.3	-	1 16.7	2 33.3	1 16.7

[3] スマートフォン等の使用や無料通話アプリ、コミュニケーションアプリ使用に関するルール設定

質問2 スマートフォン等の使い方や、無料通話アプリやコミュニケーションアプリの使用に関するルールを定めていますか。平成27年11月現在でお答えください。

【分析】

全体では、「定めていない」が84.6%となっている。校種別では、「定めている」が『中学校』で23.8%と他の校種と比べてやや高くなっている。



(上段:件/下段:%)

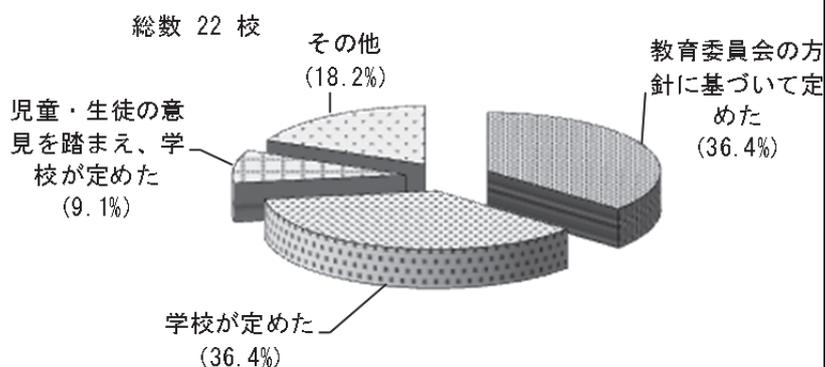
		全 体	定 め て い る	定 め て い な い	無 回 答
全体		149	22 14.8	126 84.6	1 0.7
学 校 種 別	小学校	76	9 11.8	67 88.2	-
	中学校	42	10 23.8	31 73.8	1 2.4
	高等学校	25	3 12.0	22 88.0	-
	特別支援学校	6	-	6 100.0	-

[4] ルールの設定について

質問3 ルールをどのように決めましたか。

【分析】

全体では、「教育委員会の方針に基づいて定めた」と「学校が定めた」が36.4%で最も高くなっている。校種別では、「教育委員会の方針に基づいて定めた」が『小学校』で5割半ばと他の校種と比べて高くなっている。



(上段:件/下段:%)

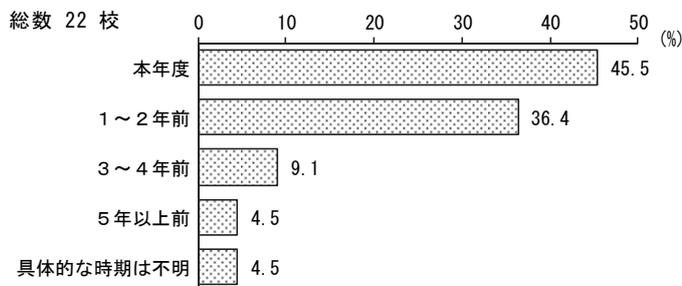
		全 体	教 育 委 員 会 の 方 針 に 基 づ い て 定 め た	学 校 が 定 め た	児 童 ・ 学 生 の 意 見 を 踏 ま え 、 学 校 が 定 め た	そ の 他
全体		22	8 36.4	8 36.4	2 9.1	4 18.2
学 校 種 別	小学校	9	5 55.6	3 33.3	-	1 11.1
	中学校	10	3 30.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0
	高等学校	3	-	3 100.0	-	-
	特別支援学校	-	-	-	-	-

[5] ルールの設定時期

質問4 初めてルールを定めた時期はいつ頃ですか。

【分析】

全体では、「本年度」が45.5%と最も高く、次いで、「1～2年前」が36.4%となっている。校種別では、『中学校』で「1～2年前」が6割となっている。



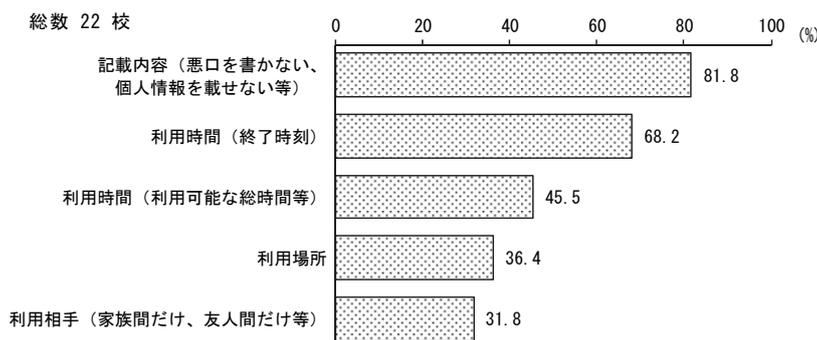
		(上段:件/下段:%)					
		全 体	本 年 度	1 ～ 2 年 前	3 ～ 4 年 前	5 年 以 上 前	具 体 的 な 時 期 は 不 明
全体		22	10 45.5	8 36.4	2 9.1	1 4.5	1 4.5
学 校 種 別	小学校	9	5 55.6	2 22.2	1 11.1	-	1 11.1
	中学校	10	4 40.0	6 60.0	-	-	-
	高等学校	3	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	-
	特別支援学校	-	-	-	-	-	-

[6] ルールの内容

質問5 どのようなルールを定めていますか。【複数回答可】

【分析】

全体では、「記載内容（悪口を書かない、個人情報を書かない等）」が81.8%で最も高く、次いで、「利用時間（終了時刻）」（68.2%）、「利用時間（利用可能な総時間等）」（45.5%）となっている。校種別では、「利用時間（終了時刻）」が『中学校』で9割と他の校種と比べて最も高くなっている。



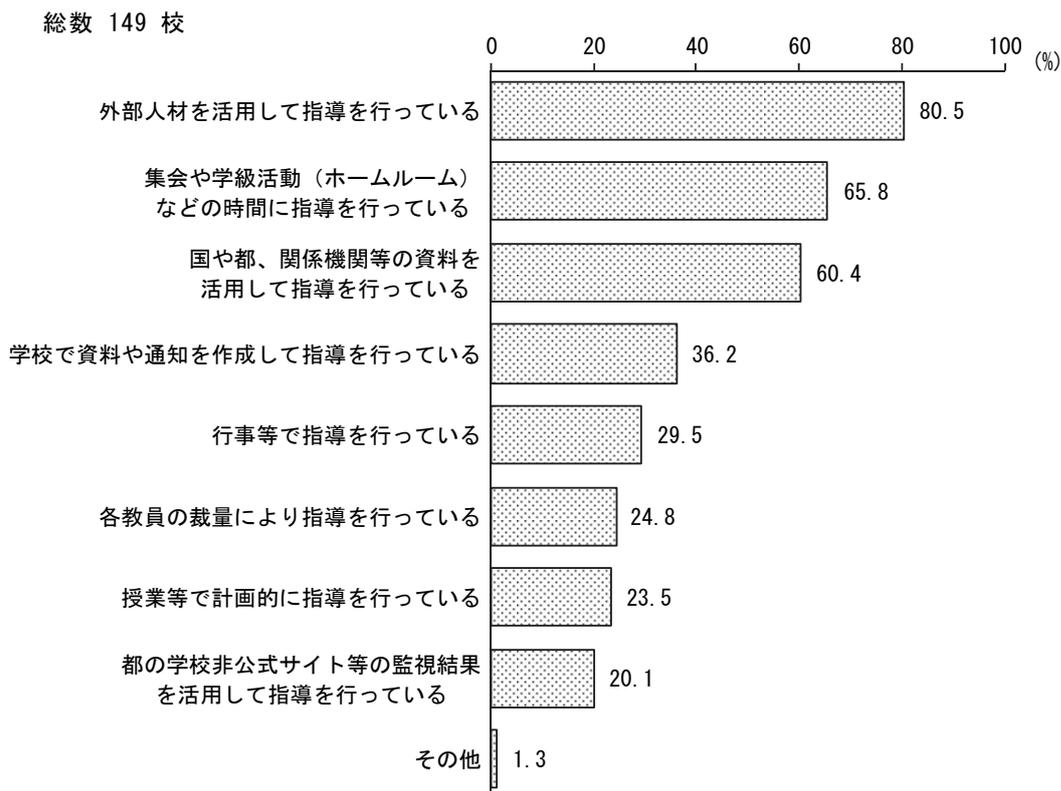
		(上段:件/下段:%)						
		全 体	等 い 、 個 人 情 報 を 載 せ な い 等	記 載 内 容 （ 悪 口 を 書 か な い ）	利 用 時 間 （ 終 了 時 刻 ）	利 用 時 間 （ 利 用 可 能 な 総 時 間 等 ）	利 用 場 所	利 用 相 手 （ 家 族 間 だ け 、 友 人 間 だ け 等 ）
全体		22	18 81.8	15 68.2	10 45.5	8 36.4	7 31.8	
学 校 種 別	小学校	9	7 77.8	6 66.7	5 55.6	3 33.3	4 44.4	
	中学校	10	8 80.0	9 90.0	4 40.0	3 30.0	3 30.0	
	高等学校	3	3 100.0	-	1 33.3	2 66.7	-	
	特別支援学校	-	-	-	-	-	-	

[7] インターネットや携帯電話使用についての指導

質問6 インターネットや携帯電話等の使用について、児童・生徒に対してどのように指導していますか。【複数回答可】

【分析】

全体では、「外部人材を活用して指導を行っている」が80.5%で最も高く、次いで、「集会や学級活動（ホームルーム）などの時間に指導を行っている」（65.8%）、「国や都、関係機関等の資料を活用して指導を行っている」（60.4%）となっている。校種別では、「都の学校非公式サイト等の監視結果を活用して指導を行っている」で『高等学校』が他の校種と比べ7割弱と最も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

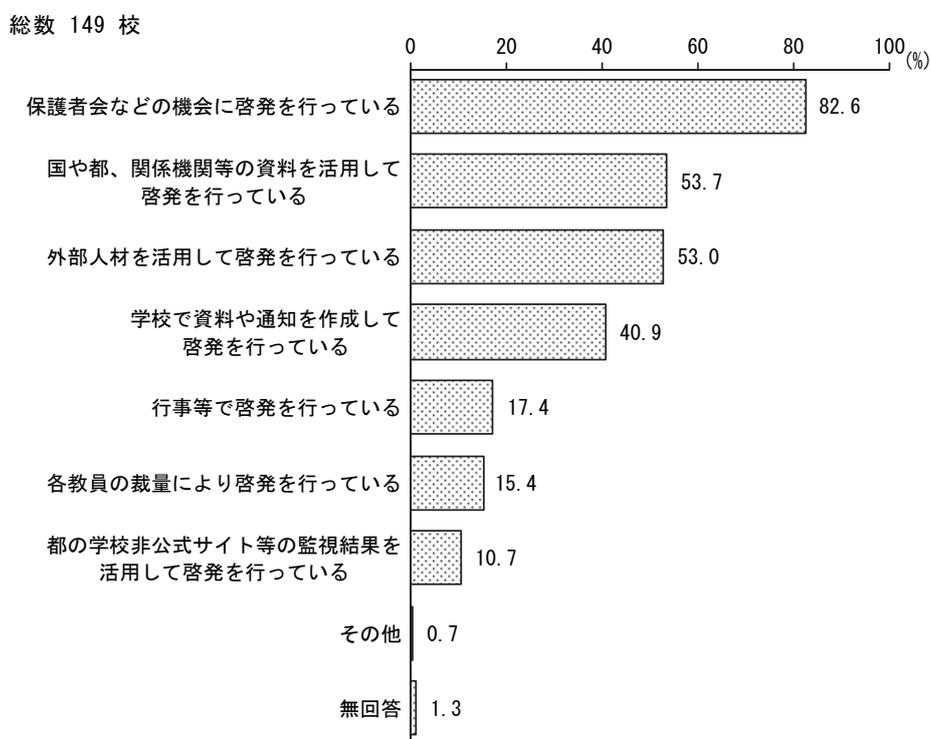
学校種別	全体	外部人材を活用して指導を行っている	集会や学級活動（ホームルーム）などの時間に指導を行っている	国や都、関係機関等の資料を活用して指導を行っている	学校で資料や通知を作成して指導を行っている	行事等で指導を行っている	各教員の裁量により指導を行っている	授業等で計画的に指導を行っている	都の学校非公式サイト等の監視結果を活用して指導を行っている	その他	
		件	件	件	件	件	件	件	件	件	
全体	149	120	98	90	54	44	37	35	30	2	
		80.5	65.8	60.4	36.2	29.5	24.8	23.5	20.1	1.3	
学校種別	小学校	76	63	40	43	21	18	21	14	4	2
			82.9	52.6	56.6	27.6	23.7	27.6	18.4	5.3	2.6
	中学校	42	38	34	32	23	11	6	12	9	-
			90.5	81.0	76.2	54.8	26.2	14.3	28.6	21.4	-
高等学校	25	18	21	14	9	15	5	9	17	-	
		72.0	84.0	56.0	36.0	60.0	20.0	36.0	68.0	-	
特別支援学校	6	1	3	1	1	-	5	-	-	-	
		16.7	50.0	16.7	16.7	-	83.3	-	-	-	

[8] インターネットや携帯電話使用に関する保護者への啓発

質問7 インターネットや携帯電話等の使用について、保護者に対してどのように啓発していますか。
【複数回答可】

【分析】

全体では、「保護者会などの機会に啓発を行っている」が82.6%で最も高く、次いで、「国や都、関係機関等の資料を活用して啓発を行っている」(53.7%)、「外部人材を活用して啓発を行っている」(53.0%)、「学校で資料や通知を作成して啓発を行っている」(40.9%)となっている。校種別では、『中学校』で「国や都、関係機関等の資料を活用して啓発を行っている」(69.0%)、「外部人材を活用して啓発を行っている」(73.8%)、「学校で資料や通知を作成して啓発を行っている」(54.8%)、が他の校種と比べて最も高くなっている。また、『高等学校』で「都の学校非公式サイト等の監視結果を活用して啓発を行っている」(24.0%)が他の校種と比べて最も高くなっている。その他では、「保護者向けの情報モラル教室の実施」という回答が小学校で1件挙げられる。



(上段:件/下段:%)

学校種別	全体	啓発方法								
		保護者会などの機会に啓発	国や都、関係機関等の資料を活用して啓発	外部人材を活用して啓発	学校で資料や通知を作成して啓発	行事等で啓発	各教員の裁量により啓発	監視結果を活用して啓発	都の学校非公式サイト等の監視結果を活用して啓発	その他
全体	149	123 82.6	80 53.7	79 53.0	61 40.9	26 17.4	23 15.4	16 10.7	1 0.7	2 1.3
学校種別	小学校	76 61 80.3	39 51.3	45 59.2	27 35.5	17 22.4	13 17.1	4 5.3	1 1.3	2 2.6
	中学校	42 37 88.1	29 69.0	31 73.8	23 54.8	9 21.4	3 7.1	6 14.3	-	-
	高等学校	25 22 88.0	8 32.0	1 4.0	9 36.0	-	2 8.0	6 24.0	-	-
	特別支援学校	6 3 50.0	4 66.7	2 33.3	2 33.3	-	5 83.3	-	-	-

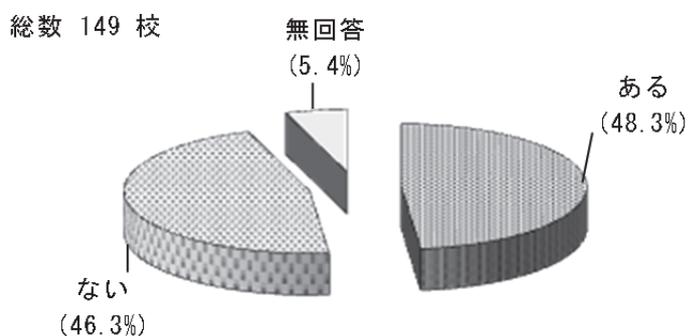
[9] インターネットや携帯電話に関するトラブル

質問8 自校の児童・生徒に、インターネットや携帯電話利用に関するトラブルが起きたことがありますか。平成27年4月1日から12月31日までの間について回答してください。

※前回調査（平成26年1月実施）後の状況について調査を行った。

【分析】

全体では、「ある」が48.3%となっている。校種別では、『中学校』（73.8%）、『高等学校』（64.0%）で他の校種と比べて高くなっている。また、「ない」は『小学校』が64.5%となっている。その他では、「祭り等の様子を無断で動画投稿サイトにアップされた」、「児童の画像を無断でインターネット上にアップされた保護者から苦情が学校に寄せられた」、「ゲームのアイテム購入に課金（親に無断で親のクレジットカードで支払い）」、「インターネット上で知り合った人と会う」という回答がそれぞれ1件ずつ挙げられている。



(上段:件/下段:%)

		全 体	あ る	な い	無 回 答
全体		149	72 48.3	69 46.3	8 5.4
学 校 種 別	小学校	76	24 31.6	49 64.5	3 3.9
	中学校	42	31 73.8	7 16.7	4 9.5
	高等学校	25	16 64.0	9 36.0	-
	特別支援学校	6	1 16.7	4 66.7	1 16.7

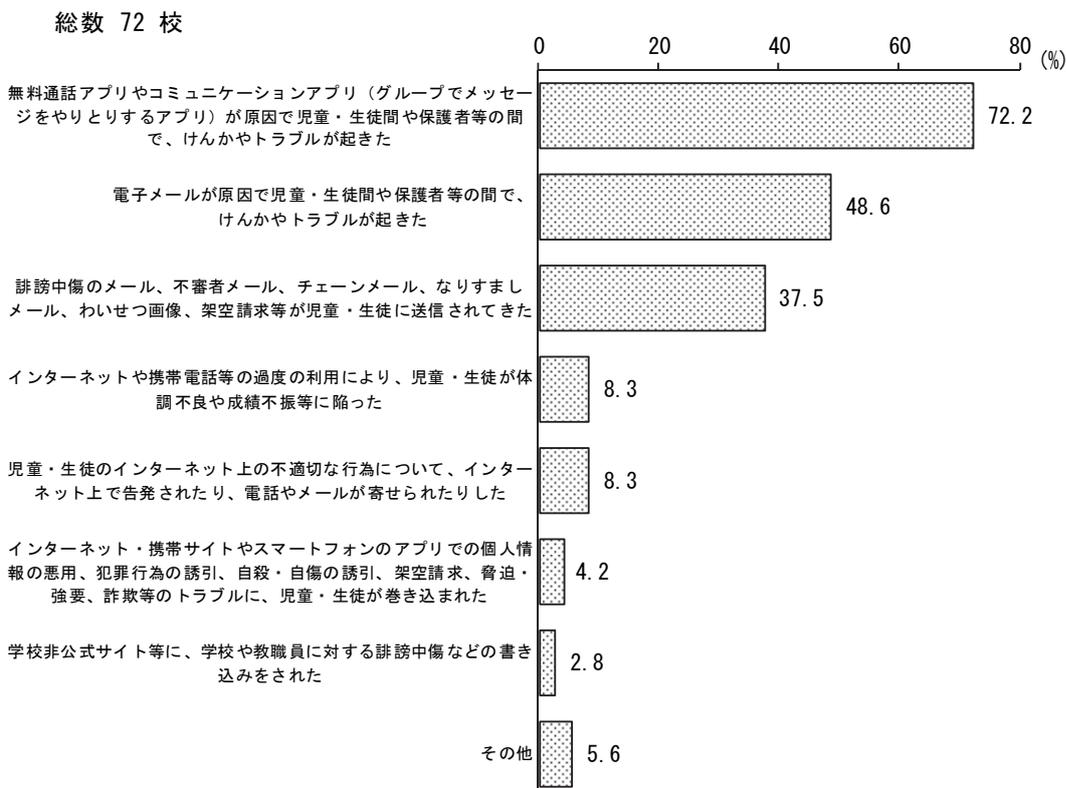
[10] インターネットや携帯電話に関するトラブルの内容

質問9 どのようなトラブルがありましたか。平成27年4月1日から12月31日までの間について、学校が把握している範囲で回答してください。【複数回答可】

※前回調査（平成26年1月実施）後の状況について調査を行った。

【分析】

全体では、「無料通話アプリやコミュニケーションアプリ（グループでメッセージをやり取りするアプリ）が原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた」が72.2%で最も高く、次いで、「電子メールが原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた」（48.6%）、「誹謗中傷のメール、不審者メール、チェーンメール、なりすましメール、わいせつ画像、架空請求等が児童・生徒に送信されてきた」（37.5%）となっている。



(上段:件/下段:%)

学校種別	件数	割合 (%)							
		無料通話アプリやコミュニケーションアプリが原因でけんかやトラブルが起きた	電子メールが原因でけんかやトラブルが起きた	誹謗中傷のメール、不審者メール、チェーンメール、なりすましメール、わいせつ画像、架空請求等が送信されてきた	インターネットや携帯電話等の過度の利用により、児童・生徒が体調不良や成績不振等に陥った	児童・生徒のインターネット上の不適切な行為について、インターネット上で告発されたり、電話やメールが寄せられたりした	インターネット・携帯サイトやスマートフォンのアプリでの個人情報の悪用、犯罪行為の誘引、自殺・自傷の誘引、架空請求、脅迫・強要、詐欺等のトラブルに、児童・生徒が巻き込まれた	学校非公式サイト等に、学校や教職員に対する誹謗中傷などの書き込みをされた	その他
全体	72	52	35	27	6	6	3	2	4
		72.2	48.6	37.5	8.3	8.3	4.2	2.8	5.6
小学校	24	13	11	6	2	-	-	-	3
		54.2	45.8	25.0	8.3	-	-	-	12.5
中学校	31	26	16	14	3	1	2	1	1
		83.9	51.6	45.2	9.7	3.2	6.5	3.2	3.2
高等学校	16	12	8	7	1	5	1	1	-
		75.0	50.0	43.8	6.3	31.3	6.3	6.3	-
特別支援学校	1	1	-	-	-	-	-	-	-
		100.0	-	-	-	-	-	-	-

[11] トラブルの把握について

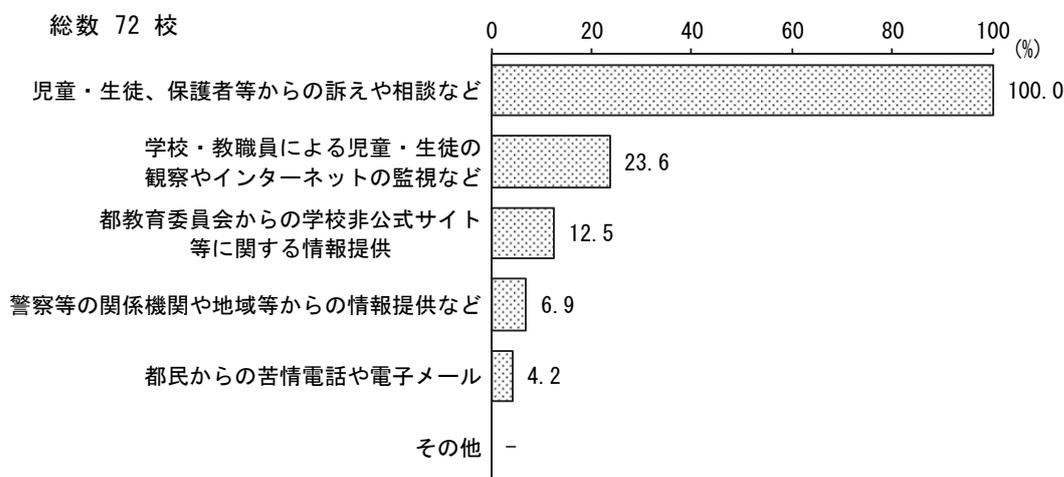
[対象：学校]

質問10 どのようにしてトラブルを把握しましたか。平成27年4月1日から12月31日までの間について、回答してください。【複数回答可】

※前回調査（平成26年1月実施）後の状況について調査を行った。

【分析】

全体では、児童・生徒にインターネットや携帯電話利用に関するトラブルがあったと回答した全ての校種で「児童・生徒、保護者等からの訴えや相談など」が挙げられている。次いで、「学校・教職員による児童・生徒の観察やインターネットの監視など」(23.6%)、「都教育委員会からの学校非公式サイト等に関する情報提供」(12.5%)となっている。校種別では、『高等学校』で「学校・教職員による児童・生徒の観察やインターネットの監視など」(37.5%)、「都教育委員会からの学校非公式サイト等に関する情報提供」(43.8%)も高くなっている。



(上段:件/下段:%)

学校種別	全体	把握方法						
		児童・生徒、保護者等からの訴えや相談など	学校・教職員による児童・生徒の観察やインターネットの監視など	都教育委員会からの学校非公式サイト等に関する情報提供	警察等の関係機関や地域等からの情報提供など	都民からの苦情電話や電子メール	その他	
全体	72	72	17	9	5	3	-	
		100.0	23.6	12.5	6.9	4.2	-	
学校種別	小学校	24	3	-	-	-	-	
			100.0	12.5	-	-	-	
	中学校	31	8	2	4	-	-	
			100.0	25.8	6.5	12.9	-	
高等学校	16	6	7	1	3	-		
		100.0	37.5	43.8	6.3	18.8	-	
特別支援学校	1	-	-	-	-	-	-	
		100.0	-	-	-	-	-	

6 調査票

東京都教育委員会 平成27年度 児童・生徒のインターネット利用状況調査 児童・生徒用調査用紙（調査票A）

学校名	学年	性別	年齢
			男子・女子

【答え方】それぞれの質問で、あてはまるものの数字に○を付けてください。
 「その他」を选了な場合は、かこの中に内容を書いてください。

質問1 インターネットに接続することができる機器を使っていますか。
 ※インターネットに接続できる機器については質問2の添え直してください。

- ① 使っている ② 使っていない（→ 表は、質問2に添えてください）

質問2 どのような機器を使っていますか。（自分のものではなくても、使っていれば○を付けてください。）
 【いくつ○を付けてもかまいません】



質問3 質問2の機器のどれかを使って、インターネットを利用していませんか。

- ① 利用している ② 利用していない（→ 表は、質問27に添えてください）

質問4 質問2の機器のうち、携帯端末またはスマートフォンでインターネットを利用していませんか。

- ① 利用している ② 利用していない

質問5 インターネットを初めて利用したのはいつ頃ですか。

① 小学校入学前	② 小学1年生頃	③ 小学2年生頃	④ 小学3年生頃
⑤ 小学4年生頃	⑥ 小学5年生頃	⑦ 小学6年生頃	⑧ 小学7年生頃
⑨ 小学2年生頃	⑩ 小学3年生頃	⑪ 高校1年生頃	⑫ 高校2年生頃
⑬ 高校3年生頃	⑭ 高校4年生頃		

質問6 インターネットを、どのような目的で利用しますか。【いくつ○を付けてもかまいません】

① ニュースや天気予報など、普段の生活に必要な情報を調べるため。	⑤ 家族と連絡を取るため。
② 日々の生活の様子やおやきなどを書き込んだりするため。	⑦ その他（ ）
③ ゲームや音楽を楽しむなど、自分の趣味のため。	
④ 学習や受験などに必要なことを調べるため。	

質問7 オンラインゲーム（自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの）や、SNS（メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど）を初めて利用したのはいつ頃ですか。

① 小学校入学前	② 小学1年生頃	③ 小学2年生頃	④ 小学3年生頃
⑤ 小学4年生頃	⑥ 小学5年生頃	⑦ 小学6年生頃	⑧ 小学7年生頃
⑨ 小学2年生頃	⑩ 小学3年生頃	⑪ 高校1年生頃	⑫ 高校2年生頃
⑬ 高校3年生頃	⑭ 高校4年生頃	⑮ 使ったことはない	

質問8 一日何時間くらい、インターネットを利用しますか。

① 1時間程度	② 2時間程度	③ 3時間程度	④ 4時間程度
⑤ 5時間程度	⑥ 6時間程度	⑦ 6時間を越える	⑧ ほとんど使わない

質問9 質問8で答えた利用時間について、どう思いますか。

① 短いと思う	② 普通だと思う	③ 長いと思う
---------	----------	---------

質問10 質問8で答えた利用時間のうち、オンラインゲーム（自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの）や、SNS（メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど）の利用時間はどれくらいですか。

① 1時間程度	② 2時間程度	③ 3時間程度	④ 4時間程度
⑤ 5時間程度	⑥ 6時間程度	⑦ 6時間を越える	⑧ ほとんど使わない

質問11 毎日何時間まで、インターネットを利用しますか。

① 午後7時頃まで	② 午後7時過ぎ～8時頃	③ 午後8時過ぎ～9時頃
④ 午後9時過ぎ～10時頃	⑤ 午後10時過ぎ～11時頃	⑥ 午後11時過ぎ～12時頃
⑦ 午後12時過ぎ～午前1時頃	⑧ 午前1時以降	

質問12 インターネットを利用して、あなたやあなたの生活や趣味に変化がありましたか。
 【いくつ○を付けてもかまいません】

① 不足になった。	⑤ メールやブログなどのサイトを見ないと、書き置けなくなったり、不安になった。	⑩ 家族や新関を遊ぶ時間が減った。自分が遅くなった。
② 役なかなが離れなくなかった。	⑥ 家の仕事を手際よく済ませることができた。	⑪ 手や指が痛くなった。
③ 家の仕事を手際よく済ませることができた。	⑦ 学校に遅れたり、欠席する時間がなくなかった。	⑫ 役えるお小遣いが減った。
④ 宿題など（家での勉強）する時間がなくなかった。	⑧ 火と器したり、外出するのがめんどうに思うようになった。	⑬ その他

質問21 質問20で②、または③と答えた人にお聞きします。ルールを守れなかった理由は何ですか。

- ① 守る必要がないと思ったから
- ② 友達や家族から、急な連絡が来るから
- ③ 楽しくてやめられなかったから
- ④ 特に理由はない
- ⑤ その他 ()

質問22 質問14で「② 利用時間の限度を決める」に○を付けた人にお聞きします。

- ① 授業に耐えるなどのようなルールを決めていますか。【いくつ○を付けてもかまいません】
- ② 一日1時間までなど、利用できる時間を決めている
- ③ その他 ()

質問23 半数27年1月1日から12月31日までの間で、インターネットを利用するときにトラブルや嫌な思いをしたことがありますか。

- ① ある
- ② ない (→ 次は、質問27に答えてください)

質問24 自分が経験したトラブルや嫌な思いは何ですか。【いくつ○を付けてもかまいません】

- ① メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友だちとけんかになった
- ② グループ内や、誰もが見られるところで、自分の選言や個人情報を書かれた
- ③ 無料通話アプリなどのグループで仲間外れにされたり、勝手に退会させられたりした
- ④ その他 ()

質問25 トラブルをうけて、どのようにしましたか。【いくつ○を付けてもかまいません】

- ① がまんした
- ② 家族に相談した
- ③ 学校・先生に相談した
- ④ 警察に相談した
- ⑤ 専門の相談窓口へ電話をした
- ⑥ その他 ()

質問26 インターネットを利用する際のルールやマナーなどについて、どこで教えてもらいましたか。【いくつ○を付けてもかまいません】

- ① 学校で教えてもらった
- ② 家族から教えてもらった
- ③ 友達から教えてもらった
- ④ 新聞やテレビで知った
- ⑤ 自分で調べた
- ⑥ その他 ()

質問27 「SNS東京ルール」を知っていますか。

- ① 名前も、ルールの内容も知っている
- ② 名前を知っているが、内容は知らない
- ③ 知らない

質問28 質問27で①、または②と答えた人にお聞きします。「SNS東京ルール」を、どこで知りましたか。

- ① 学校で聞いた
- ② 家の大人から聞いた
- ③ 新聞やテレビで知った

質問13 インターネットを利用するときのルールを決めていますか。

- ① 決めている
- ② 決めていない (→ 次は、質問23に答えてください)

質問14 どのようなルールを決めていますか。【いくつ○を付けてもかまいません】

- ① 料金の限度を決める
- ② 利用時間の限度を決める
- ③ 利用しない日を決める
- ④ メールや通話の相手を決める
- ⑤ どんなサイトを利用したか保護者に伝える
- ⑥ プログラムやプロフィールサイトなどを作らない
- ⑦ 掲示板などへの書き込みをしない
- ⑧ 出会い系サイトなどの有害サイトを利用しない
- ⑨ ルールを守れなかったときにどうするか決める
- ⑩ メールを送るなどのルールを守る
- ⑪ 利用機会を限定 (帰宅連絡・緊急時など) する
- ⑫ その他 ()

質問15 ルールは誰と決めましたか。【いくつ○を付けてもかまいません】

- ① 家族
- ② クラスや学校
- ③ その他 ()

質問16 質問15で「① 家族」に○を付けた人にお聞きします。ルールを決めるときに、話し合いを行いましたか。

- ① 行った
- ② 行わなかった

質問17 質問15で「① 家族」に○を付けた人にお聞きします。決めたルールを守っていますか。

- ① 守っている
- ② 守れなかったことがある
- ③ 守っていない

質問18 質問17で②、または③と答えた人にお聞きします。ルールを守れなかった理由は何ですか。

- ① 守る必要がないと思ったから
- ② 友達や家族から、急な連絡が来るから
- ③ 楽しくてやめられなかったから
- ④ 特に理由はない
- ⑤ その他 ()

質問19 質問16で「② クラスや学校」に○を付けた人にお聞きします。ルールを決めるときに、話し合いを行いましたか。

- ① 行った
- ② 行わなかった (すでにルールが決まっていた)

質問20 質問15で「② クラスや学校」に○を付けた人にお聞きします。決めたルールを守っていますか。

- ① 守っている
- ② 守れなかったことがある
- ③ 守っていない

学校名	お子さんの学年	年	お子さんの性別	男子・女子
-----	---------	---	---------	-------

【答え方】 それぞれの質問で、あてはまるものの数字に○を付けてください。

「その他」を選んだ場合は、かっこの中に内容を書いてください。

※ 学年欄のお子さんが2人以上いらっしゃる場合は、恐れ入りますが、1票につき1人のお子さまについてそれぞれ御回答ください。

質問1 お子さんは、インターネットに接続することができる機器を使っていますか。
※ インターネットに接続できる機器については質問2の図を見てください。

- ① 使っている ② 使っていない（→ 次は、質問2に答えてください）

質問2 お子さんは、どのような機器を使っていますか。（本人のものではなくても、使っていれば○を付けてください）【いくつ○を付けてもかまいません】



質問3 お子さんは、質問2の機器のどれかを使って、インターネットを利用していますか。

- ① 利用している ② 利用していない（→ 次は、質問2に答えてください）

質問4 お子さんは、質問2の機器のうち、携帯電話またはスマートフォンでインターネットを利用していますか。

- ① 利用している ② 利用していない

質問5 お子さんが使用している機器にフィルタリング機能をつけていますか。

- ① 常に設定を変えずに、フィルタリング機能をつけている。
② フィルタリング機能をつけているが、一部のアプリを使用できるように設定を変更した。
③ 最初はフィルタリング機能をつけていたが、今はすべて外している。
④ 最初からフィルタリング機能をつけていない。
⑤ フィルタリング機能をつけているかどうか、分からない。

質問6 質問5で②または④と答えた方にお聞きします。フィルタリング機能を利用しない理由は何ですか。

- ① 自分が所有している機器を、子供に使わせているため
② アクセスできないサイト等があり、子供がフィルタリング機能を解除してほしいと言ったため
③ 安全に利用できる能力を子供が持っているため
④ フィルタリング機能の設定が難しいため
⑤ フィルタリング機能は不要だと思うため
⑥ その他（ ）

質問7 お子さんが、インターネットを初めて利用したのはいつ頃ですか。

- ① 小学校入学前 ② 小学1年生頃 ③ 小学2年生頃 ④ 小学3年生頃
⑤ 小学4年生頃 ⑥ 小学5年生頃 ⑦ 小学6年生頃 ⑧ 中学1年生頃
⑨ 中学2年生頃 ⑩ 中学3年生頃 ⑪ 高校1年生頃 ⑫ 高校2年生頃
⑬ 高校3年生頃 ⑭ 高校4年生頃 ⑮ 覚えていない

質問8 お子さんは、インターネットを、どのような目的で利用しますか。【いくつ○を付けてもかまいません】

- ① ニュースや天気予報など、普段の生活に必要な情報を調べるため。
② 日々の生活の様子やつぶやきなどを書き込んだりするため。
③ ゲームや音楽を楽しむなど、自分の趣味のため。
④ 学習や受験などに必要なことを調べるため。 ⑤ 家族と連絡を取るため。
⑥ 友達と連絡をとるため。 ⑦ その他（ ）

質問9 お子さんが、オンラインゲーム（自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの）や、SNS（メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど）を初めて利用したのはいつ頃ですか。

- ① 小学校入学前 ② 小学1年生頃 ③ 小学2年生頃 ④ 小学3年生頃
⑤ 小学4年生頃 ⑥ 小学5年生頃 ⑦ 小学6年生頃 ⑧ 中学1年生頃
⑨ 中学2年生頃 ⑩ 中学3年生頃 ⑪ 高校1年生頃 ⑫ 高校2年生頃
⑬ 高校3年生頃 ⑭ 高校4年生頃 ⑮ 使ったことはない ⑯ 分からない

質問10 お子さんは、1日何時間くらい、インターネットを利用していますか。

- ① 1時間程度 ② 2時間程度 ③ 3時間程度 ④ 4時間程度
⑤ 5時間程度 ⑥ 6時間程度 ⑦ 7時間程度 ⑧ 7時間以上
⑨ ほとんど使わない ⑩ 分からない

質問11 質問10で答えた利用時間について、どう思いますか。

- ① 長いと思う ② 普通だと思う ③ 短いと思う

質問12 質問10で答えた利用時間のうち、オンラインゲーム（自分の家以外の人とチームを組んだり、対戦したりするもの）や、SNS（メール、通話、チャット、ゲーム内のチャットなど）の利用時間はどれくらいですか。

- ① 1時間程度 ② 2時間程度 ③ 3時間程度 ④ 4時間程度
⑤ 5時間程度 ⑥ 6時間程度 ⑦ 7時間程度 ⑧ 7時間以上
⑨ ほとんど使わない ⑩ 分からない

質問13 お子さんは、毎日何時間まで、インターネットを利用しますか。

- ① 午後7時頃まで ② 午後7時過ぎ～8時頃 ③ 午後8時過ぎ～9時頃
④ 午後9時過ぎ～10時頃 ⑤ 午後10時過ぎ～11時頃 ⑥ 午後11時過ぎ～12時頃
⑦ 午後12時過ぎ～午前1時頃 ⑧ 午前1時以降 ⑨ 分からない

質問22 「SNS東京ルール」を知っていますか。

- ① 名前も、ルールの内容も知っている
- ② 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない
- ③ 知らない

質問23 質問22で①、または②と答えた方にお聞きします。「SNS東京ルール」を、どこで知りましたか。

- ① 学校からの連絡
- ② ニュースや新聞
- ③ 知り合いから聞いた

※ アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。封筒に入れて学校に提出をお願いします。

質問14 インターネットを利用するときのルールを決めていますか。

- ① 決めている
- ② 決めていない(→ 次は、質問20に答えてください)

質問15 どのようなルールを決めていますか。【いくつ〇を付けてもかまいません】

- ① 料金の限度を決める
- ② 利用時間の限度を決める
- ③ 利用しない日を決める
- ④ メールや通話の相手を決める
- ⑤ どんなサイトを利用したか保護者に伝える
- ⑥ ブログやプロフィールサイトなどを作らない
- ⑦ 掲示板などへの書き込みをしない
- ⑧ 出会い系サイトなどの有害サイトを利用しない
- ⑨ ルールを守れなかったときにどうするか決める
- ⑩ メールを送るときのルールを守る
- ⑪ 利用機会を限定(帰宅連絡・緊急時など)する
- ⑫ その他()

質問16 ルールを決めるときに、お子さんと話し合って決めましたか。

- ① 行った
- ② 行わなかった

質問17 質問16で②を選んだ方にお聞きします。話し合いを行わなかった理由はなんですか。

- ① 年齢に関係なく保護者が決めるものであり、話し合う必要はない
- ② 一定の年齢になれば話し合う必要があるが、まだその年齢に達していない
- ③ その他()

質問18 お子さんは、決めたルールを守っていますか。

- ① 守っている
- ② 守れなかったことがある
- ③ 守っていない
- ④ 分からない

質問19 質問18で②、③と答えた方にお聞きします。ルールを守れなかった理由は何ですか。

- ① 守る必要がないと思っている
- ② 友達や家族から、急な連絡が来るから
- ③ 楽しくやめられなかったから
- ④ 特に理由はない
- ⑤ その他()

質問20 平成27年4月1日から12月31日までの間に、お子さんから、インターネットに関するトラブルや被害者について相談を受けたことがありますか。

- ① ある
- ② ない(→ 次は、質問22に答えてください)

質問21 お子さんから受けた相談の内容は、どのようなものですか。【いくつ〇を付けてもかまいません】

- ① メールやSNSに書き込んだ文章が原因で友だちとトラブルになった
- ② グループ内や、誰も見られるところで、自分の顔や個人情報を書かれた
- ③ 無料通話アプリなどのグループで仲間外れにされたり、勝手に退会させられたりした
- ④ その他()

学校名 立

**平成27年度 児童・生徒のインターネット利用状況調査
調査票 C (学校用)**

【回答方法】 管理職の方が回答してください。
特別な指示のない限り、最も当てはまるもの一つを選び、番号を○で囲んでください。
「その他」を選択した場合は、かつこ内に具体的な内容を記入してください。

質問1 児童・生徒のスマートフォン等の校内への持ち込みについて、どのように指導していますか。

- ① 全般的に禁止している。
- ② 原則禁止している。
- ③ 原則禁止しているが、申請があれば許可している。
- ④ 校内への持ち込みは禁止していないが、教室への持ち込みは禁止している。
- ⑤ 持ち込みは禁止していないが、授業時間中や集会等での使用を禁止している。
- ⑥ 持ち込みも、使用も禁止していないが、必要に応じて指導している。

質問2 スマートフォン等の使い方や、無料通話アプリやコミュニケーションアプリの使用に関するルールを定めていますか。平成27年11月現在でお答えください。

- ① 定めている
- ② 定めていない (→ 質問6へ)

質問3 ルールをどのように定めましたか。

- ① 教育委員会の方針に基づいて定めた
- ② 学校が定めた
- ③ 児童・生徒の意見を踏まえ、学校が定めた
- ④ その他 ()

質問4 初めてルールを定めた時期はいつごろですか。

- ① 本年度
- ② 1～2年前
- ③ 3～4年前
- ④ 5年以上前
- ⑤ 具体的な時期は不明

質問5 どのようなルールを定めていますか。【複数回答可】

- ① 利用時間 (利用可能な総時間等)
- ② 利用時間 (終了時刻)
- ③ 利用場所
- ④ 利用相手 (家族間だけ、友人間だけ等)
- ⑤ 記載内容 (悪口を書かない、個人情報を書かない等)

質問6 インターネットや携帯電話等の使用について、児童・生徒に対してどのように指導していますか。

【複数回答可】

- ① 国や都、関係機関等の資料を活用して指導を行っている。
- ② 郡の学校非公式サイト等の監視結果を活用して指導を行っている。
- ③ 学校で資料や通知を作成して指導を行っている。
- ④ 外部人材を活用して指導を行っている。
- ⑤ 集会や学級活動 (ホームルーム) などの時間に指導を行っている。
- ⑥ 授業等で計画的に指導を行っている。
- ⑦ 行事等で指導を行っている。
- ⑧ 各教員の裁量により指導を行っている。
- ⑨ その他 ()

(裏面につづく)

質問7 インターネットや携帯電話等の使用について、保護者に対してどのように啓発していますか。

【複数回答可】

- ① 国や都、関係機関等の資料を活用して啓発を行っている。
- ② 郡の学校非公式サイト等の監視結果を活用して啓発を行っている。
- ③ 学校で資料や通知を作成して啓発を行っている。
- ④ 外部人材を活用して啓発を行っている。
- ⑤ 行事等で啓発を行っている。
- ⑥ 保護者会などの機会に啓発を行っている。
- ⑦ 各教員の裁量により啓発を行っている。
- ⑧ その他 ()

質問8 自校の児童・生徒に、インターネットや携帯電話利用に関するトラブルが起きたことがありますか。

平成27年4月1日から12月31日までの間に回答してください。

- ① ある
- ② ない (→ アンケートは終了です)

質問9 どのようなトラブルがありましたか。平成27年4月1日から12月31日までの間に、学校が把握している範囲で回答してください。【複数回答可】

- ① 誹謗中傷のメール、不審者メール、チェンメール、なりませメール、わいせつ画像、架空請求等が児童・生徒に送信されてきた。
- ② 電子メールが原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた。
- ③ 無料通話アプリやコミュニケーションアプリ (グループでメッセージをやりとりするアプリ) が原因で児童・生徒間や保護者等の間で、けんかやトラブルが起きた。
- ④ インターネットや携帯電話等の過度の利用により、児童・生徒が体調不良や成績不振等に陥った。
- ⑤ インターネットや携帯サイトやスマートフォンのアプリでの個人情報悪用、犯罪行為の誘引、自殺・自傷の誘引、架空請求、脅迫・誹謗、詐欺等のトラブルに、児童・生徒が巻き込まれた。
- ⑥ 児童・生徒のインターネット上の不適切な行為について、インターネット上で告発されたり、電話やメールが寄せられたりした。
- ⑦ 学校非公式サイト等に、学校や教職員に対する誹謗中傷などの書き込みをされた。
- ⑧ その他 ()

質問10 どのようにしてトラブルを把握しましたか。平成27年4月1日から12月31日までの間に、回答してください。【複数回答可】

- ① 児童・生徒、保護者等からの訴えや相談など
- ② 学校・教職員による児童・生徒の観察やインターネットの監視など
- ③ 警察等の関係機関や地域等からの情報提供など
- ④ 都教育委員会からの学校非公式サイト等に関する情報提供
- ⑤ 都民からの苦情電話や電子メール
- ⑥ その他

※ アンケートは以上で終わります。お忙しい中、御協力いただき感謝申し上げます。

平成27年度

児童・生徒のインターネット利用状況調査報告書

東京都教育委員会印刷物登録

平成27年度第229号

平成28年3月 発行

東京都教育庁指導部指導企画課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

都庁第一本庁舎 38階

TEL : 03-5320-6848

調査委託 : 株式会社 タイム・エージェント